

羽犬塚射場ノ本遺跡Ⅱ

福岡県筑後市大字羽犬塚所在遺跡の調査

筑後市文化財調査報告書

第106集

平成25年

(2013)

筑後市教育委員会

はいぬづかいばのもと
羽犬塚射場ノ本遺跡Ⅱ

羽犬塚射場ノ本遺跡

第4次調査

平成25年

(2013)

筑後市教育委員会

序

江戸時代の羽犬塚は、府中宿（現久留米市）、松崎宿（現小郡市）に並ぶ筑後三宿の宿場町として栄え、主要道であった薩摩街道筋に御茶屋、人馬問屋、旅籠などが軒を連ねていました。現在は、薩摩街道から国道209号線へと引き継がれましたが、道路が屈曲した枡形や寺社など、当時の面影をわずかながら垣間見ることができます。

さて、当地は、薩摩街道の前身とも捉えられる古代官道「西海道」が縦断し、筑後三駅のひとつである「葛野駅」推定地としても注目されています。今回、報告します羽犬塚射場ノ本遺跡第4次調査は、古代（奈良～平安時代）の竪穴住居、掘立柱建物、道路跡といった貴重な遺構と須恵器、土師器、鉄製品、墨書き土器、製塩土器などの遺物が出土しました。この内容は、平成18年の新聞にも掲載され、話題となりました。

最後に、本書が文化財保護思想普及の一助として、また、学術研究の資料として活用されることを願っています。本書の刊行にあたり多大なご協力を賜りました関係者の皆さんに厚くお礼を申し上げます。

平成25年3月

筑後市教育委員会
教育長 高巣 一規

例　言

- 本書は、平成18～24年度にかけて実施した「羽犬塚射場ノ本遺跡（第4次調査）」埋蔵文化財発掘調査報告書である。
- 発掘調査は、現地調査、整理作業、報告書作成を筑後市教育委員会が行った。
- 発掘調査で出土した遺物及び記録した図面類、写真類等は当教育委員会で所蔵、保管を行っている。
- 調査に用いた測量座標は、国土調査法第II座標系（旧日本測地系）を基準としており、本書に示される方位は座標北（G.N.）を示している。従って、本文中に記される遺構の方位はこれを基準としたものであり、水準についてはT.P.を基準としている。
- 本書に使用した図面類について、遺構実測図は小林勇作、上村英士が作成し、遺物実測図は財團法人元興寺文化財研究所、デジタルトレースは株式会社イビソクに委託した。
- 本書に使用した写真類について、遺構写真は小林、上村、遺物写真は小林が撮影し、空中写真は有限会社空中写真企画に委託した。
- 本書に使用した遺構番号は、頭に調査次数、並びに種別記号を表記し、種別は以下の記号を用いた。
種別記号：SB - 掘立柱建物、SD - 溝、SF - 道路状遺構、SI - 壊穴住居、SK - 屋内土坑・土坑、
SP - 柱穴・ピット、SX - 不明遺構・カクラン
- 本書の執筆と編集は、小林が担当した。

目　次

I . 調査組織	1
II . 位置と環境	3
III . 調査の概要	9
(1) 検出遺構	9
壊穴住居	9
掘立柱建物	17
柵列	20
道路状遺構	20
溝	20
土坑	20
ピット群	25
(2) 出土遺物	33
壊穴住居	33
掘立柱建物	86
柵列	87
道路状遺構	87
溝	88
土坑	89
ピット	89
IV . まとめ	102

I . 調査経過と組織

当地は、マンション兼店舗の建設を予定する筑後市大字羽犬塚字射場ノ本 26-1（約 1,000 m²）について、遺跡が破壊される約 1,000 m²の範囲を筑後市教育委員会が緊急発掘調査として実施した。平成 18 年 11 月 27 日に土地所有者並びに建設予定者である城戸順一氏と筑後市が受託契約を締結し、平成 18 年 12 月 5 日から平成 19 年 3 月 19 日の間、現地での発掘調査を実施した。調査は考古学的手法による表土剥ぎ（有限会社徳光建設へ委託）・遺構検出・遺構掘削・実測作業・写真撮影を小林勇作が担当し、作業の一部は上村英士の協力を得た。遺物の整理作業（遺物洗浄・乾燥・実測・復元・保存処理等）は財団法人元興寺文化財研究所へ、遺構及び遺物のデジタルトレースは株式会社イビソクへ委託し、報告書作成は平成 24 年度に小林が担当して行った。

【調査組織】

1. 発掘調査（平成 18 年度）

総括	教育長	城戸 一男
	教育部長	平野 正道
庶務	社会教育課長	田中 優一
	文化スポーツ係長	北島 鈴美
	文化スポーツ係	永見 秀徳
		小林 勇作（調査担当）
		上村 英士
		阿比留土朗（嘱託：～ 6/30）

2. 遺物整理作業（平成 19 年度）

総括	教育長	城戸 一男
	教育部長	平野 正道
庶務	社会教育課長	田中 優一
	文化スポーツ係長	北島 鈴美
	文化スポーツ係	永見 秀徳
		小林 勇作（整理担当）
		上村 英士
		吉村由美子（嘱託）

3. 遺物整理作業（平成 20 年度）

総括	教育長	城戸 一男
	教育部長	田中 優一
庶務	社会教育課長	永松 三夫
	文化スポーツ係長	田中 純彦
	文化スポーツ係	永見 秀徳
		小林 勇作（整理担当）
		上村 英士
		吉村由美子（嘱託）

4. 整理作業（平成 21 年度）

総括	教育長	城戸 一男
	協働推進部長	田中 優一
庶務	社会教育課長	山口 辰樹

文化スポーツ担当係長 田中 純彦
文化スポーツ係 小林 勇作（整理担当）
上村 英士
吉村由美子（嘱託）

5. 整理作業・報告書作成（平成 22 年度）

総括	教育長	城戸 一男
	協働推進部長	山口 辰樹
庶務	社会教育課長	高井良清美
	文化スポーツ担当係長	馬場 信二
	文化スポーツ係	小林 勇作（整理担当）
		上村 英士
		吉村由美子（嘱託）

6. 整理作業・報告書作成（平成 23 年度）

総括	教育長	高巣 一規
庶務	社会教育課長	高井良 清美
	社会教育係長	村上 一彦
	社会教育係	小林 勇作（整理担当）
		上村 英士
		吉村由美子（非常勤一般職）

7. 報告書作成（平成 24 年度）

総括	教育長	高巣 一規
庶務	社会教育課長	高井良 清美
	社会教育係長	村上 一彦
	社会教育係	小林 勇作（整理担当）
		上村 英士
		立石 真二（非常勤一般職）

8. 発掘調査参加者

石橋香代美・井上むつ子・今山美咲子・植田 勝子・内田 征一・内野 康隆・江崎トシ子・
加藤 礼子・蒲池 京子・河添 幸子・北村 由子・隈本 千城・近藤 一昭・下川 義文・
角 里子・中尾 隆典・中村 三男・橋本 高登・原 秋子・堀田 武利・田島 和弘・
田島 好江・田平 利彦・藤田 雅代・田島ヤス子・辻 名草・辻 勝・堤 義弘・
富永八重子・富安 英子・野田 勝子・馬場千鶴子・原 清隆・藤田 信雄・松尾喜代美・
水町 文彦・三瀬美樹子・満川香代子・三宅加奈子・牟田佐恵子・村上 愛子・本村 弘年・
山田 龍助・渡邊 泰子

8. 整理作業参加者

辻 美穂・仲 文恵・西田 富美・野口 晴香・野間口靖子・丸山裕見子・宮崎 彩香・
横井 理絵

今回の発掘調査では、次の諸氏にご指導・ご教示をいただいた。記して感謝の意を表したい。

木下良氏（古代交通研究会）、木本雅康氏（長崎外国语短期大学）、狭川真一氏（財団法人元興寺文化財研究所）、山村信榮氏（太宰府市教育委員会）、小鹿野亮氏（筑紫野市教育委員会）、
小田和利氏、小池史哲氏、齋部麻矢氏（以上、福岡県教育庁文化財保護課）、近澤康治氏（元久留米市教育委員会）

II . 位置と環境

筑後市は、福岡県の南西部、筑後平野の中央部にあたる。市域を JR 鹿児島本線と国道 209 号線が縦断し、国道 442 号線が横断する。また、市南西部には一級河川の矢部川、中央部には山ノ井川や花宗川、北部には倉目川が西流する。市北部には耳納山地から派生する八女丘陵が西に延び、灌漑用の溜池が点在する。低位扇状地である東部や低地である南西部には農業水路が発達している。当市は県内有数の農業地帯であり、北部の丘陵地域では果樹園や茶畠、東部や南西部では米麦中心の田園地帯が広がる。市域地は、国道に沿って市の中心部に形成されている。

当遺跡が所在する筑後市大字羽犬塚地区は、市の中心市街地に位置し、標高 19m 位の低位段丘上に立地する。当地は、藩政時代に久留米藩の羽犬塚宿として栄え、薩摩街道（別名：坊ノ津街道）として参勤交代に使用された主要街道は、現在の国道 209 号として生まれ変わった。羽犬塚宿は、久留米藩の松崎宿（小郡市）と府中宿（久留米市）に並ぶ「筑後三宿」のひとつであり、宿場町には参勤交代で藩主が休泊に使用した本陣（御茶屋）、憩会所、牛馬会所、人馬問屋、旅籠、高札場等が置かれていた。御茶屋は現在の羽犬塚小学校に位置し、御茶屋の庭に植えられていたソテツは小学校と筑後市役所の正面玄関前で見ることができる。また、1812 年（文化 9 年）には西国測量をしていた伊能忠敬一行も利用しており、幕末に勤皇志士として活躍した真木和泉守保臣（久留米藩）は、宿場町の旅籠で大久保利通（薩摩藩）と会談していたことが知られている。「羽犬塚」地名の由来は、豊臣秀吉の九州征伐に絡む良悪犬説の物語が伝承されているが、市史によると「駿馬（はゆま）+ 塚（つか）」、または「灰塚（はいつか）」が転訛したものと考えられている。1889 年（明治 22 年）に羽犬塚、徳久、藏敷、久富、山ノ井、熊野 6 村が合併して羽犬塚村となり、後に水田村の花宗川以北の和泉を編入した。1915 年（大正 4 年）の町制施行によって羽犬塚町となり、1953 年（昭和 28 年）の町村合併促進法によって翌年筑後市となる。時代は遡り、当遺跡が所在する現在の羽犬塚中学校周辺では、奈良～平安時代を中心とする集落遺跡が分布する。文献史学や歴史地理学の研究によると、古代律令期に大宰府を中心として各国府を結んだ古代官道の「西海道」が、当地を南北に貫通することが知られており、これまでの発掘調査で当遺跡から東へ約 60m の地点を走ることがわかっている。古代官道に付設されていた駅家のひとつである「葛野駅」は、北の御井駅（久留米市）と南の狩道駅（みやま市）との間に設けられた駅家であり、当地の北東部にあたる字「丑ノマヤ」付近が想定されている。想定葛野駅周辺で発掘調査された「羽犬塚山ノ前遺跡（註-1・2）」、「羽犬塚中道遺跡（註-3～5）」、「前津丑ノマヤ遺跡（註-6）」からは、奈良～平安時代の竪穴住居や掘立柱建物等が多く検出されており、羽犬塚山ノ前遺跡では古代官道と想定される道路状遺構、羽犬塚中道遺跡からは「郡符葛野」と墨書きされた葛野駅に関連する遺物が出土している。羽犬塚射場ノ本遺跡は、平成 6 年度に実施された第 1 次調査を皮切りに、今回で第 4 次調査となる。第 4 次調査は、第 1・2 次調査（註-7）東部分の隣接地にあたり、第 1・2 次調査では 7 世紀後半～8 世紀代にかけての竪穴住居、道路状遺構等が検出されている。第 3 次調査（註-8）は今次調査区の西部に位置したトレンチ調査で、ここからも 8 世紀前半に比定される竪穴住居等が確認されている。

【註】

1. 「羽犬塚山ノ前遺跡 - 第 1 次調査 -」『羽犬塚山ノ前遺跡』筑後市文化財調査報告書第 48 集 筑後市教育委員会 2003
2. 「羽犬塚山ノ前遺跡 - 第 2 次調査 -」『羽犬塚山ノ前遺跡Ⅱ』筑後市文化財調査報告書第 60 集 筑後市教育委員会 2005
3. 「羽犬塚中道遺跡 - 第 1・2 次調査 -」『筑後市内遺跡群VI』筑後市文化財調査報告書第 65 集 筑後市教育委員会 2005
4. 「羽犬塚中道遺跡 - 第 3 次調査 -」『羽犬塚中道遺跡Ⅰ』筑後市文化財調査報告書第 47 集 筑後市教育委員会 2003
5. 「羽犬塚中道遺跡 - 第 4 次調査 -」『筑後市内遺跡群VI』筑後市文化財調査報告書第 65 集 筑後市教育委員会 2005
6. 「前津丑ノマヤ遺跡」「前津丑ノマヤ遺跡」筑後市文化財調査報告書第 80 集 筑後市教育委員会 2007
7. 「羽犬塚射場ノ本遺跡 - 第 1・2 次調査 -」『羽犬塚射場ノ本遺跡』筑後市文化財調査報告書第 17 集 筑後市教育委員会 1995
8. 「羽犬塚射場ノ本遺跡 - 第 3 次調査 -」『筑後市内遺跡群VI』筑後市文化財調査報告書第 65 集 筑後市教育委員会 2005

【参考文献】

『筑後市史第一・二巻』 筑後市 平成 9 年



Fig.1 羽犬塚射場ノ本遺跡（第4次調査）

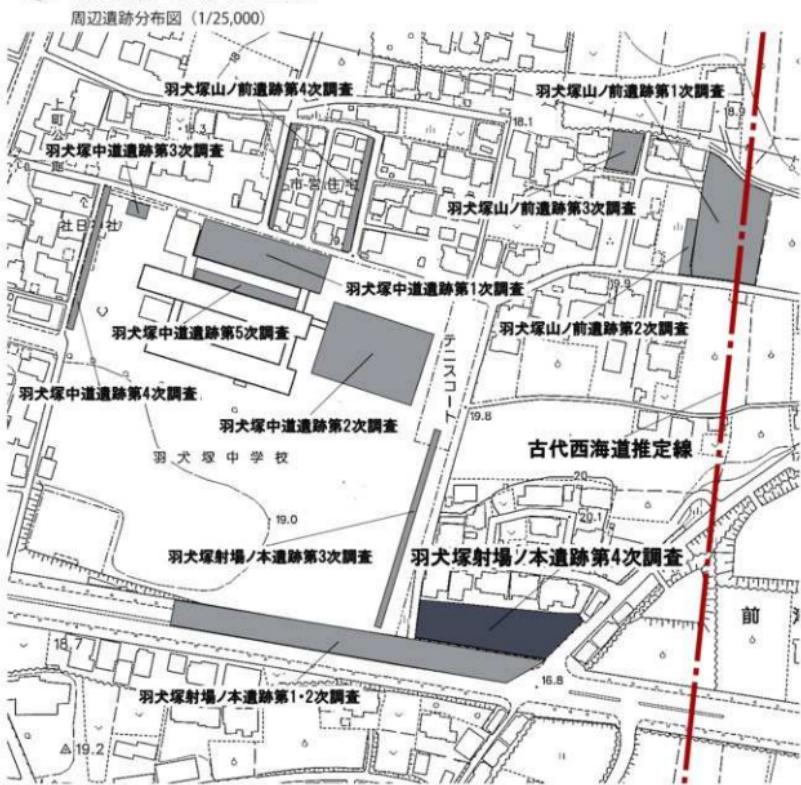


Fig.2 羽犬塚射場ノ本遺跡（第4次調査）地点位置図 (1/2,500)



Fig.3 羽犬塚射場ノ本遺跡（第4次調査）遺構略側図（1/100）

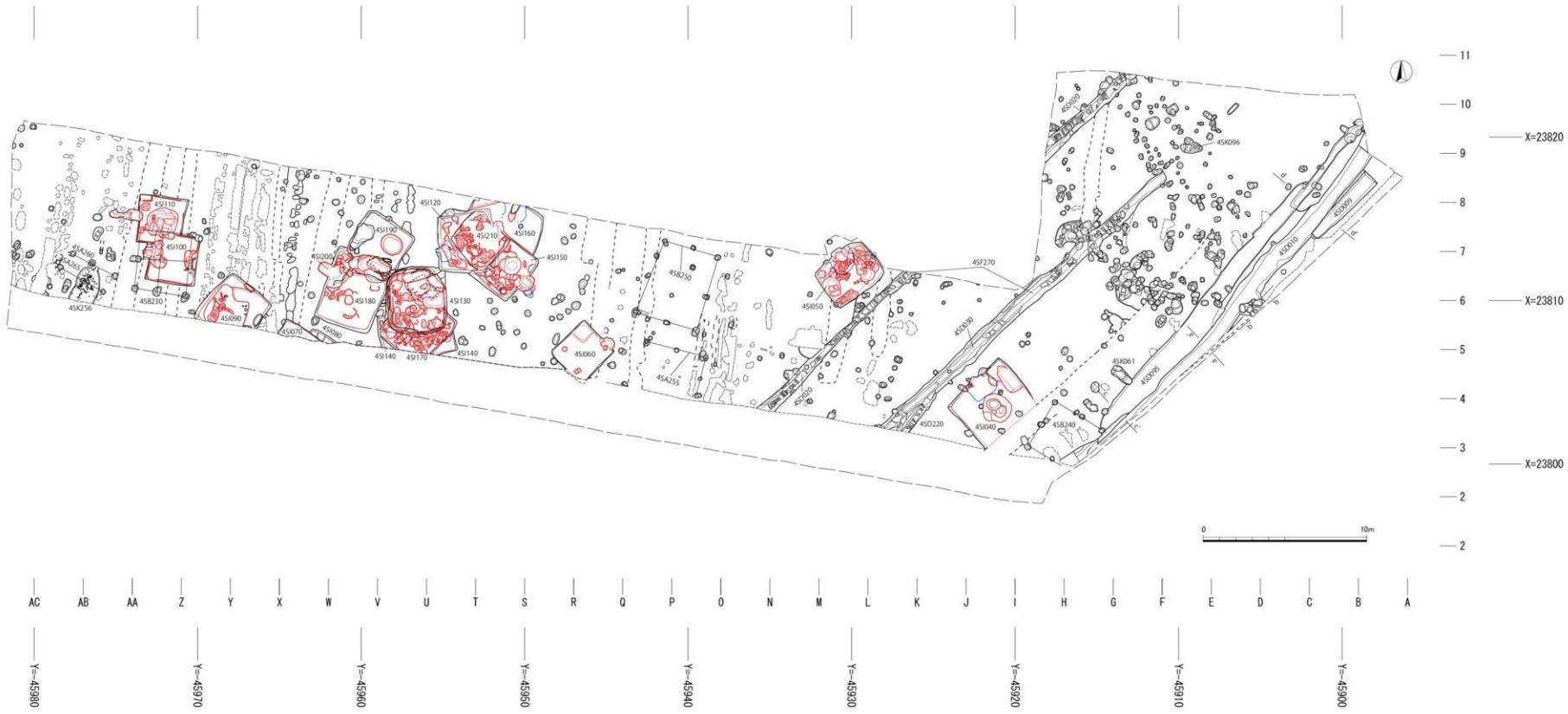


Fig.4 羽犬塚射場ノ本遺跡（第4次調査）遺構全体図（1/100）

III. 調査の概要

(1) 検出遺構

竪穴住居

4SI040 (Fig.5, Pla.3)

調査区南東側で検出した。北西壁長 4.31m、北東壁長 3.70m、床面までの壁高は北西壁で 0.23m を測り、N = 47° 48' 08" - E を示す。主柱穴は P1 ~ 4 の 4 本で掘形径 0.30 ~ 0.45m、深さ 0.22 ~ 0.45m、柱間は P1 - P2 間で 1.85m、P1 - P4 間で 1.45m を測る。住居床下の北側からは 0.83 × 2.16m を測る不定形な土坑を検出し、更に中央からは 1.87 × 1.74m を測る梢円形土坑を検出した。住居北西壁中央には作り付型カマドが付設され、遺存状態は比較的良好であった。右袖は長さ 0.20m、基部幅 0.32m、残高 0.05m、左袖は長さ 0.24m、基部幅 0.25m、残高 0.24m、焚口幅 0.80m を測る。火床からは焚口を中心とする周辺で焼土層を認めた。

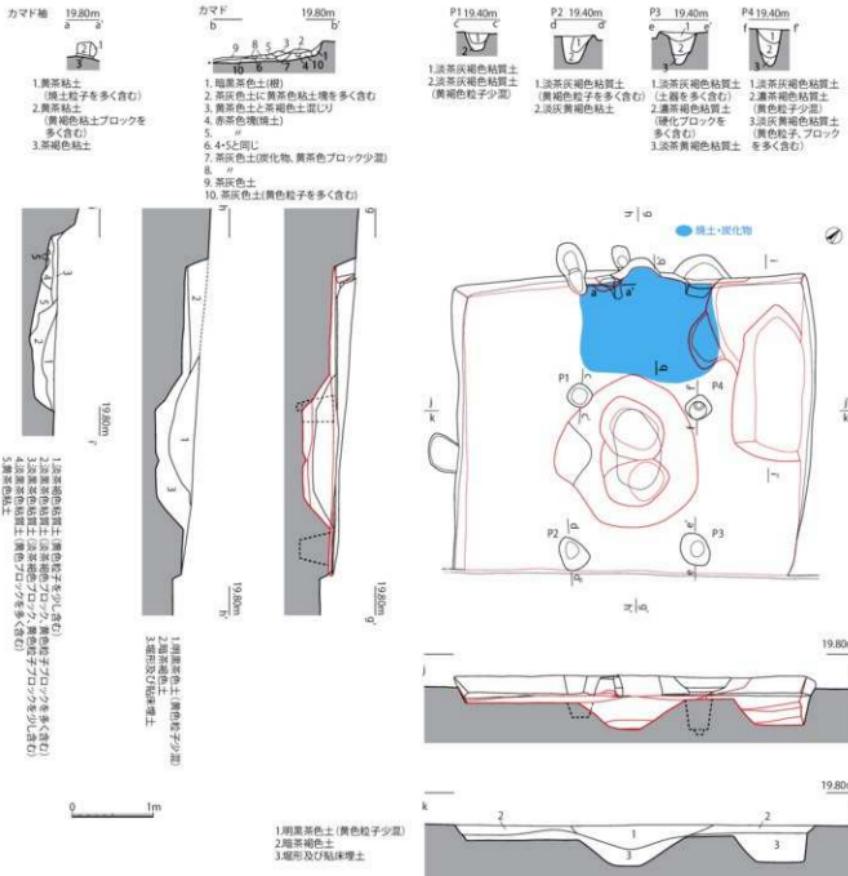


Fig.5 4SI040 遺構実測図 (1/60)

4SI050 (Fig.6, Pla.3 ~ 5)

調査区東寄りで検出した隅丸長方形を呈する住居である。北西壁長3.30m、北東壁長2.78m、床面までの壁高は北西壁で0.35mを測り、N - 54° 14' 46" - Eを示す。主柱穴は確認できず、北東壁中央からは0.58 × 0.39mを測る楕円形状の屋内土坑を検出し、床面からの深さは0.35mを測る。土坑内からは土師器を認めている。住居床下は多数の土坑、ピットで構成される3群の掘痕跡を検出し、凹凸が著しい。住居北西壁中央には作り付型カマドを付設する。遺存状態は良好で右袖は長さ0.57m、基部幅0.31m、残高0.25m、左袖は長さ0.52m、基部幅0.49m、残高0.33m、焚口幅0.45mを測る。両袖の壁体はよく焼けており、火床からは炭化物を含む焼土層を認めた。焚口中央部には土師器(甕)を逆さにした状態で置かれていた。カマド封じによるものか定かでない。

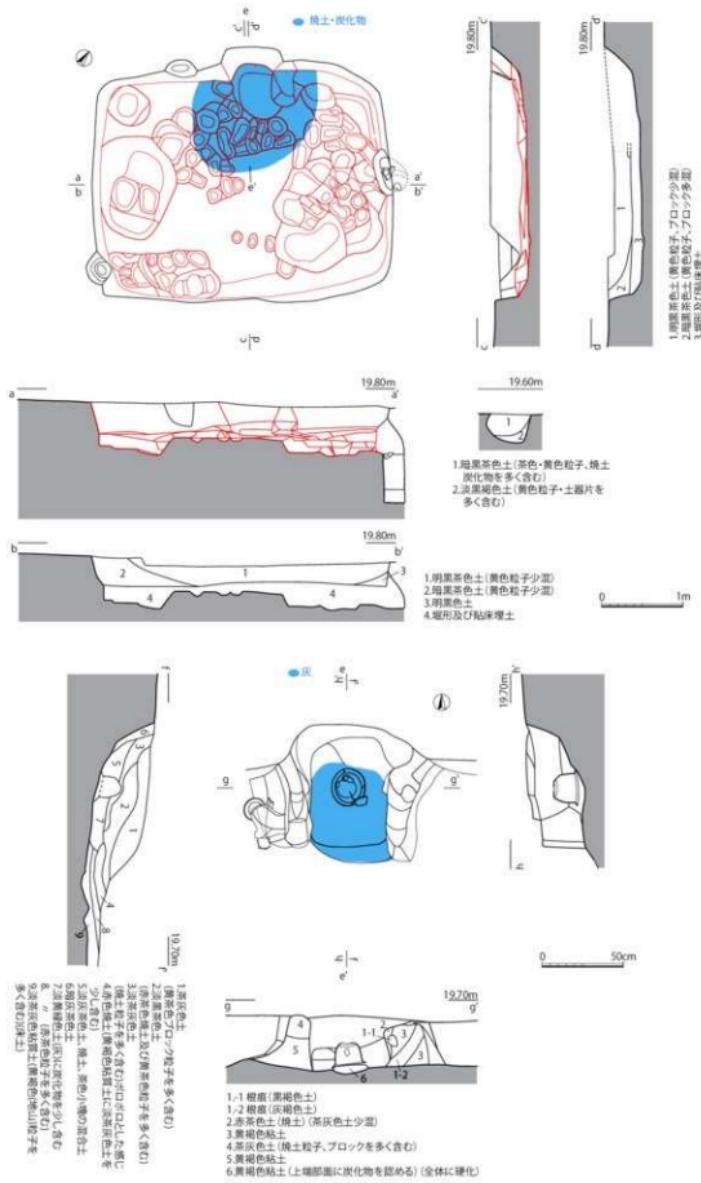


Fig.6 4SI050 遺構実測図 (1/30・1/60)

4SI060 (Fig.7, Pla.5)

調査区中央部で検出した闕丸方形を呈する住居である。北西壁長 2.86m、北東壁長 2.67m、床面までの壁高は北西壁で 0.32m を測り、N - 44° 30' 22" - E を示す。主柱穴は確認できず、北側隅からは 0.87 × 0.88m を測る方形状の屋内土坑を検出し、床面からの深さは 0.13m を測る。住居床下の状況について掘形と床面とのレベル差はほとんどなくフラットな状態であった。住居壁北東隅には作り付型カマドを設し、右袖は長さ 0.34m、基部幅 0.28m、残高 0.21m、左袖は長さ 0.43m、基部幅 0.15m、残高 0.21m、焚口幅 0.42m を測る。両袖から煙道に向けての壁体はよく焼けており、火床からは灰、炭化物を含む焼土層を認めた。

4SI070 (Fig.8, Pla.6)

調査区西側で 4SI080 を切るように検出した。北西壁長 1.00m 分、北東壁長 2.53m 分を検出し、床面までの壁高は北西壁で 0.38m を測る。方位は N - 32° 45' 37" - E を示す。主柱穴、作り付型カマドは検出されていない。

4SI080 (Fig.8, Pla.6)

調査区西側で 4SI070 に切られるように検出した。北西壁長 0.25m 分、北東壁長 1.70m 分を検出し、床面までの壁高は北西壁で 0.09m を測る。方位は N - 30° 57' 50" - E を示すものと思われ、主柱穴、作り付型カマドは検出されていない。

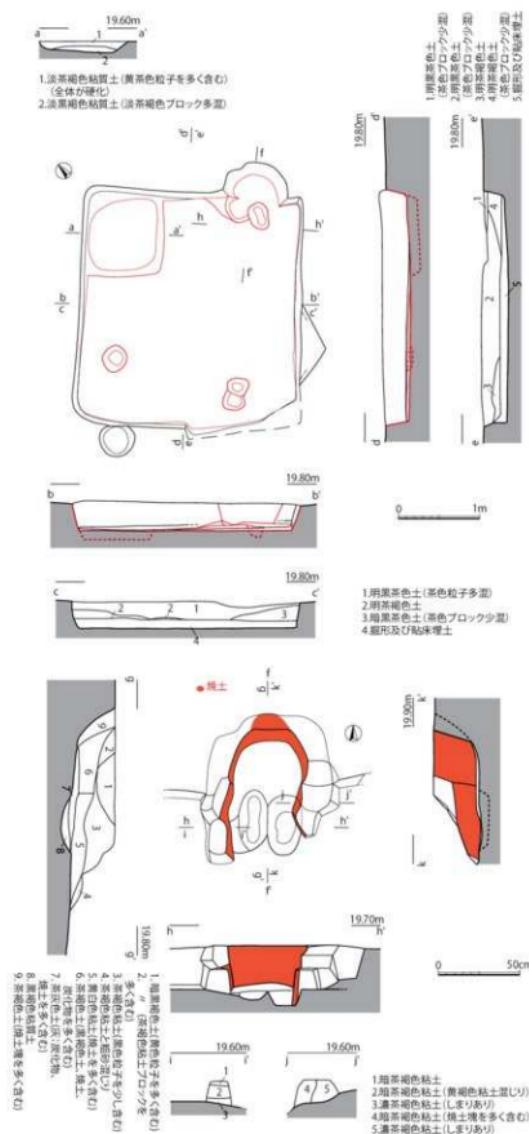


Fig.7 4SI060 遺構実測図 (1/30・1/60)

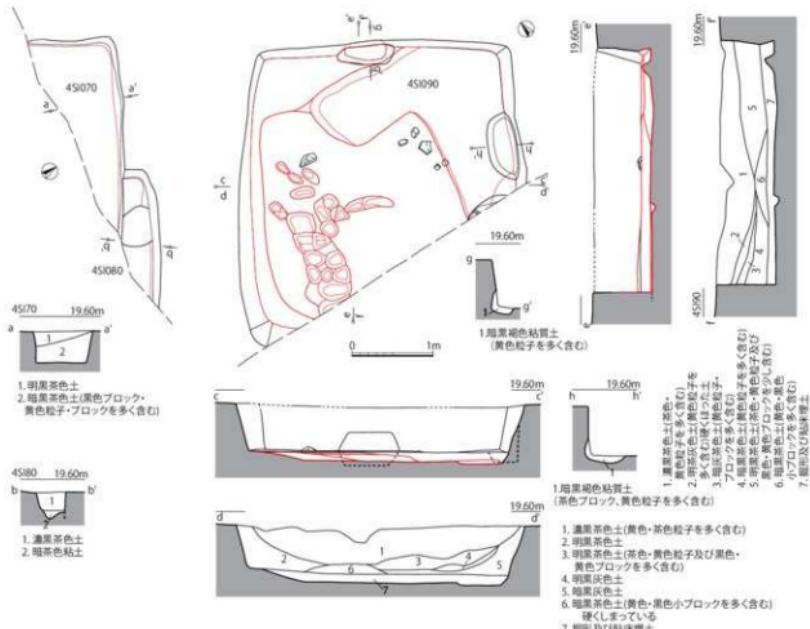


Fig.8 45I070・080・090 遺構実測図 (1/60)

4S1090 (Fig.8, Pla.6 • 7)

調査区西側で検出した方形状の住居である。北西壁長3.60m、北東壁長3.07m、床面までの壁高は北西壁で0.58mを測り、N-42°27'05"-Eを示す。主柱穴は確認しておらず、北東壁中央からは 0.73×0.28 m、床面からの深さは0.08mを測る楕円形状の屋内土坑を検出し、更に南東壁中央からは 0.85×0.36 m、床面からの深さは0.08mを測る楕円形状の屋内土坑を検出した。住居床下の北西部からは掘形痕跡と思われるビット群を検出し、掘形までの壁高は北西壁で0.70mを測る。住居南東壁中央には作り付型カマドを付設し、左袖の一部を僅かに検出したが、大半はカランを受けていたため詳細は不明であった。

4SI100 (Fig.9, Pla.7 + 8)

調査区西側で検出した方形状を呈する住居で4SB230、4SI110を切るように検出した。南壁長3.07m、東壁長3.04m、床面までの壁高は南壁で0.24mを測り、N-14°43'39"-Eを示す。主柱穴は確認していないが、床面周囲には壁溝が廻り、床面はほぼフラットな状態であった。東壁中央からは0.80×0.26mを測る段差状の遺構を検出し、床面からの高さは0.07mを測る。対面の西壁中央には作り付型カマドを付設し、左袖は長さ0.25m、基部幅0.30m、残高0.17m、焚口幅0.40mを測る。左袖壁体の一部に焼けた痕跡を認め、火床からは灰や炭化物、土器片を含む厚い焼土層を認めた。西住居壁から外へ張出された煙道または煙突では20cm大の礫岩を確認した。カマド封じとして投棄されたものか？

4SI110 (Fig.9, Pla.7 • 8)

調査区西側で検出した方形状の住居で4SI100に切られる。北壁長3.00m、西壁長2.98m、床面までの壁高は北壁で0.13mを測り、N-9°01'28"-Eを示す。主柱穴は確認できず、床面は4SI100と同様に地山削出でほぼフラットな状態であった。床面周囲には壁溝が廻り、北西隅では鉤

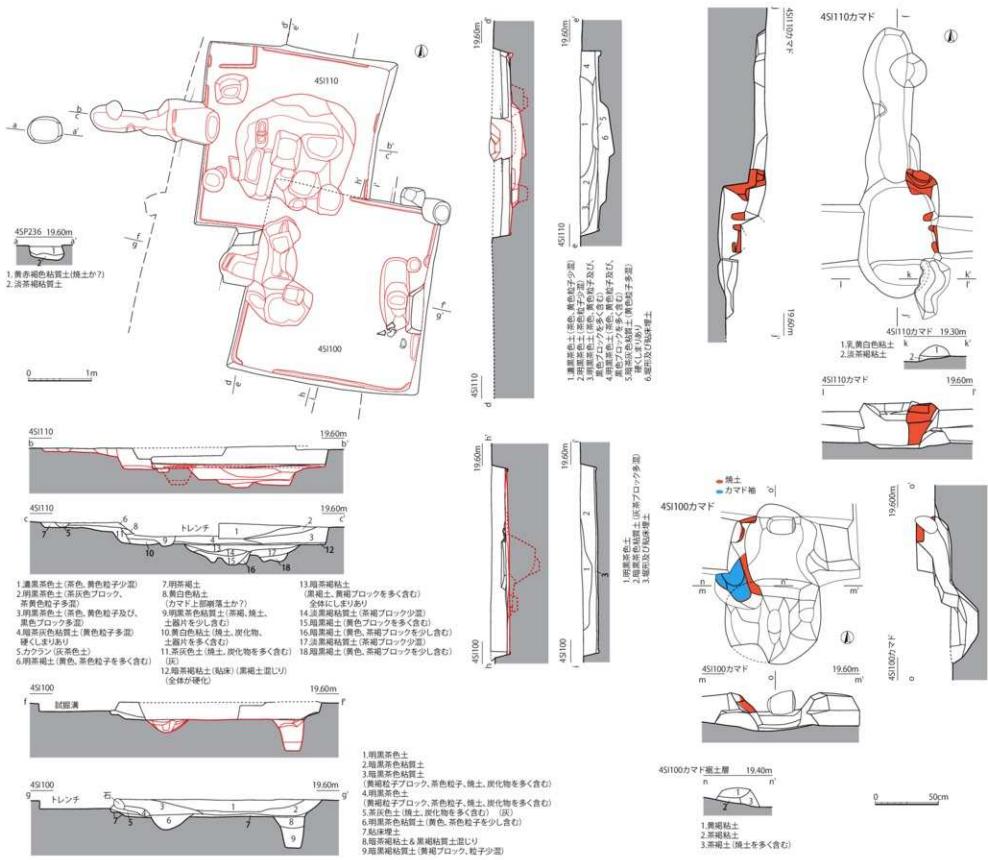


Fig.9 4SI100・110 遺構実測図 (1/30・1/60)

型状にクランクする。住居床下の中央からは径 1.80m 前後を測る不整円形状の屋内土坑を検出し、土坑内はピットなどによって凹凸が著しい。住居西壁中央には作り付型カマドを付設する。上半部は削平されていたが煙道まで遺存しており、右袖は長さ 0.49m、基部幅 0.22m、残高 0.28m、焚口幅 0.62m、煙道長 1.23m を測る。右袖の壁体はよく焼けており、火床からは多くの炭化物を含む厚い焼土層を認めた。なお、煙道から西へ約 1m ほど離れた地点の 4SP236 からは灰や炭化物を多く含む焼土が確認されている。

4SI120 (Fig.11, Pla.8)

調査区中央の西寄りで検出した方形状の住居で 4SI150・160・210 を切るように確認した。北壁長 3.25m、西壁長 3.30m、床面までの壁高は北壁で 0.50m を測り、正方位に近い N - 1° 54' 33" - W を示す。主柱穴は確認できていないが、床面と思われる整地面は検出しており、この床下からは掘形痕跡であるピット、土坑などを認めている。住居西壁の南寄りには作り付型カマドを付設する。遺存状態は良好で「ハ」字状に開く両袖について、右袖は長さ 0.42m、基部幅 0.22m、残高 0.27m、左袖は長さ 0.47m、基部幅 0.19m、残高 0.13m を測る。住居から突出した煙道を有し、焚口から煙道にかけては強く傾斜する。焚口幅は 0.45m を測り、両袖の壁体は強く焼けている。

4SI130 (Fig.10, Pla.8)

調査区中央の西寄りで隅丸長方形状を呈する住居を検出した。遺存状態は極めて良好で 4SI170 を切るように確認しており、東西長 3.74m、南北長 4.15m、床面までの壁高は北壁で 0.88m を測り、ほぼ正方位を示す。主柱穴は確認できおらず、北壁→西壁→南壁に壁溝が廻る。北側の床下では 1.35 × 0.85m を測る不整円形状の屋内土坑を検出し、床面からの深さは 0.24m を測る。住居床下からは掘形痕跡である多くの土坑及びピット群を検出しており凹凸面を著しく認める。住居の北東隅に作り付型カマドを付設するが、両袖の一部を僅かに認める程度である。焚口から煙道にかけては傾斜が強く、焚口幅は 0.45m を測る。

4SI140 (Fig.10, Pla.8)

調査区中央の西寄りで検出した。4SI130 に切られ、4SI170 を切っている。平面プランは長方形状を呈するものと思われるが切り合いが激しく全体規模は不明である。正方位から若干西へ触れており、南東隅で N - 13° 23' 33" - W、床面までの壁高は 0.27m を測る。主柱穴、カマドの存在は確認できていない。

4SI150 (Fig.11, Pla.9)

調査区中央西寄りで検出した長方形を呈する住居で 4SI160・210 を切り、4SI120 に切られる。南東壁長 3.23m、北東壁長 2.85m 以上、床面までの壁高は南東壁で 0.39m を測り、N - 40° 43' 34" - E を示す。床下は掘形痕跡のピット、土坑によって乱れていたものの中央からは径 1.20m 前後、床面からの深さは 0.27m を測る円形状の屋内土坑を検出している。住居南東壁中央には極めて遺存状態が良好な作り付型カマドを住居から突出するように付設し、焚口は「コ」の字状を呈する。両袖は比較的丁寧な作りで、右袖は長さ 0.49m、基部幅 0.22m、残高 0.43m、左袖は長さ 0.45m、基部幅 0.23m、残高 0.29m を測る。焚口内はドーム状の空間を呈し、焚口幅は最大で 0.70m を測る。カマドに向かって左上に煙り出しの煙道を付設し、焚口から煙道にかけては強い傾斜で立ち上がる。焚口に接する煙道口脣部は強く焼けており両袖の壁体はよく焼けており、火床からは厚い焼土層を認めた。

4SI160 (Fig.11, Pla.8・9)

調査区中央西寄りで検出し、4SI120・150 に切られる。北壁長 4.62m、東壁長 2.40m 以上、床面までの壁高は北西壁で 0.17m を測り、N - 29° 32' 20" - E を示す。床面北東側からは主柱穴と思われるピットを認め、径は 0.30m 床面からの深さは 0.27m を測る。住居北壁中央付近の床面には幅 1.3m 程度、厚さ 0.17m の焼土層が堆積しており、この辺りに作り付型カマドが付設されていたものと思われる。

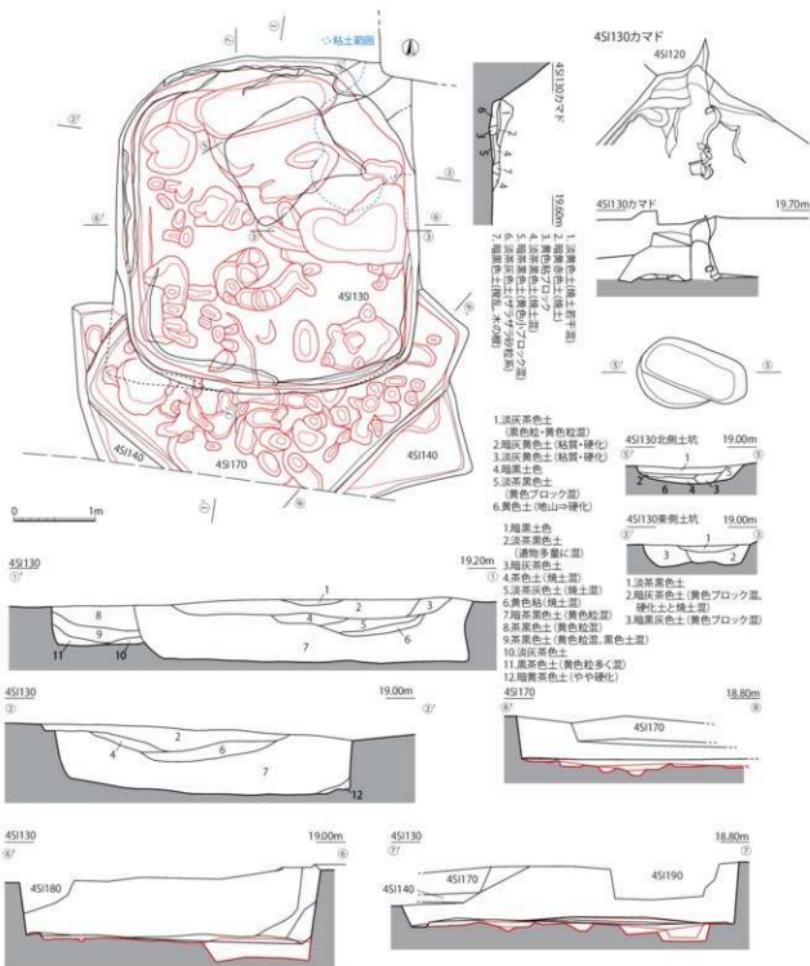


Fig.10 4SI130・140・170 遺構実測図 (1/60)

4SI170 (Fig.10, Pla.8)

調査区中央西寄りで検出した長方形住居で長軸3.70m、短軸3.40m、床面までの壁高は北東壁で0.51mを測る。4SI130・140に切られ、住居の方位はN-45°40'56"Eを示す。主柱穴、カマドの存在は確認できおらず、住居床下は掘形痕跡である多くのピット群を検出し凹凸面を顕著に認めている。

4SI180 (Fig.12, Pla.9)

調査区西側で検出した方形住居である。住居の北側は4SI200に切られ、北東壁長3.55m、南西壁長3.35m、床面までの壁高は南東壁で0.38mを測り、N-18°36'37"Eを示す。主柱穴、カマドは確認できおらず、住居床下からは僅かに掘形痕跡を認めている。

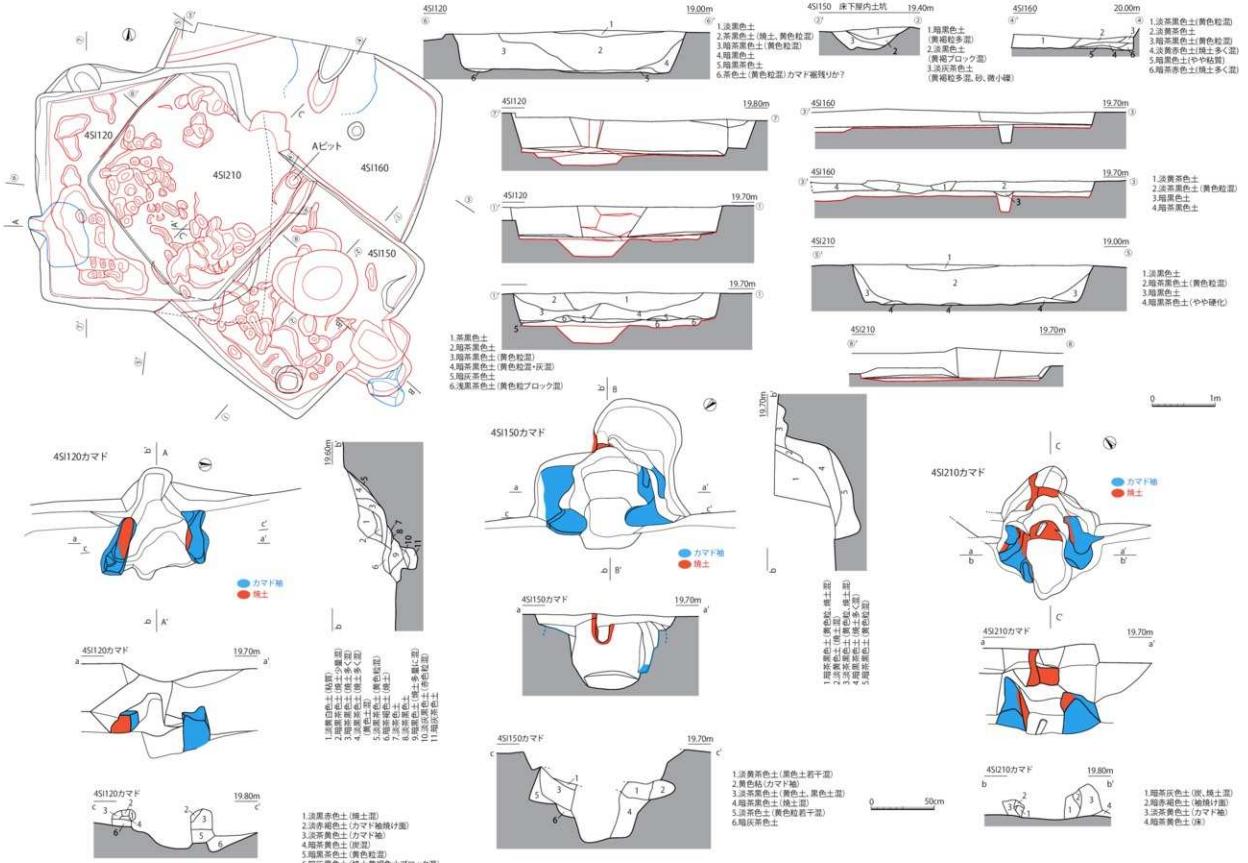


Fig.11 4SI120・150・160・210 遺構実測図 (1/30・1/60)

4SI190 (Fig.12、Pla.9)

調査区西側で検出した方形を呈する住居で、南側は4SI200と接し遺構検出時の切り合いは不明瞭であったが当住居の作り付型カマドが検出されたため4SI200を切っていると断定した。北東壁長3.34m、北西壁長2.85m以上、床面までの壁高は北東壁で0.34mを測り、N-30°09'36"-Eを示す。主柱穴は確認できず、北西壁中央からは不整楕円形状の屋内土坑を検出し、長軸2.00m、短軸1.16m、深さ0.61mを測る。更に住居中央の床下からは1.37m×1.20mを測る楕円形状の屋内土坑を検出し床面からの深さは0.17mである。住居南東隅には作り付型カマドを付設する。遺存状態は良好で右袖は長さ0.92m、基部幅0.35m、残高0.32m、左袖は一部残存し長さ0.68m、基部幅0.23m、残高0.22mを測り、焚口幅は0.69mである。焚口から煙道にかけての壁体はよく焼けており、煙突から土師器甕片を認めた。

4SI200 (Fig.12、Pla.9・10)

調査区西側で4SI180を切るように検出したが、先述したように北側に隣接する4SI190との切り合いは遺構検出時では不明瞭であった。しかし、4SI190作り付型カマドが確認されたため当住居は4SI190に切られていると判断した。住居の平面プランは方形を呈することが予想されるが切り合う住居群によって規模は不明である。検出面から床面までの壁高は北西壁で0.41mを測り、N-18°48'43"-Eを示す。主柱穴は確認できていない。4SI190作り付型カマドの下位から当住居の屋内土坑と想定される不整形状の4SK254が検出された。土坑内の西側上部は段差状を呈し、内部はしっかりと丸方形を呈する。土坑内は長軸1.55m、短軸0.67m、床面からの深さは0.83mを測る。住居北西壁中央には作り付型カマドを付設する。遺存状態は良好であったが両袖は残存していない。焚口幅0.55mを測り、焚口から煙道にかけての壁体はよく焼けている。火床からは炭化物を含む焼土層を認め、更に焚口中央からは土師器甕が逆さまに置かれた状態で認められた。甕底部は破損しており、支脚として利用されたものかどうかは定かでない。

4SI120 (Fig.11、Pla.8・10)

調査区中央西寄りで4SI120・150・160の下位から検出した。遺存する住居プランは方形を呈し、北東壁長2.90m、北西壁長2.92m、床面までの壁高は北西壁で0.33mを測り、N-40°52'21"-Eを示す。主柱穴は確認できており、住居床下は多数の土坑、ピットで構成される3群の掘形痕跡によって著しく荒れている。住居北東壁中央には作り付型カマドを付設する。遺存状態は比較的良好で右袖は長さ0.36m、基部幅0.30m、残高0.32m、左袖は長さ0.44m、基部幅0.25m、残高0.38m、焚口幅は0.30mを測る。両袖の壁体及び煙道口脇部付近はよく焼けており、焚口からは支脚と思われる棒状土製品を認めている。Aピットは床面に存在し、床面上で検出した。埋土に焼土を含む。

掘立柱建物

4SB230 (Fig.13、Pla.10)

調査区西側で検出した2×2間の総柱建物である。先述した4SI100・110内に配置する柱穴についてはほぼ同一埋土を呈していたことから不詳であったが、住居と隣接する柱穴の切り合い状況から当建物は4SI100・110を切るものと思われる。東西方向はa-a'間3.65m、b-b'間3.16m、c-c'間3.17mを測り、一方の南北方向はd-d'間3.77m、e-e'間3.67m、f-f'間3.57mを測る。柱穴の平面プランは楕円形状または丸方形を呈し、遺構検出面からの深さは0.12～0.65mを計測する。建物方位はN-5°56'49"-Eを示す。各柱穴において重複または隣接するピットが存在することから同場所での建替えまたは修復があったものと思われる。

4SB240 (Fig.13、Pla.10)

調査区南東部に位置する。建物の東側は調査区外へ展開しており全体規模は不詳であるが、東西方向a-a'間3.40m、b-b'間3.17m、c-c'間1.70mを計測する。建物方位はN-31°13'06"-Eを示す。柱穴の平面プランは楕円形状、不整円形状を呈し、各柱穴において重複または隣接するピットが存在す

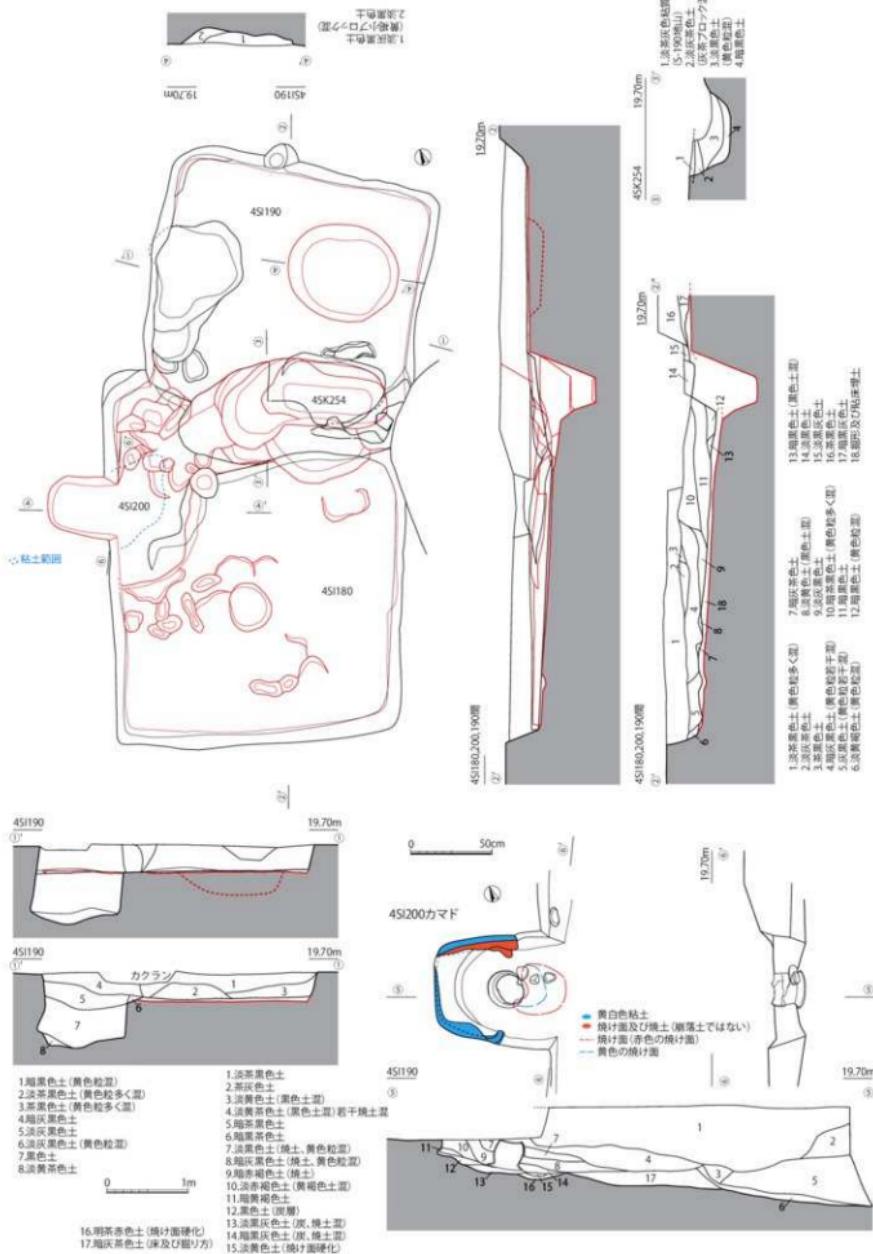


Fig.12 4SI180・190・200 遺構実測図 (1/30・1/60)

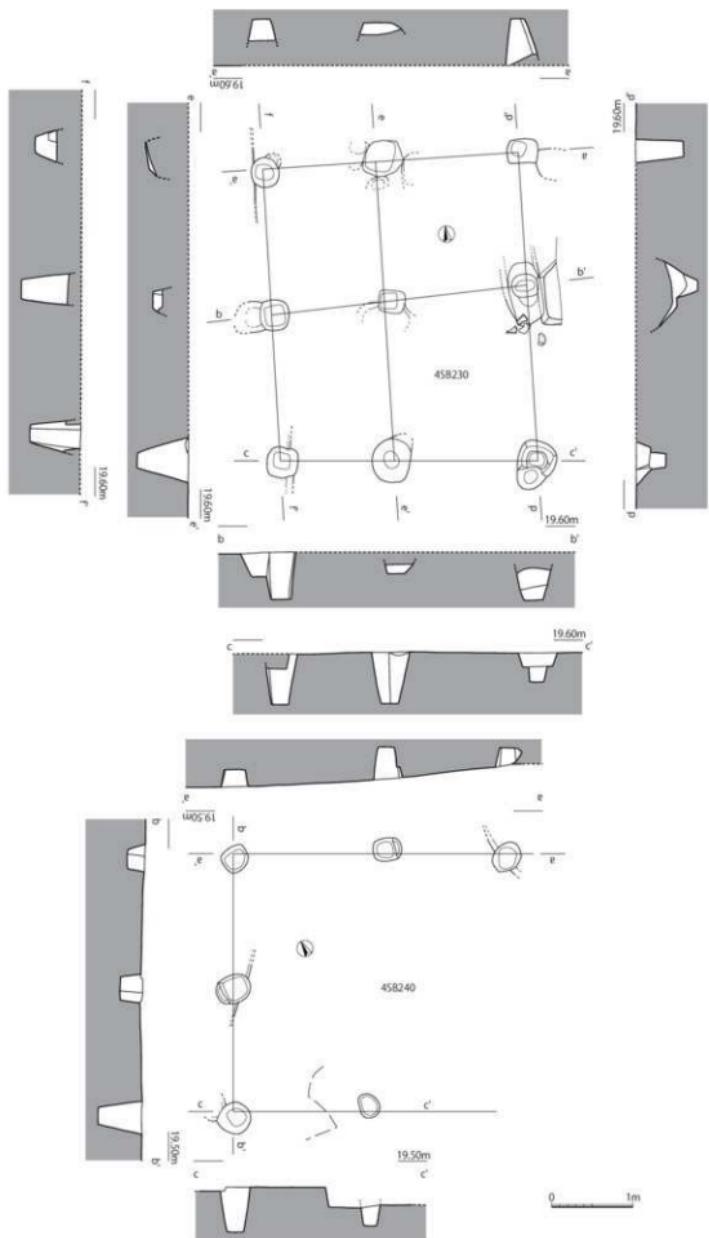


Fig.13 4SB230・240 遺構実測図 (1/60)

ことから同場所での建替えまたは修復があったと考える。

4SB250 (Fig.14, Pla.10)

調査区中央に位置する 2×2 間の建物である。梁行 a-a' 間 3.43m、c-c' 間 3.90m、桁行 b-b' 間 4.73m、d-d' 間 4.70m を測り、遺構検出面からの深さは 0.25 ~ 0.37m である。建物方位は N - 16° 20' 10" - E を示す。柱穴の平面プランは梢円形状、隅丸方形状を呈し、各柱穴において重複または隣接するピットを認めており、建替えまたは修復された可能性が考えられる。

柵列

4SA255 (Fig.14)

調査区中央に位置する。東西方向と南北方向の 2 列を確認しており配置状況から建物になる可能性もある。東西方向 a-a' 間 3.77m、南北方向 b-b' 間 2.50m を測り、遺構検出面からの深さは 0.25 ~ 0.42m である。方位は東西 a-a' 軸で N - 79° 49' 40" - W、南北 b-b' 軸で N - 13° 53' 28" - E を示す。柱穴の平面プランは梢円形状、隅丸方形状を呈し、各柱穴において重複または隣接するピットが存在することから修復された可能性がある。

4SA260 (Fig.14, Pla.11)

調査区の西側で東西方向の柵列を 2 間分検出した。柱穴間は心々で 1.30 ~ 1.60m、遺構検出面からの深さは 0.35 ~ 0.47m である。方位は N - 76° 54' 29" - W を示す。柱穴の平面プランは概ね隅丸方形状を呈する。

4SA265 (Fig.14, Pla.11)

調査区の西側で 2 間分を検出し、先述した 4SA260 とほぼ併行に柵列が並ぶ。柱穴の平面プランは概ね隅丸方形状を呈し、柱穴間は心々で 1.35 ~ 1.65m、遺構検出面からの深さは 0.32 ~ 0.47m である。方位は N - 60° 21' 40" - W を示す。

道路状遺構

4SF270, 4SD020・030・220 (Fig.16, Pla.11 ~ 13)

調査区東側に位置する。北東から南西にかけて走る道路状遺構で西側溝は 4SD020、東側溝は 4SD030、南東部側溝は 4SD030 に接続する 4SD220 で構成される。4SD030 と 4SD220 の切り合いは検出時においては不明瞭であり、現段階では同時期の所産で分岐する溝として想定している。道路状遺構は 4SD020 と 4SD030 の側溝間に点在するピット群によって切られているものの側溝の遺存状態は比較的良好であり、4SD020 は検出長約 30m、溝幅 0.35 ~ 0.95m、一方の 4SD030 は検出長約 30.5m、溝幅 0.26 ~ 1.06m を測る。更に南東部側溝の 4SD220 は検出長約 4m、溝幅 0.40 前後である。何れも溝底から掘痕跡と思われる連続する波板状圧痕を認めており、溝底の断面形状は凹凸が著しく北東から南西にかけて傾斜する。道路幅は側溝の心々で 6m 前後を測り、方位は N - 43° 03' 19" - E を示す。

溝

4SD009・010・095 (Fig.15, Pla.13)

一連の溝は丘陵部との境界にあたる調査区東端で検出した。主である 4SD010 は北東から南西にかけて蛇行気味に走る溝であり、中央付近で「T」字状に交差する。なお、交差点下位からは 4SP011 などのピット群を確認し、4SD010 の北東部は 4SD009 に、南西部は 4SD095 (カクラン) に切られている。4SD009 は検出長 5.05m、溝幅 0.60 ~ 0.95m、深さ 0.40 前後、4SD010 は検出長 26.5m、溝幅 0.85 ~ 1.36m、深さ 0.20 前後、4SD095 は検出長 24.5m、溝幅 0.36 ~ 1.60m、深さ 0.10 ~ 0.22 を測る。

土坑

4SK061 (Fig.15, Pla.13)

調査区南東部で検出した梢円形状の土坑で長軸 1.43m、短軸 0.57m、深さ 0.41m を測る。埋土は黒茶色土を基調とするレンズ状堆積である。遺物は土師器 (片) が出土している。

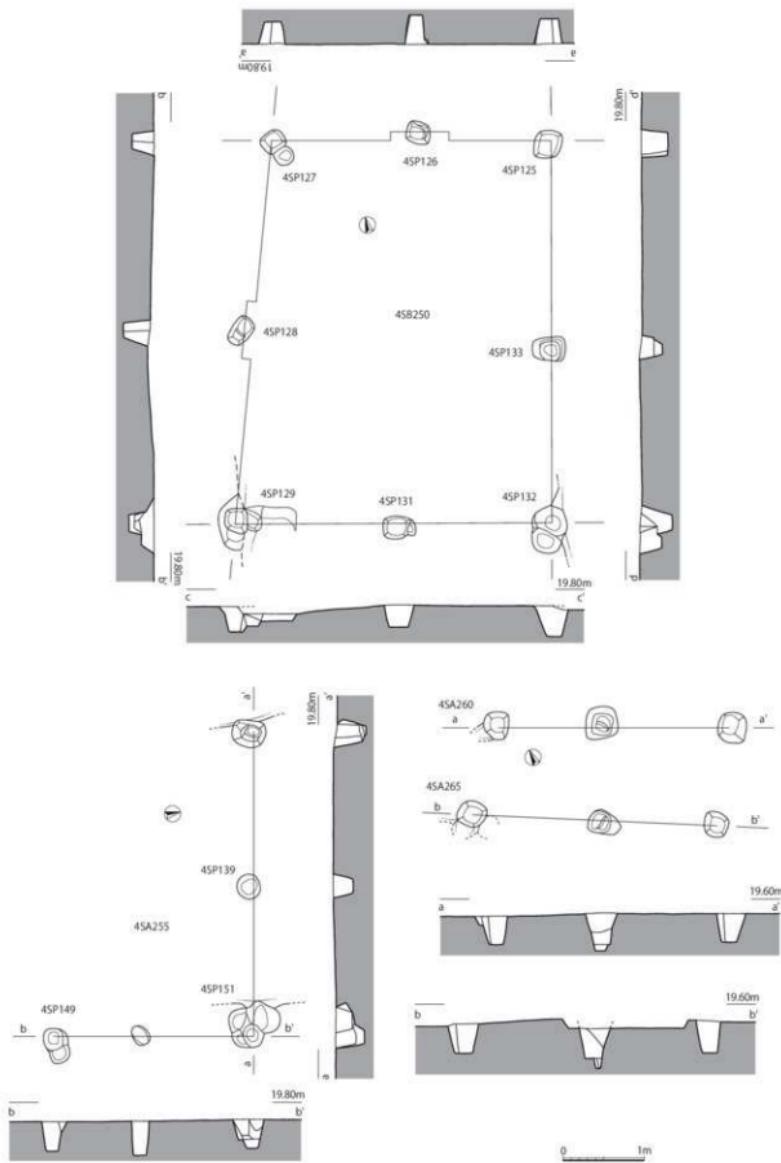


Fig.14 4SB250・4SA255・260・265 遺構実測図 (1/60)

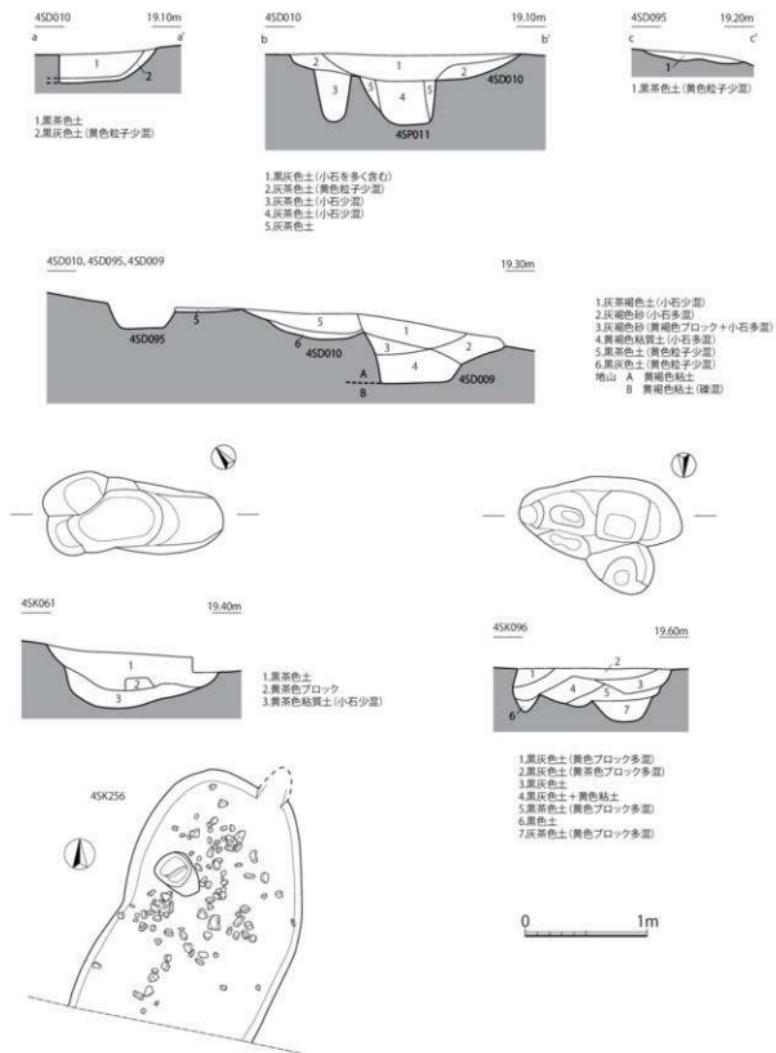


Fig.15 4SD009・010・095、4SP011、4SK061・096 遺構実測図 (1/40)

4SK096 (Fig.15, Pla.13)

調査区北東部で検出した楕円形状を呈する土坑で長軸 1.35m、短軸 0.67m、深さ 0.54m を測る。黒灰色土を基調とする埋土でレンズ状に堆積する。出土遺物は皆無であった。

4SK256 (Fig.15, Pla.14)

調査区西側で検出した集石土坑で幅 0.95m 程度、深さ 0.05m を測り、南部はカクランを受けている。

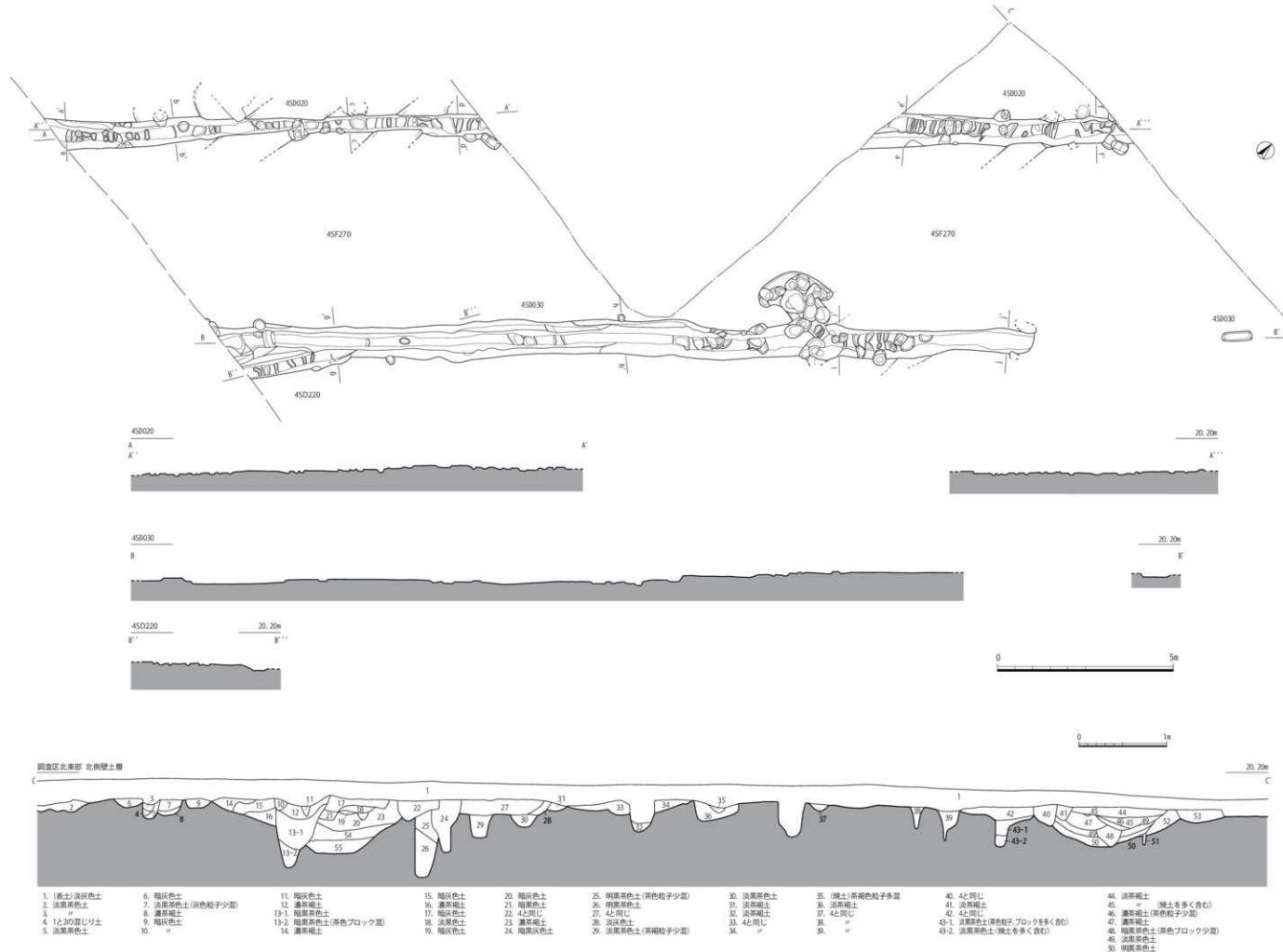
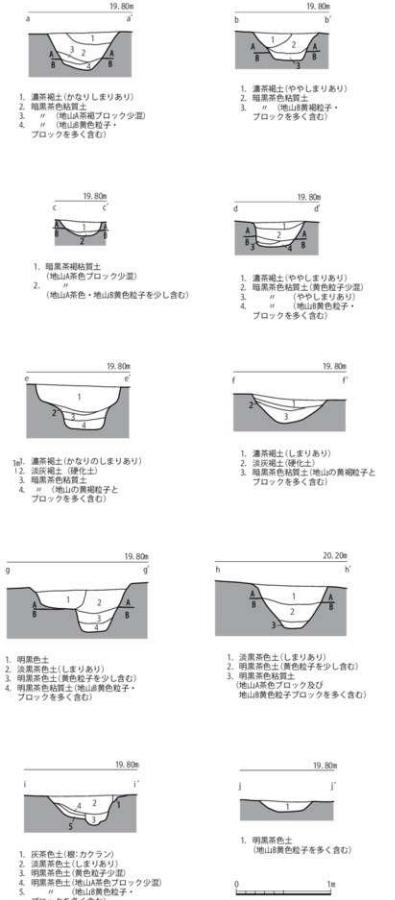


Fig.16 45F270・45D030・030・220 構造実測図 (1/40・1/100)



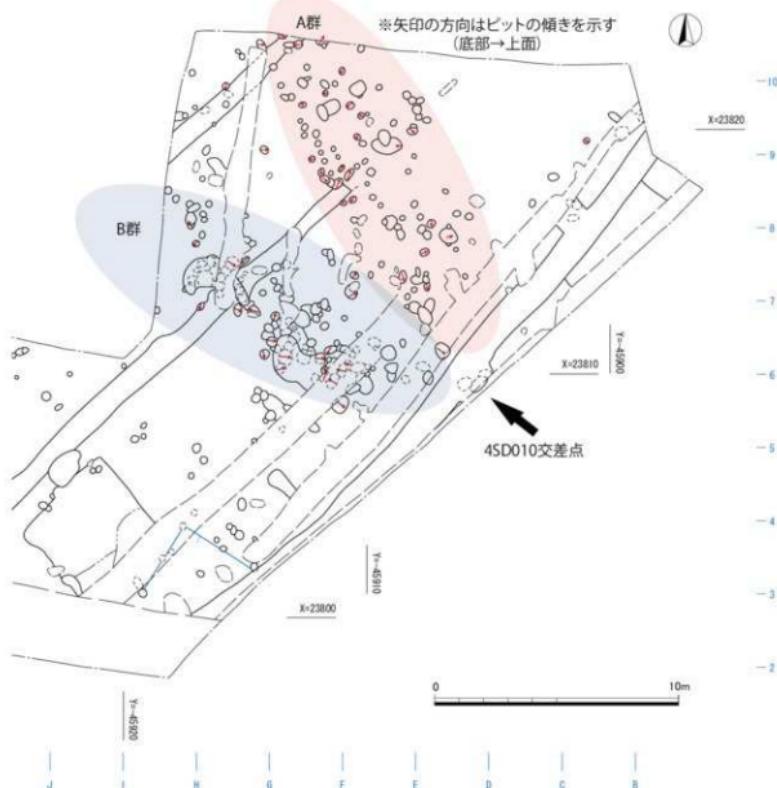


Fig.17 ピット群配置図 (1/100)

底部から 10 cm 程度の礫が多数認められている。

ピット群 (Fig.17, Pla.14)

ここで記述するピット群は、調査区北東部に点在する多数のピットであり、4SD010 の中央付近に位置する T 字状交差点から北西部にかけて展開する。群として捉えられるのは概ね 2 グループであり、便宜上北側ピット群を A 群、南側ピット群を B 群としている。検出されたピットは大きさ、形状、深さなど多種多様であったが、掘立柱建物のような垂直方向に掘削された柱穴とは異なり、斜め方向に掘削されているものが多数存在する。図上に標記する矢印はピットの傾きを示したものであり、杭は不定方向に打たれていたことが予想される。

レ番号	遺構番号	内 容	地区
1	4SP 001	H9	
2	4SP 002	G9	
3	4SP 003	G10	
4		矢面	
5	4SP 005	E9	
6	4SP 006	A9	
7	4SP 007	A9	
8	4SP 008	A9	
9	4SD 009	***	
10	4SD 010	***	
11	4SP 011	D5	
12	4SP 012	E8	
13	4SP 013	F8	
14	4SP 014	G9	
15	4SP 015	H8	
16	4SP 016	H8	
17	4SP 017	H8	
18	4SP 018	H8	
19	4SP 019	G8	
20	4SD 020	4SF270西側側溝	***
21	4SP 021	G7	
22	4SP 022	H7	
23	4SP 023	G7	
24	4SP 024	G7	
25	4SP 025	G7	
26	4SP 026	F7	
27	4SP 027	G7	
28	4SX 028	F5	
29	4SX 029	F6	
30	4SD 030	4SF270東側側溝	***
31	4SP 031	F7	
32	4SP 032	F6	
33	4SP 033	F6	
34	4SP 034	F6	
35	4SP 035	D7	
36	4SP 036	カラン	
37	4SP 037	D7	
38	4SP 038	D6	
39	4SP 039	D6	
40	4SI 040	I3	
41	4SP 041	E6	
42	4SP 042	D6	
43	4SP 043	D5	
44	4SP 044	E6	
45	4SP 045	E6	
46	4SP 046	E6	
47	4SP 047	E6	
48	4SP 048	E6	
49	4SP 049	E5	
50	4SI 050	L6	
51	4SP 051	F5	
52	4SP 052	F5	
53	4SP 053	F6	
54	4SP 054	F6	
55	4SP 055	G6	
56	4SP 056	G5	
57	4SP 057	G5	
58	4SP 058	F5	
59	4SP 059	G5	
60	4SI 060	Q4	
61	4SK 061	F4	
62	4SP 062	G4	
63	4SP 063	G3	
64	4SP 064	G3	
65	4SP 065	G3	
66	4SP 066	G3	
67	4SX 067	H2	
68	4SP 068	H3	
69	4SP 069	F7	
70	4SI 070	W5	
71	4SP 071	F7	
72	4SP 072	H4	
73	4SP 073	F9	
74	4SP 074	E8	
75	4SP 075	E7	
76	4SP 076	F6	
77	4SP 077	F6	
78	4SP 078	F6	
79	4SP 079	F6	
80	4SI 080	V5	

レ番号	遺構番号	内 容	地区
81	4SP 081	F6	
82	4SP 082	G9	
83	4SP 083	B8	
84	4SP 084	G7	
85	4SP 085	G7	
86	4SP 086	G7	
87	4SP 087	G7	
88	4SP 088	G7	
89	4SP 089	G7	
90	4SI 090	S5	
91	4SP 091	H7	
92	4SP 092	H7	
93	4SP 093	H7	
94	4SP 094	H7	
95	4SD 095	カラン	***
96	4SK 096	E9	
97	4SP 097	G7	
98	4SP 098	I4	
99	4SP 099	J4	
100	4SI 100	Y6	
101	4SP 101	R4	
102	4SP 102	R4	
103	4SP 103	L6	
104	4SP 104	I6	
105	4SP 105	J6	
106	4SP 106	J6	
107	4SP 107	J6	
108	4SP 108	K6	
109	4SP 109	K4	
110	4SI 110	Z7	
111	4SP 111	K4	
112	4SP 112	K3	
113	4SP 113	K4	
114	4SP 114	K3	
115	4SP 115	L3	
116	4SP 116	M3	
117	4SP 117	L4	
118	4SX 118	M4	
119	4SP 119	L4	
120	4SI 120	T7	
121	4SP 121	M4	
122	4SP 122	M4	
123	4SP 123	M4	
124	4SP 124	N7	
125	4SP 125	4SB250柱穴	O6
126	4SP 126	4SB250柱穴	O7
127	4SP 127	4SB250柱穴	P7
128	4SP 128	4SB250柱穴	P6
129	4SP 129	4SB250柱穴	P5
130	4SI 130	Z5	
131	4SP 131	4SB250柱穴	P5
132	4SP 132	4SB250柱穴	O5
133	4SP 133	4SB250柱穴	O6
134	4SP 134	O6	
135	4SP 135	4SB250柱穴	P6
136	4SP 136	P5	
137	4SP 137	4SA255柱穴	P5
138	4SP 138	4SA255柱穴	O4
139	4SP 139	O4	
140	4SI 140	T4	
141	4SP 141	O4	
142	4SP 142	Q4	
143	4SP 143	P4	
144	4SP 144	P5	
145	4SP 145	Q5	
146	4SP 146	P6	
147	4SP 147	L3	
148	4SP 148	N3	
149	4SP 149	4SA255柱穴	O4
150	4SI 150	S6	
151	4SP 151	4SA255柱穴	O4
152	4SP 152	4SA255柱穴	O4
153	4SP 153	P4	
154	4SP 154	Q5	
155	4SP 155	Q5	
156	4SP 156	Q5	
157	4SP 157	R6	
158	4SP 158	R5	
159	4SP 159	R5	
160	4SI 160	R7	

Tab.1 羽犬塚射場ノ本遺跡(第4次調査)遺構番号台帳

レ番号	遺構番号	内 容	地区
161	4SP 161		R5
162	4SP 162		Q6
163	4SP 163		Q6
164	4SP 164		Q6
165	4SP 165		R7
166	4SP 166		R7
167	4SP 167		R7
168	4SP 168	4SA264柱穴	AA6
169	4SP 169		AA6
170	4SP 170		T5
171	4SP 171	4SA260柱穴	AA6
172	4SP 172		AA7
173	4SP 173		AC9
174	4SP 174		L7
175	4SP 175		K5
176	4SP 176		M6
177	4SP 177		AC6
178	4SP 178		AC6
179	4SP 179		AC7
180	4SI 180		V5
181	4SP 181		AC6
182	4SP 182		AC7
183	4SP 183		AB6
184	4SP 184		AB6
185	4SP 185		AB6
186	4SP 186	4SB230柱穴	Z6
187	4SP 187	4SB230柱穴	Z6
188	4SP 188		Z8
189	4SP 189		Y7
190	4SI 190		Y7
191	4SP 191		Y7
192	4SP 192	4SB230柱穴	Z6
193	4SP 193	4SB230柱穴	Y6
194	4SP 194	4SB230柱穴	Y6
195	4SP 195		Y5
196	4SP 196		W6
197	4SP 197		W6
198	4SP 198		W7
199	4SP 199		W8
200	4SI 200		V4
201	4SP 201		X8
202	4SP 202		X8
203	4SP 203		W8
204	4SP 204		W8
205	4SP 205		W8
206	4SP 206		V8
207	4SP 207		V8
208	4SP 208		V8
209	4SP 209		W5
210	4SI 210		T7
211	4SP 211		W6
212	4SP 212		V7
213	4SP 213		V7
214	4SP 214	2SB230柱穴	Y7
215	4SP 215		T8
216	4SP 216		U7
217	4SP 217		V7
218	4SP 218		V8
219	4SP 219		W7
220	4SD 220	4SP270東側側溝の一部	***
221	4SP 221		T5
222	4SP 222		S4
223	4SP 223		S5
224	4SP 224		R5
225	4SP 225		R5
226	4SP 226		G7
227	4SP 227		G7
228	4SP 228		G6
229	4SP 229		L5
230	4SP 230	S186, S187, S192, S193, S194, S214, S243, S244	V6
231	4SP 231		T7
232	4SP 232		T7
233	4SP 233		K3
234	4SP 234		G7
235	4SP 235		J4
236	4SP 236		AA7
237	4SP 237		J4
238	4SP 238		V7
239	4SP 239		T5
240	4SP 240	S64, S68, S68	G2

レ番号	遺構番号	内 容	地区
241	4SP 241		S5
242	4SP 242		Y7
243	4SP 243	4SB230柱穴	Y6
244	4SP 244	4SB230柱穴	Z7
245	4SP 245		Z7
246	4SP 246		L6
247	4SP 247		L7
248	4SP 248		L6
249	4SP 249		R5
250	4SP 250	S125~S129, S131~S133, S135	O5
251	4SP 251		R6
252	4SP 252		S6
253	4SP 253		S5
254	4SK 254		U6
255	4SA 255	S137, S138, S149, S151, S152	O4
266	4SK 256		AB4
260	4SA 260	S171	AB5
265	4SA 265	S168	AB4
270	4SP 270	S020, S030, S220	***

Tab.2 羽犬塚射場ノ本遺跡(第4次調査)遺構番号台帳

45-1			45-23	土師器 里、环、便、片	45-40	床下
45-2	土師器 不明、片		45-24	土師器 便、片	45-40	方巾口
45-3	土師器 便		45-25	土師器 里	45-40	龙首柱穴
45-4	土師器 便		45-26	土師器 便	45-40	束腰柱穴
45-5	土師器 片		45-27	土師器 里	45-41	土師器 便
45-6	土師器 片		45-28	土師器 片	45-42	土師器 片
45-7	土師器 片		45-29	土師器 片	45-43	土師器 便
45-8	土師器 里		45-30	土師器 丸底环、片	45-44	土師器 片
45-9	第1層 小瓶(朱)、片		45-30	上覆	45-45	土師器 片
	土師器 片		45-30	里色器 片	45-45	土師器 里
	土師器 片		45-30	丸底环、便、片	45-46	土師器 便
	土師器 片		45-30	下覆	45-47	土師器 片
45-9	第2層 瓶、环、片		45-30	里色器 片	45-48	土師器 片
45-10			45-31	土師器 片	45-49	土師器 片
	里色器 便、通、片		45-32	土師器 便	45-50	矮出
	土師器 便、通、片		45-33	土師器 便	45-50	里色器 便
	瓦器 片		45-34	土師器 片	45-50	大目片
	白磁 片		45-35	第Ⅱ層	45-50	方巾口圆口
45-10	第1層 里色器 片		45-35	土師器 片	45-50	里色器 善
	土師器 片		45-36	土師器 便	45-50	土師器 丸底环、便、把手、片
45-10	第2層 里色器 便		45-36	土師器 便	45-50	石製品 碗石
	土師器 片		45-37	土師器 便	45-50	方巾口
45-11	里色器 通		45-37	土師器 片	45-50	土師器 便
	土師器 片、便		45-38	土師器 便	45-50	土師器 丸底环、便、片
45-12	土師器 片		45-39	土師器 片	45-50	床下
45-13	土師器 便		45-40	土師器 便	45-50	床下
45-14	土師器 把手		45-40	土師器 便	45-50	束腰层内土块
45-15	里色器 片		45-40	土師器 便	45-50	丸底环、便、片
45-16	土師器 片		45-40	土師器 便	45-50	第Ⅰ層
45-17	土師器 片		45-40	土師器 便	45-50	里色器 便
45-18	里色器 盖		45-40	土師器 便	45-50	土師器 丸底环、便、片
	土師器 片		45-40	土師器 便	45-50	土師器 不明
45-19	土師器 片		45-40	第Ⅱ層	45-50	第Ⅱ-3層
45-20	土師器 丸底环、片		45-40	里色器 便	45-50	里色器 片
	石器 石磨		45-40	丸底环、便、片	45-50	丸底环、便、片
45-20	第1層 土師器 便、片		45-40	中免土坑	45-50	土師器 片
	土師器 丸底环、片		45-40	里色器 盖、环	45-50	土師器 便
	石器 石磨		45-40	丸底环、便、通、移動式磨、片	45-50	土師器 片
45-21	土師器 片		45-40	床下	45-50	土師器 片
45-22	里色器 环		45-40	矮出	45-50	土師器 片
	土師器 片		45-40	片、盖、片	45-50	土師器 片
45-22	里色器 环		45-40	中免土坑下覆	45-50	土師器 片
	土師器 片		45-40	片、棘、片	45-50	土師器 片

Tab. 出土遺物一覽表

45-57 土師器 片	45-80 土師器 壺, 片	45-100 壺, 环, 直, 片 土師器 直, 小环, 环, 铜, 镀, 银, 扁平, 移動式嘴, 帽形
45-58 土師器 壺	45-81 土師器 片	45-100 第1層 壺, 直, 片 土師器 直
45-59 直也器 片 土師器 片	45-83 土師器 壺, 片	45-100 第2~3層 壺, 直 土師器 壺, 直, 铜, 镀, 银, 扁平
45-60 第1層 直也器 壺 土師器 丸底环, 环, 壶, 片	45-84 直也器 片 土師器 片	45-100 床上 壺, 直, 壶 土師器 直, 壶, 片
45-60 第2~3層 土師器 片 その他 木炭	45-85 土師器 片	45-100 床下 壺, 直
45-60 カマド 土師器 塗装, 壺	45-86 土師器 壺, 片	45-100 カマド 土師器 壺, 片
45-60 カマド周辺 土師器 片	45-87 直也器 片 土师器 片	45-100 直也器 片 土师器 壺, 壶, 片
45-60 カマド煙道 土师器 片	45-88 土师器 片	45-100 カマド付近 土师器 壺, 片
45-60 床内土坑 土师器 片	45-89 土师器 片	45-100 カマド手前ビット 土师器 壺, 片
45-61 土师器 片	45-90 檻出 直也器 环 土师器 丸底环, 壶, 片	45-101 土师器 环, 片
45-62 土师器 环	45-90 第1層 直也器 壶, 片 土师器 丸底环, 壶, 片	45-102 土师器 片
45-63 土师器 环	45-90 第2~6層 直也器 壶, 直 土师器 丸底环, 直, 壶, 片	45-104 土师器 片
45-64 直也器 壺 土师器 片	45-90 第2~6層 直也器 壶, 片 土师器 丸底环, 直, 壶, 片	45-105 土师器 片
45-65 土师器 片	45-90 床上 直也器 壶 土师器 环, 壶, 片	45-106 土师器 片
45-66 直也器 环, 壶	45-90 床下 直也器 壶, 片 土师器 环, 壶, 片	45-107 土师器 片
45-67 土师器 环, 片	45-90 床下 直也器 丸底环, 环, 直, 片	45-108 土师器 片
45-68 土师器 片	45-90 カマド周辺 土师器 壺, 片	45-109 直也器 壶 土师器 壶, 片
45-69 土师器 片	45-90 北壁周内土坑 土师器 片	45-110 土师器 壶, 直, 壶, 片
45-70 土师器 丸底环, 环, 片	45-90 東壁周内土坑 土师器 片	45-110 直也器 檻出 土师器 环, 壶, 片
45-70 第2層 土师器 丸底环, 片	45-91 土师器 片	45-110 第1層 直也器 壶 土师器 壶, 丸底环, 环, 壶, 片
45-71 直也器 片	45-92 土师器 片	45-110 第2~4層 直也器 环 土师器 壶, 直, 环, 壶, 片
45-72 土师器 片	45-93 土师器 片	45-110 カマド 土师器 环, 壶, 直, 片
45-73 土师器 粘土塊	45-94 土师器 片	45-110 移道 土师器 环, 壶, 片
45-74 土师器 片	45-95 土师器 片	45-110 中央土壁 土师器 环, 壶, 片
45-75 石製品 不明	45-97 土师器 壶, 片	45-110 移道 土师器 环, 壶, 片
45-76 土师器 壶, 片	45-98 土师器 壶, 片	45-110 カマド軸下 直也器 壶
45-77 土师器 壺	45-99 土师器 壶, 片	45-110 カマド檻出 土师器 片
45-78 土师器 片	45-100 櫛出 直也器 壶, 壶 土师器 片, 壶, 片	
45-79 土师器 片		

Tab. 出土遺物一覧表

45-110	カマツ村近		45-130	石、环、高环、透		45-137	土师器 片	
土師器 片			45-131	石1~6層		45-138	土師器 片	
45-111	床墻土		45-132	石、环、透、高、高环、1層、移動式カマツ、高环、高土壤		45-139	土師器 片	
土師器 片			45-133	环、透、土師、土師、移動式カマツ		45-140	黏床	
45-112	透也器 片		45-134	石7~12層		45-141	底下服形	
45-113	土師器 片		45-135	石、环、透、高、透明		45-142	土師器 片	
45-114	土師器 片		45-136	石8層		45-143	土師器 片	
45-115	土師器 片		45-137	石1~3層		45-144	土師器 片	
45-116	土師器 片		45-138	石2~3層		45-145	土師器 片	
45-117	土師器 片		45-139	石3層		45-146	土師器 丸底环	
45-118	土師器 片		45-140	石4層		45-147	土師器 片	
45-119	土師器 片		45-141	石、环、透		45-148	土師器 片	
45-120	透也器 片		45-142	石、环、透、高、透		45-149	土師器 片	
45-120	第1~2層		45-143	石4~6層		45-150	土師器 片	
透也器 片			45-144	石、透		45-151	环、透、高、高环、堆叠、移動式カマツ	
45-120	第3~4層		45-145	石5層		45-152	环、透、高、高环、堆叠、移動式カマツ	
透也器 片			45-146	石6層		45-153	土師器 片	
45-120	床、环		45-147	石7層		45-154	カマツ	
透也器 片			45-148	石、透形		45-155	土師器 善	
45-120	床、环、土师、土师、移動式カマツ、土师、粘土地		45-149	石、透、高、透		45-156	土師器 片	
45-120	环、透、粘土地、土师、片		45-150	土师		45-157	土师器 片	
45-121	床、环		45-151	土师土块		45-158	土师器 片	
45-121	土师器 片		45-152	石		45-159	土师器 片	
45-122	土师器 片		45-153	土师		45-160	土师器 片	
45-123	土师器 片		45-154	土师		45-161	土师器 片	
45-124	土师器 片		45-155	土师		45-162	土师器 片	
45-125	土师器 片		45-156	土师		45-163	土师器 片	
45-126	土师器 片		45-157	土师		45-164	土师器 片	
45-127	土师器 片		45-158	土师		45-165	土师器 片	
45-128	土师器 片		45-159	土师		45-166	土师器 片	
45-129	土师器 片		45-160	土师		45-167	土师器 片	

Tab. 出土遺物一覧表

45-161 土師器 片	45-200 カツヅ 土師器 壺, 扁, 壺, 不明 焼製品 片	45-205 土師器 片
45-162 土師器 片	45-181 土師器 壺	45-206 土師器 片
45-163 須恵器 片 土師器 片	45-182 土師器 片	45-207 土師器 片
45-164 土師器 片	45-183 土師器 片	45-208 土師器 片
45-165 土師器 片	45-184 土師器 片	45-209 土師器 片
45-166 土師器 把手, 片	45-185 土師器 片	45-210 須恵器 壺 土師器 壺, 扁, 壺 土師器 把手
45-167 土師器 片	45-186 土師器 片	45-210 鉢宋 須恵器 壺 土師器 壺, 扁, 壺 土師器 把手
45-168 土師器 壺	45-187 土師器 壺, 片	45-210 カツヅ 須恵器 片 土師器 壺, 扁, 壺
45-169 土師器 片	45-188 土師器 片	45-210 カツヅ袖 土師器 壺
45-170 須恵器 壺, 扁, 壶, 直 土師器 壺, 扁, 壺, 瓦	45-189 土師器 片	45-210 Aピット 須恵器 高杯, 壺, 直 土師器 扁, 壺
45-170 鉢宋 土師器 丸底坪, 扇	45-190 須恵器 壺, 扁, 壺, 直 土師器 扇, 壶, 土師, 瓦	45-211 土師器 扇, 片
45-170 床下腹形 土師器 扇, 壺	45-190 第7層 須恵器 壺 土師器 扇, 壺, 移動式カマツ 焼製品 片	45-212 土師器 片
45-171 土師器 片	45-190 土師器 壺	45-213 土師器 片
45-172 須恵器 壺	45-190 須恵器 床付近 土師器 片	45-214 土師器 片
45-173 土師器 片	45-190 須恵器 床内土坑 土師器 壺	45-215 土師器 片
45-174 土師器 片	45-191 土師器 片	45-216 土師器 壺, 片
45-175 土師器 片	45-192 須恵器 壺 土师器 片	45-217 土师器 片
45-176 土师器 片	45-193 土师器 片	45-218 須恵器 扇
45-177 土师器 片	45-194 土师器 片	45-219 土师器 片
45-178 土师器 片	45-195 土师器 片	45-220 土师器 扇
45-179 土师器 片	45-196 土师器 片	45-221 土师器 片
45-180 須恵器 壺, 扇, 壺, 直, 高杯 土师器 壺, 扇, 壺, 壺, 扇, 高杯, 把手, 壺, 不明 その他 木炭	45-197 土师器 片	45-222 須恵器 壺 土师器 扇, 片
45-180 NS-第1層 須恵器 壺 土师器 扇, 壺	45-198 土师器 丸底坪, 片	45-223 土师器 片
45-180 NS-第2~9層 須恵器 壺 土师器 扇, 壺	45-199 土师器 片	45-224 土师器 壺, 片
45-180 NS-第10~13層 須恵器 壺 土师器 扇	45-200 土师器 片	45-225 土师器 片
45-180 NS-第14層 土师器 壺	45-201 土师器 片	45-226 土师器 片
45-180 カマツ手前ピット 土师器 壺	45-202 土师器 片	45-227 土师器 片
45-180 床下腹形 土师器 扇, 壺, 移動式カマツ	45-203 土师器 片	45-228 土师器 片
	45-204 土师器 片	45-229 土师器 片

Tab. 出土遺物一覧表

45-231	
家老22	便
土師器	箇。片
45-232	
土師器	丸底坏。便。片
45-233	
土師器	箇。片
45-234	
土師器	片
45-235	
土師器	片
45-237	
土師器	片
45-238	
土師器	片
45-239	
土師器	箇。片
45-241	
土師器	片
45-242	
土師器	箇
45-243	
土師器	片
45-244	
土師器	片
45-245	
土師器	箇
45-246	
土師器	片
45-247	
土師器	箇
45-248	
土師器	片
45-249	
土師器	片
45-251	
土師器	片
45-252	
土師器	片
45-253	
土師器	坏。片
45-254	
土師器	箇
45-254	第1箇
土師器	箇

Tab. 出土遺物一覽表

(2) 出土遺物

当遺跡の出土土器について、各遺構の出土遺物一覧表は Tab.3 ~ 7、法量等一覧表は Tab.8 ~ 15 に掲載したので参照されたい。以下は各出土遺物の主要な内容について記述する。

竪穴住居

4SI040 (Fig.18、Pla.15)

須恵器

蓋(1) 天井部の細片で天井部径は 7.8 cm を復元する。天井部は回転ヘラケズリ、内面はヨコナデである。

土師器

把手(2) 裴×懶の把手と思われ、体部内面はヘラケズリ、把手表面はナデ調整で仕上げられている。

4SI040 第1層 (Fig.18、Pla.15)

土師器

丸底环(3 ~ 5) 3 は口縁部の一部を欠いた破片資料で器壁が比較的厚い。口径 10.5 cm、器高 4.1 cm を復元する。外底は手持ちヘラケズリ、口縁部内外面はヨコナデ、内底はミガキ調整が施されている。

4 は細片資料で体部外表面は手持ちヘラケズリ、口縁部内外面及び体部内面はヨコナデ調整を認める。

环(5) 口縁部の細片資料で端部は僅かに外反する。口縁部内外面及び体部内面はヨコナデ、体部外表面は磨耗によって調整不明である。

裴(6) 口縁部の破片資料で口径は 15.8 cm を復元する。短い口縁部は開きが浅く、口縁部内外面はヨコナデ、体部外表面は刷毛目及びヘラケズリ、体部内面はヘラケズリを施す。

懶(7・8) 7 は底部が開口する形状の破片資料で体部から底部にかけて直線的に延びる。底部内外面はヨコナデ、体部外表面は刷毛目、体部内面はヘラケズリを認める。8 は緩やかに内傾した底部を呈し、端部は平坦面を作り出すようにヘラケズリで仕上げる。底部内外面はヨコナデ、体部内外面は刷毛目調整を施す。内面の一部に粘土付着が認められる。

4SI040 第2・3層 (Fig.18、Pla.15)

土師器

裴(9・10) 9 は口縁部の破片資料で口径 15.0 cm を復元する。短い口縁部は開きが強く、口縁部内外面はヨコナデ、体部外表面は刷毛目、体部内面はヘラケズリを施す。10 は口縁部の細片資料で大きく屈曲した口縁部を呈する。口縁部内外面はヨコナデ、体部外表面は刷毛目、体部内面はナデ後ヘラケズリを施す。

4SI040 カマド (Fig.18、Pla.15)

土師器

丸底环(11) 器壁が比較的厚い丸味を帯びた破片資料で口縁部内外面はヨコナデ、内底はナデ、外底は磨耗のため調整不明である。

懶(12) 体部から口縁部にかけて若干外傾する破片資料で口縁部内外面はヨコナデ、体部外表面は刷毛目、体部内面はヘラケズリ調整である。

4SI040 床上 (Fig.18、Pla.15)

裴(13) 頸部が大きく緩やかに外反する破片資料で口径は 19.8 cm を復元する。口縁部内外面はヨコナデ体部外表面は刷毛目、体部内面はナデ後ヘラケズリ調整が認められる。体部外表面一部に煤が付着する。

4SI040 床下 (Fig.18、Pla.15・16)

裴(14・15) 14 は口縁端部を僅かに残す細片資料で僅かに口縁端部は外反する。内外面はヨコナデ調整で仕上げる。15 は頸部が緩やかに大きく外反する細片資料で口径は 18.6 cm を復元する。口縁部内外面はヨコナデで外面の一部に刷毛目調整を認める。

4SI040 屋内土坑 (Fig.18、Pla.16)

須恵器

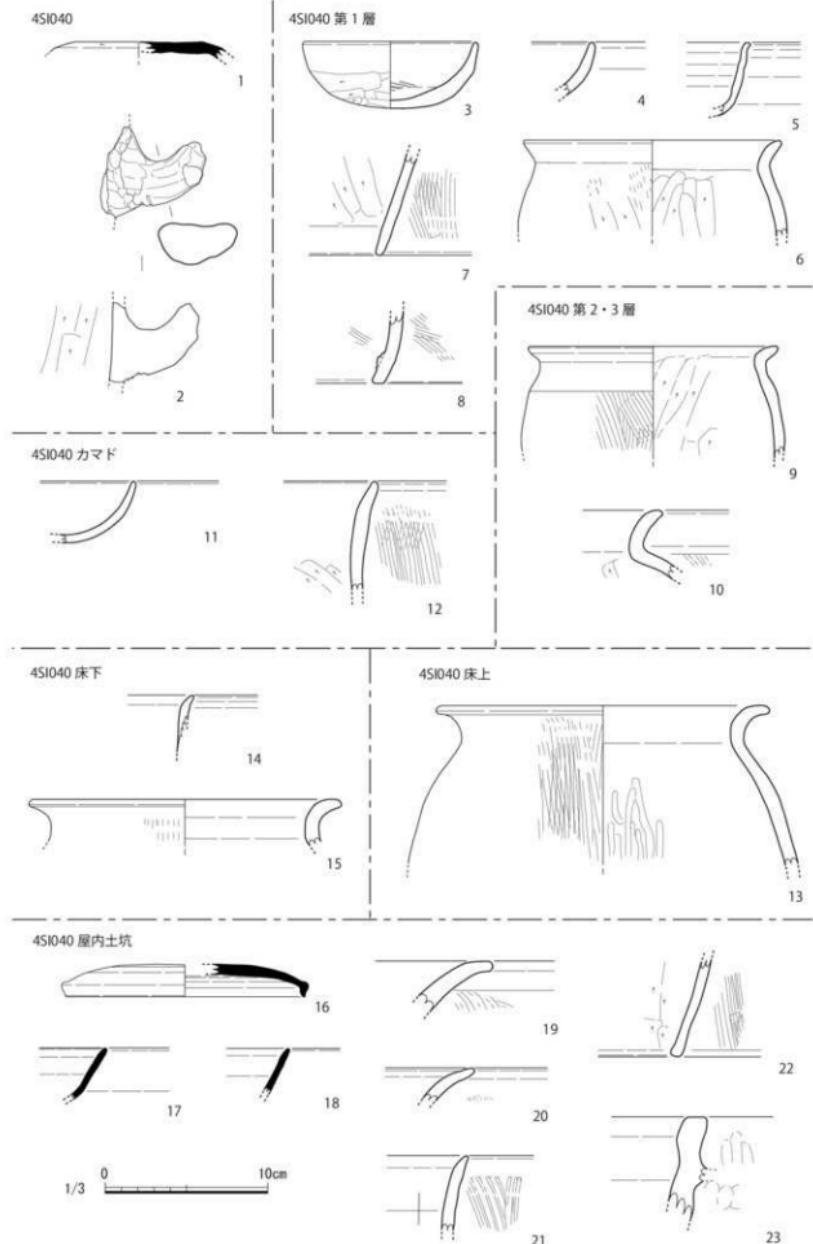


Fig.18 45I040 出土遺物実測図① (1/3)

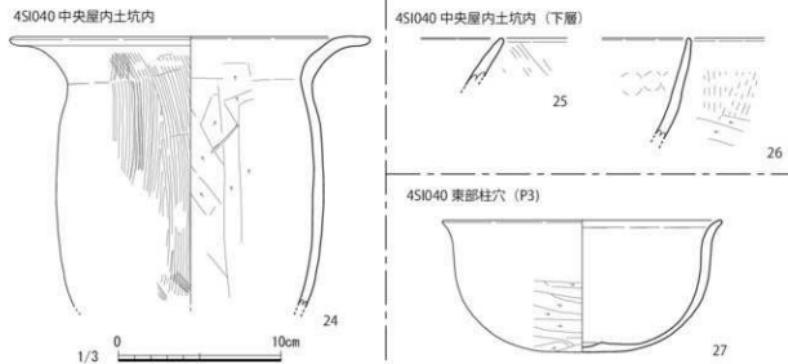


Fig.19 4SI040 出土遺物実測図② (1/3)

蓋(16) 破片資料で口径 14.6 cm を復元する。天井部は器壁がやや厚く丸味を帯びており、口縁端部は内面に明瞭な稜線を認めるほどで断面は三角形状を呈する。口縁部内外面はヨコナデ、天井部外面は回転ヘラケズリ、天井部内面はナデ調整で仕上げる。

壺(17・18) 17、18は口縁部細片資料で体部から口縁部にかけてはほぼ直線的に斜方へ立ち上がる。共に内外面はヨコナデ調整で仕上げる。17は外面の一部に薄く自然釉がかかる。

土師器

深鉢(19・20) 19、20は共に口縁部の細片資料で口縁部内外面はヨコナデ、体部外面はナデ後刷毛目を施す。

甌(21・22) 21は口縁部細片資料で緩やかに外傾する。口縁端部内外面はヨコナデ、口縁部外面は刷毛目、口縁部内面はナデ調整を認める。22は底部細片資料で体部から底部にかけては緩やかに内傾する。端部外面はヨコナデ、底部外面は刷毛目、底部内面はヘラケズリを施す。

カマド(23) 器壁の厚い細片資料で外面には底が貼付くものと思われる。外面は指頭痕、ナデ調整を認め、端部から内面にかけてはナデ調整を施す。

4SI040 中央屋内土坑 (Fig.19, Pla.16)

甌(24) 破片資料で頸部から口縁部にかけては長い口縁部が緩やかに大きく外反する。口径 21.8 cm を復元する。口縁部はヨコナデ、体部外面は刷毛目、体部内面はヘラケズリ調整を施す。

4SI040 中央屋内土坑下層 (Fig.19, Pla.16)

土師器

壺(25) 斜方に直線的に開く口縁部の細片資料である。口縁端部から内面にかけてはヨコナデ、外面は斜方の刷毛目調整を認める。

壺×塊(26) 口縁部を残す細片資料のため器種が特定できていない。体部から口縁部にかけては僅かに内湾する。口縁部内外面はヨコナデ、体部内面は指頭痕、外面上位は刷毛目、下面はヘラケズリ調整を施す。

小鉢(27) 破片資料であるが、口径 17.0 cm、器高 8.1 cm を復元する。短い口縁部は浅く外反し、口縁部内外面はヨコナデ、体部外面から外底にかけてはヘラケズリ、体部内面はナデ、内底は工具ナデ調整で仕上げる。

4SI050 第 I 層 (Fig.20, Pla.16・17)

土師器

皿(28～32) 28は細片資料で底部は若干丸味を帯びる。口縁部内外面及び内底はヨコナデ、外底は

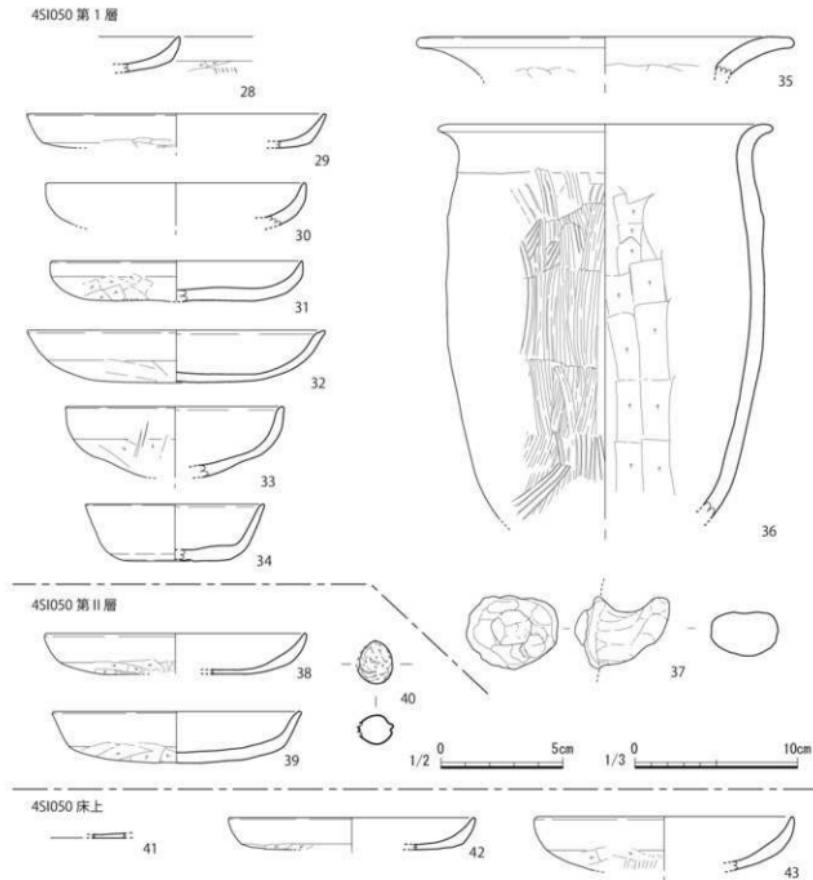


Fig.20 4S1050 出土遺物実測図① (1/3)

手持ちヘラケズリ調整で一部に刷毛目を認める。29は細片資料で底部は若干丸みがある。口径18.3cm、底径16.5cm、器高2.1cmを復元する。口縁部内外面及び内底はヨコナデ、外底は手持ちヘラケズリ調整で一部に刷毛目を認める。30は比較的厚手の器壁を呈する細片資料で全体的に丸く仕上げる。口径15.9cmを復元する。口縁部内外面はヨコナデ、体部外面はケズリ、体部内面はナデ調整を施す。31は器壁が厚く、底部は体部から底部にかけては丸味を帯びる。口径15.4cm、器高2.5cmを復元する破片資料で口縁部内外面はヨコナデ、内底はナデ、外底は手持ちヘラケズリで一部に刷毛目を認める。内面には煤が付着する。32は口径18.2cm、器高3.2cmを復元する破片資料である。口縁部から底部にかけては丸味を帯び口縁端部はやや外反する。口縁部内外面はヨコナデ、外底は手持ちヘラケズリ、内底はナデ調整である。外面は丹塗りし内底の一部に布目痕を認める。

丸底坯(33) 口径13.3cmを復元する。やや厚手の器壁を呈する破片資料で口縁部から体部にかけては丸く仕上げ、底部は強く押し出して丸味を作り上げている。口縁部内外面及び体部内面はヨコナデ、体部外面から外底にかけては手持ちヘラケズリ、内底はナデ調整を施す。

杯(34) 口径 10.8 cm、底径 6.6 cm、器高 3.5 cm を復元する破片資料で底部は平底を呈する。器壁は厚く、口縁部及び体部内外面はヨコナデ、外底はヘラケズリ後ナデ、内底はヨコナデを施す。内外面の一部に煤が付着する。

甕(35・36) 35 は長めの口縁部が大きく聞く細片資料で口径は 21.0 cm を復元する。口縁部内外面はヨコナデ体部外面に指頭痕、体部内面はケズリ調整を認め、外面は煤に覆われている。36 は底部を欠損した破片資料で短い口縁部は浅く外反する。体部は細長く口径は 19.5 cm を復元する。口縁部内外面はヨコナデ、体部外面は刷毛目、体部内面上位はナデ、下位はケズリを施す。外面は煤が広範囲に付着する。

把手(37) 甕×櫃の把手と思われる。胴体貼り付け部の突起を内側に有し調整はナデで仕上げる。

4SI050 第 2・3 層 (Fig.20、Pla.17)

土師器

皿(38・39) 38 は口縁部から体部にかけて丸味を帯びた破片資料で底部は比較的平坦面を呈する。口径 15.9 cm、器高 2.5 cm を復元し口縁部はヨコナデ、外底は刷毛目後不定方向の手持ちヘラケズリ、内底はナデ調整を施す。39 は破片資料で口縁部はやや外反し底部は丸く仕上げられている。口径 15.0 cm、器高 3.15 cm を復元する。口縁部はヨコナデ、外底は手持ちヘラケズリ、内底はナデ調整を施す。種子

不明(40) 桃の種子に類似し、表面は無数に陥没した凹凸面を呈する。長さ 1.7 cm、幅 1.35 cm、重さ 1.1 g を計測する。

4SI050 床上 (Fig.20、Pla.17・18)

土師器

皿(41・42) 41 は底部細片資料で平坦面を呈する。外底は糸切り、内底はナデ調整を認める。42 は丸味を帯びた体部を呈し底部は比較的丸味が弱い。口径 15.1 cm、器高 1.95 cm を復元する破片資料で口縁部内外面はヨコナデ、外底は手持ちヘラケズリ、内底はナデ調整を施す。

丸底杯(43) 細片資料で全体的に丸く仕上げられている。口径 15.7 cm、器高 3.3 cm を復元する。口縁部内外面及び内底はヨコナデ、外底は刷毛目後手持ちヘラケズリ調整を施す。

4SI050 カマド内 (Fig.21、Pla.18)

土師器

甕(44) 頸部から短い口縁部を外反させた細片資料で口径は 13.8 cm を復元する。口縁部内外面及び体部外面はヨコナデである。体部内面上位は横方向の刷毛目、下位はヘラケズリ調整を施す。

深鉢(45) 体部から底部にかけて大きく緩やかに湾曲する破片資料で外面は刷毛目、体部内面はヨコナデ、一部指頭痕、内底は不定方向の工具ナデ調整を施す。外面には煤が付着している。

鉄製品(46～48) 46 は上部を欠損する破片資料で先端部は L 字状に屈曲する。断面は方形状を呈し、現存長 3.1 cm、厚さ 0.35 ～ 0.4 cm、重さ 1.1 g を計測する。47 は下部を欠損する細片資料で緩やかに湾曲する。断面形状は長方形を呈し現存長 1.3 cm、厚さ 0.2 ～ 0.55 cm、重さ 0.8 g を計測する。48 は上部を欠損した破片資料で断面形状は長方形である。現存長 2.3 cm、厚さ 0.2 ～ 0.4 cm、重さ 0.5 g を計測する。

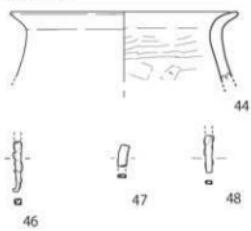
4SI050 カマド袖西側 (Fig.21、Pla.18)

須恵器

蓋(49) 扁平形状のつまみを呈する完形品で口縁端部は断面三角形状を呈する。天井部の器壁は厚く口径は 14.3 cm、つまみ径は 2.55 cm、器高は 2.0 cm を測る。つまみ部は貼り付けに伴うヨコナデ、天井部外面は回転ヘラケズリ、口縁部内外面はヨコナデ、天井部内面は不定方向のナデで、内面の一部に研磨痕を観察し転用硯として使用された可能性があるが墨痕は目視できていない。

4SI050 カマド内 (焚口) (Fig.21、Pla.18)

4SI050 カマド内

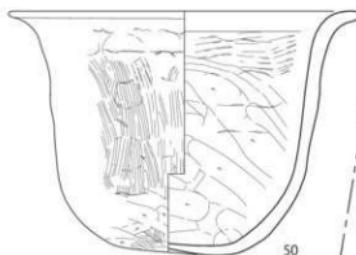


1/2 0 5cm

4SI050 カマド袖西側

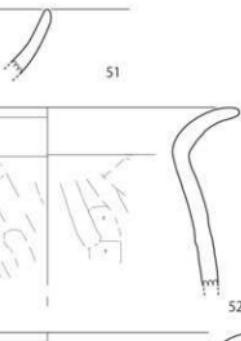


4SI050 カマド内



50

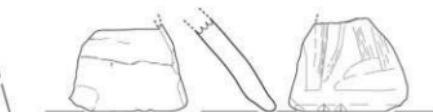
4SI050 カマド周辺



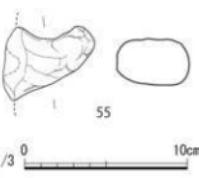
4SI050 北東部屋内土坑



56



54



1/3 0 10cm

Fig.21 4SI050 出土遺物実測図② (1/3)

土師器

甕（50） カマド内の焚口に伏せ置かれていた甕で、体部の一部を欠損するのみのほぼ完形品である。口縁部は短く緩やかに外反し口径 21.1 cm、底径 7.0 cm、器高 15.0 cm を測る。口縁部内外面はヨコナデ、体部外面上位は指頭痕、縦方向刷毛目、体部外面下位はケズリ、体部内面上位は横方向刷毛目、体部内面中位から底部内面にかけてはケズリ、底部外面がケズリ後刷毛目調整を施す。内面には粘土紐痕跡を顕著に残す。外面下位から底部にかけては煤が付着している。

4SI050 カマド周辺 (Fig.21, Pla.18)

土師器

丸底坏（51） 口縁部が残る細片資料で体部は丸味を帯びている。口縁部内外面はヨコナデ、体部外面はナデ調整を施す。

甕（52・53） 52・53は破片資料で口縁部内面に煤が付着する。52は頸部から長めの口縁部が大きく開き、口径は 22.8 cm を復元する。口縁部内外面はヨコナデ、体部外面は指頭圧痕後ナデ、体部内面はケズリ後ナデ調整を認める。53は長い口縁部を頸部から大きく外反させ、体部は若干張った形状を呈する。口径 25.4 cm を復元し、口縁部内外面はヨコナデ、体部外面及び体部内面上位はナデ、体部内面下位は縦方向のケズリを施す。

移動式カマド（54） 移動式カマドの細片資料で断面が面取りされているため前面開口部の下端部である可能性がある。器壁は厚く下端部の一部に刻目を認める。底部内外面はヨコナデ、体部外面は刷毛目、体部内面は横方向のナデ調整で仕上げ、内面には粘土紐接合痕を認める。

把手（55） 壺×甕の把手と思われる細片資料で胴部との接着面は四面を呈し、表面は粗いナデ調整で仕上げている。

4SI050 北東部屋内土坑 (Fig.21, Pla.18)

土師器

皿×壺（56） 口縁部細片資料であるため器種が明らかでない。口縁部内外面はヨコナデ、体部外面は手持ちヘラケズリ調整を認める。

甕（57） 体部が張った破片資料で頸部から口縁部にかけては強く斜方へ外反する。口径 16.2 cm、体部径 24.0 cm を復元し口縁部内外面はナデ、体部外面は刷毛目、体部内面は指頭圧痕後縦方向のナデ調整で仕上げている。

4SI060 第1層 (Fig.22, Pla.19)

土師器

丸底坏（58） 口縁部の細片資料で端部は摘み上げている。口縁部内外面及び体部内面はヨコナデ、体部外面は手持ちヘラケズリ調整を施す。

甕（59） 口縁部細片資料で頸部から口縁部にかけては強く外反する。口縁部内外面はヨコナデ、体部外面は刷毛目調整を施し、外面には煤付着を認める。

4SI060 カマド内 (Fig.22, Pla.19)

土師器

甕（60） 体部と底部の一部を欠損した破片資料で口径 22.6cm、器高 22.8 cm を復元する。やや丸味を帯びた体部を呈し頸部から短めの口縁部を強く外反させている。口縁部外面はヨコナデ、外面一部に指頭痕、体部外面は不定方向ナデ、体部内面は横方向工具ナデ、内底はナデ調整を施し、外底は磨耗のため調整不明である。口縁部から体部外面にかけて煤が付着している。

製塙土器（61） 体部から底部にかけての細片資料で体部外面上位はナデ、体部下位から底部にかけての外面は指頭痕、内面は強い工具ナデ、指頭痕を認める。外面には薄く煤が付着している。

4SI070 (Fig.22, Pla.19)

土師器

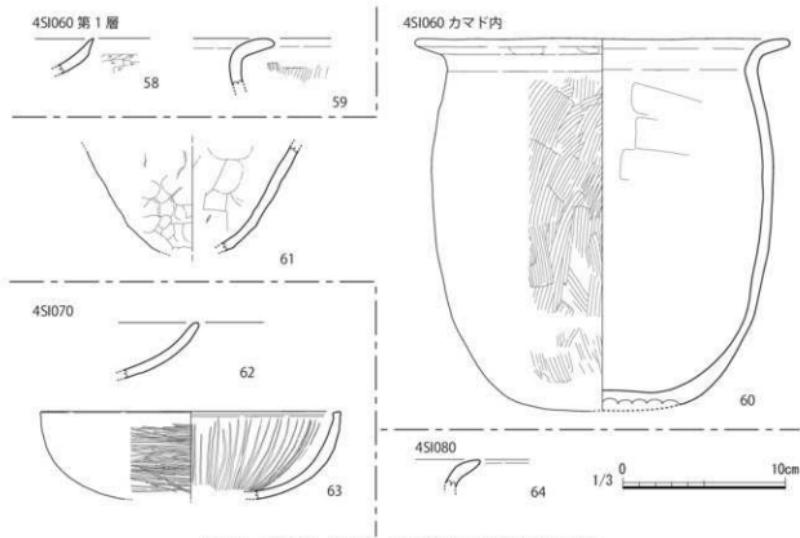


Fig.22 4SI060・4SI070・4SI080 出土遺物実測図 (1/3)

丸底坏（62・63）62は口縁部が残る細片資料で丸味を帯びている。表面は全体的に磨耗が著しく不明であるが、体部外面の一部に手持ちヘラケズリを認める。63は破片資料であるが全体的に丁寧な作りである。口径は18.4cmを復元し口縁部内外面はヨコナデ、体部外面は単位の細かい横方向の手持ちヘラミガキ、体部内面はヨコナデ後放射状に暗文で仕上げている。

4SI080 (Fig.22, Pla.19)

土師器

甕（64） 口縁部が僅かに残る細片資料で口縁部内外面はヨコナデである。外面には煤が付着する。

4SI090 検出 (Fig.23, Pla.19)

須恵器

坏（65） 口縁部が残存する細片資料でほぼ直線的に体部から口縁部にかけて斜方へ立ち上がる。内外面はヨコナデ調整である。焼成は良好で胎土に白色砂粒を少し含む。

土師器

甕（66） 口縁部細片資料で頸部から口縁部にかけては強く外反する。口縁部内外面はヨコナデ、体部内面はヘラケズリを施し、外面には煤が付着する。

4SI090 第1層 (Fig.23, Pla.19・20)

須恵器

蓋（67） ボタン状のつまみを有する破片資料でほぼ直線的に体部から口縁部にかけて斜方へ立ち上がる。つまみ部は貼付けに伴う成形ナデ、天井部外面は回転ヘラケズリ、内面は磨耗のため調整不明である。

坏（68） 口縁部が残存する細片資料で内外面はヨコナデ調整である。焼成は良好で胎土に白色砂粒を多く含む。

土師器

丸底坏（69～73） 69は器壁がやや厚い細片資料で口縁部内外面及び体部内面はヨコナデ、体部外面は手持ちヘラケズリ調整で仕上げる。70は器壁がやや厚く坏部が丸味を帯びた細片資料で口縁部内外面はヨコナデ、体部内面はナデ、体部外面は磨耗のため調整不明である。口縁部外面には一部丹塗りを

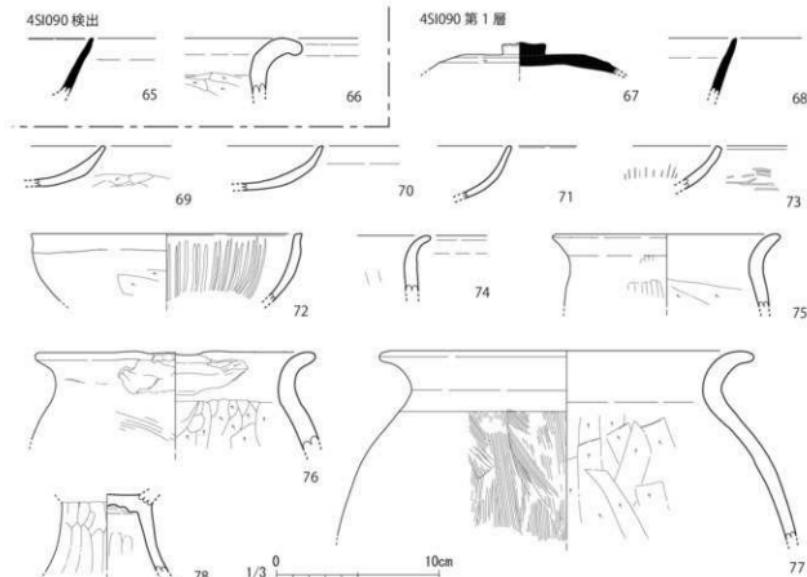


Fig.23 4SI090出土遺物実測図① (1/3)

認める。71は細片資料で口縁部内外面はヨコナデである。その他は磨耗のため調整不明。72は破片資料で口径16.6cmを復元する。丸味を帯びた体部を呈し口縁部はヨコナデで強調させている。口縁部内外面はヨコナデ、体部外面は手持ちヘラケズリ、内面は放射状に暗文を施す。73は器壁がやや厚い細片資料で口縁部内外面はヨコナデ、体部外面は粗い横方向の手持ちヘラミガキ、体部内面はタテ方向の暗文で仕上げる。

甕(74～77) 74は短い口縁部を僅かに外反させた細片資料で口縁部内外面はヨコナデ、体部内面はケズリ、体部外面は磨耗のため調整不明である。75は短い口縁部を浅く緩やかに外反させた破片資料で口径は13.4cmを復元する。口縁部内外面はヨコナデ、体部内面はケズリ、体部外面は刷毛目調整を施す。76は頸部から口縁部にかけて大きく外反させており、体部はやや張る形状を呈するものと思われる。破片資料で口径16.6cmを復元する。口縁部内外面はヨコナデ、体部外面は刷毛目、体部内面はヘラケズリ調整を施す。口縁部内面の一部は削りによる補修痕跡が認められる。77は短めの口縁部を頸部から大きく外反させた破片資料で胴部は球状形を呈するものと思われる。口径21.4cmを復元し口縁部内外面はヨコナデ、体部外面は縦方向の刷毛目、体部内面は縦方向のヘラケズリ調整を施す。

高环(78) 脚部の細片資料で环底底部内面はナデ、脚部外面は縦方向の工具によるケズリ、脚部内面は工具ナデ及びナデ調整で仕上げる。

4SI090 第2～6層 (Fig.24, Pla.20・21)

須恵器

蓋(79・80) 79はかえりのある口縁部細片資料で内外面の調整はヨコナデである。80は破片資料で口径17.8cmを復元する。天井部外面は回転ヘラケズリ、天井部内面は不定方向ナデ、口縁部内外面はヨコナデで端部断面形は三角形状を呈する。口縁部外面の一部に煤が付着する。

环(81～83) 81は底部細片資料で底径6.1cmを復元する。底部は平底で外底は回転ヘラケズリ後ナデ、内底はナデ、体部内外面はヨコナデである。82・83はハ字状に開く高台を呈する环である。82は全

体的に丸味のある形状を呈し口径 14.0 cm、高台径 9.3 cm、器高 5.85 cm を測り、口縁部及び体部外外面はヨコナデ、外底は回転ヘラケズリ、内底はナデ、高台部は接合時のヨコナデ調整を認める。83 は口径 14.4 cm、高台径 10.0 cm、器高 6.5 cm を復元し、口縁部はやや外反する。口縁部から体部にかけての外外面はヨコナデ、外底は回転ヘラケズリ、内底は不定方向のナデ、高台部は接合時のヨコナデ調整を認める。

壺（84）小型壺の細片資料で外外面はヨコナデである。胎土は精選されており、黒色粒子を多く含み、微細な白色砂粒を少量含む。

土師器

丸底壺（85～87）85・86 は細片資料で外面には丹塗りが施される。85 は内面はヨコナデ後縦方向の暗文、外面は丁寧な手持ちヘラミガキを認める。86 は口縁部に平坦面を呈し底部と体部境は僅かに屈折する。内面ヨコナデ、外面は横方向の手持ちヘラミガキを認める。87 は底部細片資料で内面には暗文を施す。外面は磨耗のため調整不明。

甕（88～91）88 は口縁部が極僅かに開く細片資料で口縁部外外面はヨコナデ、体部外外面はナデ、体部内面はヘラケズリ調整を施す。口縁部外外面及び体部内面の一部に煤が付着する。89 は長めの口縁部を外反する細片資料で口縁部外外面はヨコナデ、体部外外面は縦方向刷毛目、体部内面は縦方向ヘラケズリである。90 は小型甕の破片資料で口縁部は僅かに外反し体部は球形状を呈する。口径 14.4 cm、器高 14.1 cm を復元する。口縁部外外面はヨコナデ、体部から底部外外面は縦方向刷毛目、体部から底部内面はヘラケズリで調整し体部から底部にかけての外面には煤が付着する。91 は口縁部を大きく外反させた細片資料で口径 18.4 cm を復元する。口縁部外外面はヨコナデ、口縁部内面はヨコナデ及びナデ、体部外外面は刷毛目、体部内面はヘラケズリ調整を施す。

甕（92・93）92・93 共に底部細片資料である。92 は底部外外面ヨコナデ、体部外外面は刷毛目、体部内面はケズリ調整を施す。93 は底部端部は横方向のヘラケズリ、体部外外面はナデ、体部外外面は縦方向刷毛目、体部から底部内面はヘラケズリ調整を行う。

製塩土器

鉢（94）薄手の細片資料で口縁部は緩やかに内湾する。調整は磨耗、表面剥離によって不明である。

4S1090 床上 (Fig.24, Pla.21・22)

須恵器

甕（95）肩部から体部にかけての細片資料で外面は格子目叩き後工具ナデ、内面は當て具痕の同心円文を認める。器厚は 2 cm 前後を測る。

土師器

塊（96）全体的に丸味のある破片資料で口径 15.6 cm、器高 5.75 cm を復元する。口縁部外外面はヨコナデ、体部外外面は手持ちヘラケズリ、体部内面はヨコナデ一部指頭痕を認める。内面の体部と底部境で凸状の段を有する。

甕（97）口縁部細片資料で口縁部外外面はヨコナデ一部指頭痕、口縁部内面はヨコナデ、体部内面はケズリ調整を認める。

4S1090 貼床下 (Fig.24, Pla.22)

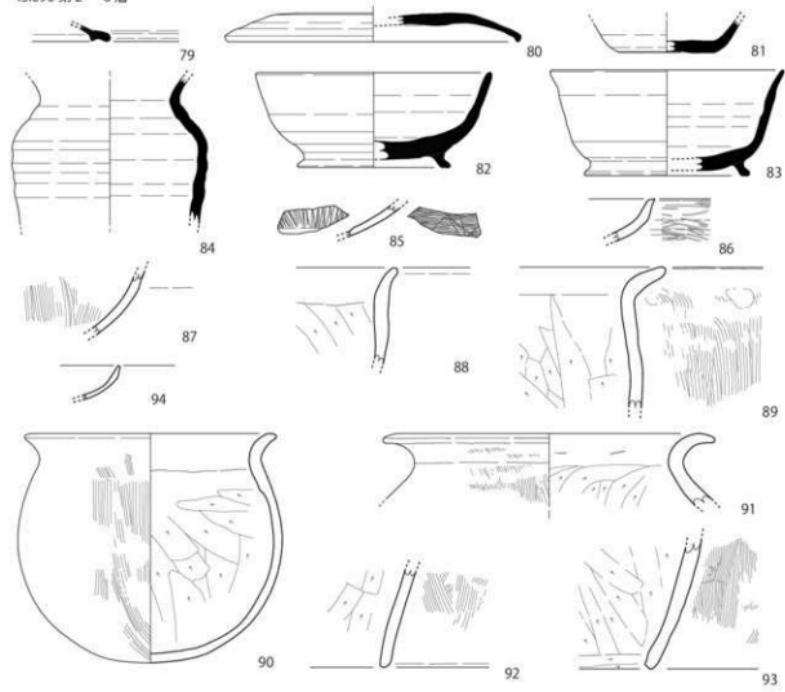
土師器

丸底壺（98）口径 11.9 cm を復元する破片資料で体部から口縁部にかけては緩やかに立ち上がる。口縁部外外面及び体部内面はヨコナデ、体部外外面は手持ちヘラケズリ調整である。

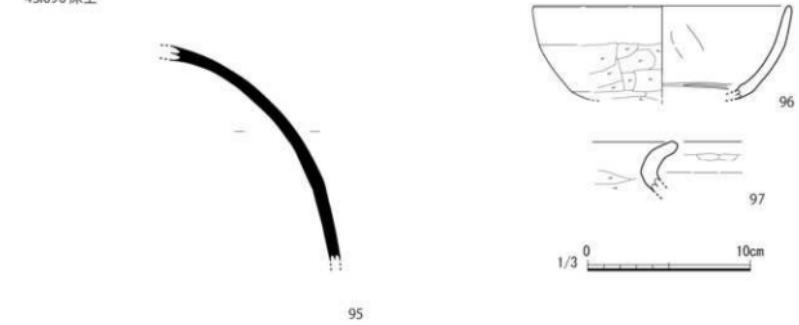
塊（99）口径 16.3 cm を復元する。全体的に丸味のある破片資料で口縁部外外面及び体部内面はヨコナデ、体部外外面はケズリ調整を認める。

高壺（100）脚部細片資料である。脚部径 9.6 cm を復元し脚部外外面は縦方向工具ナデ一部指頭痕、脚部内面は横方向工具ナデ、脚部端部はヨコナデである。

45I090 第2～6層



45I090 床上



45I090 貼床下

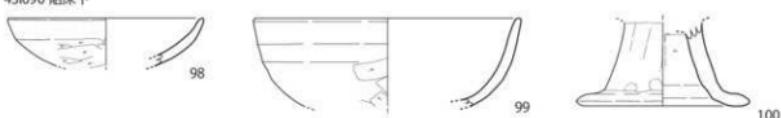


Fig.24 45I090 出土遺物実測図② (1/3)

4SI100 検出 (Fig.25、Pla.22)

須恵器

蓋（101） 口縁部細片資料で端部は短く屈折する。口縁部内外面はヨコナデ、天井部外面はヘラケズリ調整を認める。

4SI100 (Fig.25、Pla.22 ~ 24)

須恵器

蓋（102～106） 102は口径 15.6 cm、つまみ径 2.4 cm、器高 5.4 cmを復元する壺蓋の破片資料である。つまみは擬宝珠を呈し平たい天井部から口縁部にかけては大きく屈曲する。口縁端部は外側に小さく屈折させ、つまみ部および接合部はヨコナデ、天井部外面は回転ヘラケズリ、天井部内面はナデ、口辺部内外面はヨコナデ調整を施す。103は細片資料で全体的に丸味のある形状を呈し口縁端部を極僅かにつまみ出す。口径 11.0 cmを復元し天井部上位外面はヨコナデ、天井部中位外面はヘラ切り後ナデ、内面及び口縁部外面はヨコナデ調整を認める。104は細片資料で屈折した口縁端部は丸味を帯びた逆三角形状の断面を呈する。外面はヨコナデ調整である。105、106は僅かに摘み出された端部を呈する細片資料で内外面の調整はヨコナデである。106 外面には煤が付着する。

坏（107） 口縁部細片資料で内外面はヨコナデである。

坏（108～110） 108は口径 13.7 cm、高台径 8.1 cm、器高 5.45 cmを復元する。底部やや内側にハ字状の高台を貼付け、口縁部及び体部内外面はヨコナデ、内底はナデ、高台部は接合に伴うヨコナデ、外底はナデ調整である。109は底部細片資料で体部と底部境にハ字状の高台を貼付ける。高台径は 8.7 cmを復元し、体部外面は回転ナデ、内底はナデ、高台部は貼付けに伴うヨコナデ、外底はナデ調整を認める。110は断面四角形状の低い高台を体部と底部境より内側に貼付ける。内外面はヨコナデ調整を施す。

壺（111） 肩部の細片資料で「く」字状に屈折する。外面は回転ヘラケズリ後ヨコナデ、内面はヨコナデ調整である。

甕（112・113） 111は底部細片資料で外面は格子叩き目文、内面は平行叩き目文の當て具痕を認める。112は体部細片資料で外面は平行叩き目文、内面は同心円文の當て具痕を認める。

土師器

蓋（114～116） 114～116はいずれも僅かに突出した口縁端部を呈する細片資料で内外面の調整はヨコナデである。

小皿（117） 底径 7.0 cmを復元する細片資料で体部内外面はヨコナデ、外底は回転ヘラケズリ、内底はヨコナデ及びナデ調整を施す。

坏（118～121） 118は口径 13.5 cm、底径 9.1 cm、器高 3.7 cmを復元する破片資料で口縁端部から内面にかけてはヨコナデ、体部外面はヘラケズリ後ヨコナデ、外底は回転ヘラケズリ調整を施す。119は口径 13.4 cm、底径 8.9 cm、器高 3.8 cmを復元する破片資料で口縁部から体部にかけての外面及び内面はヨコナデ、外底は回転ヘラケズリ調整である。120は口径 8.0 cm、高台径 4.5 cm、器高 4.8 cmを復元する小坏の破片資料である。口縁部から体部上位外面は工具ナデ、体部外面下位及び口縁部から体部内面はヨコナデ、高台部は貼付けナデ、外底は回転ナデ調整を施す。121は大坏底部細片資料で高台は低く「ハ」字状に貼り付ける。高台径は 12.0 cmを復元し表面は磨耗のため調整不明であるが、内面には「×」状ヘラ記号を 2箇所に施す。

坏（122） 削り出し高台を呈する細片資料で高台径は 9.5 cmを復元する。外面はヘラケズリ、内面は回転ナデで内底に「アンクル」状のヘラ記号を認める。

鉢（123） 口縁部が残存する細片資料で口縁部はやや内湾する。口縁部外面は横方向刷毛目、口縁部内面はヨコナデ、体部外面は縱方向刷毛目、体部内面は指頭痕を認める。口縁部内面及び体部外面には煤が付着する。

甕（124・125） 124は口縁部を緩やかに大きく外反させた細片資料で口縁部内外面及び体部外面は

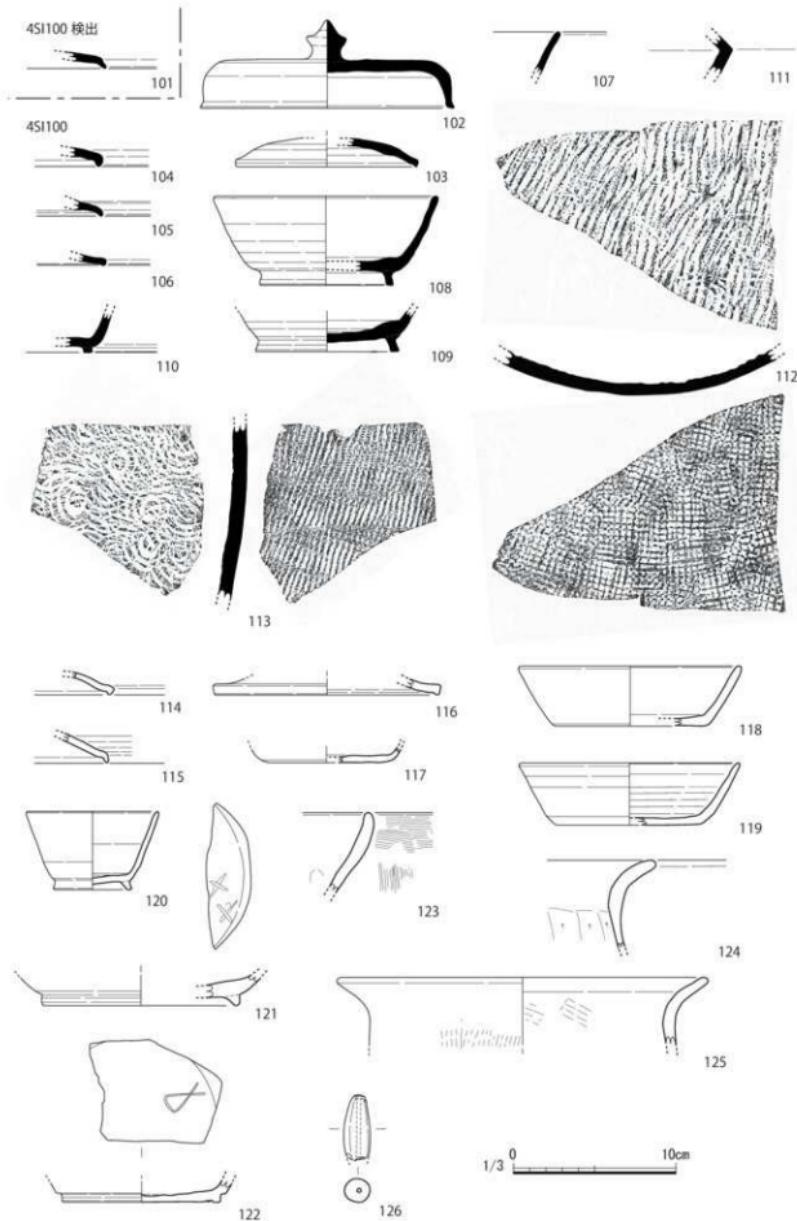


Fig.25 4SI100 出土遺物実測図① (1/3)

ヨコナデ、体部内面はヘラケズリ調整を行う。外面には煤が付着する。125はやや長めの口縁部を斜方へ外反させており、口径は22.4cmを復元する。細片資料で口縁部外面及び口縁部内面上位はヨコナデ、口縁部内面下位は叩き後ナデ、体部外面は刷毛目、体部内面はナデ調整を施す。

土錘（126） 下部を欠損する破片資料で現存長4.1cm、幅1.45～1.6cm、孔径は2mmを測る。

4SI100 第1層 (Fig.26, Pla.24)

須恵器

壺（127） 体部と底部境の内側に断面四角形状の低い高台を貼り付ける。高台径6.5cmを復元する細片資料で内外面はヨコナデ調整を認める。

壺（128） 底部の破片資料で貼付け高台は「ハ」字状に開く。体部外面は横方向刷毛目後ナデ、体部から底部にかけての内面はナデ、高台部は貼付けに伴うヨコナデ、外底はヨコナデである。高台端部は打ち欠かれた痕跡を残す。

4SI100 第2・3層 (Fig.26, Pla.24)

土師器

皿（129・130） 129、130共に底部細片資料である。129は底径10.4cmを復元し内底及び体部外面はヨコナデ、外底は回転ヘラケズリで直線状のヘラ記号を認める。130は底径9.6cmを復元し、外面は回転ヘラケズリ、内面はヨコナデ調整を施す。

鉢（131） 底部細片資料で底径11.6cmを復元する。底部は平底を呈し外面は回転ヘラケズリ、内面はヨコナデ調整である。

4SI100 床上 (Fig.26, Pla.24・25)

須恵器

壺×瓶（132） 胴部細片資料で外面はヨコナデ、内面は叩き後ヨコナデ調整を認める。

土師器

皿（133・134） 133は口径16.7cm、底径12.5cm、器高2.1cmを測るほぼ完形の資料である。外面の体部と底部境にヘラ切り痕を残し、体部下位及び外底は回転ヘラケズリ、その他はヨコナデ調整で外底には中心からやや離れた場所に花文状の墨書きを認める。134は口径16.6cm、底径12.0cm、器高2.0cmを復元する。外面の体部と底部境にヘラ切り痕を残し、口縁部及び体部内外面はヨコナデ、外底は回転ヘラケズリ、内底はナデ調整を施す、内面及び外底には「×」字状のヘラ記号を認める。135は底部細片である。底径9.8cmを復元し内底はヨコナデ、外底は削り出し高台を作り出す。内底の一部にヘラ記号の線状痕を認める。

甕（136～138） 136は破片資料で口径24.0cmを復元する。頸部から口縁部にかけては緩やかに外反させ、口縁部内外面はヨコナデ、体部外面は刷毛目後縦方向ナデ、体部内面は横方向ナデ調整で仕上げる。口縁部外面に指頭圧痕を認める。137は頸部から短めの口縁部を屈折するように外反させる細片資料で口径は18.2cmを復元する。口縁部内外面はヨコナデ、体部外面は刷毛目、体部内面はナデ調整を施す。体部内面に煤が付着する。138は体部が張った細片資料で頸部から口縁部にかけては緩やかに外反する。口径20.4cmを復元する。口縁部内外面はヨコナデ、体部外面は刷毛目、体部内面は縦方向のヘラケズリ調整を施す。

把手（139） 甕×瓶の把手細片資料と思われ、表面は指押さえ後ナデ調整を施す。

4SI100 カマド内 (Fig.26, Pla.25)

須恵器

壺（140） 破片資料で口径15.4cm、高台径8.0cm、器高6.1cmを復元する。断面四角形状の高台を体部と底部境のやや内側に貼付け、体部を斜方へ直線的に立ち上げる。口縁部は若干外反し口縁部及び体部内外面、内底はヨコナデ、高台部は貼付けに伴うヨコナデ、外底はヘラケズリ後ナデ調整を認める。

土師器

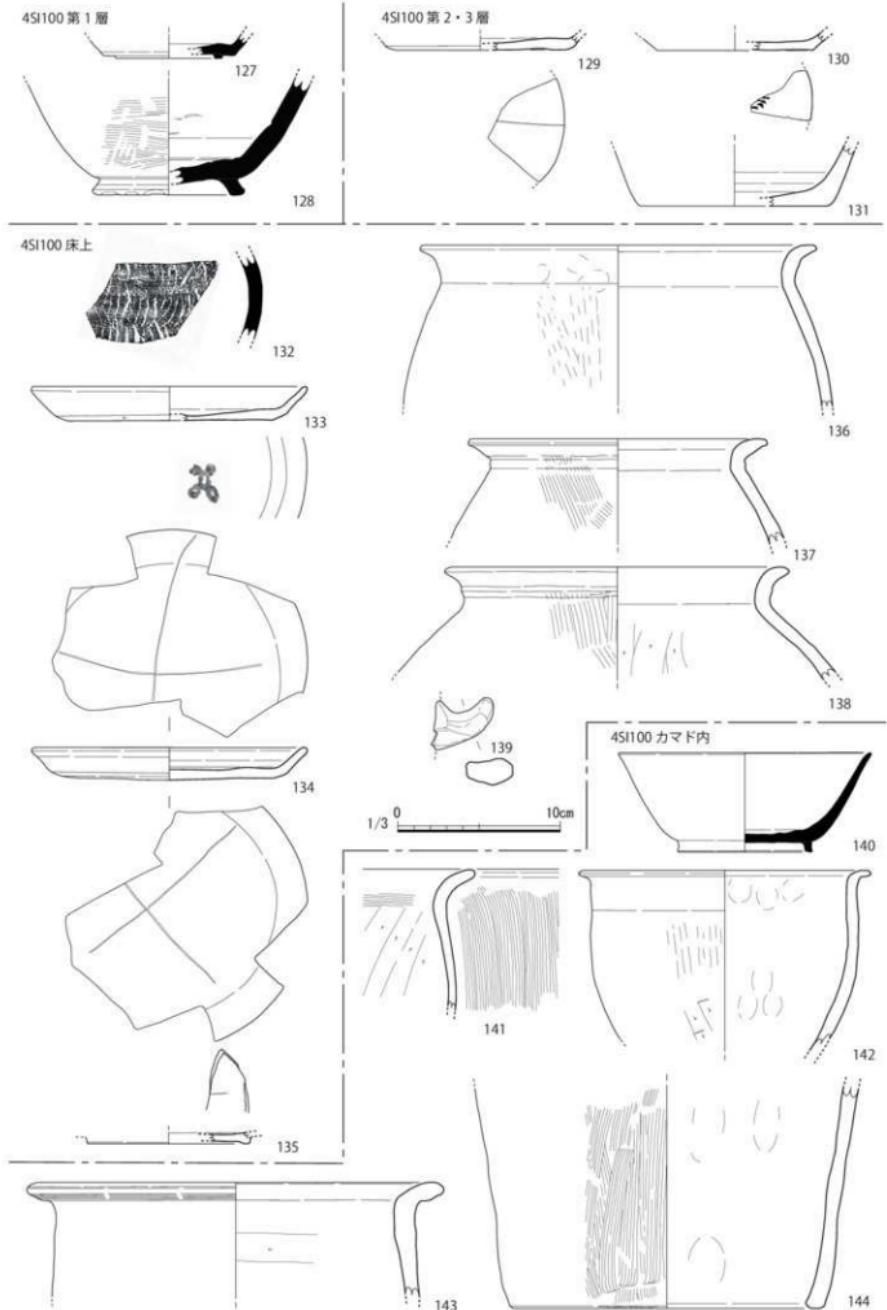


Fig.26 4SI100 出土物実測図② (1/3)

甕（141～143） 141は長めの口縁部を頸部から緩やかに外反させる細片資料で口縁部内外面はヨコナデ体部外面は縱方向刷毛目、口縁部内面及び体部内面境は横方向刷毛目、体部内面は縱方向ヘラケズリ調整を施し、外面の一部に煤が付着する。142は極短い口縁部をほぼ水平に屈折させた破片資料で口径は17.6cmを復元する。口縁部外面はヨコナデ、体部外面上位は指押さえ後刷毛目後ナデ、体部外面下位はヘラケズリ、体部内面はナデ調整を施し、一部に煤が付着する。143は器壁が厚く、口縁部は短く屈折する。口径24.6cmを復元する細片資料であり、口縁部外面はヨコナデ、体部外面はナデ、体部内面はヘラケズリ調整を認める。

甕（144） 底径18.8cmを復元する破片資料で体部から底部にかけてはほぼ直線的に内傾する。外面は縱方向刷毛目、底部端部は横方向刷毛目、内面は指押さえ後ナデ調整を施す。

4SI110 第1層 (Fig.27、Pla.25・26)

須恵器

皿（145） 口縁部がやや開き気味の破片資料で口縁部及び体部内外面と内底はヨコナデ、外底は磨耗のため調整不明である。

土師器

皿（146） 底径11.8cmを復元する細片資料で外面の体部と底部境にはヘラ切り痕を認める。外底はヘラケズリ、内底は磨耗のため調整不明である。内底及び外底にヘラ記号を認める。

丸底甕（147） 口縁部が残る細片資料で内面には放射状に暗文を施す。口縁部外面はヨコナデ、体部外面は磨耗のため調整不明である。

甕（148） 口縁部細片資料で口縁部は短く水平に屈折する。端部内外面及び口縁部外面はヨコナデ、口縁部内面は横方向刷毛目である。

4SI110 第2～4層 (Fig.27、Pla.26)

須恵器

皿（149） 底径10.0cmを復元する底部細片資料である。体部外面及び内底はヨコナデ、外底は回転ヘラ切り後ナデ調整を施す。内底隅にヘラ記号を認める。

土師器

蓋（150） 口径14.2cmを復元する細片資料である。天井部と口縁部境には稜があり、口縁端部は僅かに屈折し断面は三角形状を呈する。外面はヨコナデで内面の一部はナデを施す。内面の一部に墨痕らしき痕跡を認める。

4SI110 カマド内 (Fig.27、Pla.26)

土師器

坏（151・152） 151は底径7.4cmを復元する細片資料で体部内面はヨコナデ、内底はナデ、外底はヘラケズリ、体部外面は磨耗のため調整不明である。152は口縁部が残存する細片資料で内外面はヨコナデ調整である。

甕（153～156） 153は口縁部が浅く緩やかに外反する細片資料で口縁部外面は指押さえ後ヨコナデ、口縁部内面はヨコナデ後横方向刷毛目、体部外面は縱方向刷毛目、体部内面はナデ調整を施す。154は口縁部が浅く緩やかに外反する破片資料で口縁部外面はヨコナデ、口縁部内面は横方向刷毛目、体部外面は縱方向刷毛目、体部内面は指頭痕を認める。155は口縁部が浅く緩やかに外反する口径21.2cmを復元する破片資料で口縁部内外面はヨコナデ、体部外面は刷毛目、体部内面はヘラケズリ調整である。156は破片資料で体部は球形を呈するものと思われる。外面は不定方向工具ナデ、内面は不定方向ヘラケズリ調整である。

4SI110 カマド袖下 (Fig.27、Pla.26・27)

土師器

蓋（157） 口径15.0cmを復元する破片資料で天井部と口縁部境には稜があり、口縁端部は僅かに屈折

する。つまみ周辺は貼付けに伴うヨコナデ調整を観察することから天井部中央にはつまみが貼り付けられていたものと思われる。天井部外面は回転ヘラケズリ、天井部内面は不定方向ナデ、口縁部外面はヨコナデ調整を施す。内面の一部に墨痕らしき痕跡を認める。

丸底杯（158） 破片資料で口径 15.8 cm を復元する。口縁部は僅かに外反し口縁端部の一部に焼成前に

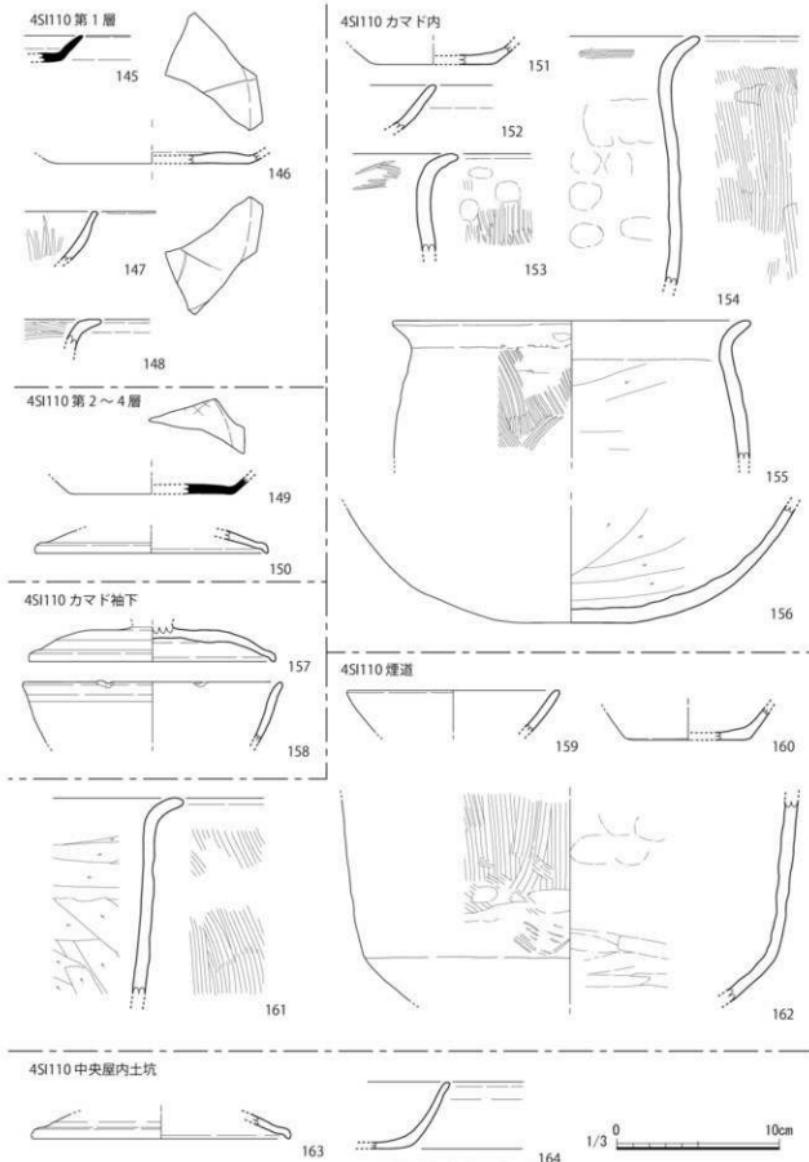


Fig.27 4SI110 出土遺物実測図 (1/3)

施された凹痕を観察する。口縁部内外面及び体部内面はヨコナデ、体部外面はヘラケズリ調整で外面は丹塗りである。

4SI110 煙道 (Fig.27、Pla.27)

土師器

壺（159・160）159は口径 13.0 cm を復元する細片資料で体部内面はヨコナデである。このほかは磨耗のため調整不明である。160は底径 7.6cm を復元する細片資料で底部は平底を呈する。体部外面及び内底はナデ、体部内面はヨコナデ、外底は回転ヘラ切り後ナデ調整を施す。

甕（161・162）161は口縁部を緩やかに外反させた破片資料であり、口縁部外面はヨコナデ、体部外面は刷毛目、体部内面は不定方向工具ナデ調整を施す。内面の口縁部から底部にかけて煤が付着する。162は破片資料で体部から底部にかけて稜が入る。体部外面上位は刷毛目、下位は指頭痕、底部外面はナデ、体部内面はナデ、底部内面は強いヨコナデ調整を認める。

4SI110 中央屋内土坑 (Fig.27、Pla.27)

土師器

蓋（163）口径 15.8 cm を復元する。細片資料で天井部と口縁部境には稜を認め、口縁端部は僅かに屈折する。端部断面は丸味を帯びた三角形状を呈し内外面はヨコナデ調整である。内面一部に墨痕と思われる痕跡を認める。

壺（164）細片資料で底部から斜方へ体部が立ち上がり、口縁部は僅かに外反する。口縁部及び体部外面はヨコナデ、外底は回転ヘラケズリ、内底はヨコナデ調整を施し、口縁部及び体部内面は磨耗のため調整不明である。

4SI120 (Fig.28・29、Pla.27～31)

須恵器

蓋（165～181）165は扁平形状のつまみを天井部中央に貼付け、天井部は全体を丸く仕上げる。口縁端部は屈折した断面三角形状を呈し周辺部内外面は重ね焼きの痕跡を観察する。口径 20.1 cm、器高 3.9 cm、つまみ径 3.9 cm を復元する破片資料である。つまみ部は貼付けによるヨコナデ、天井部外面は回転ヘラケズリ、口縁部外面はヨコナデ、天井部内面はナデ調整を施す。166は口縁部細片資料で口縁端部は屈折し断面は三角形状を呈する。口径 20.8 cm を復元し天井部外面は回転ヘラケズリ、天井部内面及び口縁部外面はヨコナデ調整で仕上げる。167は天井部中央に扁平の擬宝珠状のつまみを貼付ける細片資料である。つまみ径は 1.8 cm を復元しつまみ部はヨコナデ、天井部外面は回転ヘラケズリ、口辺部外面はヨコナデ、内面は不定方向ナデ調整を認める。168は扁平形状のつまみを貼付ける関係資料で天井部から口辺部にかけて稜を作り口縁端部は断面三角形状に端部を屈折する。口径 15.4 cm、器高 2.45 cm、つまみ径 2.5 cm を測り、つまみ部は貼付けに伴うヨコナデ、天井部外面は回転ヘラケズリ、口辺部外面はヨコナデ、天井部内面はナデ調整を施す。外面には煤が付着し重ね焼き痕を認める。169は口径 14.5 cm を復元する細片資料で現存器高は 1.9 cm を測る。口縁端部は屈折した断面三角形状を呈し天井部外面は回転ヘラケズリ、天井部内面及び口辺部外面はヨコナデ調整を施す。天井部内面は滑らかな部分を観察し、墨痕は目視できないが転用硯と使用されていた可能性もある。170は口径 12.5 cm、現存器高 1.65 cm を測る細片資料で口縁端部は断面三角形状を呈する。天井部外面はヘラ切り後ナデ、天井部内面はナデ、口辺部外面はヨコナデ調整で仕上げる。171は扁平形状のつまみを天井中央部に張付ける破片資料である。口縁端部は屈折し断面は三角形状を呈する。口径 12.1 cm、器高 2.75 cm、つまみ径 1.8 cm を測り、つまみ部は張付けに伴うヨコナデ、天井部外面は回転ヘラケズリ、天井部内面はナデ、口辺部外面はヨコナデ調整である。172はぼたん形状つまみを張付ける破片資料で口径 10.5 cm、器高 1.65 cm、つまみ径 1.9 cm を復元する。つまみ部は貼付けに伴うヨコナデ、天井部外面は回転ヘラ切り後ナデ、口縁端部外面及び口辺部内面はヨコナデ、天井部内面はナデ調整を施す。口辺部内外面周縁に重ね焼き痕を観察する。173は口径 10.7 cm、現存器高 1.2 cm を復元する細片資料で

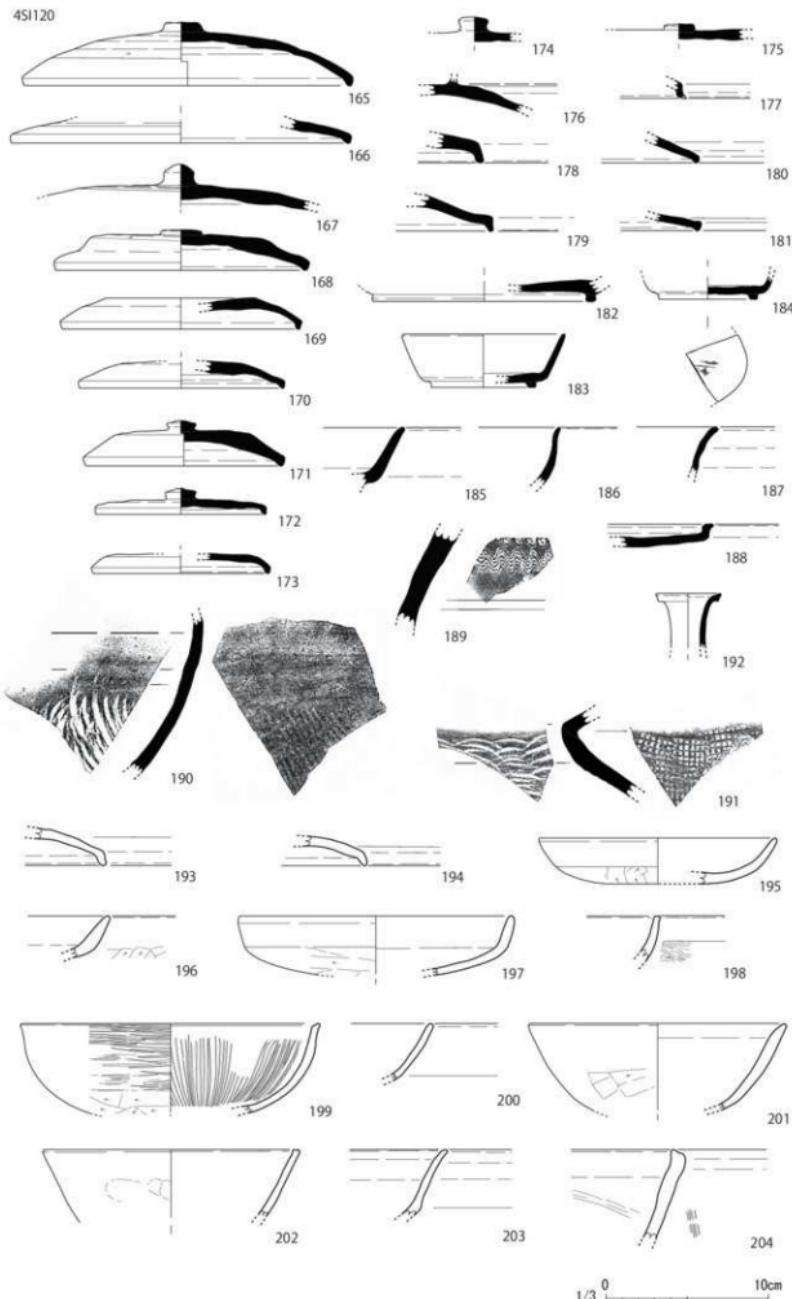


Fig.28 45I120 出土遺物実測図① (1/3)

天井部外面は回転ヘラケズリ、口辺部内外面はヨコナデ、天井部内面はナデ調整を施す。口縁端部断面形は丸味を帯びた三角形状を呈する。174はつまみ部の細片資料でぼたん形状を呈する。つまみ部は張付けに伴うヨコナデ、内面は不定方向ナデ調整を認める。175はつまみ部の細片資料でつまみ形状は扁平である。つまみ部周辺はヨコナデ、天井部外面はヘラ切り後ナデ、天井部内面は不定方向ナデ調整で仕上げる。176は輪状つまみを貼付ける細片資料で天井部外面は回転ヘラケズリ、つまみ周辺部及び口辺部内面はヨコナデ、天井部内面は不定方向ナデである。177は細片資料のため不明であり蓋×高坏口縁部細片資料の可能性がある。焼成は良好。178は口縁部細片資料で口縁端部は屈折し焼成は不良である。内外面の調整はヨコナデである。179は口縁端部を屈折し断面形状は三角形を呈する。内外面の調整はヨコナデで外面には淡黒褐色自然釉がかかる。180は口縁端部を僅かに屈折し断面形状は丸味を帯びた三角形状を呈する。内外面の調整はヨコナデ。181は口縁端部を僅かに屈折し断面形状は丸味を帯びた三角形状を呈する。天井部外面は回転ヘラケズリ、天井部内面はナデ、口辺部内外面はヨコナデ調整で仕上げる。

大皿(182) 底部細片資料で高台径 13.6 cm を復元する。断面四角形状の高台を体部と底部境に貼付け、内底はヨコナデ及びナデ、高台周辺部は貼付けに伴うヨコナデ、外底はナデ調整を観察する。

坏(183～187) 183は口径 9.8 cm、器高 3.25 cm、高台径 6.4 cm を復元する破片資料である。体部と底部境よりやや内側に断面四角形状の高台を貼付け、口縁部、体部、高台部周辺の内外面はヨコナデ、内底はナデ、外底はヘラ切り後ナデ調整を観察する。184は高台径 6.0 cm を復元する細片である。体部内外面及び高台部はヨコナデ、内底はナデ、外底はヘラ切り後ナデ調整を施す。外底には墨書を観察するが解読不明である。185は口縁部を残す細片資料で口縁端部は極僅かに外反する。器壁は厚く、口縁部内外面及び体部外面はヨコナデ、体部内面はナデ、体部と底部境の外面はヘラ切り後ナデ調整を施す。186は丸味のある体部と僅かに外反する口縁部を呈する細片資料で内外面はヨコナデ調整で仕上げる。187は器壁が薄く口縁部は緩やかに外反する細片資料で内外面はヨコナデ調整を施す。

高坏(188) 口縁部を残す細片資料で口縁端部は屈折させ摘み出す。口辺部内外面はヨコナデ、坏身底部内面はナデ、坏身底部外面は回転ヘラ切り後ナデ調整で仕上げる。

張(189～191) 189は口縁部細片資料で外面は工具ナデ、内面はヨコナデ調整を施し、外面には波状文を認める。190は体部破片資料で外面上位は工具ナデ、外面下位はヨコナデ後叩き、内面上位はヨコナデ、内面下位は当て具痕を認める。191は肩部細片資料で口縁部外面はヨコナデ、体部外面は格子目叩き、内面は当て具痕を観察する。

水瓶(192) 口縁部が残る細片資料で器壁は薄い。口径 3.9 cm を復元し、内外面はヨコナデ調整で仕上げる。焼成、還元度合いは共に良好で胎土は 1 mm 程度の白色砂粒を含む。

土師器

蓋(193・194) 193、194は共に口辺部の細片資料で口縁端部は屈折する。共に天井部外面は回転ヘラケズリ、天井部内面及び口縁部内外面はヨコナデ調整で仕上げる。

皿(195～197) 195は口径 14.6 cm、器高 2.8 cm を復元する破片資料で口縁部及び体部内外面はヨコナデ、内底はナデ、外底は手持ちヘラケズリ調整で仕上げる。196は口縁部が残る細片資料で口縁部内外面及び体部内面はヨコナデ、体部外面はケズリ後ヨコナデ、外底は手持ちヘラケズリ調整を施す。197は口径 16.8 cm を復元する細片資料で口縁部内外面及び体部内面はヨコナデ、体部外面はケズリ後ヨコナデ、内底はナデ、外底は手持ちヘラケズリ調整を施す。

丸底坏(198～202) 198は口縁部細片資料で口縁端部は断面凹状の沈線を呈する。口縁部内外面はヨコナデ、体部外面下位は横方向のミガキを施す。199は口径 18.2 cm、現存器高 5.5 cm を測る細片資料である。調整について外面上位は横方向の細かい手持ちヘラミガキ、外面下位は手持ちヘラケズリ、口縁端部及び内面はヨコナデで内面には放射状に暗色が施される。全体的に丁寧な作りで胎土は精選されており焼成は良好である。色調について外面は丹塗りで暗黒褐色、内面は暗褐色を呈する。200は

口縁部が残る細片資料で口縁部及び体部内外面はヨコナデ、底部外面はヘラケズリを施す。201は体部から口縁部にかけて僅かに外反する細片資料で体部と底部境外には稜が入る。口縁部及び体部内外面はヨコナデ、底部外面はナデ調整を認める。202は口径 15.5 cm を復元する細片資料で口縁部内外面及び体部内面はヨコナデ、体部外面は手持ちヘラケズリ調整を施す。

坏 (203) 口縁部に断面四状の沈線を呈する細片資料で口径は 15.6 cm を復元する。口縁部内外面及び体部内面はヨコナデ、体部外面はケズリ後ナデ調整で仕上げる。

鉢 (204) 素口縁を呈する細片資料で端部内側を僅かに摘み上げる。口縁部内外面はヨコナデ、体部外面は刷毛目、内面は刷毛目後ナデ調整を施す。

甕 (205 ~ 219) 205は口縁部が頸部から長く大きく外反した細片資料で口径は 26.6 cm を復元する。口縁部外面はヨコナデ、体部内面は強いナデ、体部外面は磨耗のため調整不明である。206は小甕細片資料で口径 12.1 cm を復元する。口縁部は僅かに外反し、口縁部外面はヨコナデ、体部外面は刷毛目、体部内面は工具ナデである。207は頸部から短い口縁部が緩やかに外反する細片資料で口径は 13.0 cm を復元する。口縁部外面はヨコナデ、体部外面は刷毛目、内面はナデ調整を施す。208は口径 15.8 cm を復元する細片資料で口縁部は僅かに外反させる。口縁部外面はヨコナデ、体部外面は刷毛目、体部内面はナデ調整で仕上げる。外面には煤が付着する。209は口縁部が残る細片資料で口縁部は緩やかに外反する。口縁部外面はヨコナデ、頸部外面に指頭痕を認め体部外面は刷毛目、体部内面はケズリ調整で仕上げる。210は頸部から口縁部が緩やかに外反する破片資料で口径 23.6 cm を復元する。口縁部外面はヨコナデ、体部外面は刷毛目後ナデ、体部外面は縦方向ケズリを施す。211は体部と口縁部が開く形状の甕細片資料で口縁部外面はヨコナデ、体部外面は刷毛目、体部内面はナデ調整を認める。212 ~ 219 は体部が扁平球状を呈する甕と思われる。212は口縁部が強く湾曲する細片資料で口径 18.6 cm を復元する。口縁部外面はヨコナデ、頸部外面に指頭痕、体部外面は刷毛目、体部内面はナデ調整を施す。213、214は破片資料で口縁部は強く湾曲する。共に口縁部外面はヨコナデ、体部外面上位は刷毛目、体部外面下位はケズリ、体部内面はナデ後工具ナデ調整で仕上げる。213は口径 20.4 cm、214は 21.0 cm を復元する。215は僅かに口縁部が湾曲する細片資料で口縁部外面はヨコナデ、体部外面は刷毛目後ナデ、体部内面上位は横方向刷毛目、体部内下面はヨコナデである。216は口縁部細片資料で頸部から口縁部にかけては大きく開き、口縁部内面は横方向刷毛目、口縁端部及び外面はヨコナデ調整である。217・218は底部細片資料で同一個体の可能性がある。調整は同じで体部外面は工具ナデ、体部内面は指頭痕を認めるナデ、外底はナデ調整で仕上げる。219は底部細片資料で底径 8.2 cm を測る。体部外面はケズリ、体部及び底部の内面は指頭痕を残すナデ、外底はナデ調整である。

瓶 (220) 体部細片資料で直径 0.5 cm の穿孔を施す。外面は刷毛目、内面は縦方向のケズリを認める。

移動式カマド (221) 底部分の細片資料で奥行きは 2 cm 程度を測り、表面は粗いナデ、本体との接着面は工具痕を認める。

不明 (222) 内傾した口縁部を呈する細片資料で端部及び上面は横方向のナデ、下面はナデ調整を認める。色調は淡茶褐色で焼成はやや良好である。

黒色土器 A 類

塊 (223) 口縁部が残る細片資料で口縁端部はヨコナデ、外面は横方向の細かいミガキ、内面はヨコナデ後刷毛目調整で仕上げる。

4S120 第 1・2 層 (Fig30, Pla.31)

須恵器

高坏 (224) 口縁部が上方へ短く立ち上がる細片資料で口縁部内外面はヨコナデ、外面は回転ヘラケズリ、内面はナデ調整を認める。

土師器

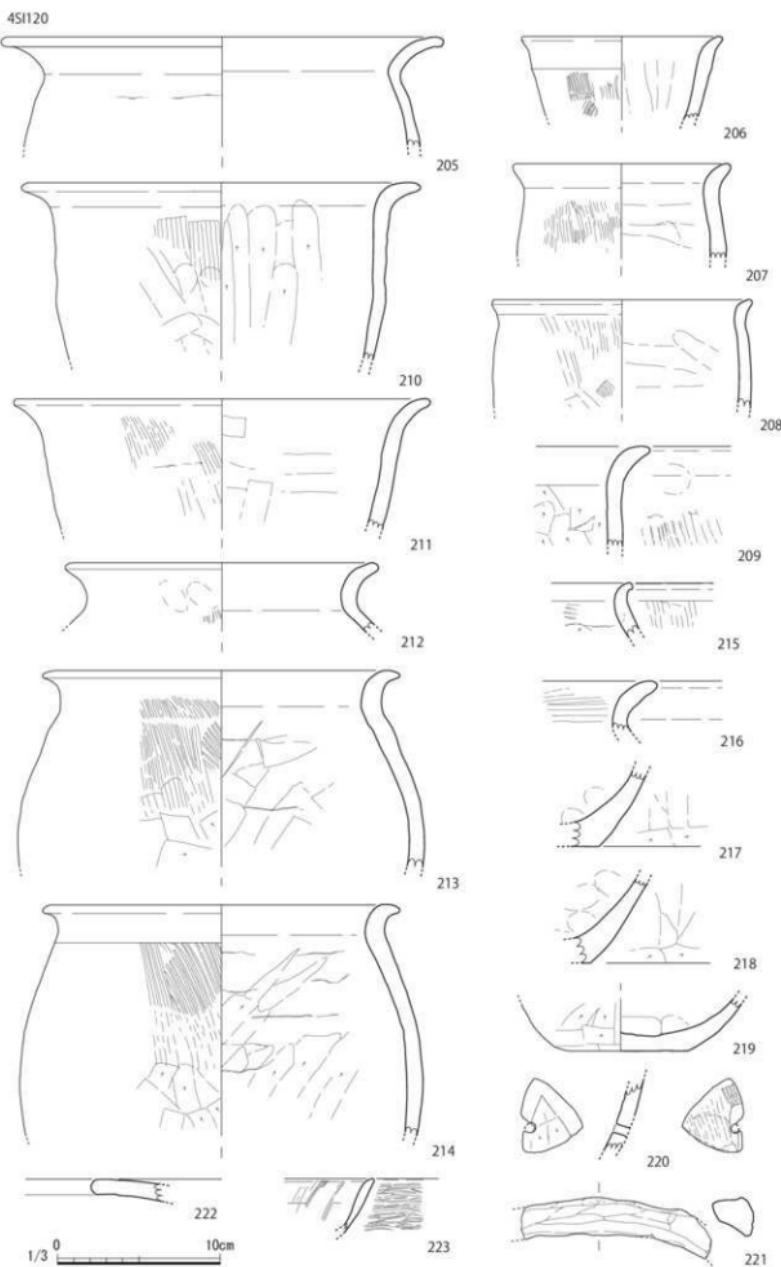


Fig.29 45I120 出土遺物実測図② (1/3)

土鍤（225） 端部を欠損する細片資料で穿孔径は0.5cmを測る。表面は指押さえ及びナデ調整である。

4SI120 第3・4層 (Fig.30, Pla.31・32)

須恵器

蓋（226～231） 226はかえりのある細片資料で口縁部は強いヨコナデ、口辺部外面は回転ヘラケズリ、口辺部内面はヨコナデである。227は口縁部細片資料で口縁部内外面はヨコナデ、天井部外面は回転ヘラケズリ、天井部内面はナデ調整である。228は口縁端部が屈折する細片資料で内外面はヨコナデ調整を認める。229は口縁端部が強く屈折した破片資料で口径は16.8cmを復元する。内外面の調整はヨコナデである。230は口径13.0cm、現存器高1.9cmを復元する破片資料で内面及び口縁部外面はヨコナデ、天井部外面は回転ヘラケズリを施し、天井部と口縁部の外境では指頭痕を認める。231は口縁部細片資料で天井部は低く、口縁端部は強く屈折する。内外面の調整はヨコナデである。

坏（232～234） 232は口縁部が僅かに外反する細片資料で内外面はヨコナデ調整を施す。233は口縁端部が僅かに外反する細片資料で内外面はヨコナデ調整を施す。共に焼成は良好である。234は底部細片資料で高台径は10.6cmを復元する。高台断面形は四角形状を呈し、底部境より内側に貼付けられる。体部外面及び内面はナデ、高台部は貼付けに伴うヨコナデ、外底は回転ヘラ切りである。

土師器

皿（235） 底部細片資料で体部内外面はヨコナデ、内底はナデ、外底は回転ヘラケズリ調整を施し、底径は15.4cmを復元する。

坏（234・235） 234は口縁部細片資料で口縁端部は僅かに外反する。口縁端部はヨコナデ、内外面はヘラミガキ調整を施す。235は細片資料で口縁部及び体部内外面はヨコナデ、底部外面はケズリ調整を認める。

小鉢（238） 口径13.6cmを復元する破片資料で、頭部から口縁部にかけては大きく外反し、口縁部はヨコナデ、体部内面はケズリ調整を施す。体部外面は二次焼成を受けており磨耗が著しく調整不明である。

甕（239～242） 239は口縁端部細片資料で頭部から口縁部にかけて大きく外反する。口縁部内外面はヨコナデ、体部外面はナデ調整である。内面には煤が付着する。240は口縁部が大きく外反する細片資料で口縁部外面はヨコナデ、体部外面は縱方向刷毛目、体部内面は指頭痕が残る強いナデ調整を施す。外面一部に煤を認める。241は口径31.3cmを復元し、短めの口縁部が緩やかに大きく外反する。口縁部外面はヨコナデ、体部外面は縱方向刷毛目、口縁部と体部内面境は横方向刷毛目、体部内面は縱方向ケズリ調整で仕上げる。242は体部細片資料で外面は粗い縱方向刷毛目、内面は指頭痕が残るナデ調整である。

4SI120 貼床 (Fig.30, Pla.33)

土師器

蓋（243） 細片資料で口縁端部は強く屈折する。内外面の調整はヨコナデである。

4SI120 床付近 (Fig.30, Pla.33)

須恵器

坏（244） 底部に高台が貼付くものと思われる。外面及び体部内面はヨコナデ、内底はナデ調整を認める。

土師器

坏（245・246） 245は口径12.7cm、底径9.2cm、器高3.4cmを測るほぼ完形の資料で体部内面はヨコナデ、内底はナデ、外底は回転ヘラケズリ、口縁部外面及び体部外面は磨耗のため調整不明である。内面には厚く煤が付着する。246はやや丸味を帯びた器形を呈する細片資料で、口縁部、体部内面、体部外面上位はヨコナデ、体部外下面下位はケズリ調整を認める。

甕（247～249） 247は口縁部が浅く外反する細片資料で口縁部内外面はヨコナデ、体部外面は縱方

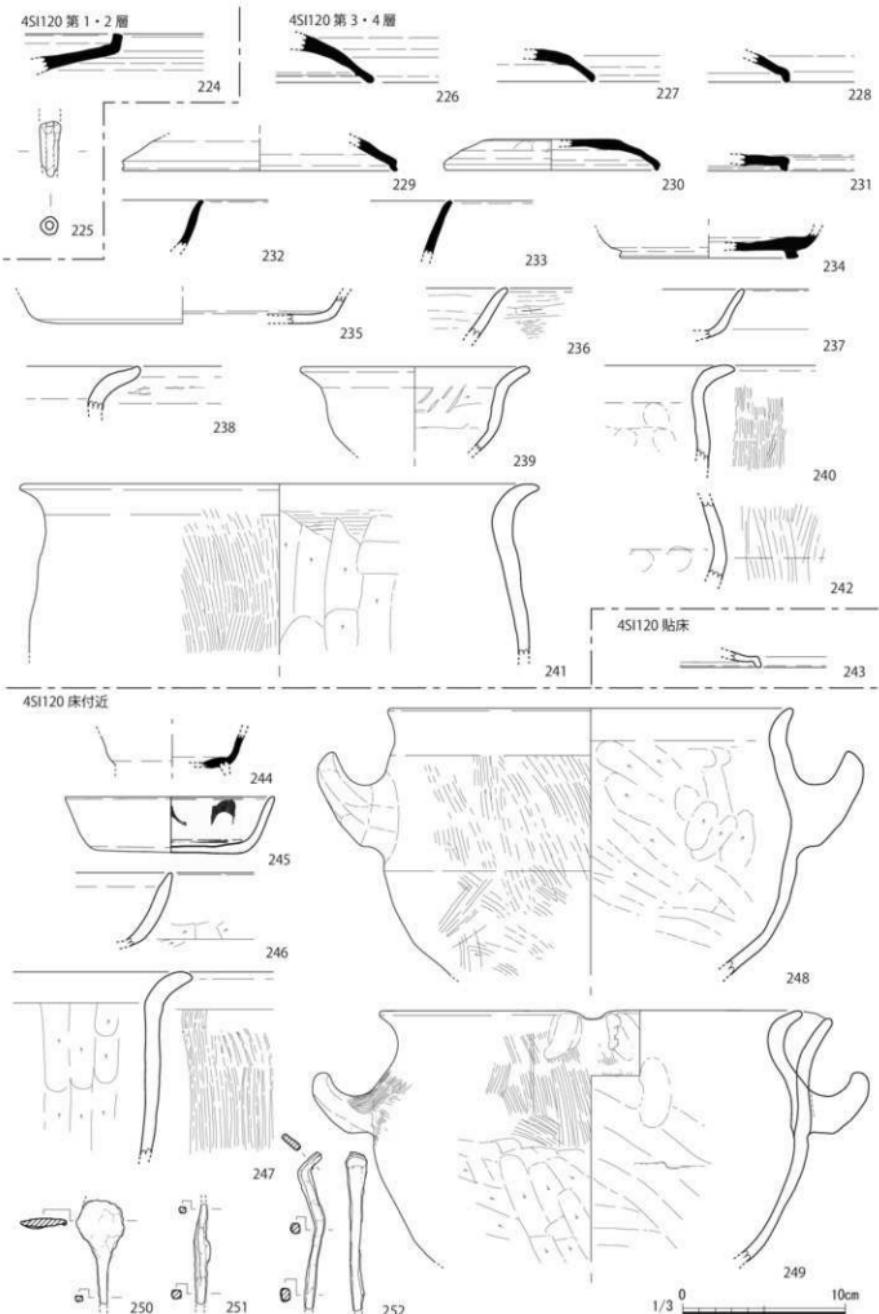


Fig.30 4SI120 出土遺物実測図③ (1/3)

向刷毛目、体部内面は縦方向ケズリ調整で仕上げる。

248・249は把手を有する甕で口縁部は浅く外反し、体部は球胴形を呈する。248は口径 24.6 cmを復元し口縁部内外面はヨコナデ、体部外面は刷毛目、体部内面は強いナデ、把手部はナデ調整で仕上げる。

249は片口を呈し口径は 25.7 cmを復元する。口縁部内外面はヨコナデ、体部外面上位は刷毛目、体部外下位はケズリ、体部内面は指頭痕が残るナデ、把手部はナデ調整を施す。片口部は成形時の指頭痕を認め、一部補修と見られる痕跡を認める。

鉄製品

鎌（250） 約文字状を呈する鎌で鉗部断面形は梢円形状、柄部断面形は長方形状を呈する。現存長 6.4 cm、現存最大幅 3.0 cm、厚さ 0.5 cm、重さ 11.4 gを計測する。

釘（251・252） 251は両端部を欠損する。断面形は方形状を呈し、現存長 6.15 cm、現存最大幅 1.0 cm、厚さ 0.5 cm、重さ 6.8 gを計測する。252は 2

箇所で屈折を認め、片側を欠損する。先端部は中心部に亀裂を認め断面形は長方形状を呈する。中央部及び下端部断面形は方形状を呈し、現存長 9.8 cm、現存最大幅 1.3 cm、厚さ 0.5 cm、重さ 13.1 gを計測する。

4SI120 カマド (Fig.31, Pla.33・34)

須恵器

蓋（253） 口縁端部が屈折する破片資料で口径 18.2 cmを復元する。器壁の内外面はヨコナデ調整を認める。

甕（254～256） 254は口縁部細片資料で内外面はヨコナデ調整を施す。255は短い口縁部を弱く外反させた破片資料で口径は 16.0 cmを復元する。口縁部内外面はヨコナデ、体部外面は磨耗のため調整不明、体部内面は強いヨコナデである。口縁部内面に煤が付着する。256は短い口縁部を湾曲させた破片資料で体部は球胴形を呈するものと思われる。口径は 17.0 cmを復元する。口縁部内外面はヨコナデ、体部外面は粗い刷毛目、体部内面は強いヨコナデ及び一部ケズリを施す。

4SI130 (Fig.32～35, Pla.34～39)

須恵器

蓋（257～265） 257は天井部細片資料で中央に扁平形状のつまみを貼付ける。つまみ部は貼付けに伴うヨコナデ、天井部外面は回転ヘラ切り、天井部内面はナデ調整を施し煤らしき痕跡を認める。258は端部を僅かに欠損する破片資料で天井中央に扁平状つまみを貼付ける。口縁端部は断面三角形状を呈し、つまみ部は貼付けに伴うヨコナデ、天井部外面は回転ヘラケズリ、天井部内面は不定方向ナデ、口縁部内外面はヨコナデ調整で仕上げる。口径 17.2 cm、器高 3.75 cmを測る。259は天井中央に扁平状つまみを貼付ける破片資料で天井部内面には広く研磨範囲を認める。口縁端部は断面三角形状を呈し、つまみ部は貼付けに伴うヨコナデ、天井部外面は回転ヘラケズリ、天井部内面は不定方向ナデ、口縁部内外面はヨコナデ調整で仕上げる。口径 14.65 cm、器高 2.0 cmを測る。260～263は口縁部細片資料である。260はかえりを呈し、内外面はヨコナデ調整を施す。261は口縁端部を細長く屈折させ、内外面はヨコナデ調整で仕上げる。262は口縁端部が僅かに屈折する。口縁部内外面及び口辺部外面はヨコナデ、口辺部内面はナデ調整を認める。263は口縁端部が断面三角形状を呈し、内外面はヨコナデ、

4SI120 カマド

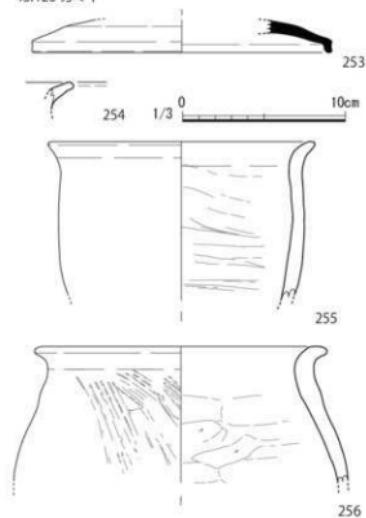


Fig.31 4SI120 出土遺物実測図② (1/3)

天井外面は回転ヘラケズりと思われる。264はつまみ部を欠損する破片資料で口縁端部は浅い断面三角形状を呈する。つまみ部周辺は貼付けに伴うヨコナデ、天井部外面は回転ヘラケズリ、天井部内面は不定方向ナデ、口縁部内外面はヨコナデ調整を認める。口径 18.6 cmを復元する。

坏 (265 ~ 273) 265は口径 12.2 cmを復元する細片資料で口縁端部は断面三角形状を呈する。天井部外面は回転ヘラケズリ、天井部内面はナデ、口縁部内外面はヨコナデ調整を施し、天井部外面には墨痕らしき痕跡を認める。266は底部細片資料で高台径 10.1 cmを復元する。高台は低く断面四角形状を呈し底部内寄りに貼付けする。高台部は貼付けに伴うヨコナデ、外底は回転ヘラ切り後ナデ、内底及び体部内外面はヨコナデ調整で仕上げる。267は高台径 9.8 cmを復元する細片資料で断面四角形状の高台を底部内寄りに貼付ける。体部内外面及び内底はヨコナデ、高台部は接合によるヨコナデ、外底はナデ調整を施す。268は口径 14.0 cm、高台径 9.0 cm、器高 4.7 cmを復元する破片資料で「ハ」字状に近い断面四角形状の高台を外底やや内寄りに貼付ける。口縁部及び体部内外面はヨコナデ、高台部は接合によるヨコナデ、外底は回転ヘラ切り、内底はナデ調整で仕上げる。269は底部細片資料で断面四角形状の高台を貼付ける。内外面はヨコナデ調整を認める。270は口径 13.6 cm、高台径 10.0 cm、器高 3.75 cmを復元する破片資料であり、口縁端部はやや外反する。断面四角形状の低い高台を体部と底部境付近に貼付けし口縁部及び体部内外面はヨコナデ、高台部は貼付けに伴うヨコナデ、外底は回転ヘラ切り後ナデ、内底は不定方向ナデ調整で仕上げる。271は口径 12.8 cm、高台径 8.4 cm、器高 3.5 cmを復元する破片資料で口縁端部はやや外反する。断面四角形状の低い高台を底部やや内寄りに貼付けし、口縁部及び体部内外面はヨコナデ、高台部は貼付けに伴うヨコナデ、外底は回転ヘラ切り後ナデ、内底は不定方向ナデ調整を施す。272は底部細片資料で低い高台を体部と底部境付近に貼付ける。底部には粘土紐痕跡を明瞭に残し、体部内外面はヨコナデ、高台部は接合によるヨコナデ、外底は回転ヘラ切り、内底は不定方向ナデ調整を施す。273は破片資料で口径 15.0 cm、高台径 10.6 cm、器高 4.2 cmを復元する。口縁部はやや開き気味に外反し、体部は滑らかに立ち上がり、高台は断面四角形状を呈する。口縁部及び体部内外面はヨコナデ、高台部は接合によるヨコナデ、外底は粗いナデ、内底は外周がヨコナデ、中心部はナデ調整を認める。

皿 (274) 口径 17.8 cm、底径 16.3 cm、器高 2.6 cmを復元する破片資料で口縁端部は鋭く外反する。口縁部及び体部外面はヨコナデ、外底は回転ヘラケズリ、内底の外周はヨコナデ、中央はナデ調整で仕上げる。

皿×高坏 (275 ~ 278) 275は口縁部細片資料で口縁部を屈折させ端部は僅かに摘み出す。口縁部内外面及び坏部内面はヨコナデ、坏部外面は回転ヘラケズリ調整である。276は口径 24.0 cmを復元する細片資料で口縁部を屈折させ端部は丸く玉縁状状を呈する。内面及び口縁部外面がヨコナデ、坏部外面は回転ヘラケズリ一部ナデ調整である。277は口縁部細片資料で口径は 21.0 cmを復元する。口縁部を屈折させ端部はやや丸味を帯びる。内面及び口縁部外面がヨコナデ、坏部外面は回転ヘラケズリ調整を施す。278は口径 21.6 cmを復元する破片資料で口縁部を屈折させ端部は平坦に仕上げる。口縁部内外面及び坏部内外面上位はヨコナデ、坏部外面下位は回転ヘラケズリ、坏部内面下位はナデ調整を施す。坏部外面の一部に貼付けによるヨコナデを僅かに認めることから皿である可能性がある。

高坏 (279) 脚部細片資料で端部は短く屈折し、外面はヨコナデ調整で脚部径は 11.0 cmを復元する。

壺(280~282) 280は肩部の細片資料で表面には厚く自然釉と灰が覆う。内面はヨコナデ調整を施す。281は体部の細片資料で外面はヨコナデ調整である。282は長頸壺の肩部細片資料で体部径は最大で 25.1 cmを復元する。表面には自然釉が覆い、内面はヨコナデ、肩部内面には工具當て具痕跡を認める。

横瓶 (283) 体部 2/3を欠損する破片資料で口径は 12.6 cm、体部長軸最大幅 31.5 cm、体部短軸最大幅 23.4 cmを測る。口縁部内外面はヨコナデ、体部及び底部の外面は格子目叩き、内面は同心円文當て具痕跡を認め、側面は円盤閉塞手法を施し底部内面に粘土貼付け痕跡を認める。

45I130

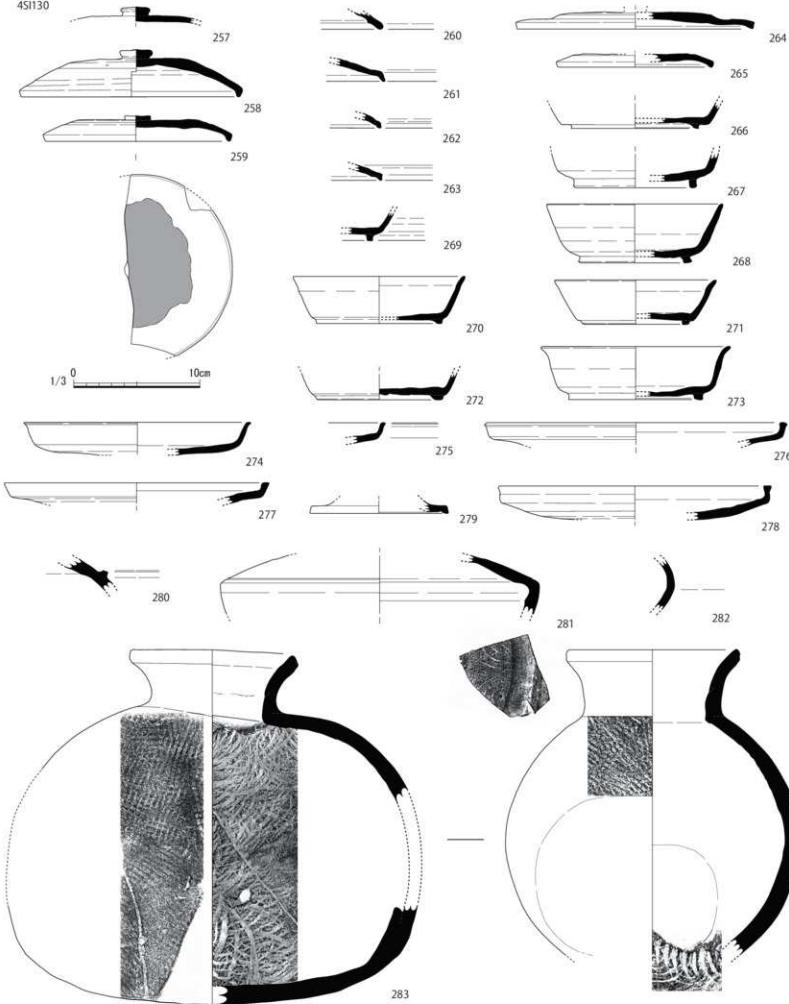


Fig.32 45I130 出土遺物実測図① (1/3)

蓋（284・285） 284は口径 19.8 cmを復元する細片資料で口縁部は屈折し端部を外反させる。内外面はヨコナデ調整を認める。285は端部外面に稜線を認め僅かに屈折させた痕跡を残す。調整は不明瞭であるが内外面ともにヨコナデと思われる。

皿×坏（286～293） 286、287は共に口縁端部が僅かに直立した細片資料で底部は丸味を帯びる。調整は不明瞭であるが口縁部外面及び内底はヨコナデ、底部外面は手持ちヘラケズリと思われる。288は口径 14.0 cm、器高 3.1 cmを復元する破片資料で外面及び口縁部内面には丹塗りを施し、内底には布目痕跡を残す。口縁部外面はヨコナデ、外底は手持ちヘラケズリ、内底は工具ナデを施す。289は口径 13.1 cm、器高 2.7 cmを復元する細片資料で口縁部外面はヨコナデ、外底は手持ちヘラケズリ、内底は磨耗のため調整不明である。290は口径 16.2 cm、底径 14.4 cm、器高 3.1 cmを復元する破片資料で口縁部外面はヨコナデ、外底は手持ちヘラケズリ、内底は指頭痕を残すナデ及び放射状の工具ナデ調整で仕上げる。外底には墨書で「□觀」「廿九」「同年多數」と読み取れる。胎土は精良で焼成は良好である。291は器壁の厚い細片資料で口径 14.4 cmを復元する。口縁部外面はヨコナデ、外底は手持ちヘラケズリ調整を施す。292は口縁部が斜方に開く破片資料で口径は 16.0 cmを復元する。口縁部外面及び内底はヨコナデ、口縁部と底部境の外面は手持ちヘラケズリ後ナデ、内面はナデ、外底は手持ちヘラケズリ調整を施す。293は口縁部が斜方に開く細片資料で口縁部外面はヨコナデ、外底は手持ちヘラケズリ、内底は磨耗のため調整不明である。

坏（294～296） 294は口径 17.2 cm、底径 13.0 cm、器高 4.0 cmを復元する破片資料である。全体に磨耗しているが、口縁部及び体部外面はヨコナデ、外底は手持ちヘラケズリ、内底はナデ調整で仕上げているものと思われ、内底にヘラ記号らしき痕跡を僅かに認める。295は口縁部から体部にかけて丸味を帯びた細片資料で口縁部外面及び体部内面はヨコナデ、体部外面は横方向のケズリを施す。296は口縁部と体部がやや開き気味に立ち上がる細片資料で調整は磨耗のため不明瞭である。

鉢（297～301） 297は口縁端部が玉縁状を呈する細片資料で口縁部外面はヨコナデ、体部外面は縱方向刷毛目、体部内面は横方向ケズリ調整を認める。298は短い口縁部が大きく開き、端部は丸く仕上げる細片資料で口縁部外面はヨコナデ、体部外面は刷毛目、体部内面は工具ナデ調整を施す。内面には煤が付着している。299は長い口縁部が大きく開く細片資料で口縁部外面はヨコナデ、体部外面は刷毛目、体部内面上位は横方向刷毛目、底部外面はケズリ、体部内面下位及び底部内面はナデ調整を施す。300は短い口縁部が外反する細片資料で体部は粘土貼付けによって器壁が厚く仕上げられている。口縁部外面はヨコナデ、体部外面は粘土貼付け後ケズリ、体部内面上位は横方向刷毛目、体部内面下位は強いナデ調整を認める。301は細片資料で口縁部はやや内湾する。口径 20.4 cmを復元し口縁部外面はヨコナデ、体部外面は刷毛目、体部内面はケズリ調整で指頭痕を残す。

甕（302～312） 302は細片資料で口縁端部は大きく外反する。口径 14.4 cmを復元し口縁部はヨコナデ、体部外面上位は縱方向刷毛目、下位はケズリ、体部内面は指頭痕を残すナデ調整である。303は球胴形を呈する破片資料で口径 14.6 cm、高さ 15.6 cm、体部最大径 16.4 cmを復元する。短い口縁部は斜方へ外反し、口縁部外面はヨコナデ、体部外面上位は縱方向刷毛目、体部外面の下位から底部にかけてはケズリ、体部及び底部内面は強いナデ調整を施す。底部外面に煤が付着する。304は長めの口縁部が強く外反する細片資料で口縁部外面はヨコナデ、体部外面は刷毛目、体部内面はナデ調整を認める。305は口縁部が大きく緩やかに外反する細片資料で口縁部外面はヨコナデ、体部外面は刷毛目、体部内面はヘラケズリ調整を施す。306は口径 14.8 cmを復元する細片資料で口縁部は斜方へ外反する。口縁部外面はヨコナデ、体部外面は刷毛目、体部内面は指頭痕を残すナデ調整を認める。307は口縁端部2箇所に刻目を認める細片資料で口縁部は小さく緩やかに外反する。内外面はヨコナデ、体部外面はナデ、体部内面は指頭痕を残すナデ調整である。308は口縁部が強く外反する細片資料で口縁部外面はヨコナデ、体部外面は縱方向刷毛目、体部内面は縱方向ケズリ調整である。309は如意形状の口縁部を呈し口縁部外面はヨコナデ、体部外面は縱方向ケズリ、体部内面はナデ調整を認め

4SI130

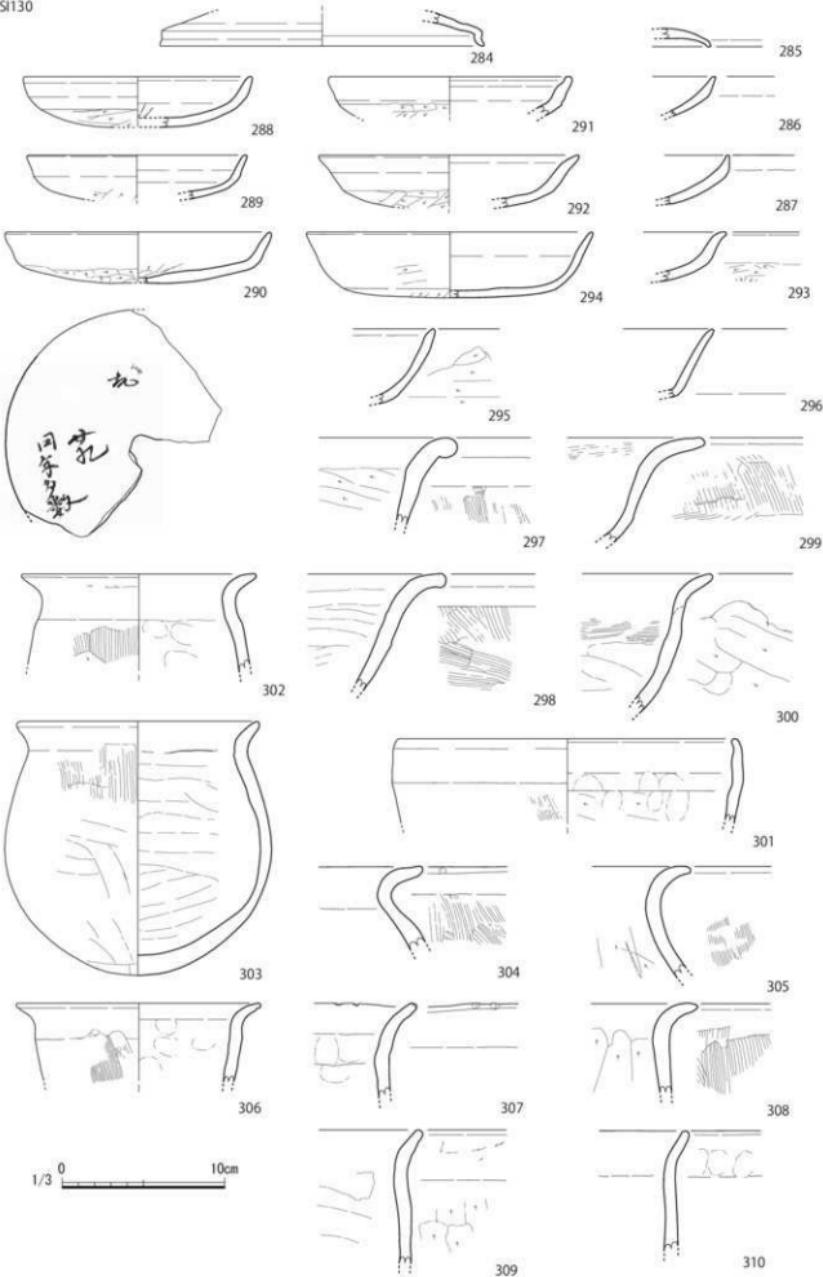


Fig.33 4SI130 出土遺物実測図② (1/3)

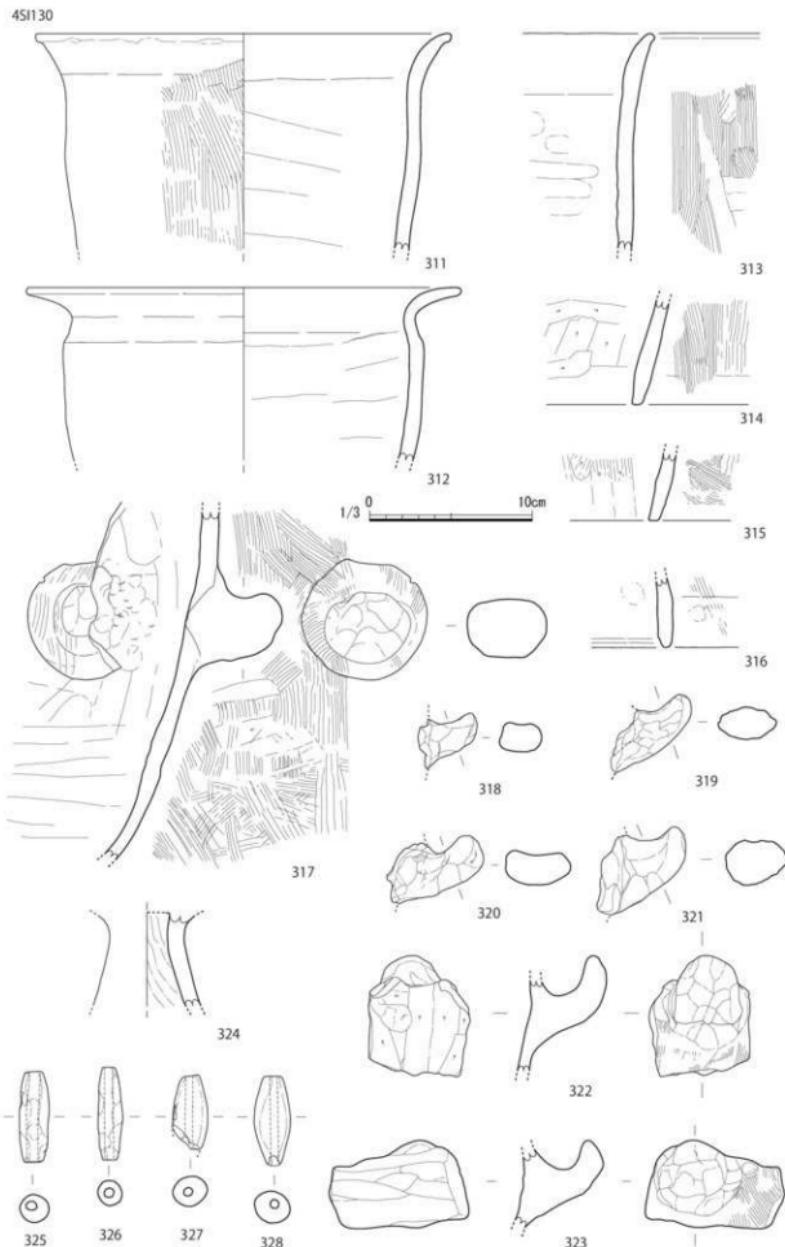


Fig.34 45I130 出土遺物実測図③ (1/3)

る。310は如意形状の口縁部を呈し口縁部外面は指頭痕を残すヨコナデ、口縁部内面はヨコナデ、体部内外面は磨耗のため調整不明である。311は口縁部が僅かに外反する破片資料で口径 25.4 cmを復元する。口縁部内外面は強いヨコナデ、体部外面は刷毛目、体部内面は横方向工具ナデ調整を施す。312は口径 26.4 cmを復元する破片資料で頸部は若干内傾し、口縁部は長く鋭く外反する。口縁部内外面はヨコナデ、体部外面は縱方向ナデ、体部内面は横方向ナデ調整である。

瓶（313～316） 313は口縁部が僅かに外反した細片資料で口縁部内外面はヨコナデ、体部外面は刷毛目、体部内面は指頭痕を残すナデ調整を施す。体部外面に把手貼付け時のナデ調整を一部認める。314は底部細片資料で底部は内傾する。底部内外面はヨコナデ、体部外面は縱方向刷毛目、体部内面はケズリ調整を認める。315は底部がやや内傾した細片資料で端部は平坦面を呈する。底部内外面はヨコナデ、体部外面は刷毛目、体部内面はケズリ後刷毛目調整を施す。316は細片資料で底部内外面は強いヨコナデ、体部外面は刷毛目、体部内面は指頭痕を残すナデ調整を認める。

把手（317～323） 317は体部に接着された把手の破片資料で把手部はナデ、体部外面は不定方向刷毛目、体部内面は指頭痕を残す強いナデ調整を施し、把手部裏側は貼付けに伴うナデと多くの爪痕を認める。318～321は把手細片資料で表面はナデ調整を施す。322、323は体部とに接着された細片資料で把手表面はナデ、体部外面は刷毛目、体部内面はケズリ調整を認める。

高杯（324） 脚部細片資料で外面はヨコナデ、内面はねじりを加えたナデ調整を認める。

土錘（325～328） 325は完形資料で端部を面取りし表面を粗いナデ調整で仕上げる。長さ 5.55 cm、最大径 1.8 cm、穿孔径 0.7 cm、重さ 14.1g を計測する。326はほぼ完形資料で端部を面取りし表面を強いナデ調整で仕上げる。長さ 5.7 cm、最大径 1.55 cm、穿孔径 0.6 cm、重さ 11.0g を計測する。327は下部を欠損する破片資料で端部を面取りし表面はナデ調整を施す。長さ 4.6 cm、最大径 2.15 cm、穿孔径 0.5 cm、重さ 13.8g を計測する。328は僅かに下部を欠損したほぼ完形資料で胴部は樽形を呈する。端部は面取りし表面はナデ調整で仕上げる。長さ 5.5 cm、最大径 1.55 cm、穿孔径 0.6 cm、重さ 11.0g を計測する。

移動式カマド（329～331） 329は底部の細片資料と思われる。底部はナデ、外面は刷毛目、端部は面取り、内面は刷毛目、一部底貼付け時のナデ調整を認める。330は底部の細片資料と思われる表面及び接合面共に強いナデ調整を施す。331は底部細片資料で内外面はヨコナデ、体部内面はナデ調整を施す。

製塙土器

壺（332～334） 332は口径 13.4 cmを復元する破片資料で直立した口縁部から底部にかけては窄まり尖底状の丸底を呈するものと思われる。口縁部外面は磨耗のため調整不明、口縁部内面は工具ナデ、体部内外面は指頭痕を残すナデ調整で仕上げる。333は体部細片資料で内外面は指頭痕を残すナデ調整を認める。334は体部から底部にかけての細片資料で体部外面は指頭痕を残すナデ、体部内面上位は工具ナデ、体部内面下位及び底部内面はナデ、底部外面は粗いナデ調整を認める。

鉄製品

鉄鎌（335） 有茎式鉄鎌で現存の長さは 7.0 cm、基端幅 3.1 cm、茎幅 0.9 cm、厚さ 0.6 cmを測る。鎌身断面はレンズ状を呈し、茎断面は長方形状を呈する。鉄鎌の進行が著しく見受けられるが状態は良好である。

4S1130 第1～6層 (Fig.35～36, Pla.39～41)

須恵器

蓋（336～340） 336はかえりを有する口縁部細片資料で内外面はヨコナデ調整である。337～339は口縁端部を僅かに屈折する細片資料で口縁部内外面はヨコナデ、口辺部外面はヘラケズリ、口辺部内面はナデ調整である。340は口辺部が湾曲した細片資料で焼成の際に生じたものと推測する。口縁部内外面はヨコナデ調整である。

4SI130

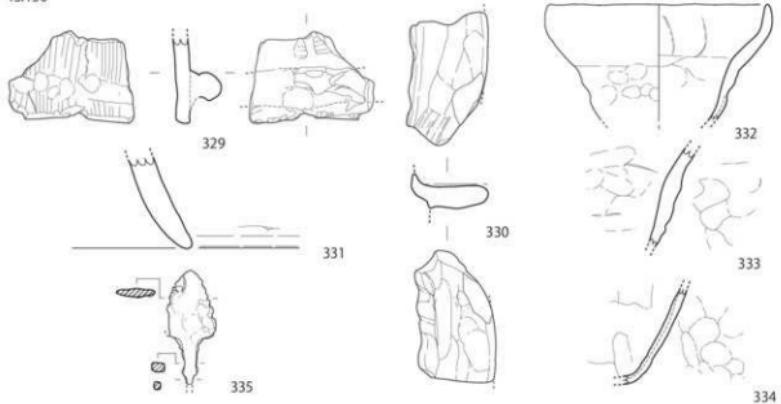


Fig.35 4SI130 出土遺物実測図④ (1/3)

坏 (341 ~ 345) 341 は口径 15.8 cm、高台径 11.0 cm、器高 5.0 cm を復元する破片資料で口縁部は斜方へやや開き気味に立ち上がり、方形状の断面形を呈する。高台は底部境よりやや内側に貼り付けられる。高台部はヨコナデ、内底は不定方向ナデ調整を認めるがその他は磨耗のため調整不明である。342 は口径 13.1 cm、高台径 8.8 cm、器高 3.65 cm を復元する破片資料で口縁部は斜方へ立ち上がり、高台は低く断面形は台形状を呈する。高台は底部境よりやや内側に貼り付ける。口縁部内外面及び体部内面はヨコナデ、体部外面は磨耗のため調整不明、高台部は貼付けナデ、内底は不定方向ナデ、外底は回転ヘラケズリ後ナデ調整で仕上げる。343 は底部細片資料で高台断面形は長方形状を呈する。低い高台は底部境より若干内側へ貼付けされ、高台径は 8.5 cm を復元する。体部内外面はヨコナデ、高台部は貼付けナデ、内底はナデ、外底は回転ヘラケズリ後ナデ調整を施す。344 は底部細片資料で「八字状」に開く高台は底部境よりやや内側に貼り付けられる。体部内外面はヨコナデ、高台部は接合ナデ、内底は不定方向ナデ、外底は回転ヘラケズリ調整である。

甕 (345・346) 345、346 は共に玉縁状口縁を呈する細片資料で、345 は口径 21.6 cm を復元する。口縁部外面はヨコナデ、体部外面は平行叩き後掻き目、体部内面は當て具痕跡を認める。

高环 (347・348) 347、348 は口縁部細片資料で端部は玉縁状を呈する。口縁部外面はヨコナデ一部へラケズリ調整を認める。

土師器

坏 (349 ~ 352) 349 は口径 14.5 cm、底径 10.5 cm、器高 3.7 cm を復元する破片資料で口縁部及び体部内外面はヨコナデ、外底は手持ちヘラケズリ?、内底は磨耗のため調整不明である。口縁部付近に油煙痕跡を認める。350 は口径 16.4 cm、底径 12.9 cm、器高 5.6 cm を測る破片資料で口縁部外面はヨコナデ、体部外面から外底にかけては手持ちヘラケズリ、内底はミガキ状のナデ調整で仕上げる。見込み中央付近に布目痕跡を認め、内外面には「U字状」に大きく煤状の油煙痕跡を認める。351 は口縁部細片資料で外面の一部が剥離するが内外面はヨコナデ調整を認める。

皿×坏 (352) 底径 12.2 cm を復元する細片資料で体部外面はヨコナデ、内底はナデ、外底は回転ヘラケズリ後粗いナデ調整を施す。

甕 (353) 底部が丸底を呈する厚手の破片資料で体部外面は縱方向ケズリ、底部外面は不定方向の強い工具ナデ、内面は強い工具ナデ調整を施す。

鉢 (354) 口縁部が内傾した破片資料で口径は 21.3 cm を復元する。口縁部外面はヨコナデ、体部外面上位は縱方向刷毛目、下位はケズリ、体部内面上位は粗い工具ナデ、下位はナデ調整で仕上げる。

移動式カマド (355・356) 355 は底部細片資料で底径 43.0 cm を復元する。「八字状」に底部は開き、カマドの開口部端面はケズリ調整による面取りを施す。体部外面はナデ、体部内面は不定方向ケズリ、底部内外面はヨコナデ調整を認める。356 は底部の細片資料で貼付けられていた底は欠落する。底部周辺は指頭痕を残す強いナデ、端面はケズリによる面取り、内面は工具によるナデ調整を施し、底部貼付けによる指頭痕を認める。

土錘 (357) 長さ 6.9 cm、最大幅 1.55 cm、穿孔径 0.6 cm 前後、重さ 12.0 g を計測する完形資料で上下端部はケズリによる面調整、表面は強いナデ調整で仕上げる。

鉄製品

不明 (358) 現存長 6.7 cm、幅 5.1 cm、厚さ 0.5 cm 前後を測る「コ字状」形を呈する鉄製品で断面形は長方形状を呈する。鉄鋸は進行しているが状態は良好である。

4SII30 第7・12層 (Fig.35 ~ 36, Pla.41・42)

須恵器

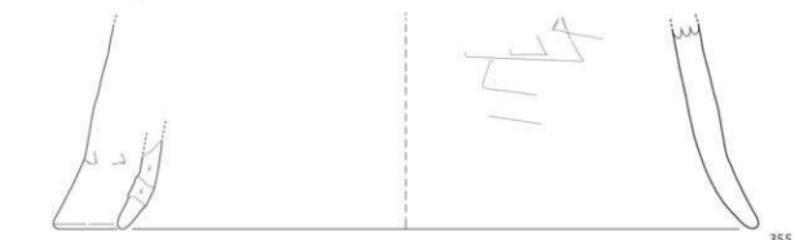
蓋 (359・360) 359 は端部を短く屈折した細片資料で内外面はヨコナデ、口辺部外面はケズリ調整を施す。360 は天井部が高く、端部は短く屈折させた細片資料で口縁部外面はヨコナデ、口辺部外面は回転ヘラケズリ、口辺部内面はナデ調整である。

Ⅲ(361) 口縁部細片資料で口縁部内外面はヨコナデ、底部外面はナデ調整を認める。

坏(362・363) 362は口縁部の細片資料で斜方へ僅かに外反する。内外面はヨコナデ調整を施す。

363は底部細片資料で高台径は10.0 cmを復元する。高台は低く底部境よりやや内側に貼付け、高台部は貼付けによるヨコナデ、体部内外面はヨコナデ、底部内外面はナデ調整を認める。

45I130 第1～6層



45I130 第7・12層

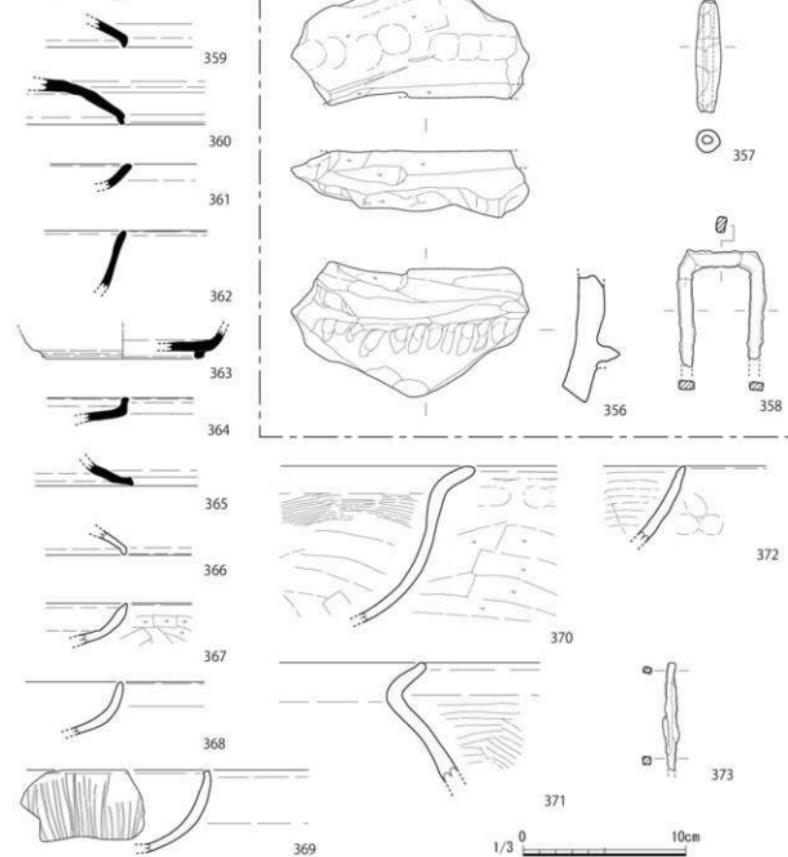


Fig.36 45I130 出土遺物実測図⑤ (1/3)

高环（364・365） 364は玉縁状口縁を呈する口縁部細片資料で内外面は世お粉で調整である。365は「八字状」に大きく開く脚部細片資料で端部は丸く仕上げる。内外面はヨコナデ調整である。

土師器

蓋（366） 口縁部細片資料で端部は短く屈折させる。内外面はヨコナデ調整を施す。

丸底环（367～369） 367は端部を擒み上げた細片資料で、口縁部内外面及び体部内面はヨコナデ、体部外面及び底部外面は手持ちヘラケズリ、底部内面はナデ調整を施す。368は丸味を帯びた器形で口縁部外面はヨコナデ、体部内面はナデ、体部外面は手持ちヘラケズリ調整で外面に煤が付着する。369は内面に暗文を施す細片資料で全体を丸く仕上げる。端部は平坦面を呈し、口縁部外面はヨコナデ、体部外面は手持ちヘラケズリ後ナデ調整で仕上げる。

深鉢（370） 長く張出した口縁部を呈する細片資料で口縁部外面はヨコナデ、体部外面は横方向ケズリ、体部内面上位は横方向刷毛目、体部内下面はナデ調整を施す。外面に煤が薄く付着する。

甕（371） 「く字状」に屈曲した口縁部を呈する細片資料で、端部を丸く仕上げる。口縁部外面はヨコナデ、体部外面は刷毛目、体部内面はナデ調整を施す。

製塙土器

壺（372） 口縁部細片資料で外面は指頭痕を残し、内面は横方向の凹状面を認めることから形押し成形によるものか。口縁部外面には吹き零れと思われる自然釉に似た痕跡が付着し、色調は明橙茶色を呈する。

鉄製品

釘（373） 鉄鋲が進行し著しく錆膨れを認める。両端部は辛うじて原型を留めており、断面形は方形状を呈する。下部を欠損しており、現存長は6.6cm、幅0.8cmを測る。

4SI130 第1層 (Fig.37, Pla.42)

須恵器

坏（374） 口縁部細片資料で口縁部は斜方へほぼ直線的に開く。内外面はヨコナデである。

甕（375～377） 375は口縁部細片資料で端部は折り返して玉縁状に仕上げる。外面はヨコナデ調整である。376は口縁部細片資料で口縁部は頸部から大きく外反させ端部を直立させる。口縁部外面はヨコナデ、肩部外面は格子目叩き、肩部内面は当て具痕を認める。377は底部細片資料で丸底を呈する。外面は粗い回転ヘラケズリ、内面はナデ調整である。

土師器

甕（378～380） 378は口径14.0cmを復元する細片資料で口縁端部は僅かに外反させる。口縁部外面はヨコナデ、体部外面は指頭痕を残すナデ、体部内面はヨコナデ調整を認める。口縁部外面に煤が付着する。349は口径16.2cmを復元する破片資料で口縁部は短く外反させる。口縁部外面はヨコナデ、体部外面は縦方向刷毛目、体部内面は横方向ヘラケズリ調整を施す。380は体部が球胴形を呈するものと思われる細片資料で口縁部は大きく湾曲する。口縁部外面はヨコナデ、肩部外面は細かい刷毛目、肩部内面はナデ調整を施す。

4SI130 第1～3層 (Fig.37, Pla.43)

須恵器

蓋（381・382） 381は扁平形状つまみを天井部中心に貼り付ける破片資料でつまみ部は貼付けによるナデ、天井部外面は回転ヘラケズリ、口辺部外面はヨコナデ、内面はナデ調整を施す。382は器壁が厚く端部は断面三角形状に僅かに屈折させる。磨耗のため調整は不明である。

坏（383～388） 383は底部細片資料で高台径は8.4cmを復元する。高台断面形は長方形状を呈し、底部境よりやや内側に貼付けする。内面及び体部外面はヨコナデ、高台部は貼付けナデ、外底は回転ヘラケズリ調整を施す。384はほぼ完形資料で口径14.4cm、高台径9.9cm、器高4.25cmを測る。口縁部は斜方へ直線的に立ち上がり、高台は丸味のある底部より内側にやや開き気味に貼り付けられる。口

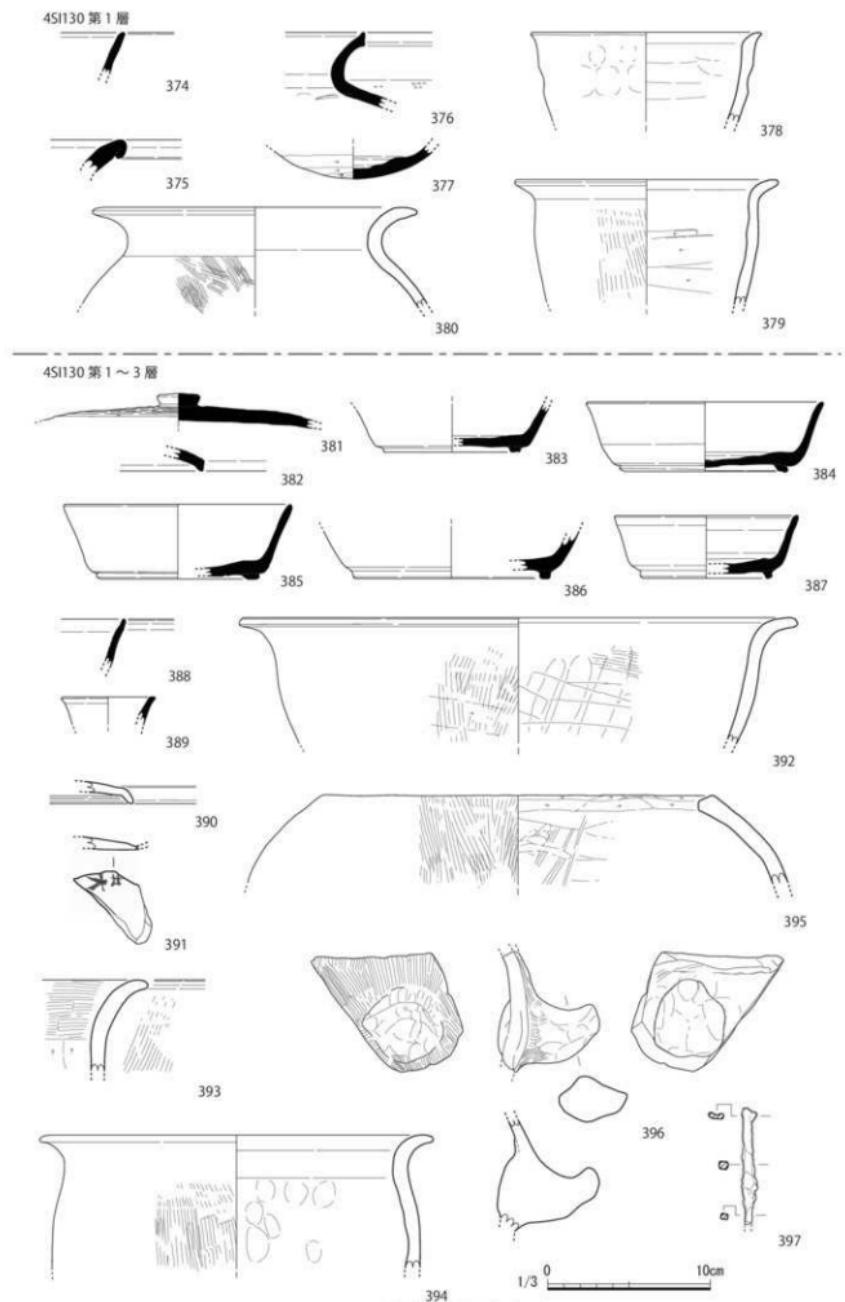


Fig.37 4SI130 出土遺物実測図⑥ (1/3)

縁部及び体部外面はヨコナデ、高台部は貼付けによるヨコナデ、外底は回転ヘラ切り、内底はヨコナデ調整で仕上げる。385は口径 13.8 cm、高台径 9.6 cm、器高 4.6 cm を復元する破片資料である。口縁部及び体部は斜方へ直線的に立ち上がり、高台は底部より内側にやや開き気味に貼り付けられる。口縁部及び体部外面はヨコナデ、高台部は貼付けによるヨコナデ、外底は回転ヘラ切り、内底はナデ調整である。386は底部細片資料で高台径 12.0 cm を復元する。高台断面形は方形状を呈し、底部境に高台を貼り付ける。体部及び底部外面はヨコナデ、高台部は貼付けに伴うヨコナデである。387は口径 11.2 cm、高台径 7.6 cm、器高 3.75 cm を復元する破片資料である。口縁部及び体部は斜方へ直線的に立ち上がり、高台は底部より内側にやや開き気味に貼り付けられる。口縁部及び体部外面はヨコナデ、高台部は貼付けに伴うヨコナデ、底部外面はナデ調整である。388は口縁部細片資料で斜方へほぼ直線的に立ち上がった口縁部の外面はヨコナデ調整である。

壺(389) 長頸壺の口縁部と思われる細片資料で口径 5.6 cm を復元する。外面はヨコナデ調整である。土師器

蓋（390） 口縁部細片資料で端部は長く屈折する。口縁部外面及び口辺部内面はヨコナデ、口辺部外面は回転ヘラケズリである。

坪×皿（391） 底部細片資料と思われ、内面はヨコナデ、外面はヘラケズリ調整を認める。外底には墨書を施し、「中大」と読み取れるが判読は定かでない。

深鉢（392） 口径 34.4 cm を復元する細片資料で口縁部は大きく外反させる。口縁部外面はヨコナデ、体部外面はヘラケズリ後刷毛目、体部内面はナデ後上方は横方向刷毛目、下方は工具ナデ調整を施す。

甕（393・394） 393は口縁部細片資料で口縁部は弱く緩やかに外反させる。口縁部上面位はヨコナデ、その下位及び体部外面は刷毛目、口縁部内面は横方向刷毛目、体部外面はヘラケズリ調整である。394は細片資料で口径 23.6 cm を復元する。口縁部は緩く外反させ、口縁部外面はヨコナデ、体部外面は刷毛目、体部内面は指痕が残るナデ調整で外面には煤が付着し、内面は使用によって黒色化している。395は破片資料で口径 24.0 cm を復元する。口縁端部はヘラケズリによる面取りを施し外面は刷毛目、内面は工具ナデ、一部で刷毛目調整を認める。

把手（396） 細片資料で把手部はナデ、体部外面は細かい刷毛目、体部内面はナデ、把手部内面は貼付けに伴うナデ調整である。

鉄製品

釘（397） 鉄鋲が進行し著しく一部で銷彫れを認める。両端部は辛うじて原型を留めており、断面形は先端は潰れた長方形、中央部及び下端部は方形状を呈する。下部を欠損しており、現存長は 7.2 cm、幅 0.1 ~ 0.5 cm を測る。

4SI130 第4層 (Fig.38, Pla.44)

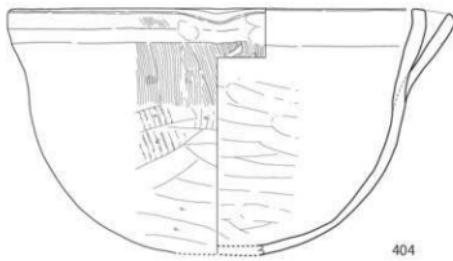
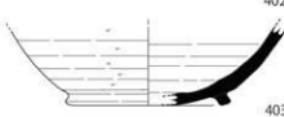
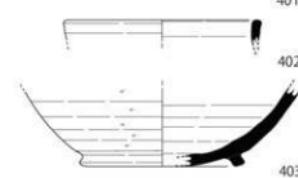
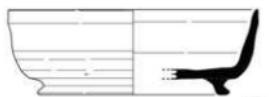
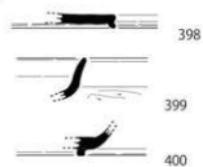
須恵器

蓋（398） 口辺部が低い細片資料で口縁端部は短く外反気味に屈折する。口縁部外面及び口辺部内面はヨコナデ、口辺部外面はナデ調整である。

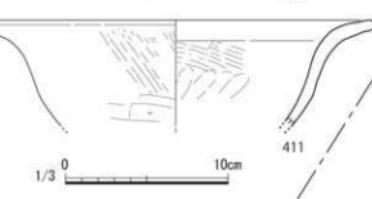
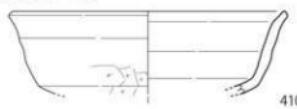
坪（399～401） 399は口縁部がやや開く細片資料で口縁部及び体部外面はヨコナデ、底部外面はヘラケズリ調整である。400は底部細片資料で方形断面を呈する高台は底部境よりやや内側に貼り付けられる。内面及び体部外面はヨコナデ、高台部は貼付けに伴うヨコナデである。401は口径 15.2 cm、高台径 11.4 cm、器高 5.2 cm を復元する破片資料で全体的に丸味を帯びた器形を呈する。高台は長く「ハ字状」に開き底部境より内側に貼付ける。口縁部外面、体部内面、体部外面上位はヨコナデ、体部外下位は回転ヘラケズリ、高台部は貼付けに伴うヨコナデ、内底はナデ、外底は回転ヘラ切りで仕上げる。

壺（402・403） 402は短頸壺の口縁部細片と思われ、口縁部は直立する。口径は 11.8 cm を復元する。403は底部片資料で高台径は 10.2 cm を復元する。断面方形の「ハ字状」に開く高台を貼付け、体部外面は回転ヘラケズリ、体部内面はヨコナデ、高台部は貼付けに伴うヨコナデ、底部外面はナデ調

45I130 第4層



45I130 第4~6層



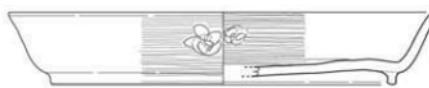
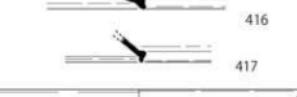
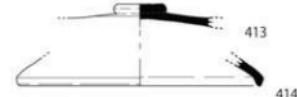
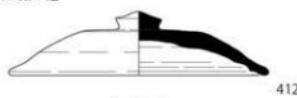
406
407
408
409

406
407
408
409

406
407
408
409

406
407
408
409

45I130 第7層



419

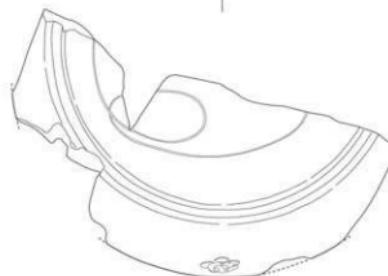


Fig.38 45I130 出土遺物実測図⑦ (1/3)

整を施す。

土師器

片口鉢（404） 口径 24.8 ~ 26.7 cm、器高 16.1 cm を復元する破片資料で端部は片口を呈する。片口周辺には指頭痕を認め、口縁部外面はヨコナデ、体部及び底部外面はヘラケズリ、体部及び底部内面は工具ナデ調整を施す。

甕（405） 口縁部細片資料で口径 24.8 cm を復元する。口縁部は緩く外反し、口縁部内外面は指頭痕を残すヨコナデ、体部外面は刷毛目、体部内面はヘラケズリ調整を施す。

土鍤（406 ~ 408） 406 は現存長 3.4 cm、幅 1.2 cm、穿孔径 0.4 cm 前後、重さ 4.2g を計測する破片資料で両端部は磨耗が著しい。表面はナデ調整である。407 はほぼ完形で長さ 5.1 cm、幅 1.3 cm、穿孔径 0.3 cm 前後、重さ 6.0g を計測する。表面は指押さえ後ナデ調整である。408 は下部を欠損する破片資料で現存長 4.7 cm、幅 1.3 cm、穿孔径 0.4 cm 前後、重さ 7.4g を計測する。表面はナデ調整を認める。

鉄製品

不明（409） 現存長 6.7 cm、幅 0.55 ~ 1.2 cm を測る破片資料で上下端部は欠損する。下位にくびれを認め、断面形は上下部位ともに方形状を呈する。上位の表裏面 3箇所に木質片が付着する。

4SI130 第 4 ~ 6 層 (Fig.38, Pla.44・45)

土師器

坏（410） 口径 16.6 cm、底径 3.5 cm を復元する破片資料で口縁部はやや外反し、端部は凹面を呈する。口縁部外面、体部外面上位はヨコナデ、体部外面下位及び底部外面はヘラケズリ、内面はヨコナデ後工具ナデを施す。

鉢（411） 口縁部が大きく緩やかに外反する破片資料で口径は 23.8 cm を復元する。口縁部内外面はヨコナデ、体部外面はヘラケズリ。体部内面は指頭痕を残すヨコナデ調整を施す。

4SI130 第 7 層 (Fig.38・39, Pla.45・46)

須恵器

蓋（412 ~ 417） 412 は天井中央に凝宝珠型つまみを貼付ける破片資料で天井部は高く口縁部にかかりを有する。口径 15.7 cm、器高 3.9 cm を復元し、つまみ部は貼付けに伴うヨコナデ、天井部外面は回転ヘラケズリ、天井部内面はナデ、口辺部及び口縁部外面はヨコナデ調整を施す。413 は扁平状つまみを貼り付けた細片資料でつまみ部は貼付けに伴うヨコナデ、天井部外面は回転ヘラケズリ、天井部内面はナデ調整を認める。414 は口縁部細片資料で口径は 14.8 cm を復元する。端部は短く屈折し、内外面はヨコナデ調整を施す。415 は口径 15.4 cm を復元する破片資料である。口縁端部は短く屈折し天井部外面は回転ヘラケズリ、天井部内面はナデ、口辺部及び口縁部外面はヨコナデ調整を施す。416 は細片資料で口縁端部は摘み出すように短く屈折する。口辺部外面は回転ヘラケズリ、口辺部内面はナデ、口縁部外面はヨコナデ調整を認める。417 は薄手の口縁部細片資料で端部は断面形が鉤状に屈折する。内外面はヨコナデ調整である。

皿（418） 口縁部細片資料で口径は 20.6 cm、底径 18.0 cm、器高 2.0 cm を復元する。口縁部及び体部内外面はヨコナデ、外底は回転ヘラケズリ、内底はナデ調整を施す。

土師器

台付大皿（419） 全体的に丁寧に仕上げられた破片資料で口径 26.2 cm、高台径 21.2 cm、器高 4.4 cm を復元する。断面方形状の高台を体部と底部境よりやや内側に貼付け、大小渦花文状の暗文を内外面に施す。口縁部、体部外面、底部内面に至ってはヨコナデ後回転ヘラミガキ、高台部は貼付けに伴うヨコナデ、底部外面は回転ヘラケズリ調整を施す。

皿（420） 底部細片資料で底部内面はナデ、高台部は貼付けに伴うヨコナデ調整を認める。

鉢（421・422） 421 は体部から底部にかけて内湾した破片資料で口径は 14.6 cm を復元する。外面に丹塗りを施し、外底はケズリ、その他磨耗のため調整不明である。422 は口縁部細片資料で口縁部内

外面はヨコナデ、体部外面は刷毛目、体部内面はナデ調整を施す。

甕（423・424） 423は口縁部細片資料で端部は短く外反する。口径 15.6 cmを復元し、口縁端部はヨコナデ、口縁部外面は刷毛目、口縁部及び体部内面は指頭痕を残すナデ調整である。424は口縁部細片資料で端部は長く外反する。外面はヨコナデ調整を施し外面に煤を認める。

甕（425） 底部破片資料で底径は 17.0 cmを復元する。外面は継方向刷毛目、内面は指頭痕を残す強いナデ、端部はヨコナデ調整を認める。

移動式カマド（426） 底部細片資料で大きく開いた底部はやや外反する。体部内面はケズリ、その他はヨコナデ調整を施す。

製塩土器

鉢（427） 体部から口縁部にかけて大きくは開く細片資料で、外面は指頭痕を残すナデ調整で仕上げる。

土錘（428） 上下端部を欠損する破片資料で現存長 5.6 cm、幅 1.6 cm、穿孔径 0.5 cm、重さ 10.6g を計測する。表面はナデ調整で仕上げる。

4SI130 貼床 (Fig.39、Pla.46)

須恵器

蓋（429～431） 429、430は共に端部を小さく屈折させた細片資料で口縁部内外面及び口辺部内面はヨコナデ、口辺部外面はケズリ調整である。431は天井中央に凝宝珠型つまみを貼付ける細片資料でつまみ部は接合時のヨコナデ、天井部外面は回転ヘラケズリ、天井部内面は不定方向のナデ調整を認める。

土師器

土錘（432） 下端部を欠損する破片資料で現存長 5.8 cm、幅 1.8 cm、穿孔径 0.5 cm、重さ 15.3g を計測する。表面は指頭痕を残すナデ調整を施す。

5I130 貼床掘形 (Fig.39、Pla.46)

須恵器

塊（433） 口縁部が大きく開く細片資料で外面はヨコナデ調整を施す。

高环（434） 口縁端部が玉縁状を呈する細片資料で口径は 21.8 cmを復元する。口縁部外面はヨコナデ、体部外面は回転ヘラケズリ一部ナデ、体部内面はナデ調整を認める。

土師器

鉢（435） 口縁部が外反する細片資料で口縁部内外面及び体部内面はヨコナデ、体部外面はナデ調整である。

大皿×高环（436） 口縁部細片資料で口径は 24.8 cm、底径 23.2 cmを復元する。口縁部内外面及び内底はヨコナデ調整を認めるが、外底は磨耗のため調整不明である。

4SI130 カマド内 (Fig.39、Pla.46・47)

須恵器

蓋（437） 天井中央に扁平形状つまみを貼付ける細片資料である。口径 19.6 cm、器高 2.85 cmを復元し、つまみ部は接合時のヨコナデ、天井部外面は回転ヘラケズリ、天井部及び口辺部内面は不定方向のナデ、口辺部外面及び口縁部内外面はヨコナデ調整を認める。

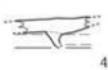
土師器

甕（438） 口縁部が僅かに外反する破片資料で、口径 19.4 cm、底径 13.0 cm、器高 8.0 cmを復元する。口縁部外面及び内面全体はヨコナデ、体部から底部にかけての外面は細かい刷毛目調整で仕上げる。

鉢（439） 細片資料で口縁部は緩やかに外反する。口縁部内外面はヨコナデ、口縁部と体部境の外面はナデ、内面は横方向刷毛目、体部外面はヘラケズリ、体部内面は工具ナデ調整を施す。

4SI130 カマド手前 (Fig.39、Pla.47)

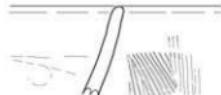
4SI130 第7層



420



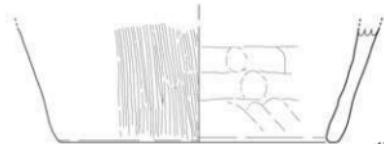
421



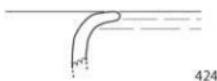
422



423



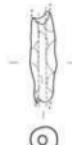
425



424



427



428

4SI130 貼床



429



430



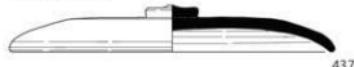
431



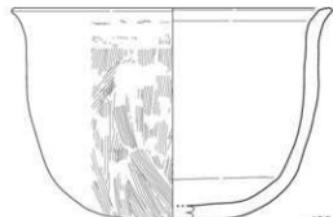
432

1/3 0 10cm

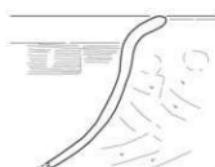
4SI130 カマド内



437



438

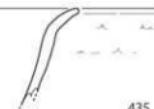


439

4SI130 床下形



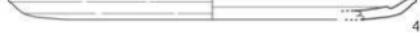
433



435

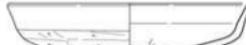


434

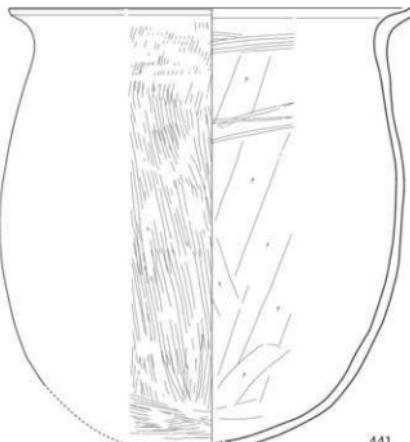


436

4SI130 カマド手前



440



441

Fig.39 4SI130 出土遺物実測図⑧ (1/3)

土師器

壺 (440) 口径 14.8 cm、器高 3.4 cm を復元する
破片資料で口縁部外面及び内面全体はヨコナデ、
外底は手持ちヘラケズリ調整で仕上げる。

甕 (441) 口径 24.8 cm、器高 27.2 cm を復元す
る破片資料で口縁部内外面はヨコナデ、体部から
底部にかけての外面は縱方向刷毛目、内面は縱方
向のヘラケズリ調整を施す。外面に煤が付着する。

4SI130 東側土坑第 2 層 (Fig.40, Pla.47)

須恵器

蓋 (442) 口縁部を残す細片資料で口径は 21.4
cm を復元する。非常に粗い作りで口縁部内外面は
ヨコナデ、天井部外面は回転ヘラケズリ、天井部
内面はナデ調整を認める。

土師器

鉢×甕 (443) 口縁部細片資料で端部は緩やか
に外反する。口縁部内外面はヨコナデ、体部外面
は弱いケズリ、体部内面は横方向刷毛目調整を施
す。

4SI130 東側ピット (Fig.40, Pla.47)

須恵器

甕 (444) 口縁部を残す細片資料で頸部から端
部にかけては鋭く外反する。口径 15.9 cm を復元
し、口縁部外面はヨコナデ、肩部内外面は磨耗
のため調整不明で口縁部外面には煤が付着する。

土師器

甕 (445・446) 445 は口縁部細片資料で端部は僅かに外反する。内外面はヨコナデ調整で二次焼成
を受ける。446 は底部細片資料で外面は刷毛目、内面は不定方向ケズリ調整を認め、底部には指頭痕
を残す。

4SI140 (Fig.41, Pla.47・48)

土師器

蓋 (447) かえりのある細片資料でかえり部は貼付けに伴うヨコナデ、その他はヨコナデ調整を施す。
皿 (448・449) 448 は細片資料で口縁部内外面及び内底はヨコナデ、外底はヘラケズリ調整を施し、
外面には丹塗りを認める。449 は口径 12.2 cm、底径 7.4 cm、器高 1.9 cm を復元する細片資料で口縁部
内外面及び内底はヨコナデ、外底はヘラケズリ調整を施す。

丸底壺 (450～454) 450 は丸味のある細片資料で口縁部外面はヨコナデ、内底はナデ、外底は手持
ちヘラケズリ調整を認める。451 は細片資料で口縁部内外面及び底部内面はヨコナデ、底部外面は
手持ちヘラケズリ調整である。452 は口径 15.8 cm を復元する破片資料で口縁部内外面及び底部内面は
ヨコナデ、底部外面は手持ちヘラケズリ調整で仕上げる。453 は端部を僅かに外反させた細片資料で
内外面はヨコナデ調整である。454 は口縁部細片資料で口縁部内外面はヨコナデ、体部外面はヘラ
ケズリである。

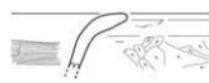
壺 (455) 口径 16.8 cm、底径 15.2 cm を復元する細片資料で内外面はヨコナデ調整で仕上げる。

甕 (456～458) 456 は口縁部を緩やかに大きく外反させた細片資料で口縁部内外面はヨコナデ、体

4SI130 東側土坑第 2 層



442

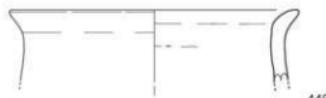


443

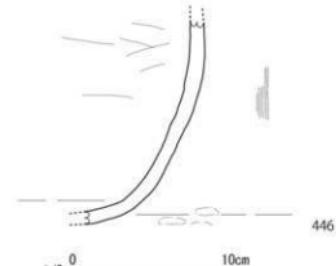
4SI130 東側ピット



444



445



446

Fig.40 4SI130 出土遺物実測図⑨ (1/3)

部外面は刷毛目、体部内面はヘラケズリ調整を施す。体部外面には煤が付着する。457は端部が僅かに外反する口縁部細片資料で外面はヨコナデ、口縁部内面は横方向刷毛目、体部はヘラケズリ調整を施す。458は口縁部細片資料で口縁部上位内外面はヨコナデ、口縁部下位外面は刷毛目、口縁部下位内面は工具ナデ調整を認める。

台付皿(459・460) 459は环部細片資料で口径は20.6cmを復元する。内外面はヨコナデ後ミガキ調整を施す。460は脚部が大きく開く細片資料で脚部径は9.8cm、現存器高は3.6cmを復元する。脚部内外面はヨコナデ、环部内面はヨコナデ、环部と脚部が接着する内面はナデ調整を施す。

高环(461) 环部と脚部の細片資料で环部内面はナデ、脚部外面はヘラケズリ、脚部内面は指頭痕を残すナデ調整を認める。

製塩土器

鉢(462) 薄手の口縁部細片資料で内外面は指頭痕を残すナデ調整で仕上げる。

鉄製品

不明(463) 上下部を欠損する破片資料で下部にくびれを認め、断面形は方形状を呈する。現存長5.5cm、幅0.4~1.0cm、重さ5.3gを計測する。表面全体は鉄錆が進行しているものの状態は良好である。

4SI140 床下掘形 (Fig.41, Pla.48)

土師器

甌(464) 底部細片資料で端部内外面はヨコナデ、底部外面は刷毛目後ナデ、底部内面はヘラケズリ調整を施す。

4SI150 (Fig.42, Pla.48・49)

須恵器

坏(465・466) 465は口径12.0cmを復元する細片資料で口縁部及び体部内外面はヨコナデ、外底はヘラケズリ調整を施す。466は細片資料で口縁部及び体部内外面はヨコナデ、内底はナデ、外底はヘラケズリ調整を施す。

4SI140

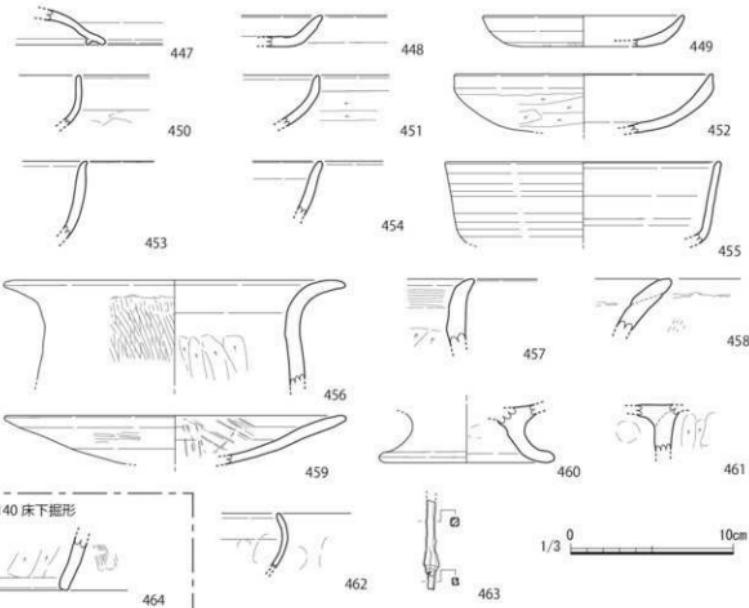


Fig.41 4SI140 出土遺物実測図 (1/3)

ラケズリ調整である。

甕(467) 口縁部細片資料で口縁部外面は叩き、口縁端部及び口縁部内面はヨコナデ、肩部外面は叩き後横方向カキ目、肩部内面は同心円当て具痕跡を認める。

土師器

蓋(468) 口径 18.0 cm を復元する細片資料で口縁部内外面及び口辺部内面はヨコナデ、天井部外面及び口辺部外面は回転ヘラケズリ、天井部内面はナデ調整を施す。

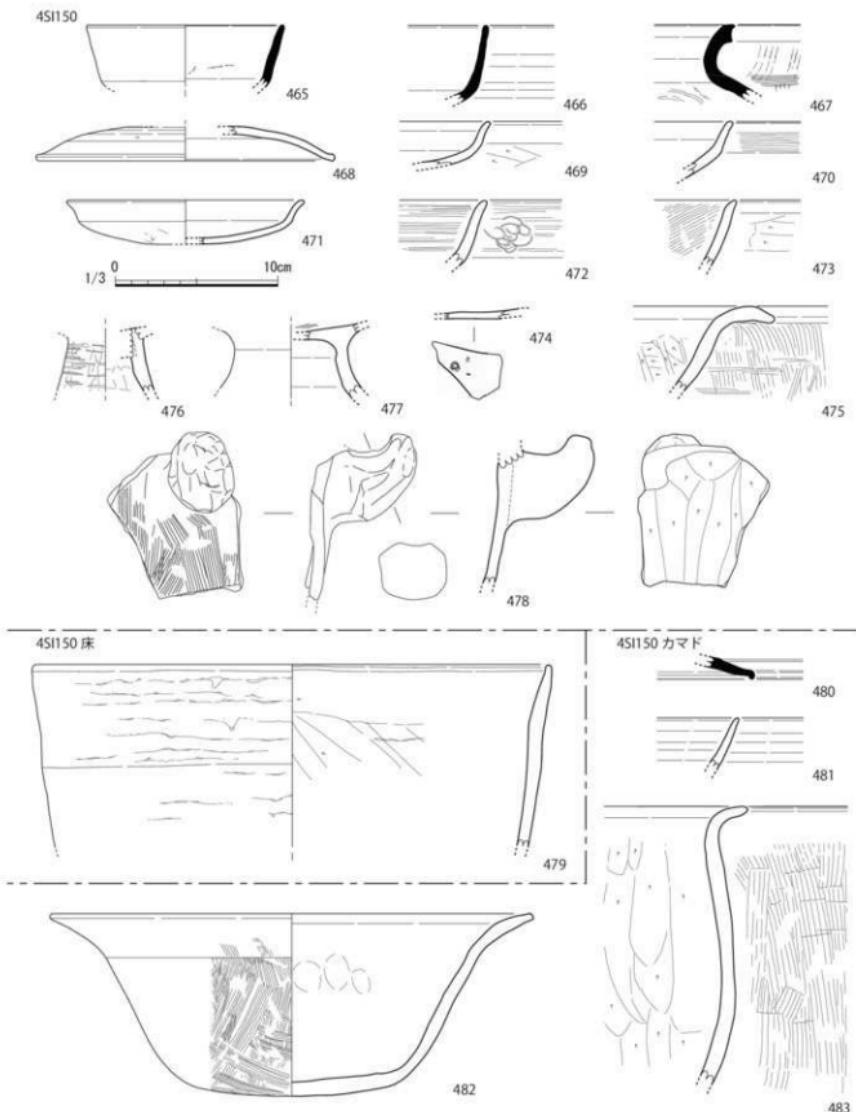


Fig.42 4S1150 出土遺物実測図 (1/3)

丸底皿 (469 ~ 471) 469 は口縁部が僅かに外反する細片資料で口縁部内外面及び底部内面はヨコナデ、外底は手持ちヘラケズリ調整を施す。470 は口縁部細片資料で口縁端部及び内面全体はヨコナデ、口縁部外面は横方向クシ目、外底は手持ちヘラケズリ調整で外面には丹塗りを施す。471 は口径 14.4 cm を復元する破片資料で口縁部は外反する。口縁部内外面はヨコナデ、内底はナデ、外底は手持ちヘラケズリ調整で仕上げる。

丸底杯 (472) 口縁部を残す細片資料で内外面は横方向のヘラミガキ調整で仕上げ、外面に雲渦文状の暗文を施す。色調は暗赤褐色を呈する。

塊 (473) 細片資料で口縁端部はヨコナデ、外面はヘラケズリ、内面は刷毛目調整を認め、外面には丹塗りを施す。色調は暗赤茶色を呈する。

皿 (474) 底部細片資料で内底はヨコナデ、外底は回転ヘラケズリ調整を施し、外底 3箇所に墨痕を認める。

鉢 (475) 口縁部が残る細片資料で長めの口縁部を緩やかに湾曲する。口縁部内外面はヨコナデ、体部外面は刷毛目、体部内面はヘラケズリ調整を施す。

高环 (476・477) 476 は脚部細片資料で外面はヘラケズリ後横方向の細かいミガキ、内面は工具ナデ調整を認め、外面には丹塗りを施す。477 は脚部細片資料で环部内面はナデ後ミガキ、脚部外面はヨコナデ調整を施す。

把手 (478) 細片資料で把手部は工具ナデ、体部外面は刷毛目、体部内面はヘラケズリ調整を認める。

4S1150 床 (Fig.42, Pla.49)

土師器

鉢 (479) 口径 31.6 cm を復元する破片資料で内面には煤が付着する。口縁部内外面はヨコナデ、体部内外面はナデ調整を施す。

4S1150 カマド (Fig.42, Pla.49)

須恵器

蓋 (480) 端部を僅かに屈折する細片資料で口縁部内外面はヨコナデ、口辺部内外面はナデ調整を認める。

土師器

坏 (481) 体部から口縁部にかけて斜方へ直線的に立上がる細片資料で内外面はヨコナデ調整を施す。

鉢 (482) 口径 29.4 cm、底径 12.3 cm、器高 11.2 cm を復元する破片資料で口縁部は緩やかに開く。口縁部内外面はヨコナデ、体部外面は刷毛目、体部内面上位は指頭痕を残すナデ、体部下位から底部にかけての内面は工具ナデ、底部外面はヘラケズリ調整で仕上げる。口縁部内面付近に煤が付着する。

張 (483) 口縁部を残す細片資料で口縁部は緩やかに外反する。口縁部内外面はヨコナデ、体部外面は縱方向刷毛目、体部内面は上位方向ヘラケズリ調整を施す。

4S1160 (Fig.43, Pla.50)

土師器

坏 (484・485) 484 は口縁部細片資料で端部から外面はヨコナデ、内面はナデ調整を認める。485 は底部細片資料で底径 7.0 cm を復元する。体部外面はナデ、体部内面はヨコナデ、体部と底部境から外底にかけては回転ヘラケズリ、内底はナデ調整を施す。

張 (486 ~ 488) 486 は小型壺細片資料で口縁部は弱く外反する。口径 12.2 cm を復元し、口縁部内外面はヨコナデ、体部外面は刷毛目、体部内面はケズリ調整を施す。外面には煤が付着する。487 は素口縁の細片資料で口径は 17.9 cm を復元する。口縁部内外面はヨコナデ、体部外面は刷毛目、体部内面は縱方向のケズリ調整を施す。外面には煤が付着する。488 は口縁部を大きく湾曲する細片資料で口径は 18.6 cm を復元する。口縁部内外面はヨコナデ、体部外面は刷毛目、体部内面は縱方向のケズリ調整を認める。

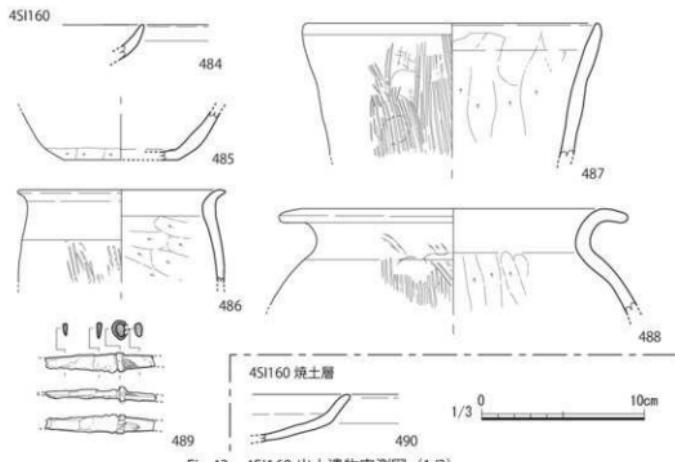


Fig.43 45I160 出土遺物実測図 (1/3)

鉄製品

刀子(489) 刃部と柄部が残存する破片資料で鉄錆が進行するものの状態は良好である。現存長6.7cm、幅は最大で1.25cm、厚さ0.5cm、重さ6.4gを計測する。刃部は片切刃で刃部と柄部の間には輪状金具が取り付けられており、柄部には鞘と考えられる木片が付着する。

45I160 焼土層 (Fig.43、Pla.50)

土師器

皿(490) 口縁部がこる細片資料で口縁部内外面はヨコナデ、外底は手持ちヘラケズリ、内底はナデ調整を施し、内外面の一部に煤が付着する。

45I170 (Fig.44、Pla.50・51)

須恵器

蓋(491) かえりのある細片資料で内外面はヨコナデ調整を施す。

坏(492) 口縁部が残る細片資料で内外面はヨコナデ調整を施し、外面一部にヘラ記号を認める。

壺(493) 体部細片資料で外面は平行文タタキ後横方向のカキ目、肩部内面はヨコナデ、体部内面は同心円文タタキを認める。

土師器

皿(494～497) 494は細片資料で口縁部内外面及び内底はヨコナデ、外底は磨耗のため調整不明である。495は細片資料で口縁部内外面はヨコナデ、内底はナデ、外底は手持ちヘラケズリ調整である。496は細片資料で口縁部内外面及び内底はヨコナデ、外底は手持ちヘラケズリ調整を施す。497は口径15.6cm、器高2.1cmを復元する破片資料で口縁部内外面及び内底はヨコナデ、外底は手持ちヘラケズリ調整を施す。

丸底坏(498～500) 498は口縁部細片資料で内外面はヨコナデ調整を認める。499は口縁部細片資料で内面及び口縁部外面はヨコナデ、外底は手持ちヘラケズリ調整を施す。500は口径13.0cmを復元する細片資料で口縁部内外面はヨコナデ、外底は手持ちヘラケズリ、内底はナデ調整である。

鉢(501) 口縁部を大きく外反させた細片資料で端部は丸く仕上げる。口縁部外面はヨコナデ、体部外面は刷毛目、体部内面は横方向のヘラケズリ調整で仕上げる。

甕(502～506) 502は口縁部が僅かに屈折した細片資料で内面及び口縁部外面はヨコナデ、体部外面はヘラケズリ調整を施す。503は口径16.6cmを復元し、内面はヨコナデ、外面はナデ後刷毛目調整

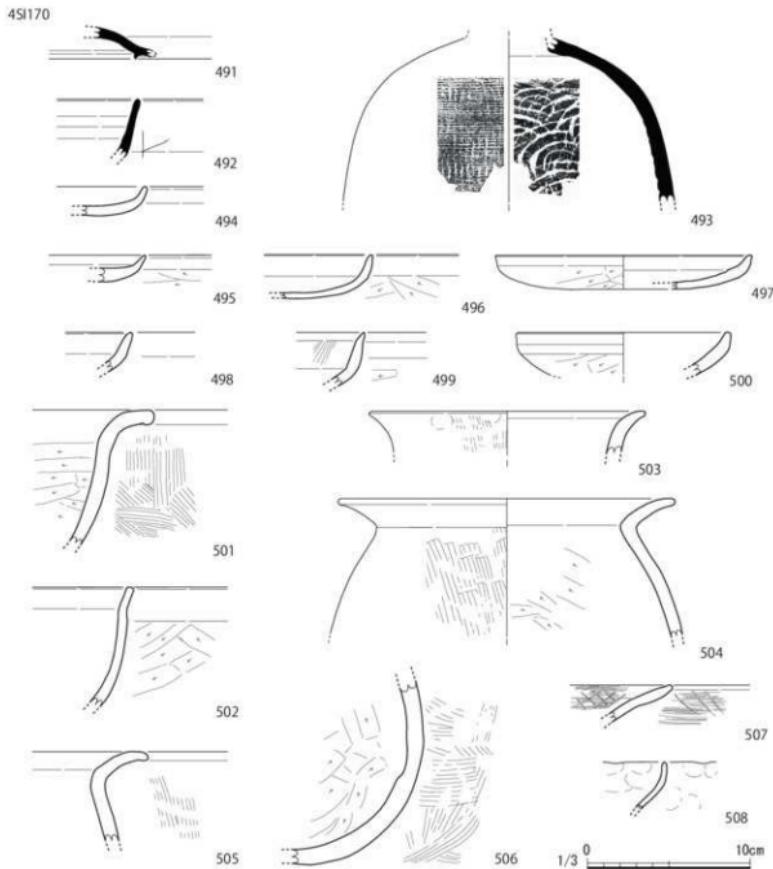


Fig.44 4SI170 出土遺物実測図 (1/3)

を施す。504は口径20.4cmを復元する細片資料で口縁部は「く字状」に屈折する。口縁部内外面はヨコナデ、体部外面は刷毛目、体部内面はヘラケズリ後一部ナデ調整を施す。505は口縁部細片資料で長い口縁部は大きく外反する。口縁部内外面はヨコナデ、体部外面は刷毛目後一部ナデ、体部内面はナデ調整を認める。506は底部細片資料で体部外面はナデ、底部外面は刷毛目、内面はヘラケズリ調整で仕上げる。

高環(507) 环部の口縁部細片資料で端部はヨコナデ、内外面はミガキ調整を施す。

製塩土器

鉢(508) 薄手の口縁部細片資料で内外面は指頭痕を残すナデ調整で仕上げる。

4SI180 (Fig.45, Pla.52・53)

須恵器

蓋(509～514) 509・510はかえりのある口縁部細片資料で内外面はヨコナデ調整を認める。511～513は端部を僅かに屈折する口縁部細片資料で内外面はヨコナデ調整を施す。514は天井中央に扁

平形状つまみを貼付ける細片資料である。つまみ径は 2.4 cm を測り、つまみ部は貼付けに伴うヨコナデ、天井部外面はヘラケズリ、天井部内面はナデ調整を施す。

壺 (515) 口縁部を残す細片資料で内外面はヨコナデ調整である。

壺 (516) 口縁部が大きく開く細片資料で内外面はヨコナデ調整である。

高壺 (517) 脚部細片資料で脚部径は 13.2 cm を復元する。端部を僅かに屈折させ、内外面はヨコナデ調整を施す。

土師器

蓋 (518 ~ 519) 518 は僅かに端部を屈折する細片資料で内外面は磨耗のため調整不明である。519 は端部を屈折させた口縁部細片資料で内外面はヨコナデ調整である。

皿 (520 ~ 521) 520 は端部を僅かに屈折した細片資料で内外面はヨコナデ調整である。521 は口縁部と底部境に稜のある細片資料で口径は 17.8 cm を復元する。口縁部内面はヨコナデ、底部内面はナデ、外面は手持ちヘラミガキ調整を施し、外面には丹塗りを認める。

丸底壺 (522) 全体的に丸味を帯び、口径 9.8 cm を復元する細片資料で口縁部内外面はヨコナデ、体部外面はヘラケズリ、体部内面はヨコナデ一部刷毛目調整を認める。

壺 (523) 底部境から口縁部にかけて斜方へ直線的に立ち上がる細片資料で内外面はヨコナデ調整を認める。

片口鉢 (524) 口縁部が片口を呈する細片資料で口縁端部内外面及び体部外面はヨコナデ、体部内面はヘラケズリ調整を認める。

甕 (525 ~ 527) 525 は口縁端部を僅かに外反する細片資料で口縁部内外面はヨコナデ、体部外面は刷毛目、体部内面はヘラケズリ調整を施す。526 は口縁部を緩やかに外反させた細片資料で口径は 19.0 cm を復元する。口縁部内外面はヨコナデ、体部外面は刷毛目、体部内面はヘラケズリ調整を施す。527 は口縁部を緩やかに外反した細片資料で口縁部内外面はヨコナデ、体部外面はナデ後刷毛目、体部内面はナデ後工具ナデ調整を施す。

高壺 (528) 壺部口径 16.7 cm を復元する細片資料で口縁部内外面及び体部内面はヨコナデ、体部及び底部外面は刷毛目後ヘラケズリ、底部内面はナデ、脚部外面はヘラケズリ、脚部内面はナデ調整を施し、外面一部に丹塗りを認める。

把手 (529) 細片資料で把手表面はナデ調整を認め、体部内面は横方向のナデ調整を施す。

不明 (530) 外面に線刻を残す細片資料で内外面はヘラケズリ調整を施す。

木製品

木炭 (531) 上下部を欠損する細片資料で現存長 4.6 cm、幅 2.2 cm、厚さ 1.7 cm を測る。

4SI18010 ~ 13 層 (Fig.45, Pla.53)

須恵器

蓋 (532) 口縁端部を僅かに屈折する破片資料で口径は 14.8 cm を復元する。天井部外面は回転ヘラケズリ後ナデ、口縁部内外面及び天井部内面はヨコナデ調整を認める。

4SI180 床下掘形 (Fig.45, Pla.53)

土師器

瓶 (533) 底部細片資料で底部内外面及び体部内面はヨコナデ、体部外面はヘラケズリ調整を施す。

4SI200 カマド内 (Fig.45, Pla.53 ~ 54)

土師器

皿 (534 ~ 535) 534 は口縁端部が凹面を呈する細片資料で口縁端部及び内面はヨコナデ、外面は横方向ヘラケズリ調整を認める。535 は口縁部を僅かに外反する細片資料で内外面はヨコナデ調整を施し、外面は丹塗りを認める。

甕 (536) 長い口縁部を緩やかに大きく外反するほぼ完形の資料で口縁部と体部境の外面には 2 条の

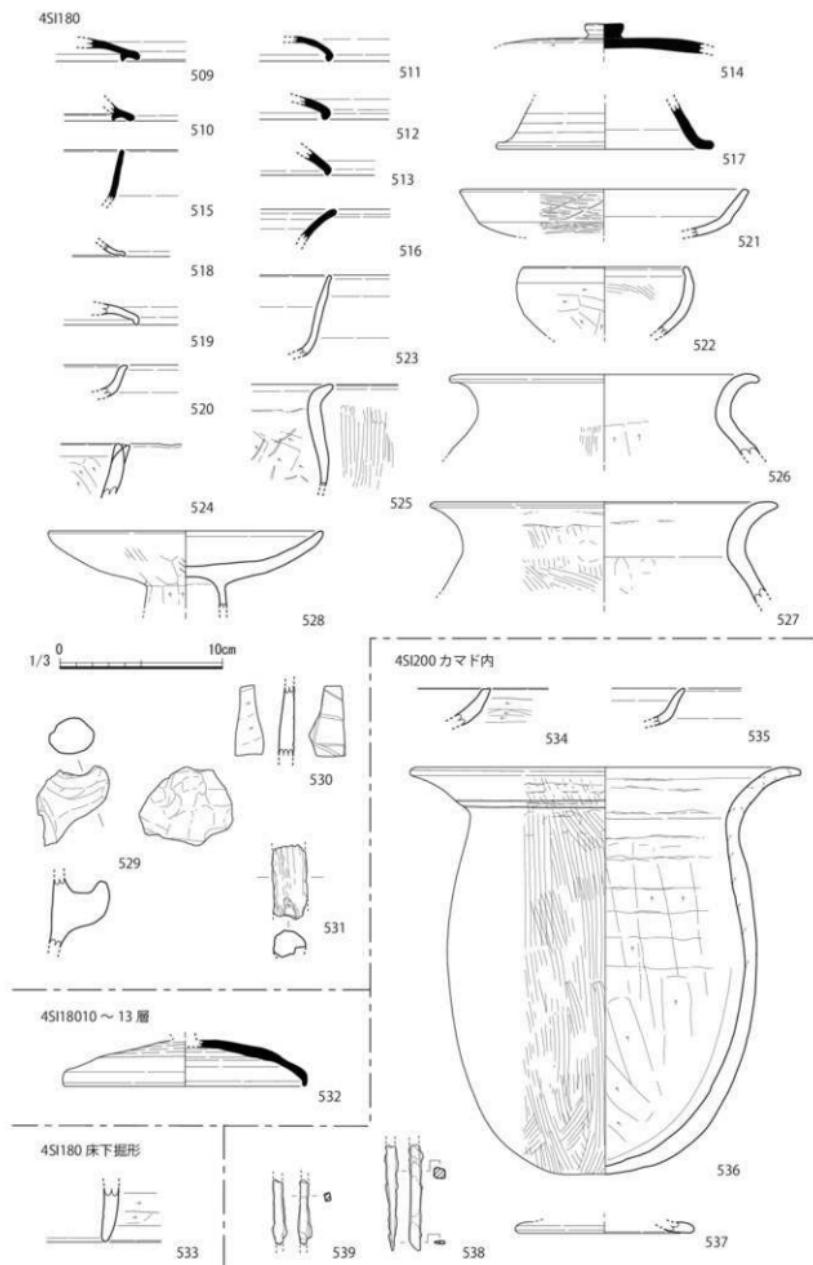


Fig.45 4SI180・200 出土遺物実測図 (1/3)

沈線が施される。口径 24.0 cm、器高 25.0 cm を測る。口縁部外面はヨコナデ、口縁部と体部境の外側は指頭痕を残すナデ後刷毛目、体部から底部におよぶ外面は縱方向刷毛目、体部から底部におよぶ内側はケズリ調整で仕上げる。

高坏 (537) 脚部細片資料で脚部径は 10.6 cm を復元する。外面には丹塗りが施され、調整はヨコナデである。

鉄製品

釘 (538・539) 538 は鉄錆が進行するものの状態は良好である。破片資料で先端は平らに仕上げられ、頭部に近い部分は方形断面形を呈する。現存長 6.5 cm、幅 0.7 cm、厚さ 0.6 cm を測る。539 は方形断面形を呈する細片資料で鉄錆が進行し状態は不良である。上下端部を欠損し、現存長 4.0 cm、幅 0.4 cm、厚さ 0.5 cm を測る。

4SI190 (Fig.46, Pla.54・55)

須恵器

蓋 (540 ~ 542) 540 は天井部と口辺部境に稜が入り、口縁端部を僅かに屈折する。口径 16.0 cm を復元する破片資料で口縁部及び口辺部外面はヨコナデ、天井部外面は回転ヘラケズリ、天井部内面はナデ調整を施す。541 は口縁端部を屈折する細片資料で内外面はヨコナデ調整を認める。542 は口径 14.0 cm を復元する細片資料で端部は極僅かに屈折する。口縁部及び口辺部外面はヨコナデ、天井部外面は回転ヘラケズリ調整を認める。

坏 (543) 斜方へ直線的に立ち上がる口縁部細片資料で内外面はヨコナデ調整を施す。

壺 (544) 薄手の体部細片資料で体部上位外面はヨコナデ、体部下位外面は回転ヘラケズリ、体部下位内面はナデ調整を認める。肩部外面には浅く沈線を施す。

甕 (545) 口縁部細片資料で外面には波状文、2 条の沈線を認める。内外面はヨコナデ調整である。

土師器

丸底坏 (546 ~ 548) 546 は口径 14.0 cm、器高 3.4 cm を復元する破片資料で外底には線刻のヘラ記号を認める。口縁部外面はヨコナデ、内底はナデ調整を認め、外底は磨耗のため不明瞭であるが手持ちヘラケズリ調整と思われる。547 は口径 15.4 cm、器高 4.25 cm を測る破片資料で口縁部外面及び内底はヨコナデ調整を認め、外底は磨耗のため調整不明である。内底には墨書きといい難いが 4 箇所で墨痕を認める。外面は丹塗りか？ 548 は丸味のある細片資料で口縁部外面はヨコナデ、外底は手持ちヘラケズリ、内面は刷毛目調整を施す。

大皿 (549) 底径 16.0 cm を復元する細片資料で口縁部外面はヨコナデ、外底は回転ヘラケズリ、内底はナデ調整で仕上げる。

鍋 (550) 底部細片資料で底径は 6.5 cm を測る。外底は粗いケズリ後一部ナデ、内底は工具ナデ調整を施す。

甕 (551) 口縁部が僅かに外反する破片資料で口径は 15.8 cm を復元する。肩部内外面に 1 条ずつの沈線を認め、口縁部外面はヨコナデ、体部外面は刷毛目、体部内面は工具ナデ調整を施す。口縁部外面には煤が付着する。

土製品

土鍤 (552・553) 552 は上下部を欠損する細片資料で外面はナデ調整である。現存長 2.1 cm、幅 1.15 ~ 1.3 cm、内径 0.5 cm、重さ 2.7 g を計測する。553 は上部を欠損する破片資料で調整はナデである。現存長 3.9 cm、幅 1.35 ~ 1.4 cm、内径 0.45 cm、重さ 6.2 g を計測する。

4SI190 カマド内 (Fig.46, Pla.55)

土師器

坏 (554) 口径 16.4 cm、底径 12.4 cm、器高 3.3 cm を復元する細片資料で内底はナデ調整、この他はヨコナデ調整を施す。

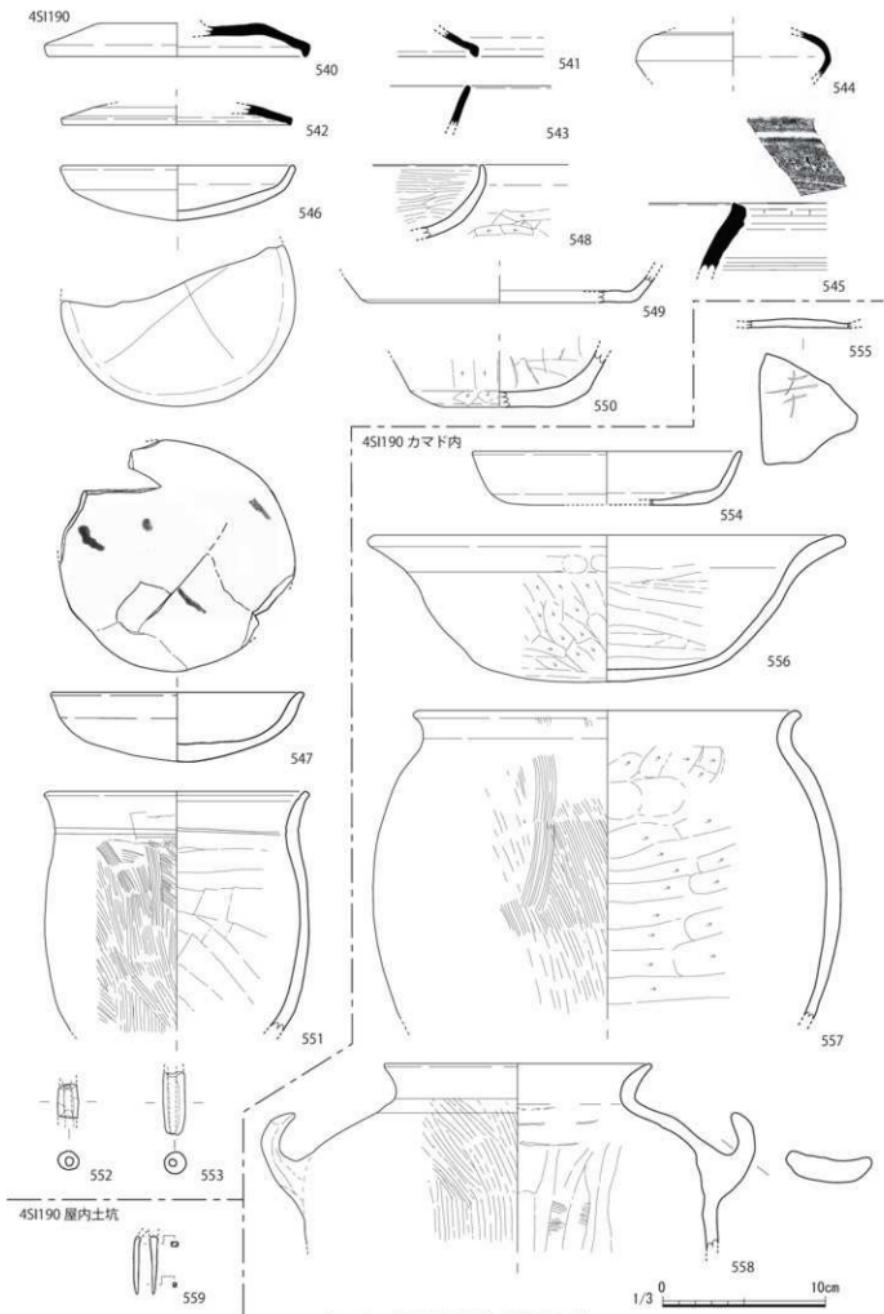


Fig.46 4SI190 出土遺物実測図 (1/3)

坏×皿 (555) 底部細片資料で内底はナデ、外底は回転ヘラケズリ調整を施し、外面には線刻文字を認める。

鉢 (556) 口縁部が緩やかに開く破片資料で口径は 28.7 cm、器高 9.0 cm を復元する。口縁部内外面は指頭痕を残すヨコナデ、体部及び底部外面は細かいケズリ、体部及び底部内面は強い工具ナデ調整で仕上げる。外面には煤が付着する。

甕 (557・558) 557 は体部の張った破片資料で口縁部は短く外反する。口径 23.1 cm を復元し、口縁部内外面はヨコナデ、体部外面は刷毛目、体部内面はケズリ一部ナデ調整を施す。外面には煤が付着する。558 は把手を有する破片資料で口径は 16.3 cm を測る。口縁部内外面はヨコナデ、把手部はナデ、体部外面は刷毛目、体部内面は横方向の刷毛目後強いナデ調整で仕上げ、外面には化粧土が塗られ、内面には煤が付着する。

4SI190 屋内土坑 (Fig.46、Pla.55)

鉄製品

釘 (559) 先端部の細片資料で断面形は方形状を呈する。現存長 3.6 cm、幅 0.4 cm、厚さ 0.3 cm、重さ 1.1 g を計測する。

4SI210 カマド (Fig.47、Pla.55)

須恵器

高环 (560) 脚部細片資料で脚部径は 10.2 cm を復元する。内外面はヨコナデ調整である。

土師器

蓋 (561) 細片資料で口縁端部を屈折した後外反する。口縁部及び口辺部外面はヨコナデ、天井部外面は回転ヘラケズリ、天井部内面はナデ調整を施す。

皿 (562) 口縁部を残す細片資料で口縁部内外面はヨコナデ、外底はケズリ、内底はナデ調整である。

丸底坏 (563) 底部細片資料で外面はミガキ後丹塗り、内面はヨコナデ及びナデ調整を施す。

甕 (564) 口縁部を緩やかに外反させた破片資料で口径は 25.0 cm を復元する。口縁部内外面は指頭痕を残すヨコナデ、体部外面は刷毛目後ナデ、体部内面は縱方向ケズリ調整を施す。

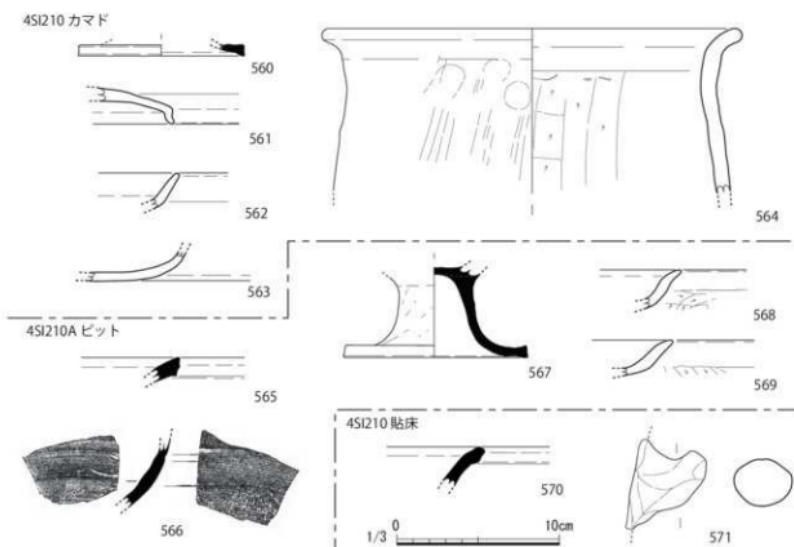


Fig.47 4SI210 出土遺物実測図 (1/3)

4SI210A ピット (Fig.47、Pla.56)

須恵器

甕 (565) 口縁端部細片資料で内外面の調整はヨコナデである。

壺 (566) 体部細片資料で外面には1条の浅い沈線を認める。外面はカキ目、内面はヨコナデ調整を認める。

高环 (567) 脚部破片資料で脚部径は11.3cm、脚部器高は5.6cmを復元する。脚部には絞り痕を認め、内外面はヨコナデ、环底部内外面はナデ調整で仕上げる。

土師器

皿 (568・569) 共に口縁部を残す細片資料で口縁部内外面はヨコナデ、内底はナデ、外底はケズリ調整を認める。

4SI210 貼床 (Fig.47、Pla.56)

須恵器

甕 (570) 口縁端部細片資料で内外面の調整はヨコナデである。

土師器

把手 (571) 細片資料で表面はナデ調整を施す。

掘立柱建物

4SB250 (4SP128) (Fig.48、Pla.56)

土師器

甕 (572) 口縁部が僅かに外反する細片資料で内外面はヨコナデ調整を施す。

4SB250 (4SP131) (Fig.48、Pla.56)

土師器

甕 (573) 口径16.0cmを復元する細片資料で内外面はヨコナデ調整を施す。内面に油煙と思われる煤が付着する。

甕 (574) 口縁部細片資料で外面及び口縁部内外面はヨコナデ、体部内面はヘラケズリ調整を施す。

石製品

砥石 (575) 石材は砂岩で表裏面及び左右側面を砥面とし、両端部を欠損する。表裏面及び右側面は縦方向の使用痕跡を認めるに対し、左側面は横方向の使用痕跡を認め、多面よりも大きく磨り減っていることから研磨率が高い。

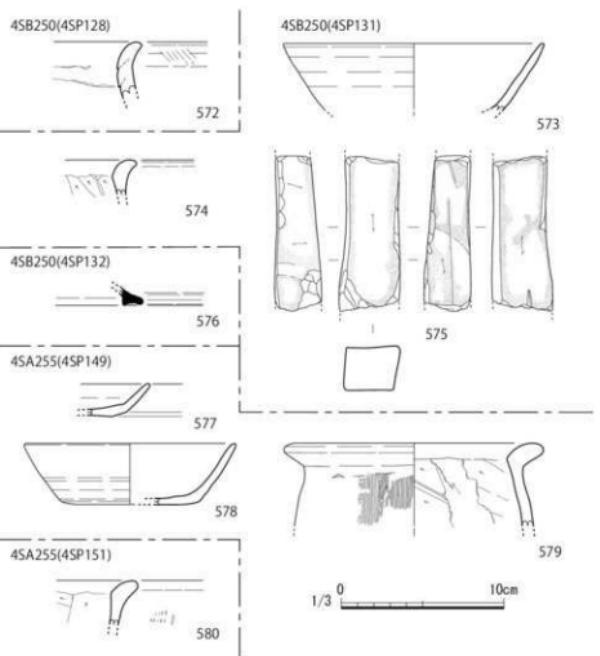


Fig.48 掘立柱建物、柵列出土遺物実測図 (1/3)

いことが覗える。現存長9.55cm、幅3.75cm、厚さ2.60cm、重さ160gを計測する。

4SB250 (4SP132) (Fig.48, Pla.56)

須恵器

蓋(576) かえりのある口縁部細片資料で内外面はヨコナデ調整を認める。

柵列

4SA255 (4SP149) (Fig.48, Pla.56・57)

土師器

皿(577) 口縁部を残す細片資料で口縁部内外面はヨコナデ、内底はナデ、外底は回転ヘラ切り後ヘラケズリ調整を認める。

坪(578) 口径12.8cm、底径8.5cm、器高3.75cmを復元する細片資料で口縁部及び体部内面はヨコナデ、外底は回転ヘラ切り後ヘラケズリ、内底は磨耗のため調整不明である。

甕(579) 口径14.5cmを復元する破片資料で口縁部内外面はヨコナデ、体部外面は縦方向刷毛目、体部内面はケズリ調整を施す。

4SA255 (4SP151) (Fig.48, Pla.57)

土師器

甕(580) 口縁部細片資料で外面及び口縁部内外面はヨコナデ、体部外面は刷毛目、体部内面はヘラケズリ調整を施す。

道路状遺構

西側溝

4SD020 (Fig.49, Pla.57)

土師器

蓋(581) 口縁端部を屈折する細片資料で端部内外面はヨコナデ、口辺部外面はヘラケズリ調整を認める。

4SD020 上層 (Fig.49, Pla.57)

土師器

丸底坪(582) 口縁部を残す細片資料で口縁部内外面はヨコナデ、外底は手持ちヘラケズリ後ナデ、内底はナデ調整を施す。

石器

石鎚(583・584) 583は石材がチャート製で抉りが比較的浅い両面加工の凹基式三角鎚である。先端部を大きく欠損し、左側基端部を僅かに欠く。表面中央にネガティヴ面、裏面中央にポジティブ面を大きく看取し、側辺に連続的にリタッチを加えて刃部とする。現存長1.5cm、最大幅1.5cm、厚さ0.3cm、重さ0.7gを計測する。584は石材が黒曜石製で抉りは深く両面加工の凹基式長脚鎚である。右側脚部を欠損し左側基端部を僅かに欠き、表裏面に細かくリタッチを加える。現存長1.95cm、最大幅0.95cm、厚さ0.4cm、重さ0.6gを計測する。

東側溝

4SD030 (Fig.49, Pla.57)

土師器

丸底坪(585) 細片資料で口縁部内外面及び体部内面はヨコナデ、体部外面及び内底はナデ、外底は手持ちヘラケズリ調整を認める。

4SD030 上層 (Fig.49, Pla.57)

土師器

丸底坪(586) 細片資料で口縁部外面はヨコナデ、口縁部及び体部の内面は刷毛目、体部外面は叩き、外底は手持ちヘラケズリ、内底はヘラケズリ調整で仕上げる。

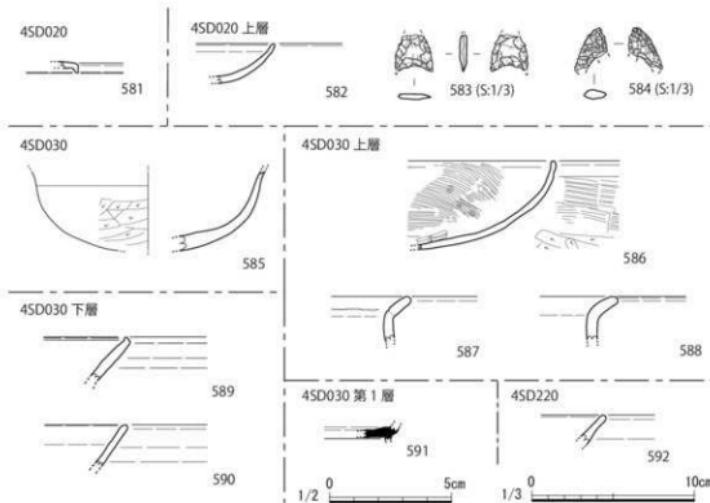


Fig.49 道路状遺構出土遺物実測図 (1/2・1/3)

甕（587・588） 587、588は口縁部が外反する細片資料で共に口縁部内外面はヨコナデ調整を施す。

4SD030 下層 (Fig.49, Pla.57)

土師器

甕（589～590） 589、590は口縁部が斜方へ直線的にのびる細片資料で、共に口縁部内外面はヨコナデ調整を施す。

4SD030 第1層 (Fig.49, Pla.58)

須恵器

壺（591） 高台貼付けの底部細片資料で内外面は貼付けに伴うヨコナデ調整を認める。

4SD220 (Fig.49, Pla.58)

土師器

甕（592） 口縁部が斜方へ直線的にのびる細片資料で、共に口縁部内外面はヨコナデ調整を施す。

溝

4SD010 (Fig.50, Pla.58)

須恵器

壺（593） 底部細片資料で高台径は8.8cmを復元する。断面方形状の高台を貼付け、高台部は貼付けに伴うヨコナデ、外底はヘラ切り後ナデ、内底は不定方向のナデ調整を施す。

壺×瓶（594） 底部細片資料で高台部は貼付けに伴うヨコナデ、底部と体部境の外面は回転ヘラケズリ、内底はヨコナデ調整を認める。

甕（595） 口縁部細片資料で外面には波状文を認める。内外面はナデ及びヨコナデ調整である。

白磁

小皿（596） 口縁部細片資料で淡白茶色の素地に透明度の高い釉薬を薄くかけ淡白灰色に発色する。

土師器

壺（597） 底径7.0cmを復元する細片資料で体部内外面はヨコナデ、外底は回転ヘラケズリ、内底はナデ調整を施す。

甕（598・599） 598、599は共に口縁部細片資料で内外面はヨコナデ調整を施す。

壺（600） 肩部の張った細片資料で内面及び肩部外面はヨコナデ調整を施し、体部外面はミガキ調整と思われる。

土坑

4SK254 (Fig.50, Pla.58)

土師器

甕（601） 口縁部が緩やかに大きく外反する資料で口径 23.8 cm を復元する。口縁部内外面はヨコナデ、体部及び底部外面は刷毛目、体部及び底部内面は縦方向のヘラケズリ調整で仕上げ、外面の一部に煤が付着する。

ピット

4SP008 (Fig.50, Pla.58)

須恵器

皿（602） 口径 17.5 cm、底径 14.9 cm、器高 2.7 cm を測る 4/5 資料で内面及び口縁部外面はヨコナデ、外底は回転ヘラ切り後ナデ調整を施す。粘土巻上げ痕が明瞭に残る。

4SP011 (Fig.50, Pla.58)

須恵器

鉢（603） 口縁部細片資料で口縁端部はヨコナデ、外面上位は叩き、その他は工具ナデ調整を施す。外面に縦方向の線刻（ヘラ記号か？）を認める。

土師器

壺（604） 口縁部細片資料で内外面はヨコナデ調整である。

4SP014 (Fig.50, Pla.58)

土師器

把手（605） 破片資料で表面は指頭痕を残すナデ調整を施す。器面との接合面は凹面である。

4SP018 (Fig.50, Pla.59)

須恵器

蓋（606） 天井部細片資料で天井部外面は回転ヘラケズリ、口辺部外面はヨコナデ、内面は不定方向ナデ調整を施す。

4SP022 (Fig.50, Pla.59)

須恵器

环（607） 高台径 7.9 cm を復元する細片資料で低い高台は体部と底部境より内側に貼り付けられる。体部外面はヨコナデ、高台部は貼付けに伴うヨコナデ、外底は回転ヘラ切り後ナデ、内底は不定方向工具ナデ調整を施す。

4SP023 (Fig.50, Pla.59)

土師器

皿（608） 口径 15.6 cm、底径 12.4 cm、器高 1.55 cm を復元する破片資料で内面及び口縁部外面はヨコナデ、外底は回転ヘラ切りを認める。

环（609・610） 609は口径 13.4 cm、底径 8.6 cm、器高 3.6 cm を復元する破片資料で内面及び口縁部外面はヨコナデ、外底は回転ヘラケズリ調整を施す。610は底部細片資料で底径は 8.4 cm を復元する。内面はナデ、体部外面はヨコナデ、外底はヘラ切りである。

甕（611） 口径 16.2 cm を復元する破片資料で口縁部内外面はヨコナデ、体部内面はケズリ、体部外面は刷毛目を一部で認めるが磨耗及び剥離が著しい。

4SP052 (Fig.50, Pla.59)

須恵器

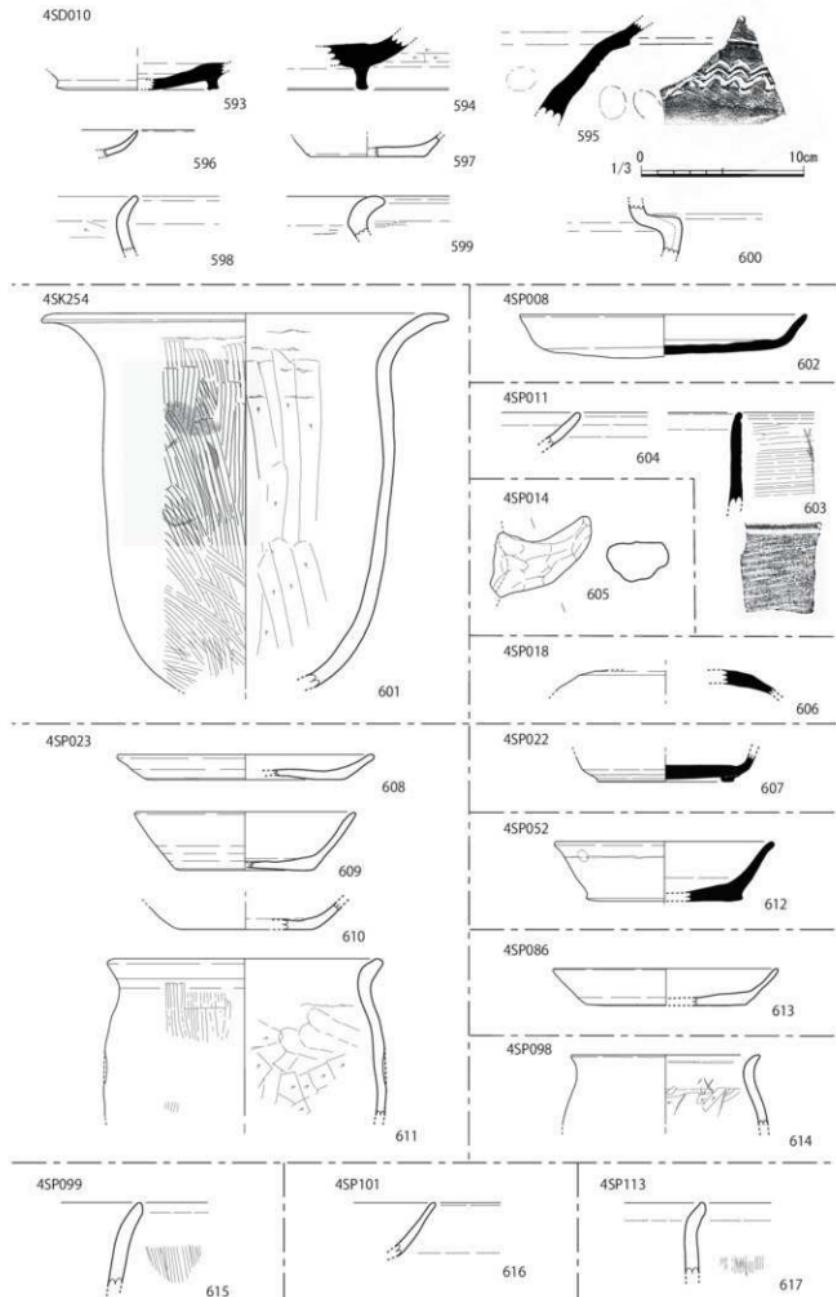


Fig.50 溝、土坑、ピット①出土遺物実測図 (1/3)

坏 (612) 口径 13.2 cm、底径 9.6 cm、器高 3.65 cm を復元する破片資料で口縁部及び体部内外面はヨコナデ、外底はヘラ切り、内底はナデ調整で仕上げる。

4SP086 (Fig.50, Pla.59)

土師器

坏 (613) 口径 13.6 cm、底径 9.8 cm、器高 2.3 cm を復元する破片資料で口縁部及び体部内外面はヨコナデ、外底は回転ヘラ切り後ナデ、内底はナデ調整を施す。

4SP098 (Fig.50, Pla.59)

土師器

甕 (614) 口縁部が僅かに外反する破片資料で口径は 11.6 cm を復元する。口縁部内面はヨコナデ、体部内面はヘラケズリ、外面は磨耗のため調整不明である。

4SP099 (Fig.50, Pla.59)

土師器

鉢 (615) 口縁部細片資料で内面及び口縁部外面はヨコナデ、体部外面は刷毛目調整を施す。

4SP101 (Fig.50, Pla.59)

土師器

坏 (616) 斜方へほぼ直線的に立ち上がる口縁部細片資料で内外面はヨコナデ調整を施す。

4SP113 (Fig.50, Pla.59)

土師器

甕 (617) 口縁部が僅かに外反する細片資料で口縁部外面はヨコナデ、体部外面は刷毛目、体部内面はナデ調整を認める。

4SP146 (Fig.51, Pla.59)

土師器

丸底坏 (618) 口縁部がやや内湾する細片資料で内外面はヨコナデ、外面は丹塗りを施す。

4SP157 (Fig.51, Pla.59)

須恵器

坏 (619) 口縁部断面形が緩やかな S 字状を呈する細片資料で内外面はヨコナデ調整である。

4SP158 (Fig.51, Pla.59)

土師器

甕 (620) 底部細片資料で端部はヨコナデ、外面は不定方向刷毛目、体部内面は粗いヘラケズリ、底部内面は強いナデ調整を施す。外面には煤が付着する。

4SP172 (Fig.51, Pla.60)

須恵器

高坏 (621) 口縁部が斜方へ屈折する細片資料で内外面はヨコナデ調整を認める。

4SP198 (Fig.51, Pla.60)

土師器

皿 (622) 口縁部細片資料で口縁部外面はヨコナデ、内面は外底はヘラケズリ調整を認める。

鉢 (623) 口縁部細片資料で内外面はヨコナデ調整を施す。

4SP201 カマド内 (Fig.51, Pla.60)

土師器

坏 (624) 口径 12.6 cm、底径 8.8 cm、器高 3.6 cm を復元する破片資料で口縁部及び体部の内外面はヨコナデ、外底は回転ヘラ切り後ナデ、内底はヨコナデ調整を施す。

4SP211 (Fig.51, Pla.60)

土師器

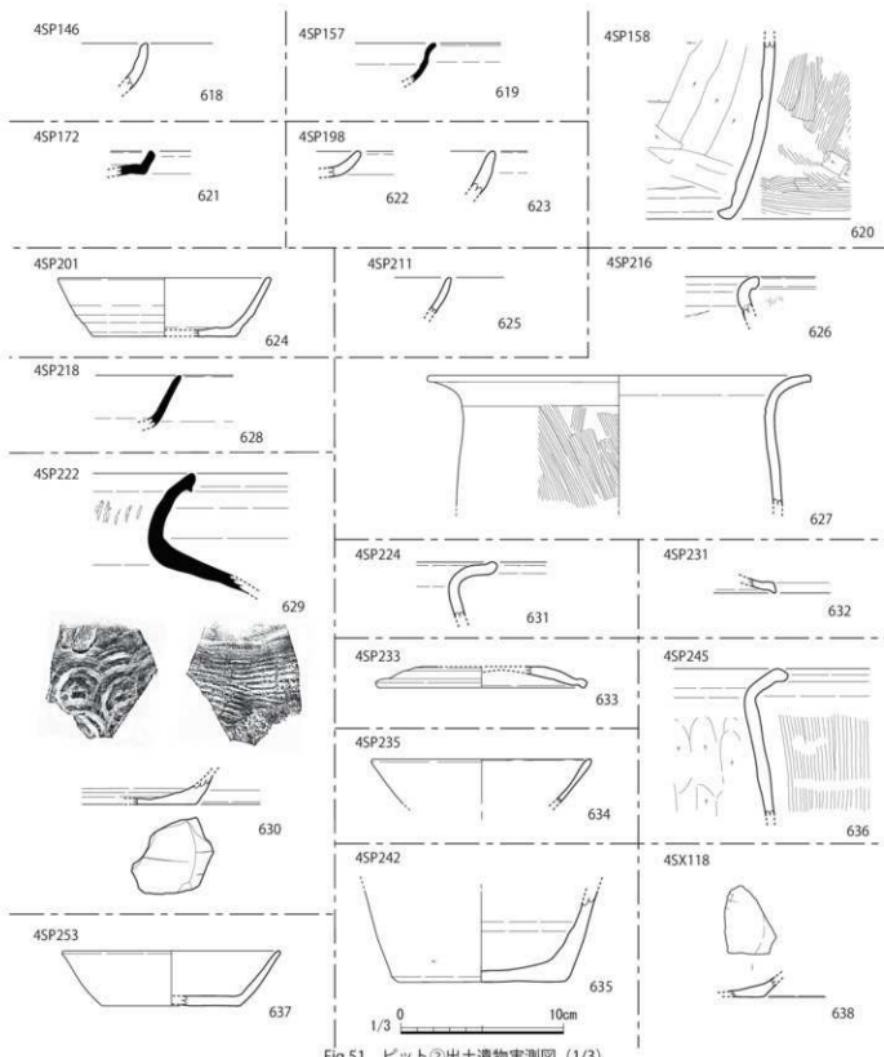


Fig.51 ピット②出土遺物実測図 (1/3)

坏 (625) 口縁部がやや内湾する細片資料で内外面はヨコナデ調整を施す。

4SP216 (Fig.51, Pla.60)

土師器

甕 (626・627) 626 は口縁部が短く外反する細片資料で内面及び口縁部外面はヨコナデ、体部外面は刷毛目調整を認める。627 は口縁部が緩やかに外反する破片資料で内面及び口縁部外面はヨコナデ、体部外面は刷毛目調整を施す。外面には煤が付着する。

4SP218 (Fig.51、Pla.60)

須恵器

壺 (628) 体部から口縁部にかけて斜方へほぼ直線的に立ち上がる細片資料で内外面はヨコナデ調整で仕上げる。

4SP222 (Fig.51、Pla.60)

須恵器

甕 (629) 口縁部を残す破片資料で口縁部内外面はヨコナデ、体部外面は平行文叩き、体部内面は同心円文當て具痕を認める。口縁部内面には工具痕を残す。

土師器

壺 (630) 底部細片資料で内底及び体部外面はヨコナデ、外底は回転ヘラケズリ調整を施し、体部及び底部外面にヘラ記号を認める。

4SP224 (Fig.51、Pla.60)

土師器

甕 (631) 口縁部細片資料で口縁部は長く緩やかに湾曲する。内外面はヨコナデ調整で外面に煤が付着する。

4SP231 (Fig.51、Pla.60)

土師器

蓋 (632) 端部が僅かに屈折する細片資料で内外面はヨコナデ調整を認める。

4SP233 (Fig.51、Pla.60)

土師器

蓋 (633) 口径 12.7 cm を復元する破片資料で天井部外面は回転ヘラケズリ、内面及び口縁部外面はヨコナデ調整で仕上げる。

4SP235 (Fig.51、Pla.60)

土師器

壺 (634) 口縁部が斜方へ立ち上がる細片資料で口径は 13.4 cm を復元する。内外面はヨコナデ調整で内面には煤が付着する。

4SP242 (Fig.51、Pla.60)

土師器

鉢 (635) 底部細片資料で底径は 10.2 cm を復元する。外面はヘラケズリ、内面はヨコナデ一部工具ナデ調整を認める。

4SP245 (Fig.51、Pla.61)

土師器

甕 (636) 口縁部が鋭く外反する破片資料で口縁部内外面はヨコナデ、体部外面は縦方向の刷毛目、体部内面は縦方向のヘラケズリ調整で仕上げる。

4SP253 (Fig.51、Pla.61)

土師器

壺 (637) 口径 13.4 cm 、底径 8.5 cm 、器高 3.4 cm を復元する破片資料で内面及び口縁部外面、体部外面はヨコナデ、外底は回転ヘラケズリ調整で仕上げる。

不明遺構

4SX118 (Fig.51、Pla.61)

土師器

皿×壺 (638) 底部細片資料で体部内外面及び内底はヨコナデ、外底は回転ヘラ切り後ナデ調整で仕上げる。

Fig.-No.	遺物番号	品-番号	遺物名	記憶名	口. 横	表. 横	裏. 横	具. さ	幅	厚さ	重さ	残存	備考
18 - 001	45040	1	墨色器	墨				○	1.00			底面1/4 把手のみ	
18 - 002	45040	2	土師器	把手				○	5.50			口縁1/2	
18 - 003	45040	1 番	土師器	丸底环	○	10.50		○	4.10			口縁器片	
18 - 004	45040	1 番	土師器	环				○	3.30			口縁器片	
18 - 005	45040	1 番	土師器	环				○	4.50			口縁器片	
18 - 006	45040	1 番	土師器	妻	○	15.80		○	5.90			口縁～解説 口縁	
18 - 007	45040	1 番	土師器	墨				○	6.40			底面器片	
18 - 008	45040	1 番	土師器	墨				○	4.50			底面片	
18 - 009	45040	1 番	土師器	妻	○	15.00		○	6.90			口縁1/4	
18 - 010	45040	1 番	土師器	妻				○	4.30			口縁器片	
18 - 011	45040	カツド	土師器	丸底环				○	3.80			破片	
18 - 012	45040	カツド	土師器	墨				○	6.70			口縁器片	外底復元着
18 - 013	45040	床	土師器	妻	○	19.80		○	9.80			口縁～体部 口縁	
18 - 014	45040	床	土師器	妻				○	3.50			口縁器片	
18 - 015	45040	床	土師器	妻	○	18.60		○	9.90			口縁器片	
18 - 016	45040	屋内土坑	土師器	墨	○	14.60		○	2.00			口縁1/3	
18 - 017	45040	屋内土坑	土師器	墨				○	3.20			口縁器片	
18 - 018	45040	屋内土坑	土師器	墨				○	2.80			口縁器片	外底に埋没時の付着物あり
18 - 019	45040	屋内土坑	土師器	墨				○	3.10			口縁墨片	
18 - 020	45040	屋内土坑	土師器	墨				○	2.00			口縁墨片	
18 - 021	45040	屋内土坑	土師器	墨				○	4.60			口縁墨片	
18 - 022	45040	屋内土坑	土師器	墨				○	6.00			口縁墨片	
18 - 023	45040	屋内土坑	土師器	墨	○	10.50		○	6.40			口縁墨片	
19 - 024	45040	第1層	土師器	墨	○	21.80		○	16.50			口縁墨片	
19 - 025	45040	半地層内土 坑(下層)	土師器	环				○	2.90			口縁器片	
19 - 026	45040	半地層内土 坑(下層)	土師器	环×境				○	6.20			口縁部片	
19 - 027	45040	直筒柱穴	土師器	小鉢	○	17.00		○	8.10			口縁～底部 口縁	
20 - 028	45050	第1層	土師器	墨				○	2.20			口縁～体部 少片	
20 - 029	45050	第1層	土師器	墨	○	18.30	○	16.50	○	2.10		口縁～底端 にかけた/8	
20 - 030	45050	第1層	土師器	墨	○	15.00						口縁～底端 にかけた/8	
20 - 031	45050	第1層	土師器	墨	○	15.40		○	2.50			口縁～底端 にかけた/4	
20 - 032	45050	第1層	土師器	墨	○	18.20			3.20			口縁～底端 にかけた/4	内面スス村着
20 - 033	45050	第1層	土師器	丸底环	○	13.30		○	4.35			口縁～底端 にかけた/2	
20 - 034	45050	第1層	土師器	环	○	10.80	○	6.60	3.50			口縁～底端 にかけた/2	
20 - 035	45050	第1層	土師器	墨	○	21.00		○	2.35			口縁～底端 にかけた/4	
20 - 036	45050	第1層	土師器	墨	○	19.50		○	24.30			口縁～体部 上に付着	
20 - 037	45050	第1層	土師器	把手				○	4.40			把手のみ	
20 - 038	45050	第II層	土師器	墨	○	15.00		○	2.50			口縁～底部 にかけた/3	
20 - 039	45050	第II層	土師器	墨	○	15.00		○	3.15			口縁墨片	底端1/2
20 - 040	45050	第II層	土師器	墨	○	16.00			1.70	○	1.35	1.20	1.10
20 - 041	45050	床	土師器	墨				○	6.30			底端墨片	
20 - 042	45050	床	土師器	墨	○	15.10		○	1.95			口縁～底端 にかけた/8	
20 - 043	45050	床	土師器	丸底环	○	15.70		○	3.30			口縁～底端 にかけた/4	
21 - 044	45050	カツド内	土師器	墨	○	13.80		○	4.35			口縁墨片	1/4
21 - 045	45050	カツド内	土師器	深鉢				○	10.80			底端～体部 小片	
21 - 046	45050	カツド内	陶製品	釣				○	3.10	0.80	0.35	1.10	
21 - 047	45050	カツド内	陶製品	釣				○	1.40	0.25	0.20	0.00	内面研磨された軸用鉢
21 - 048	45050	カツド内	陶製品	釣				○	2.30	0.90	0.20	0.50	か?
21 - 049	45050	カツド直側	陶製品	墨	○	14.30	-	2.00				底盤～	
21 - 050	45050	カツド内	土師器	妻	21.10	7.00			15.00			底盤～底部 墨	内面研磨着
21 - 051	45050	カツド西側	土師器	丸底环				○	3.70			口縁～体部 にかけた/8	口縁墨片あり
21 - 052	45050	カツド西側	土師器	妻	○	22.80		○	10.90			口縁墨片	
21 - 053	45050	カツド西側	土師器	妻	○	23.40		○	13.20			口縁墨片小片 底盤1/4	
21 - 054	45050	カツド西側	土師器	移動式カツド				○	5.75			口縁～体部 にかけた/8	
21 - 055	45050	カツド西側	土師器	把手				○	4.55			把手のみ	
21 - 056	45050	北東壁内	土師器	墨×许				○	1.80			口縁～体部 小片	
21 - 057	45050	北東壁内	土師器	墨	○	16.20		○	12.50			口縁～体部 にかけた/2	
22 - 058	45060	第I層	土師器	丸底环				○	2.20			破片	
22 - 059	45060	第I層	土師器	墨				○	2.70			口縁墨片	
22 - 060	45060	カツド内	土師器	妻	○	22.60		22.80				口縁墨片	
22 - 061	45060	カツド内	土師器	墨				○	6.50			口縁墨片	
22 - 062	45070	カツド内	土師器	丸底环				○	3.40			墨片	
22 - 063	45070	1	土師器	丸底环	○	18.40		○	5.40			口縁～体部 1/3	
22 - 064	45080	1	土師器	墨				○	1.70			口縁墨片	
22 - 065	45090	34	陶製品	环				○	3.40			口縁墨片	
22 - 066	45090	35	土師器	墨				○	3.40			口縁墨片	
23 - 067	45090	2	陶製品	墨	○	2.20	○	1.90				墨片	
23 - 068	45090	3	陶製品	环	○	3.50						墨片	
23 - 069	45090	4	土師器	丸底环	○	2.50						墨片	
23 - 070	45090	4	土師器	丸底环	○	2.80						墨片	

Tab.8 出土遺物観察表

Fig. No.	遺物名	形・量	遺物名	口 径	底 径	深 度	基 さ	幅	厚 さ	重 さ	現 在	備 考
23 - 071	遺物名	8	土師器	丸底片		○ 16.60	○ 3.20				縁片	
23 - 072	遺物名	11	土師器	丸底片	○ 16.60	○ 4.20					口縁1/2弱	
23 - 073	遺物名	6	土師器	丸底片		○ 2.70					縁片	
23 - 074	遺物名	7	土師器	丸底片		○ 3.40					縁片	
23 - 075	遺物名	3	土師器	丸底片	○ 13.40	○ 4.50					1/2弱	
23 - 076	遺物名	9	土師器	丸底片	○ 16.60	○ 6.00					口縁1/4弱	
23 - 077	遺物名	36	土師器	丸底片	○ 21.40	○ 11.70					口縁～全体 1/2弱	
23 - 078	遺物名	10	土師器	高杯			○ 4.20				縁片1/2弱	
24 - 079	遺物名	15	土師器	高杯			○ 1.00				縁片縦片	
24 - 080	遺物名	14	土師器	高杯	○ 17.80	○ 1.75					1/4弱	
24 - 081	遺物名	19	土師器	杯	○ 6.10	○ 2.00					底部1/4弱	
24 - 082	遺物名	13	土師器	杯	○ 14.00	○ 9.30	○ 5.85				1/4	
24 - 083	遺物名	20	土師器	杯	○ 14.40	○ 10.00	○ 6.50				1/2弱	
24 - 084	遺物名	23	土師器	杯			○ 9.00				縁片1/2弱	
24 - 085	遺物名	24	土師器	杯			○ 9.00				縁片	外玉丹赤色
24 - 086	遺物名	22	土師器	丸底片			○ 2.60				縁片	外玉丹赤色
24 - 087	遺物名	12	土師器	丸底片			○ 3.00				縁片	
24 - 088	遺物名	18	土師器	丸底片			○ 6.00				口縁縦片	
24 - 089	遺物名	25	土師器	壺			○ 8.20				口縁～全体 上位灰片	
24 - 090	遺物名	24	土師器	壺	○ 14.40	14.10					1/2弱	
24 - 091	遺物名	21	土師器	壺	○ 18.40	14.10					1/2弱	
24 - 092	遺物名	6	土師器	壺			○ 6.00				縁片縦片	
24 - 093	遺物名	26	土師器	壺			○ 6.00				底部破片	
24 - 094	遺物名	12	土師器	壺			○ 2.10				縁片	
24 - 095	遺物名	29	土師器	壺			○ 12.40				新底破片	
24 - 096	遺物名	30	土師器	壺	○ 15.60	○ 5.75					1/4弱	
24 - 097	遺物名	28	土師器	壺			○ 3.10				口縁縦片	
24 - 098	遺物名	32	土師器	丸底片	○ 11.90	○ 2.00					1/2弱	
24 - 099	遺物名	33	土師器	壺	○ 16.30	○ 5.40					1/4弱	
25 - 100	遺物名	31	土師器	丸底片		○ 9.60	○ 5.10				縁片1/3	
25 - 101	遺物名	44	土師器	丸底片			○ 0.75				口縁縦片	
25 - 102	ES106	22	土師器	壺	○ 15.60	○ 5.40					1/2	
25 - 103	ES106	11	土師器	壺	○ 11.00	○ 1.75					口縁1/6	
25 - 104	ES106	9	土師器	壺		○ 1.20					口縁縦片	
25 - 105	ES106	12	土師器	壺		○ 1.00					口縁縦片	
25 - 106	ES106	10	土師器	壺		○ 0.70					口縁縦片	
25 - 107	ES106	8	土師器	壺		○ 2.70					口縁縦片	
25 - 108	ES106	14	土師器	壺	○ 13.70	○ 8.10	○ 4.45				底部1/4	
25 - 109	ES106	20	土師器	壺	○ 8.20	○ 2.50					底部1/3	
25 - 110	ES106	7	土師器	壺		○ 2.40					底部破片	
25 - 111	ES106	13	土師器	壺		○ 2.40					新底破片	
25 - 112	ES106	25	土師器	壺		○ 2.80					縁片	
25 - 113	ES106	24	土師器	壺		○ 10.90					縁片	
25 - 114	ES106	2	土師器	壺		○ 1.40					縁片	
25 - 115	ES106	3	土師器	壺		○ 1.40					縁片	
25 - 116	ES106	4	土師器	壺	○ 1.00						口縁1/6	
25 - 117	ES106	1	土師器	小瓶	○ 9.10	○ 7.00	○ 1.00				瓶片	
25 - 118	ES106	18	土師器	杯	○ 13.50	○ 9.10	○ 3.70				底部1/3	
25 - 119	ES106	17	土師器	杯	○ 13.40	○ 8.90	○ 3.80				底部1/2	口縁部内面に復付着
25 - 120	ES106	15	土師器	杯	○ 8.00	○ 4.50	○ 4.80				底部1/2	
25 - 121	ES106	16	土師器	大杯	○ 12.00	○ 1.00					底部1/2	
25 - 122	ES106	21	土師器	杯	○ 9.50	○ 1.00					底部1/2	
25 - 123	ES106	5	土師器	杯		○ 5.00					底部1/2	
25 - 124	ES106	19	土師器	壺		○ 5.40					口縁縦片	
25 - 125	ES106	23	土師器	壺	○ 22.40	○ 4.20					1/2	
25 - 126	ES106	6	土師器	土瓶		○ 4.10	1.60	1.45	9.00			
26 - 127	ES106	34	土師器	杯	○ 6.50	○ 1.50					底部1/8	
26 - 128	ES106	35	土師器	壺	○ 8.60	○ 7.20					底部1/4	
26 - 129	ES106	37	土師器	壺	○ 10.40	○ 0.90					底部1/6	底面にヘラ印あり
26 - 130	ES106	36	土師器	小瓶	○ 9.60	○ 1.10					底部1/6	底面に墨書きあり
26 - 131	ES106	38	土師器	杯	○ 11.60	○ 3.80					底部1/8	
26 - 132	ES106	30	土師器	蓋×瓶		○ 5.80					縁片	
26 - 133	ES106	28	土師器	壺	16.70	12.50	2.10				口縁底瓶 内面に墨書きあり	
26 - 134	ES106	26	土師器	壺	○ 16.60	○ 12.00	2.00				底部2/3	内面に墨書きあり
26 - 135	ES106	29	土師器	壺		9.80	○ 0.70				底部2/3	内面ヘラ印あり
26 - 136	ES106	27	土師器	壺	○ 24.00		○ 9.90				口縁1/6	
26 - 137	ES106	31	土師器	壺	○ 18.20		○ 6.50				口縁1/6	
26 - 138	ES106	33	土師器	壺	○ 20.40		○ 6.50				口縁1/4	
26 - 139	ES106	35	土師器	把手		○ 3.20					把手のみ	
26 - 140	ES106	43	土師器	把手	○ 15.40	○ 8.00	○ 6.10				1/3	二重構造
26 - 141	ES106	41	土師器	壺		○ 8.20					口縁縦片	
26 - 142	ES106	40	土師器	把手	○ 17.60	○ 11.10					口縁3/4	
26 - 143	ES106	42	土師器	壺	○ 24.60	○ 7.10					口縁1/6	
26 - 144	ES106	39	土師器	壺		18.80	○ 13.20				口縁3/4	
27 - 145	ES106	3	土師器	壺	○ 11.80	○ 0.72					口縁縦片	
27 - 146	ES106	2	土師器	壺		○ 3.00					口縁縦片	
27 - 147	ES106	1	土師器	壺		○ 1.90					口縁縦片	
27 - 148	ES106	5	土師器	壺		○ 10.00	○ 1.10				口縁縦片	
27 - 149	ES106	6	土師器	壺		○ 12.00	○ 1.10				口縁縦片	
27 - 150	ES106	12	土師器	壺	○ 7.40	○ 1.00					口縁縦片	
27 - 151	ES106	7	土師器	壺		○ 2.70					口縁縦片	
27 - 152	ES106	8	土師器	壺		○ 2.70					口縁縦片	
27 - 153	ES106	10	土師器	壺		○ 6.00					口縁縦片	
27 - 154	ES106	16	土師器	壺		○ 1.30					口縁縦片	
27 - 155	ES106	9	土師器	壺	○ 21.20		○ 8.50				1/4弱	断面の3/4一部黒色
27 - 156	ES106	11	土師器	壺		○ 7.25					底部縦片	
27 - 157	ES106	17	土師器	壺		○ 2.15					口縁縦片	
27 - 158	ES106	18	土師器	丸底片	○ 15.80	○ 3.80					口縁縦片	
27 - 159	ES106	14	土師器	丸底片	○ 13.00	○ 2.60					口縁3/4	
27 - 160	ES106	13	土師器	丸底片	○ 7.60	○ 2.00					口縁縦片	
27 - 161	ES106	16	土師器	丸底片		○ 12.30					口縁縦片	
27 - 162	ES106	15	土師器	丸底片		○ 1.50					口縁縦片	
27 - 163	ES106	19	土師器	丸底片	○ 15.80	○ 1.50					口縁縦片	
27 - 164	ES106	20	土師器	丸底片		○ 4.10					縁片	
28 - 165	ES106	52	土師器	壺	○ 20.10	3.90					口縁丸井 縁片が4つ1/4	

Tab.9 出土遺物観察表

Pg.-No.	遺物番号	R.-番号	遺物名	部機名	口 径	底 径	脚 高	其 他	幅	厚さ	重さ	現 在	備考
28 - 166	451120	33	須恵器	蓋	○ 20.80		○ 1.45					口縁～大舟 頂にかげ/6 つまみ脚と体 舟小片	小動物供瓶
28 - 167	451120	47	須恵器	蓋		△付	○ 2.20						
28 - 168	451120	48	須恵器	蓋	15.40	△付	2.45						
28 - 169	451120	39	須恵器	蓋	○ 14.50		○ 1.90						
28 - 170	451120	37	須恵器	蓋	○ 12.50		○ 1.65						
28 - 171	451120	46	須恵器	蓋	12.10	△付 1.8	2.75					口縁～灰井 頂にかげ/5	
28 - 172	451120	41	須恵器	蓋	○ 10.50	△付	○ 1.65					口縁～天井 頂にかげ/3	
28 - 173	451120	38	須恵器	蓋	○ 10.70		○ 1.20					口縁～天井 頂にかげ/3	
28 - 174	451120	45	須恵器	蓋		△付 1.8	○ 1.50					つまみ脚と口 縁～天井部 にかげ/2灰 被、天井落 小片	
28 - 175	451120	44	須恵器	蓋		△付	○ 1.00					つまみと天井 部小片	
28 - 176	451120	51	須恵器	蓋		△付	○ 2.10					体調小片	
28 - 177	451120	51	須恵器	蓋		△付	○ 1.10					白練器小片	
28 - 178	451120	52	須恵器	蓋		△付	○ 1.00					白練器小片	
28 - 179	451120	35	須恵器	蓋		△付	○ 2.20					白練器小片	
28 - 180	451120	32	須恵器	蓋		△付	○ 1.65					白練器小片	
28 - 181	451120	34	須恵器	蓋		△付	○ 1.00					白練器小片	
28 - 182	451120	60	須恵器	大皿		13.60	○ 1.30					高台陶/6	
28 - 183	451120	54	須恵器	坪	○ 9.80	6.40	3.25					高台陶/3	
28 - 184	451120	56	須恵器	坪		○ 6.00	○ 1.40					白練器/4	
28 - 185	451120	42	須恵器	坪			○ 3.50					須恵器/4	
28 - 186	451120	50	須恵器	坪			○ 3.50					白練器/4	
28 - 187	451120	43	須恵器	蓋			○ 2.85					白練器小片	
28 - 188	451120	30	須恵器	高坪			○ 1.40					白練器小片	
28 - 189	451120	57	須恵器	坪			○ 5.90					白練器小片	
28 - 190	451120	56	須恵器	蓋			○ 9.70					白練器小片	
28 - 191	451120	59	須恵器	坪			○ 5.25					白練器小片	
28 - 192	451120	49	須恵器	水瓶	○ 3.90		○ 3.35					口縁～口頭 部にかげて 1/4	
28 - 193	451120	3	土師器	蓋			○ 2.30					白練器小片	
28 - 194	451120	4	土師器	蓋			○ 1.80					白練器小片	
28 - 195	451120	9	土師器	蓋	○ 14.60		2.80					白練器小片	
28 - 196	451120	6	土師器	蓋			○ 2.60					白練器/4	
28 - 197	451120	8	土師器	蓋	○ 16.80		○ 3.60					白練器～体調 にかげ/8	
28 - 198	451120	2	土師器	丸底坪			○ 2.80					白練器小片	
28 - 199	451120	53	土師器	丸底坪	○ 18.50		○ 5.50					白練器小片	1/4
28 - 200	451120	1	土師器	丸底坪			○ 3.50					白練器～体調 小片	
28 - 201	451120	12	土師器	丸底坪	○ 15.50		○ 5.30					白練器～体調 にかげ/8	
28 - 202	451120	7	土師器	丸底坪	○ 15.60		○ 4.15					白練器～体調 にかげ/8	
28 - 203	451120	18	土師器	坪			○ 4.05					白練器小片	
28 - 204	451120	16	土師器	跡			○ 5.50					白練器小片	
28 - 205	451120	13	土師器	蓋	○ 26.60		○ 6.80					白練器～体調 にかげ/5	
29 - 206	451120	19	土師器	蓋	○ 12.10		○ 5.15					白練器～体調 にかげ/5	
29 - 207	451120	24	土師器	蓋	○ 13.00		○ 5.70					白練器～体調 にかげ/8	
29 - 208	451120	23	土師器	蓋	○ 15.80		○ 6.70					白練器～体調 にかげ/4	
29 - 209	451120	14	土師器	蓋			○ 6.50					白練器～体調 にかげ/4	
29 - 210	451120	25	土師器	蓋	○ 23.60		○ 10.90					白練器～体調 にかげ/4	
29 - 211	451120	17	土師器	蓋	○ 25.20		○ 8.05					白練器～体調 にかげ/4	
29 - 212	451120	15	土師器	蓋	○ 18.60		○ 4.30					白練器/4	
29 - 213	451120	26	土師器	蓋	○ 29.40		○ 12.10					白練器～体調 にかげ/8	
29 - 214	451120	27	土師器	蓋	○ 21.00		○ 14.20					白練器～体調 にかげ/6	
29 - 215	451120	10	土師器	蓋			○ 3.40					白練器小片	
29 - 216	451120	11	土師器	蓋			○ 3.15					白練器小片	
29 - 217	451120	21	土師器	蓋			○ 4.70					須恵小片	
29 - 218	451120	22	土師器	蓋			○ 5.20					須恵小片	
29 - 219	451120	29	土師器	蓋		8.20	○ 3.20					須恵のみ	
29 - 220	451120	61	土師器	蓋			○ 4.45					体調小片	
29 - 221	451120	30	土師器	△付式カマツ								細片	
29 - 222	451120	31	土師器	不明			○ 1.40					白練器小片	
29 - 223	451120	28	黒土土器A	坪			○ 3.35					白練器～体調 にかげ/6	
30 - 224	451120 I 番	63	須恵器	高坪			○ 2.25					白練器～体調 にかげ/6	
30 - 225	451120 I 番	62	土師器	土鍬			○ 3.40	1.85	1.10	3.50		白練器小片	
30 - 226	451120 II 番	67	須恵器	蓋		○ 2.95						白練器小片	
30 - 227	451120 II 番	64	須恵器	蓋			○ 2.00					白練器小片	
30 - 228	451120 II 番	66	須恵器	蓋			○ 1.75					白練器小片	
30 - 229	451120 II 番	69	須恵器	蓋	○ 16.80		○ 2.00					白練器小片	
30 - 230	451120 II 番	68	須恵器	蓋	○ 13.00		1.90					白練器～丸底 部にかげ/1.4	

Tab.10 出土遺物観察表

Fig. No.	遺物番号	形・量	遺物名	器種名	口 径	底 径	深 度	基 さ	幅	厚 さ	重 さ	現 存	備 考
30 - 231	451120 旦型	65	須恵器	盞			○ 1.00					口縁部小片	
30 - 232	451120 旦型	71	須恵器	杯			○ 2.80					口縁部小片	
30 - 233	451120 旦型	72	須恵器	杯			○ 3.30					口縁部小片	
30 - 234	451120 B型	70	須恵器	坪			○ 高台 径10.6	○ 1.30				高台部1/4	
30 - 235	451120 B型	75	土師器	甌			○ 15.40	○ 1.65				底部1/3体 部1/2	
30 - 236	451120 B型	73	土師器	坪			○ 21.30					口縁部1/4	
30 - 237	451120 B型	74	土師器	坪			○ 3.00					口縁～体部 小片	
30 - 238	451120 B型	77	土師器	小林	○ 13.60		○ 5.20					口縁～体部 にかけ1/4	
30 - 239	451120 B型	76	土師器	甌			○ 2.25					口縁部小片	背面保有者
30 - 240	451120 B型	80	土師器	甌			○ 6.30					口縁部小片	
30 - 241	451120 B型	78	土師器	甌			○ 10.50					口縁部小片	
30 - 242	451120 B型	79	土師器	甌			○ 4.90					体部1/3	
30 - 243	451120 B型	85	土師器	甌			○ 1.60					口縁部小片	
30 - 244	451120 丸付近	87	須恵器	坪			○ 2.05					底部～体部 にかけ1/4	
30 - 245	451120 丸付近	88	土師器	坪	12.70	9.30	3.40					口縁部～ 欠損	背面保有者
30 - 246	451120 丸付近	86	土師器	坪			○ 4.50					口縁部小片	
30 - 247	451120 丸付近	89	土師器	甌			○ 11.30					口縁～底部 にかけ1/4	
30 - 248	451120 丸付近	90	土師器	把半斗笠	○ 24.60		○ 16.40					口縁部～ 底部	
30 - 249	451120 丸付近	91	土師器	把半斗笠	○ 25.70		○ 15.40					口縁部1/2	
30 - 250	451120 丸付近	93	銅製品	鏡			○ 6.40	3.00	0.50	11.40		口縁部小片	
30 - 251	451120 丸付近	94	銅製品	不明			○ 6.15	1.00	0.50	6.80		口縁部～底部 にかけ1/4	
30 - 252	451120 丸付近	92	銅製品	釣			○ 9.80	1.30		13.10		口縁部～底部 にかけ1/4	
31 - 253	451120 カドリ	82	須恵器	甌	○ 18.20		○ 2.00					口縁部1/2	
31 - 254	451120 カドリ	81	土師器	甌			○ 1.15					口縁部～底部 にかけ1/4	
31 - 255	451120 カドリ	84	土師器	甌	○ 16.00		○ 9.75					口縁部1/2	背面保有者
31 - 256	451120 カドリ	83	土師器	甌	○ 17.00		○ 8.40					口縁部小片	
32 - 257	451130	62	須恵器	甌			○ 1.30					口縁部1/4	
32 - 258	451130	72	須恵器	甌			○ 3.75					底部1/4	
32 - 259	451130	65	須恵器	甌			○ 14.65	2.00				約1.3	内面研磨軋削痕か?
32 - 260	451130	50	須恵器	甌			○ 1.30					底部鏡面	
32 - 261	451130	48	須恵器	甌			○ 1.80					底部鏡面	
32 - 262	451130	49	須恵器	甌			○ 1.25					底部鏡面	
32 - 263	451130	47	須恵器	甌			○ 1.25					底部鏡面	
32 - 264	451130	63	須恵器	甌			○ 18.00	○ 1.35				1/4回	
32 - 265	451130	60	須恵器	甌			○ 12.20	○ 1.05				1/4回	外面上墨痕?
32 - 266	451130	59	須恵器	甌			○ 10.10	○ 2.00				底部1/4回	
32 - 267	451130	61	須恵器	甌			○ 9.80	○ 2.70				底部1/4回	
32 - 268	451130	71	須恵器	甌			○ 14.00	○ 9.00	4.70			1/4回	
32 - 269	451130	55	須恵器	甌			○ 2.50					底部鏡片	
32 - 270	451130	66	須恵器	坪	○ 13.60	○ 10.00	○ 4.75					1/4回	
32 - 271	451130	69	須恵器	坪	○ 12.80	○ 8.40	3.50					1/3回	
32 - 272	451130	67	須恵器	坪			○ 10.00	○ 2.10				底部1/4	
32 - 273	451130	68	須恵器	坪	○ 15.00	○ 10.60	4.20					1/3回	
32 - 274	451130	58	須恵器	甌	○ 17.80	○ 16.30	○ 2.60					1/4回	
32 - 275	451130	52	須恵器	高杯			○ 1.60					底部鏡片	
32 - 276	451130	53	須恵器	高杯	○ 24.00		○ 1.80					底部鏡片	
32 - 277	451130	54	須恵器	高杯	○ 21.00		○ 1.60					底部鏡片1/4回	
32 - 278	451130	64	須恵器	高杯	○ 21.60		○ 1.70					底部鏡片1/4回	
32 - 279	451130	51	須恵器	高杯	○ 11.00	○ 1.00						底部1/4回	
32 - 280	451130	57	須恵器	甌			○ 2.50					底部鏡片	
32 - 281	451130	70	須恵器	甌			○ 4.60					鏡片	
32 - 282	451130	56	須恵器	甌			○ 1.00					鏡部鏡片	
32 - 283	451130	77	須恵器	瓶	○ 12.60		○ 28.10					体部1/3欠損	
33 - 284	451130	27	土師器	甌	○ 19.80		○ 2.00					底部1/4回	
33 - 285	451130	23	土師器	支坪			○ 1.10					體部1/4回	
33 - 286	451130	30	土師器	支坪			○ 1.40					體部部片	
33 - 287	451130	22	土師器	甌×坪			○ 3.00					鏡片	
33 - 288	451130	26	土師器	甌×坪	○ 14.00		○ 3.10					1/2回	丹波り
33 - 289	451130	19	土師器	甌×坪	○ 13.10		○ 2.70					1/4回	
33 - 290	451130	78	土師器	甌×坪	○ 16.20	14.40	3.10					1/3	重蓋
33 - 291	451130	25	土師器	甌×坪	○ 14.40		○ 2.40					体部1/4	
33 - 292	451130	28	土師器	甌×坪	○ 16.00		○ 3.20					1/4回	
33 - 293	451130	35	土師器	甌×坪			○ 0.90					鏡片	
33 - 294	451130	20	土師器	坪			○ 17.20	○ 13.00	4.00			1/2回	内面見込へ記号か?
33 - 295	451130	31	土師器	坪			○ 4.60					体部鏡片	
33 - 296	451130	36	土師器	坪			○ 4.20					鏡片	
33 - 297	451130	42	土師器	坪			○ 5.30					鏡片	
33 - 298	451130	7	土師器	坪			○ 7.20					鏡片	内面保有者
33 - 299	451130	8	土師器	坪			○ 6.40					鏡片	
33 - 300	451130	39	土師器	坪			○ 8.60					體部鏡片	
33 - 301	451130	34	土師器	坪			○ 20.40	○ 5.20				1/4回	
33 - 302	451130	3	土師器	甌	○ 14.40		○ 6.00					1/2回	
33 - 303	451130	75	土師器	甌			○ 14.60		15.60			口縁1/4 体部1/2	外逃に保有者
33 - 304	451130	9	土師器	甌			○ 5.10					鏡片	
33 - 305	451130	4	土師器	甌			○ 6.80					鏡片	
33 - 306	451130	5	土師器	甌	○ 14.80		○ 4.80					鏡片1/4回	
33 - 307	451130	2	土師器	甌			○ 5.80					鏡片	
33 - 308	451130	6	土師器	甌			○ 5.50					鏡片	
33 - 309	451130	38	土師器	甌			○ 5.20					鏡片	
34 - 310	451130	6	土師器	甌			○ 7.40					鏡片	
34 - 311	451130	18	土師器	甌	○ 25.40		○ 13.30					鏡片1/3回	
34 - 312	451130	41	土師器	甌	○ 26.40		○ 10.70					鏡片1/4回	
34 - 313	451130	40	土師器	甌			○ 13.40					鏡片	
34 - 314	451130	32	土師器	甌			○ 6.40					鏡片	
34 - 315	451130	37	土師器	甌			○ 4.20					鏡片	
34 - 316	451130	21	土師器	甌			○ 4.30					鏡片	
34 - 317	451130	76	土師器	甌×瓶			○ 21.40					把手と体部 小片	
34 - 318	451130	11	土師器	瓶			○ 3.40					把手のみ	
34 - 319	451130	12	土師器	瓶			○ 4.80					把手のみ	
34 - 320	451130	13	土師器	瓶			○ 4.20					把手のみ	

Tab.11 出土遺物観察表

Fig.-No.	遺物番号	東・西番号	遺物名	起復名	口 律	表 律	裏 律	具 さ	幅	厚さ	重さ	残存	備考	
24 - 321	451130	14	土師器	鉢	○ 5.40							鉢の内 鉢の外		
24 - 322	451130	15	土師器	鉢	○ 7.00							鉢の内 鉢の外		
24 - 323	451130	16	土師器	把手	○ 5.35							鉢の内 鉢の外		
24 - 324	451130	10	土師器	高环	○ 5.80							鉢底1/3		
24 - 325	451130	43	土製品	土師器					5.55	1.80	1.70	14.10		
24 - 326	451130	44	土製品	土師器					5.70	1.50	1.55	11.00		
24 - 327	451130	45	土製品	土師器					4.60	2.15	1.65	13.80		
24 - 328	451130	66	土製品	土師器					5.50	2.20	1.95	17.80		
25 - 329	451130	17	土師器	移動式カツマ	○ 5.20							縦底	一次焼成	
25 - 330	451130	74	土師器	移動式カツマ	○ 2.10							ひさし小片		
25 - 331	451130	75	土師器	移動式カツマ	○ 5.65							口縁小片		
25 - 332	451130	33	陶埴器	鉢	○ 13.40				○ 7.20			1/3倒		
25 - 333	451130	29	陶埴器	鉢					○ 6.20			体窓繩片		
25 - 334	451130	24	陶埴器	鉢	○ 5.90							体窓繩片		
25 - 335	451130	79	陶埴器	鉢				○ 7.00	3.30		0.60	X線 Photo ⑤		
25 - 336	451130 上縁	89	陶埴器	鉢				○ 1.40				縦底繩片		
25 - 337	451130 上縁	87	陶埴器	鉢				○ 1.30				縦底繩片		
25 - 338	451130 上縁	82	陶埴器	鉢				○ 1.70				縦底繩片		
25 - 339	451130 上縁	81	陶埴器	鉢				○ 1.30				縦底繩片		
25 - 340	451130 上縁	84	陶埴器	鉢				○ 0.65				縦底繩片		
25 - 341	451130 上縁	100	陶埴器	鉢	○ 15.80	○ 11.00	5.00					1/2倒		
25 - 342	451130 上縁	96	陶埴器	鉢	○ 13.10	○ 8.80	3.65					1/4倒		
25 - 343	451130 上縁	98	陶埴器	鉢	○ 8.00	○ 5.50	2.50					1/4倒/1/4倒		
25 - 344	451130 上縁	97	陶埴器	鉢	○ 4.45			○ 9.20				1/4倒		
25 - 345	451130 上縁	88	陶埴器	鉢	○ 21.60			○ 8.30				口縁1/2倒		
25 - 346	451130 上縁	85	陶埴器	鉢				○ 2.80				口縁繩片		
25 - 347	451130 上縁	83	陶埴器	高环				○ 1.80				縦底繩片		
25 - 348	451130 上縁	86	陶埴器	高环				○ 1.30				縦底繩片		
25 - 349	451130 上縁	91	土師器	坪	○ 14.50	10.50	3.70					底端のみ		
25 - 350	451130 上縁	98	土師器	坪	16.40	12.90	5.60					全体1/4倒		
25 - 351	451130 上縁	95	土師器	坪				○ 2.80				1/4倒		
25 - 352	451130 上縁	90	土師器	丸底				○ 12.20	○ 1.20			底端のみ		
25 - 353	451130 上縁	92	土師器	丸底				○ 21.60				1/2倒		
25 - 354	451130 上縁	93	土師器	鉢	○ 21.30			○ 9.70				1/2倒		
26 - 355	451130 上縁	102	土師器	カツマ				○ 43.00	○ 12.60			直底繩片		
26 - 356	451130 上縁	101	土師器	カツマ				○ 14.60						
26 - 357	451130 上縁	89	土製品	土師器					6.90	1.55	1.40	12.00	X線 Photo ④	
26 - 358	451130 上縁	121	土製品	土師器					○ 6.10	3.30	0.50			
26 - 359	451130 下縁	121	土製品	土師器					○ 1.75				白縫小片	
26 - 360	451130 下縁	125	土製品	土師器					○ 2.80				白縫小片	
26 - 361	451130 下縁	122	土製品	土師器					○ 1.50				白縫小片	
26 - 362	451130 下縁	120	土製品	坪					○ 3.60				白縫～体部 小片	
26 - 363	451130 下縁	126	土製品	坪				10.00	○ 1.75			高台～体部 1/8		
26 - 364	451130 上縁	123	陶埴器	高环					○ 1.50				口縁小片	
26 - 365	451130 上縁	124	陶埴器	高环					○ 1.50				口縫小片	
26 - 366	451130 上縁	113	土師器	高环					○ 1.50				口縫小片	
26 - 367	451130 上縁	114	土師器	丸坪					○ 2.55				口縫小片	
26 - 368	451130 下縁	115	土師器	丸坪					○ 3.20				口縫～体部 小片	外垂襷付着
26 - 369	451130 下縁	118	土師器	坪					○ 5.10				口縫～体部 小片	
26 - 370	451130 下縁	119	土師器	深鉢					○ 9.65				口縫～体部 小片	
26 - 371	451130 下縁	117	土師器	便					○ 7.40				口縫～体部 小片	
26 - 372	451130 下縁	116	陶埴器	埴造				○ 4.70				口縫～体部 小片		
26 - 373	451130 下縁	127	鉄製品	釘					○ 6.60	0.80	0.50		X線 Photo ⑥	
27 - 374	451130 I 縱	133	須恵器	坪					○ 2.50				口縫繩片	
27 - 375	451130 I 縱	124	須恵器	坪					○ 2.00				口縫繩片	
27 - 376	451130 I 縱	125	須恵器	坪					○ 2.70				口縫繩片	
27 - 377	451130 I 縱	122	須恵器	便					○ 2.00				口縫繩片	
27 - 378	451130 I 縱	129	土師器	便	○ 14.00				○ 5.50				口縫1/3	
27 - 379	451130 I 縱	128	土師器	便	○ 16.20				○ 7.70				口縫1/4	
27 - 380	451130 I 縱	130	土師器	便	○ 18.40				○ 6.20				口縫1/4	
27 - 381	451130 I ~ 田端	148	須恵器	蓋	み替	○ 2.10							1/6	
27 - 382	451130 I ~ 田端	142	須恵器	蓋	み替				○ 1.40				口縫繩片	
27 - 383	451130 I ~ 田端	143	須恵器	坪					○ 6.40	3.80			口縫1/6	
27 - 384	451130 I ~ 田端	145	須恵器	坪				○ 14.40	○ 9.90	4.25		口縫1/6		
27 - 385	451130 I ~ 田端	144	須恵器	坪				○ 13.80	○ 9.60	4.60		口縫1/6		
27 - 386	451130 I ~ 田端	151	須恵器	坪					○ 12.00	○ 3.00			口縫1/6	
27 - 387	451130 I ~ 田端	143	須恵器	坪				○ 11.20	○ 7.60	3.75		口縫1/6		
27 - 388	451130 I ~ 田端	147	須恵器	坪					○ 3.00				口縫繩片	
27 - 389	451130 I ~ 田端	139	須恵器	蓋	み替	○ 5.60			○ 1.70				口縫1/4	
27 - 390	451130 I ~ 田端	149	土師器	坪				○ 34.40				口縫1/6		
27 - 391	451130 I ~ 田端	136	土師器	便					○ 5.60				口縫繩片	
27 - 392	451130 I ~ 田端	138	土師器	便				○ 23.60				口縫1/6		
27 - 393	451130 I ~ 田端	141	土師器	便				○ 24.00				口縫1/4		
27 - 394	451130 I ~ 田端	137	土師器	把手					○ 7.50				把手のみ	
27 - 395	451130 I ~ 田端	146	鉄製品	不明					○ 7.20	1.00	0.50		X線 Photo ⑦	
28 - 396	451130 IV 縱	162	須恵器	蓋					○ 0.90				口縫繩片	
28 - 397	451130 IV 縱	158	須恵器	坪					○ 2.50				口縫繩片	
28 - 398	451130 IV 縱	159	須恵器	坪					○ 1.70				口縫繩片	
28 - 399	451130 IV 縱	163	須恵器	坪				○ 15.20	○ 5.20	11.49		1/4		
28 - 400	451130 IV 縱	161	須恵器	蓋				○ 11.80				口縫1/8		
28 - 401	451130 IV 縱	158	須恵器	蓋					○ 10.20	○ 4.80			口縫1/2	
28 - 402	451130 IV 縱	164	土師器	坪				○ 16.60	○ 3.50	5.10		1/3		
28 - 403	451130 IV 縱	165	土師器	坪				○ 23.80		○ 6.50		口縫1/4		
28 - 404	451130 IV 縱	157	土師器	片打鉢	○ 24.8~ 36.7				○ 16.10				口縫1/2	
28 - 405	451130 IV 縱	156	土師器	蓋	○ 24.80				○ 6.30				口縫1/4	
28 - 406	451130 IV 縱	155	土師器	坪					○ 3.40	○ 1.20	○ 6.40	4.29		
28 - 407	451130 IV 縱	154	土師器	坪					○ 5.10	○ 1.30	○ 6.50	6.00		
28 - 408	451130 IV 縱	155	土製品	土師器					○ 4.20	○ 1.20	○ 6.60	7.40		
28 - 409	451130 IV 縱	166	鉄製品	不明					○ 6.70	○ 1.20	○ 5.55		X線 Photo ⑧	
28 - 410	451130 IV 縱	164	土師器	坪					○ 16.60	○ 3.50	5.10			
28 - 411	451130 IV 縱	165	土師器	坪					○ 23.80		○ 6.50		口縫1/4	

Tab.12 出土遺物観察表

品目番号	遺物番号	形・色	遺物名	器種名	口 径	底 径	深 度	基 さ	幅	厚 さ	重 量	現 在	備 考
36 - 412	491120 錐錐	172	乳頭器	蓋	○ 15.70		3.90					1/8	
39 - 413	491120 錐錐	181	乳頭器	蓋		み径	○ 1.45					つぶみ小舟 高台小片	
38 - 414	491120 錐錐	171	乳頭器	蓋	○ 14.80		3.70	み径	○ 1.20			1/8	
38 - 415	491120 錐錐	169	乳頭器	蓋	○ 15.40		3.60	み径	○ 1.05			1/4	
38 - 416	491120 錐錐	167	乳頭器	蓋			3.50	み径	○ 1.05			小舟	
38 - 417	491120 錐錐	165	乳頭器	蓋			3.50	み径	○ 1.05			小舟	
38 - 418	491120 錐錐	170	乳頭器	蓋		○ 1.60	20.60	○ 18.00		2.00		1/8	
39 - 419	491120 錐錐	183	土師器	台付火薙	○ 26.20	○ 21.20	4.40					1/2	内面に細文
39 - 420	491120 錐錐	179	土師器	火薙			○ 1.90					高台圓小舟	
39 - 421	491120 錐錐	178	土師器	火薙	○ 14.60		5.30					体部1/4	丹塗り
39 - 422	491120 錐錐	173	土師器	火薙			○ 5.65					口縁小片	
39 - 423	491120 錐錐	175	土師器	火薙	○ 15.60		3.50					口縁小片	
39 - 424	491120 錐錐	174	土師器	火薙			○ 3.50					口縁小片	
39 - 425	491120 錐錐	160	土師器	火薙			○ 17.00	○ 7.00				口縁小片	
39 - 426	491120 錐錐	177	土師器	杯形式カツリ			○ 6.50					口縁~全体 小片	
39 - 427	491120 錐錐	176	土師器	火薙			○ 5.40					つぶみ細片	
39 - 428	491120 錐錐	182	土製品	土種			○ 5.60		1.60	1.55	10.60		
39 - 429	491120 錐錐	189	乳頭器	蓋			1.20					端部細片	
39 - 430	491120 錐錐	188	乳頭器	蓋			○ 0.95					端部細片	
39 - 431	491120 錐錐	190	乳頭器	蓋		み径	○ 1.60					つぶみ細片	
39 - 432	491120 錐錐	191	土製品	土種				○ 5.80	1.80	1.70	15.30		
39 - 433	491120 土下駄形	186	乳頭器	輪			2.00					口縁細片	
39 - 434	491120 土下駄形	185	乳頭器	高坪	○ 21.80		2.10					1/4周	
39 - 435	491120 土下駄形	184	土師器	林			○ 6.00					口縁細片	
39 - 436	491120 土下駄形	187	土師器	高坪×高坪	○ 24.80	○ 23.20	1.35					縁片	
39 - 437	491120 土下駄形	197	乳頭器	蓋			○ 2.85					1/3	
39 - 438	491120 土下駄形	198	土師器	便	○ 19.40	○ 8.00	13.00					口縁破片	
39 - 439	491120 土下駄形	199	土師器	火薙			○ 9.50					口縁破片	
39 - 440	491120 カツリ手鏡	200	土師器	坪		14.80	○ 3.40					2/3	
39 - 441	491120 カツリ手鏡	201	土師器	便	○ 24.80		27.20					裏面~全体 1/3周	
40 - 442	491120 土下駄形	193	乳頭器	蓋	○ 21.40		1.60					1/4周	
40 - 443	491120 土下駄形	192	土師器	輪×便			3.40					口縁細片	
40 - 444	491120 土下駄形	194	土師器	便	○ 15.90		5.70					口縁1/4	
40 - 445	491120 土下駄形	195	土師器	便	○ 17.60		4.45					口縁1/2	赤漆成
40 - 446	491120 土下駄形	196	土師器	便			12.30					口縁1周	
41 - 447	491140	12	土師器	輪			2.5					口縁1周	
41 - 448	491140	4	土師器	輪			1.60					口縁1周	
41 - 449	491140	8	土師器	輪	○ 12.20	○ 7.40	○ 1.90					口縁1周	
41 - 450	491140	3	土師器	丸底坪			3.10					口縁1周	
41 - 451	491140	5	土師器	丸底坪			3.20					口縁1周	
41 - 452	491140	14	土師器	丸底坪	○ 15.80		3.60					1/4	
41 - 453	491140	13	土師器	丸底坪			4.70					口縁1周	
41 - 454	491140	4	土師器	丸底坪			3.40					口縁1周	
41 - 455	491140	16	土師器	坪		○ 16.80	○ 15.20	5.5				口縁1周	
41 - 456	491140	17	土師器	便	○ 21.00		6.50					口縁1周	
41 - 457	491140	7	土師器	便			4.20					口縁1周	
41 - 458	491140	9	土師器	便			3.20					口縁1周	
41 - 459	491140	11	土師器	台付里	○ 20.60		3.00					口縁1周	
41 - 460	491140	18	土師器	台付林?		○ 9.80	○ 3.60					底部3/4	外腹丹塗?
41 - 461	491140	13	土師器	坪			2.90					腰部破片	
41 - 462	491140	5	土師器	坪			3.40					口縁破片	手~口2/3
41 - 463	491140	4	土師器	坪			5.50		1.00	0.80	5.30		
41 - 464	491140 地下胎形	19	土師器	輪			3.30					口縁破片	
42 - 465	491150	6	乳頭器	坪	○ 12.00		3.80					口縁1/4	
42 - 466	491150	7	乳頭器	坪			4.70					口縁破片	
42 - 467	491150	9	乳頭器	便			4.60					口縁破片	
42 - 468	491150	10	土師器	蓋	○ 18.00		2.10					口縁1周	
42 - 469	491150	3	土師器	丸底圓			2.60					口縁破片	内外面に黒漆付着
42 - 470	491150	5	土師器	丸底圓			3.50					口縁破片	外腹丹塗?
42 - 471	491150	6	土師器	坪		○ 14.40		2.10				1周	
42 - 472	491150	4	土師器	丸底坪			1.10					口縁破片	外腹に細文あり
42 - 473	491150	2	土師器	便			4.10					口縁破片	外腹丹塗?
42 - 474	491150	14	土師器	便			0.60					底部破片	
42 - 475	491150	11	土師器	坪			5.20					口縁破片	
42 - 476	491150	8	土師器	高坪			4.00					腰部破片	
42 - 477	491150	12	土師器	高坪			4.60					腰部破片	
42 - 478	491150	13	土師器	便×坪			10.20					腰部1/3	
42 - 479	491150	15	土師器	便		○ 31.60		4.20				腰部1/3	内腹漆付着
42 - 480	491150 カツリ	17	乳頭器	蓋			1.40					口縁破片	
42 - 481	491150 カツリ	16	土師器	坪			3.20					口縁破片	
42 - 482	491150 カツリ	19	土師器	坪		29.40	○ 12.30	11.20				口縁部に漆付着	
42 - 483	491150 カツリ	18	土師器	便			17.10					口縁~鋼部	
43 - 484	491160	1	土師器	坪			2.20					口縁部小片	丹塗り?
43 - 485	491160	3	土師器	坪		○ 7.00	○ 2.95					口縁~全体	
43 - 486	491160	2	土師器	便	○ 12.20		5.70					口縁~全体	
43 - 487	491160	4	土師器	便	○ 17.90		8.20					口縁~全体	
43 - 488	491160	5	土師器	便	○ 18.60		6.50					口縁3/5	
43 - 489	491160	7	乳頭器	刀子				○ 6.70	1.25	0.50	6.80		
44 - 490	491170	4	乳頭器	丸底坪			1.60					口縁小片	内外面漆付着
44 - 491	491170	6	乳頭器	坪			3.60					口縁の裏	
44 - 492	491170	16	乳頭器	蓋			10.10					口縁破片	~少記号(外底)
44 - 493	491170	17	土師器	坪			1.80					肩部1/2	
44 - 494	491170	17	土師器	丸底坪			1.80					口縁破片	
44 - 495	491170	2	土師器	坪			1.40					口縁破片	
44 - 496	491170	7	土師器	坪			2.70					口縁破片	
44 - 497	491170	8	土師器	坪	○ 15.60		2.10					口縁7%	
44 - 498	491170	7	土師器	丸底坪			2.60					口縁1周	
44 - 499	491170	18	土師器	丸底坪			1.30					口縁破片	
44 - 500	491170	3	土師器	丸底坪	○ 13.00		2.60					口縁7.8%	
44 - 501	491170	12	土師器	坪			8.30					口縁破片	
44 - 502	491170	9	土師器	便			7.30					口縁破片	
44 - 503	491170	11	土師器	便	○ 16.60		2.70					口縁破片	

Tab.13 出土遺物観察表

Fig.-No.	遺物番号	R.-番号	遺物名	部機名	口 径	底 径	高	其 他	幅	厚さ	重さ	現 在	備 号
44 - 504	431170	15	土師器	甕	○ 20.40		○ 8.50					白綿～胴部 1/2	
44 - 505	431170	10	土師器	甕			○ 5.50					白綿底片	
44 - 506	431170	13	土師器	甕			○ 11.30					胴底～底部 片	
44 - 507	431170	5	土師器	高环			○ 2.30					腹部の口継 破片	
44 - 508	431170	14	製塗器	鉢			○ 1.20					白綿底片	
45 - 509	431180	21	漆器	盞			○ 1.40					白綿底片	
45 - 510	431180	3	漆器	盞			○ 1.10					白綿底片	
45 - 511	431180	19	漆器	盞			○ 1.50					白綿底片	
45 - 512	431180	18	漆器	盞			○ 1.60					白綿底片	
45 - 513	431180	20	漆器	盞			○ 1.40					白綿底片	
45 - 514	431180	22	漆器	盞			○ 1.80					破片	
45 - 515	431180	16	漆器	盞			○ 2.10					白綿底片	
45 - 516	431180	17	漆器	盞			○ 2.00					白綿底片	
45 - 517	431180	16	漆器	盞			○ 12.30	○ 2.90				白綿1/4	
45 - 518	431180	4	漆器	盞			○ 0.80					白綿底片	
45 - 519	431180	2	漆器	盞			○ 1.30					白綿底片	
45 - 520	431180	1	漆器	盞			○ 2.00					白綿底片	
45 - 521	431180	7	土師器	甕			○ 17.80					白綿1/6 外面丹刷り	
45 - 522	431180	9	土師器	丸底环			○ 9.80					白綿1/2	
45 - 523	431180	12	土師器	环			○ 1.20					白綿底片	
45 - 524	431180	5	土師器	円筒ア			○ 3.20					白綿底片	
45 - 525	431180	10	土師器	環			○ 6.30					白綿底片	
45 - 526	431180	13	土師器	甕			○ 19.00					白綿1/8	
45 - 527	431180	11	土師器	甕			○ 21.40					白綿1/8	
45 - 528	431180	14	土師器	高环			○ 16.70					腹部1/3 外面丹刷り	
45 - 529	431180	8	土師器	把手			○ 4.90					把手のみ	
45 - 530	431180	6	土師器	不規品			○ 4.30					破片	
45 - 531	431180	23	漆器	木柄					4.60	2.20	1.70	4.70	
45 - 532	431180 X～皿型	24	漆器	木柄	14.80		○ 2.80					1/2	
45 - 533	431180 末～施型	25	漆器	蓋			○ 3.30					白綿底片	
45 - 534	432200 カマド内	27	土師器	环			○ 2.30					白綿底片	
45 - 535	432200 カマド内	26	土師器	环			○ 2.30					白綿底片 外面丹刷り	
45 - 536	432200 カマド内	29	土師器	甕			○ 24.00		25.00			底部多く欠 底端1/8	
45 - 537	432200 カマド内	28	土師器	高环			○ 10.80	○ 0.70				外面丹刷り	
45 - 538	432200 カマド内	30	漆器品	釦				○ 6.50	0.20	0.60	5.30		
45 - 539	432200 カマド内	31	漆器品	釦				○ 3.00	0.40	0.30	3.60		
46 - 540	431190	3	漆器	甕	○ 16.00		○ 2.05					白綿1/4	
46 - 541	431190	4	漆器	蓋			○ 1.60					把手のみ	
46 - 542	431190	1	漆器	蓋	○ 14.00		○ 1.25					白綿1/8	
46 - 543	431190	4	漆器	环			○ 2.50					白綿小片	
46 - 544	431190	5	漆器	蓋			○ 2.80					体泡1/8	
46 - 545	431190	11	漆器	甕			○ 4.25					白綿小片	
46 - 546	431190 付手付	19	土師器	丸底环	○ 14.00		3.40					白綿～底端 1/2	
46 - 547	431190	12	土師器	丸底环	15.40		○ 4.25					1/2	
46 - 548	431190	8	土師器	丸底环			○ 4.50					白綿～体泡 小片	
46 - 549	431190	6	土師器	大底			○ 16.00	○ 1.70				底端1/4	
46 - 550	431190	7	土師器	甕			○ 6.50	○ 3.50				底端1/2	
46 - 551	431190	13	土師器	甕	○ 15.80		○ 14.80					白綿1/4 体泡 1/2	
46 - 552	431190	9	土製品	土錠				○ 2.10	1.30	1.15	2.70		外面丹付着
46 - 553	431190	10	土製品	土錠				○ 3.90	1.35	1.40	6.20		
46 - 554	431190 カマド	15	土師器	环	○ 16.40	12.40	3.30					口継～底端 に2.5cm/4	
46 - 555	431190 カマド	16	土師器	甕X～甕?			○ 5.50					直端小片	
46 - 556	431190 カマド	18	土師器	鉢	○ 28.70		○ 9.00					口継～体泡 1/4	
46 - 557	431190 カマド	17	土師器	甕	○ 23.10		18.95					直端1/3	
46 - 558	431190 カマド	14	土師器	甕	16.30		○ 11.60					口継1/4 体泡 1/2	
46 - 559	431190 錐削土壤	20	鉢製品	釦?				○ 3.60	0.40	0.30	1.10	X継photo録	
47 - 560	432120 カマド	2	漆器	高环	○ 10.20		○ 0.70					白綿底片 1/8	
47 - 561	432120 カマド	3	土師器	蓋			○ 2.25					口継～体泡 小片	
47 - 562	432120 カマド	1	土師器	甕			○ 2.20					白綿底片 小片	
47 - 563	432120 カマド	4	土師器	丸底环			○ 1.80					口継底片 小片	
47 - 564	432120 カマド	5	土師器	甕	○ 25.00		○ 10.15					口継～体泡 に2.5cm/4	
47 - 565	432120 Aビット	8	漆器	甕			○ 1.50					白綿底片 小片	
47 - 566	432120 Aビット	9	漆器	甕			○ 4.30					体泡小片	
47 - 567	432120 Aビット	10	漆器	高环	○ 11.30	○ 5.60						直端と底端 1/2	
47 - 568	432120 Aビット	6	土師器	甕			○ 2.40					口継～体泡 に2.5cm/4 小片	
47 - 569	432120 Aビット	7	土師器	甕			○ 2.20					白綿底片	
47 - 570	432120 亂束	11	漆器	甕			○ 2.40					口継～体泡 に2.5cm/4 小片	
47 - 571	432120 亂束	12	土師器	把手			○ 5.50					白綿底片 小片	
48 - 572	430250 (43P128)	1	土師器	甕			○ 3.50					把手のみ	
48 - 573	430250 (43P128)	2	土師器	甕	○ 16.00		○ 4.15					口継底片	
48 - 574	430250 (43P131)	2	土師器	甕			○ 2.15					把手のみ	
48 - 575	430250 (43P131)	3	石製品	砾石			○ 9.55	3.25	2.60	160.00		口継底片	
48 - 576	430250 (43P132)	1	漆器	蓋			○ 1.20					砾石底片	
48 - 577	43A255 (43P149)	1	土師器	甕			○ 2.00					砾石片	
48 - 578	43A255 (43P149)	2	土師器	环	○ 12.80	○ 8.50	3.75					1/4弱	
48 - 579	43A255 (43P149)	3	土師器	甕	○ 14.50		○ 5.10					口継1/4	
48 - 580	43A255 (43P151)	1	土師器	甕			○ 2.80					口継底片	
48 - 581	43A255 (43P151)	2	土師器	甕			○ 0.70					口継底片	
49 - 582	43D020 上繩	2	土師器	丸底环			○ 2.40					砾石	
49 - 583	43D020 上繩	3	石器	チャート			○ 1.50	○ 1.50				砾石	
49 - 584	43D020 上繩	4	石器	珊瑚石			○ 1.95	○ 0.95				砾石	
49 - 585	43D030 上繩	1	土師器	丸底环			○ 4.90					体泡1/2	

Tab.14 出土遺物観察表

IV.まとめ

羽犬塚射場ノ本遺跡第4次調査の周辺において古代律令期の遺跡が多数確認されていることは、本文中冒頭の「II.位置と環境」で述べた。ここでは周辺遺跡の状況を踏まえて今次調査の成果をまとめることとする。

1.検出遺構について

(1) 穫穴住居

竪穴住居は18軒を検出した。住居の平面プランは方形状ないしは僅かに縦長を呈し、一辺が3m前後、3.5m前後、4mを越える規模の住居であることを確認した。これら住居の面積は7.64 m² (= 2.31坪) ~ 15.95 m² (= 4.83坪) で、このうち住居内に主柱穴を有する建物は1軒(4SI040)のみに止まり、他の住居に関しては屋根を支える構造物の痕跡は確認できなかった。4SI130・100・110住居壁際からは壁溝痕跡を検出し、ほぼ全ての住居には大小様々ではあったが屋内土坑が付設されていた。住居内に付設された作り付型カマドは良好な遺存状態を保っており、カマド内の壁体あるいは煙道がしっかりと焼けた状態を観察することができた。付設場所としては住居の北西側2軒(4SI040・050)、西側3軒(4SI100・110・120)、北東側4軒(4SI060・130・160・210)、南東側4軒(4SI090・150・190・200)である。このうち、4SI210カマド内からは柱状の支脚が出土しており、また4SI050・200カマド内からは甕が逆さに伏した状態で確認されている。更には4SI100煙突付近では20cm大の礫岩が煙道を遮る状態で確認するなど、意図的にカマド封じを行ったとみられる痕跡を確認することができた。

さて、今次調査で検出した主要遺構の規模・方位について整理(Tab.16)したところ、当地の集落形成における住居の変遷を籠気に辿ることができ、概ね次の4群に住居・建物群方位が区分できることがわかった。

①竪穴住居		方位	長軸(m)	短軸(m)	面積(m ²)	面積(坪)	方位大別	比定期
4SI140	N-13° 23' 33" -W	—	—	—	—	—	IV群	8c前
4SI120	N-01° 54' 33" -W	3.30	3.25	10.73	3.25	IV群	8c中~後	
4SI130	正方位	4.15	3.74	15.52	4.70	IV群	8c中~後	
4SI110	N-09° 01' 28" -E	3.00	2.98	8.94	2.71	IV群	8c中~後	
4SI100	N-14° 43' 39" -E	3.07	3.04	9.33	2.83	III群	8c後	
4SI180	N-18° 36' 37" -E	3.55	3.35	11.89	3.60	III群	8c前	
4SI200	N-18° 48' 43" -E	—	—	—	—	III群	8c前	
4SI160	N-29° 32' 20" -E	4.62	2.40以上	—	—	II群	8c前	
4SI190	N-30° 09' 36" -E	3.34	2.85	9.52	2.88	II群	8c前	
4SI080	N-30° 57' 50" -E	1.70以上	0.25以上	—	—	II群	8c前?	
4SI070	N-32° 45' 37" -E	2.53以上	1.00以上	—	—	II群	8c前?	
4SI150	N-40° 43' 34" -E	3.23	2.85以上	—	—	I群	8c中	
4SI210	N-40° 52' 21" -E	2.92	2.90	8.47	2.57	I群	8c前	
4SI090	N-42° 27' 05" -E	3.60	3.07	11.05	3.35	I群	8c前	
4SI060	N-44° 30' 22" -E	2.86	2.67	7.64	2.31	I群	8c前	
4SI170	N-45° 40' 56" -E	3.70	3.40	12.58	3.81	I群	8c前	
4SI040	N-47° 48' 08" -E	4.31	3.70	15.95	4.83	I群	8c前	
4SI050	N-54° 14' 46" -E	3.30	2.78	9.17	2.78	I群	8c前	
②柱立柱建物		方位	長軸(m)	短軸(m)	面積(m ²)	面積(坪)	方位大別	比定期
4SB230	N-05° 56' 49" -E	3.77	3.16	11.72	3.55	IV群	8c後半	
4SB250	N-16° 20' 10" -E	4.73	3.43	16.60	5.03	III群	8c前?	
4SB240	N-31° 13' 06" -E	3.40以上	3.17	—	—	II群	不明	
③柵		方位	東頸換算方位	間数(間)	東西検出長(m)	南北検出長(m)	方位大別	比定期
4SA255	N-79° 49' 40" -W	N-10° 10' 20" -E	東西2×南北	3.72	2.46	IV群	8c後?	
4SA260	N-76° 54' 29" -W	N-13° 05' 31" -E	東西2	2.88	—	III群	不明	
4SA265	N-60° 21' 40" -W	N-29° 38' 20" -E	東西2	3.03	—	II群	不明	
④道路状遺構		方位	4SD020検出長(m)	4SD030検出長(m)	側溝心幅(m)	備考	方位大別	比定期
4SF270	N-43° 03' 19" -E	約30.00	30.50	6.00	4SD220と分岐	1群	8c前	

Tab.16 羽犬塚射場ノ本遺跡第4次調査主要遺構の規模と方位

⑤今次調査の住居・建物群の方位大別

【I群】 = 道路状遺構 4SF270 の方位に近似 (N-43° 03' 19" -E) するもの

- ・ 竪穴住居 7 軒 (4SI040・050・060・090・150・170・210)

【II群】 = 4SF270 方位と座標北における中間域から 4SF270 方位に傾斜するもの

- ・ 竪穴住居 4 軒 (4SI070・080・160・190)

- ・ 掘立柱建物 1 棟 (4SB240)

【III群】 = 4SF270 方位と座標北における中間域から座標北に傾斜するもの

- ・ 竪穴住居 3 軒 (4SI100・180・200)

- ・ 掘立柱建物 1 棟 (4SB250)

【IV群】 = ほぼ座標北を示すもの

- ・ 竪穴住居 4 軒 (4SI110・120・130・140)

- ・ 掘立柱建物 1 棟 (4SB230)

⑥主要遺構の切り合いと比定時期との関係

4SF270 (8c 前半)

4SI040 (8c 前半)

4SI050 (8c 前半)

4SI060 (8c 前半)

4SI090 (8c 前半)

4SI250 (8c 前半か?)

4SI080 (8c 前半か?) —> 4SI070 (8c 前半か?)

4SI180 (8c 前半) —> 4SI120 (8c 前半) —> 4SI190 (8c 前半)



4SI140 (8c 前半) —> 4SI170 (8c 前半) —> 4SI130 (8c 中頃～後半)



4SI210 (8c 前半) —> 4SI160 (8c 前半) —> 4SI150 (8c 中頃) —> 4SI120 (8c 中頃～後半)

4SI110 (8c 中頃～後半) —> 4SB230 (8c 後半) —> 4SI100 (8c 後半)

今回、試みた上記⑤の住居・建物群方位の大別から、I群に相当する住居は道路状遺構 4SF270 に強く影響されたものと解するが、II群住居・建物は道路状遺構の残像によるものか新たな土地利用における規制のもと構築したものかは定かでない。III群・IV群の住居及び建物は、当地東方約 60m の地点を縦断する古代西海道方位に近似するためおおよそ律令期の土地規制が働いたものと推測することができる。なお、今次調査の住居・建物群並びに道路状遺構の切り合いと比定時期との関係については Tab.16 及び上記⑥に示したのでこれを参照されたい。

こうした状況から、今次調査で得られた調査データをもとに周辺遺跡で検出した住居・建物について Tab.17 に集約、周辺遺跡の遺構配置状況を Fig.52 に示した。今回の住居・建物群方位大別はもとより、以前、前津辻ノマヤ遺跡、羽犬塚山ノ前遺跡で行われた分類は、各調査区域の時代背景において住居・建物群方位の分布密度に差異を生じたことから思考したものであったが、N-14° - W から N-54° - E にかけては平たく分布していることが明らかになった。この結果を踏まえ、分布域における判別は今後区域ごとに目を転じ、時空列での分布状況を追求していくかなくてはならないと考えるが、これに加えて、当地は葛野駅家想定地である重要な地域にあたることから今後の調査成果、文献資料など多方面

からのアプローチによって検討、修正する必要がある。

(2) 挖立柱建物と柵列

今次調査からは掘立柱建物3棟、柵列3列を検出した(Tab.16)。先の方位大別でいうと4SB240・4SA265はⅡ群、4SB250・2SA260はⅢ群、4SB230はⅣ群を示しており、竪穴住居と同じく土地利用における規制のもと構築されたことが予想される。

(3) 道路状遺構

今次調査で検出した道路状遺構4SF270(西側溝:4SD020、東側側溝:4SD030)は、羽犬塚射場ノ本遺跡第2次調査で検出した道路状遺構(西側側溝:2SD260・261、東側側溝:2SD265・266)の延

【参考】・遺跡名は下記の略称を使用し、遺構名の頭、遺跡名の後に付す番号は調査次数を表す。

(羽射→羽犬塚射場ノ本遺跡)(羽山→羽犬塚山ノ前遺跡)(羽中→羽犬塚中道遺跡)(前丘→前津丘ノマヤ遺跡)

・アミ描けは今次調査を示す。

・方位は報告書データを基本とし抽出可能な遺構を選択、再測したものもこれに含まれる。

・表は西から東へと傾斜する順に掲載したものであり、分類は各調査で考慮したものを記載している。

遺構名	方 位	遺跡名	羽山 1 分類	前丘 1 分類	羽射 4 分類	遺構名	方 位	遺跡名	羽山 1 分類	前丘 1 分類	羽射 4 分類
1SB200	N-14° 02' 10" -W	羽山 1				2SI030	N-19° 08' 53" -E	羽中 2			
4SI140	N-13° 23' 33" -W	羽射 4			IV	2SI135	N-19° 08' 53" -E	羽中 2			
2SI002	N-13° 01' 15" -W	羽射 2				2SI115	N-19° 14' 41" -E	羽中 2			
1SB210	N-07° 0' 59" -W	羽山 1				2SB025	N-19° 16' 46" -E	羽中 2			
3SI15	N-04° 51' 30" -W	羽中 3				1SI30	N-19° 27' 18" -E	羽中 1			
4SI120	N-01° 54' 33" -W	羽射 4			IV	1SI001	N-20° 14' 29" -E	羽射 1			
1SI095	N-01° 17' 20" -W	羽山 1	A			2SI080	N-22° 09' 59" -E	羽中 2			
1SB205	N-0° 57' 17" -W	羽山 1				3SI110	N-23° 11' 55" -E	羽中 3			
1SI025	正方位	羽射 1				1SI40	N-23° 23' 07" -E	羽中 1			
1SI035	正方位	羽射 1				1SB035	N-24° 03' 01" -E	前丘 1	B		
2SI003	正方位	羽射 2				2SB045	N-24° 09' 11" -E	羽中 2			
2SI290	正方位	羽射 2				2SI075	N-25° 17' 23" -E	羽中 2			
4SI130	正方位	羽射 4			IV	1SI64	N-25° 19' 27" -E	羽中 1			
1SB215	正方位	羽山 1				2SI155	N-25° 34' 15" -E	羽中 2			
1SB055	正方位	前丘 1	A			2SB060	N-26° 08' 11" -E	羽中 2			
1SI085	N-02° 17' 26" -E	羽山 1	A			2SI175	N-28° 27' 55" -E	羽中 2			
2SI035	N-05° 21' 21" -E	羽中 2				2SI165	N-29° 07' 27" -E	羽中 2			
4SB230	N-05° 56' 49" -E	羽射 4			IV	4SI160	N-29° 32' 20" -E	羽射 4			II
2SI010	N-06° 16' 38" -E	羽中 2				4SI190	N-30° 09' 36" -E	羽射 4			II
1SI10	N-07° 11' 19" -E	羽中 1				2SI202	N-30° 10' 02" -E	羽射 2			
4SI110	N-09° 01' 28" -E	羽射 4			IV	2SI201	N-30° 32' 26" -E	羽射 2			
3SI05	N-09° 43' 39" -E	羽中 3				1SI050	N-30° 57' 50" -E	羽射 1			
2SI070	N-11° 22' 45" -E	羽中 2				4SI080	N-30° 57' 50" -E	羽射 4			II
2SB140	N-11° 52' 04" -E	羽中 2				4SB240	N-31° 13' 06" -E	羽射 4			II
2SI105	N-13° 06' 33" -E	羽中 2				4SI070	N-32° 45' 37" -E	羽射 4			II
1SB045	N-13° 08' 02" -E	前丘 1	B			1SB065	N-34° 06' 06" -E	前丘 1	C		
2SB065	N-13° 22' 28" -E	羽中 2				1SI01	N-34° 21' 34" -E	羽中 1			
1SI115	N-14° 02' 10" -E	羽山 1	B			1SI020	N-34° 40' 13" -E	羽射 1			
3SI20	N-14° 08' 45" -E	羽中 3				2SB205	N-35° 39' 42" -E	羽中 2			
4SI100	N-14° 43' 39" -E	羽射 4			III	1SI015	N-35° 56' 32" -E	羽射 1			
1SI110	N-14° 55' 53" -E	羽山 1	B			3SI215	N-35° -E	羽射 3			
1SB075	N-14° 55' 53" -E	前丘 1	B			1SI150	N-36° 04' 21" -E	羽中 1			
2SB210	N-14° 58' 14" -E	羽中 2				1SB085	N-36° 19' 37" -E	前丘 1	C		
1SI70	N-15° 13' 10" -E	羽中 1				1SB080	N-36° 52' 12" -E	前丘 1	C		
2SB095	N-16° 06' 30" -E	羽中 2				3SI20	N-36° -E	羽射 3			
4SB250	N-16° 20' 10" -E	羽射 4			III	1SB090	N-38° 39' 36" -E	前丘 1	C		
2SI110	N-16° 20' 41" -E	羽中 2				4SI150	N-40° 43' 34" -E	羽射 4			I
3SI15	N-16° -E	羽射 3				4SI210	N-40° 52' 21" -E	羽射 4			I
3SI30	N-16° -E	羽射 3				4SI090	N-42° 27' 05" -E	羽射 4			I
2SB109	N-17° 24' 10" -E	羽中 2				4SF270	N-43° 03' 19" -E	羽射 4			I
2SI005	N-18° 20' 06" -E	羽中 2				4SI060	N-44° 30' 22" -E	羽射 4			I
2SI125	N-18° 29' 51" -E	羽中 2				4SI170	N-45° 40' 56" -E	羽射 4			I
4SI180	N-18° 36' 37" -E	羽射 4			III	4SI040	N-47° 48' 08" -E	羽射 4			I
1SI20	N-18° 46' 17" -E	羽中 1				1SI80	N-48° 23' 24" -E	羽中 1			
4SI200	N-18° 48' 43" -E	羽射 4			III	4SI050	N-54° 14' 46" -E	羽射 4			I

Tab.17 羽犬塚射場ノ本遺跡周辺の主要遺構の規模と方位

長部分である。側溝心々間の道路幅は 6.00m 前後を測り、側溝底部からは波板状压痕が認められている。第 2 次調査では道路状遺構の時期を 8 世紀代の範疇に捉えており、今次調査では少量ながら 7 世紀末～8 世紀代の遺物が出土している。当該道路状遺構に関する調査事例は他に見当たらないが、市内を縦断する古代西海道とは明らかに規模、方位性等が異なる対照的な道路であり、その機能は支線的な要素を多く含んだ道路であることが推測される。4SF270 は当遺跡が所在する丘陵部の斜面に程近い場所から検出されており、方角的には現在の小字境界にはほぼ平行するようである。小字境界線上は現在の生活主要道路である県道久留米・筑後線とほぼ重複しており、当地から北東方約 200m 地点の小字沿いには葛野駅家推定地として有力である小字名「丑ノマヤ」が所在し、付近には前津丑ノマヤ遺跡（集落：8 世紀前半～中頃）が点在する。その先の延線沿いには前津中ノ玉遺跡（集落：8 世紀前半）や欠塚古墳（前方後円墳：6 世紀中頃）、更に先には弘化谷古墳（円墳：6 世紀中頃）などの古代遺跡が点在する。一方の南西方面小字境界線上には徳久北原遺跡（集落：8 世紀前半～中頃）が接し、その先は西流する山ノ井川に面している。このように道路状遺構と小字境界線には何らかの関係が存在する可能性を秘めており、この点は今後の調査によって明らかにされることであろう。

（4）調査区東部検出のピット群

調査区東部で確認したピットは形状・規模ともに様々であり、列状に捕えにくい配置状況であったため本文中ではピット群として報告した。ピット群は 4SD010 の T 字状交差点を基点として A 群、B 群の 2 方向に展開するもので、切り合いや出土遺物から 8 世紀後半から 9 世紀前半に比定するものである。注目すべき点は柱穴のように垂直方向に掘られたピットのみではなく、斜めの方向に掘られたピットが多数存在することである。遺構検出状況から通路または目隠しのような遮断性、防御性の施設であったのかは定かでないが、何れにしても律令期における土地利用に関して構築された施設であったと考えられる。

2. 墨書・刻書土器について

今次調査からは須恵器（蓋・皿・壺・高壺・壇・甕・横瓶）、土師器（蓋・皿・丸底壺・壺・高壺・鉢・甕・壺・土錘・移動式カマド）、瓦器（片）、白磁（片）、陶器（片）、金属製品（鉄鎌・鉄釘）、石製品（石鎌・砥石）、種子などを出土した。遺物をみると概ね 8 世紀代の遺物が大半を占め、在地産の土器で形成されているが、このうち竪穴住居からは墨書土器、刻書土器、製塙土器などの特殊遺物も出土している。当調査区のみならず、周辺遺跡からの出土例も年々増加しており、当集落に居住する集団においては必然的に歴史解明の重要な鍵を握っている。

Tab.18～20 には今次調査を含め、これまでの墨書・刻書土器を一覧した。今回は、墨書土器 7 点、刻書土器 1 点、ヘラ記号が付された遺物 10 点を出土した。文字として認識できるのは 3 点で「□觀」「廿九」「同年多數」、「妻大」？、「幸」？と判読する。周辺遺跡では、羽犬塚射場ノ本遺跡（2 次）で「足立」・「吉」・「井」、羽犬塚中道遺跡では「郡符葛野」「東」「瀧」「大井石」「人」、羽犬塚山ノ前遺跡では「米」「木」「川」「上妻大」「C 大」を散見する。「郡符葛野」は文字通り『延喜式』にみえる古代西海道筑後国三駅のひとつである葛野駅のことであり、想定される字丑ノマヤ付近からの出土によって当地域が一層着目される基点となった遺物である。また、今回出土した「妻大」に加え、「上妻大」「瀧」は筑後国上妻郡、三瀧郡、下妻郡に関する遺物として、当地域が三郡の何れに相当し区分されるか否かの争点になりうる資料として注目される。

3. おわりに

今回の調査は、遺構残存状態が極めて良好であったことから幸いにも 8 世紀代を中心とする集落形成の過程を辿る貴重な成果を得ることができた。しかし、当地域における集落のあり方、古代西海道（駅路・伝路）との関係、条里制などの観点からしても歴史解明には程遠く、問題が山積している状況に変わりはない。今後の調査事例によって資料が増加することを期待したい。

Fig	遺構番号	遺物No.	種別	器種	墨書	刻書	記号	備考
羽犬塚射場ノ本遺跡(第4次調査) 報告書第106集								
25	4SI100	121	土師器	壺			○	内底:「×」
25	4SI100	122	土師器	壺			○	内底:アンクル状の記号
26	4SI100	129	土師器	皿			○	外底:「—」
26	4SI100	130	土師器	皿	○			外底:判読不明
26	4SI100	133	土師器	皿	○			外底:花文状
26	4SI100	134	土師器	皿			○	内外底:「×」
26	4SI100	135	土師器	皿			○	内底:「—」
27	4SI110	146	土師器	皿			○	内外底:「—」
27	4SI110	149	須恵器	皿			○	内底:不明
28	4SI120	184	須恵器	壺	○			外底:判読不明
33	4SI130	290	土師器	皿	○			外底:「□觀」「廿九」「同年多数」
37	4SI130	391	土師器	皿	○			外底:「妻大」?
42	4SI150	474	土師器	皿	○			外底:3ヶ所に墨痕
45	4SI180	530	土師器	不明			○	外面:不明
46	4SI190	546	土師器	丸底壺			○	外底:「×」
46	4SI190	547	土師器	丸底壺	○			外面:墨痕
46	4SI190	555	土師器	皿		○		内底:「幸」?
51	4SP222	630	土師器	壺			○	外底:「—」
羽犬塚射場ノ本遺跡(第1・2次調査) 報告書第17集								
16	2SK271	3	土師器	蓋	○			天井部:判読不明
16	2SK271	4	土師器	壺	○			体部外面:「足立」
19	表土	4	土師器	壺			○	判読不明
19	表土	6	土師器	壺	○			外底:判読不明
19	表土	7	土師器	壺		○	○	内底:「吉」・外底:「井」記号
羽犬塚中道遺跡(第1次調査) 報告書第65集								
83	1SI01	1	土師器	鉢		○	○	体部外面:「大井石」か?・「×」
93	1SX02	5	土師器	壺	○			外底:判読不明「東」か?
93	1SX04	11	須恵器	蓋	○			天井部:「満」
93	1SX08	22	土師器	不明	○			外底:判読不明
94	カクラン	4	土師器	壺		○		外底:線刻
羽犬塚中道遺跡(第2次調査) 報告書第65集								
141	2SB045	16	土師器	壺	○			外底:判読不明
135	2SI135	17	土師器	壺			○	内底:「×」
156	2SK170	197	土師器	蓋	○			天井部:「東」
156	2SK170	198	土師器	蓋	○			天井部:「東」
156	2SK170	199	土師器	皿	○			外底:「東」
156	2SK170	200	土師器	皿	○			外底:「東」
156	2SK170	201	土師器	皿	○			外底:「東」
156	2SK170	202	土師器	皿	○			外底:「東」
156	2SK170	203	土師器	皿	○			外底:「東」
156	2SK170	204	土師器	皿	○			外底:判読不明
156	2SK170	205	土師器	皿	○			外底:「東」
156	2SK170	206	土師器	皿	○			外底:「東」
156	2SK170	207	土師器	皿	○			外底:「東」
157	2SK170	208	土師器	皿	○			外底:「東」
157	2SK170	209	土師器	皿	○			外底:「東」
157	2SK170	210	土師器	皿	○			外底:「東」
157	2SK170	211	土師器	皿	○			外底:「東」
157	2SK170	212	土師器	台付皿	○			外底:「東」
157	2SK170	213	土師器	壺	○			外底:「東」
157	2SK170	214	土師器	壺	○			外底:「東」
157	2SK170	215	土師器	壺	○			外底:「東」
157	2SK170	216	土師器	壺	○			外底:「東」
157	2SK170	217	土師器	壺	○			外底:「東」
157	2SK170	218	土師器	壺	○			外底:「東」
157	2SK170	219	土師器	壺	○			外底:「東」
157	2SK170	220	土師器	壺	○			外底:「東」
157	2SK170	221	土師器	壺	○			外底:「東」
158	2SK170	222	土師器	壺	○			外底:「東」
158	2SK170	223	土師器	壺	○			外底:「東」
158	2SK170	224	土師器	壺	○			外底:「東」
158	2SK170	225	土師器	壺	○			外底:「東」
158	2SK170	226	土師器	壺	○			外底:「東」
158	2SK170	227	土師器	壺	○			外底:「東」
158	2SK170	228	土師器	壺	○			外底:「東」
158	2SK170	229	土師器	壺	○			外底:「東」
158	2SK170	230	土師器	壺	○			外底:「東」
158	2SK170	231	土師器	壺	○			外底:「東」

Tab.18 羽犬塚射場ノ本遺跡周辺の墨書・刻書土器①

Fig	遺物番号	遺物No.	種別	器種	墨書	刻書	記号	備考
羽犬塚中道遺跡（第2次調査）報告書第65集								
158	2SK170	232	土師器	壺	○			外底：「人」
158	2SK170	233	土師器	壺	○			体部外面：「東」
159	2SK170	234	土師器	壺	○			外底：「東」
159	2SK170	235	土師器	壺	○			外底：「東」
159	2SK170	236	土師器	壺	○			外底：「東」
159	2SK170	237	土師器	壺	○			外底：「東」
159	2SK170	238	土師器	壺	○			外底：「東」
159	2SK170	239	土師器	壺	○			外底：「東」
159	2SK170	240	土師器	壺	○			外底：「東」
159	2SK170	241	土師器	壺	○			外底：「東」
159	2SK170	242	土師器	壺	○			外底：「東」
159	2SK170	243	土師器	壺	○			外底：「東」
159	2SK170	244	土師器	壺	○			外底：「東」
159	2SK170	245	土師器	壺	○			外底：「東」
159	2SK170	246	土師器	壺	○			体部外面：「東」
160	2SK170	247	土師器	壺	○			外底：「東」
160	2SK170	248	土師器	壺	○			外底：「東」
160	2SK170	249	土師器	壺	○			外底：「東」
160	2SK170	250	土師器	壺	○			外底：「東」
160	2SK170	251	土師器	壺	○			外底：「東」
160	2SK170	252	土師器	壺	○			外底：「東」
160	2SK170	253	土師器	壺	○			外底：「東」
160	2SK170	254	土師器	壺	○			外底：「東」
160	2SK170	255	土師器	壺	○			外底：判読不明
160	2SK170	256	土師器	壺	○			外底：「東」
160	2SK170	257	土師器	壺	○			外底：「東」
160	2SK170	258	土師器	壺	○			外底：「東」
160	2SK170	259	土師器	壺	○			体部外面：「東」
161	2SK170	260	土師器	壺	○			外底：「東」
161	2SK170	261	土師器	壺	○			外底：「東」
161	2SK170	262	土師器	壺	○			外底：「東」
161	2SK170	263	土師器	壺	○			外底：「東」
161	2SK170	264	土師器	壺	○			外底：「東」
161	2SK170	265	土師器	壺	○			外底：「東」
161	2SK170	266	土師器	壺	○			外底：「東」
161	2SK170	267	土師器	壺	○			外底：「東」
161	2SK170	268	土師器	壺	○			外底：「東」
161	2SK170	269	土師器	壺	○			外底：「東」
161	2SK170	270	土師器	壺	○			外底：「東」
161	2SK170	271	土師器	壺	○			外底：「東」
161	2SK170	272	土師器	壺	○			外底：「東」
161	2SK170	273	土師器	壺	○			外底：「東」
161	2SK170	274	土師器	壺	○			外底：「東」
161	2SK170	275	土師器	壺	○			外底：「東」
161	2SK170	276	土師器	壺	○			外底：「東」
161	2SK170	277	土師器	壺	○			外底：「東」・体部外面：「郡狩野」
161	2SK170	278	土師器	壺	○			外底：「東」
161	2SK170	279	土師器	壺	○			外底：「東」
161	2SK170	280	土師器	壺	○			体部外面：「東」
161	2SK170	281	土師器	壺	○			体部外面：「東」
162	2SK170	282	土師器	壺	○			外底：「東」
162	2SK170	283	土師器	壺	○			外底：「東」
162	2SK170	284	土師器	壺	○			外底：「東」
162	2SK170	285	土師器	壺	○			外底：「東」
162	2SK170	286	土師器	壺	○			外底：「東」
162	2SK170	287	土師器	壺	○			外底：「東」
162	2SK170	288	土師器	壺	○			外底：「東」
162	2SK170	289	土師器	壺	○			外底：「東」
162	2SK170	290	土師器	壺	○			外底：「東」
163	2SK170	291	土師器	壺	○			外底：「東」
163	2SK170	292	土師器	壺	○			外底：「東」
163	2SK170	293	土師器	壺	○			外底：「東」
163	2SK170	294	土師器	壺	○			外底：「東」
163	2SK170	295	土師器	壺	○			外底：「東」
163	2SK170	296	土師器	壺	○			外底：「東」
164	2SK250	12	土師器	壺	○			外底：「×」
167	2SX098	10	土師器	皿	○			外底：不明
168	2SX333	8	須恵器	皿	○			外底：「東」

Tab.19 羽犬塚射場ノ本遺跡周辺の墨書・刻書土器②

Fig	遺構番号	遺物No	種別	器種	墨書	刻書	記号	備考
羽犬塚中道遺跡（第2次調査） 報告書第65集								
168	2SX333	10	土師器	壺	○			外底：「東」
168	2SX383	17	土師器	壺	○			外底：「東」
169	2SX396	7	土師器	壺	○			外底：「東」
169	2SX396	8	土師器	壺	○			外底：「東」
169	2SX407	16	縁輪陶器	壺			○	外底：「×」
169	2SX437	22	土師器	蓋	○			天井部：「東」
171	包含層	16	土師器	台付皿	○			外底：「東」
172	包含層	22	土師器	壺	○			外底：「東」
173		5	土師器	壺	○			外底：「東」
羽犬塚中道遺跡（第3次調査） 報告書第47集								
18	3SI05	23	須恵器	壺			○	外底：不明
羽犬塚中道遺跡（第4次調査） 報告書第65集								
178		20	土師器	甕			○	体部外面：不明
羽犬塚山ノ前遺跡（第1次調査） 報告書第48集								
34	1SI115	83	土師器	壺		○		内底：「米」
35	1SX100	94	土師器	壺	○			外底：「木」
38	1SF220	123	土師器	甕			○	体部外面：不明
38	1SF220	143	土師器	壺			○	外底：「×」
44	1SX090	210	土師器	甕	○			外底：「上妻大」
47	1SP178	281	土師器	壺	○			外底：「川」
羽犬塚山ノ前遺跡（第4次調査） 報告書第104集								
7	4SP08	5	土師器	壺	○			外底：「C大」、口縁部：「」

Tab.20 羽犬塚射場／本遺跡周辺の墨書・刻書土器③

【参考文献】

「羽犬塚射場／本遺跡第1・2次調査」「羽犬塚射場／本遺跡」 築後市文化財調査報告書第17集 築後市教育委員会（1996）

「羽犬塚射場／本遺跡第3次調査」「筑後市内遺跡群VI」 築後市文化財調査報告書第65集 築後市教育委員会（2005）

「羽犬塚射場／本遺跡第4次調査—概報一」「羽犬塚射場／本遺跡II」 築後市文化財調査報告書第88集 築後市教育委員会（2008）

「羽犬塚中道遺跡第1・2・4・5次調査」「筑後市内遺跡群VII」 築後市文化財調査報告書第65集 築後市教育委員会（2005）

「羽犬塚中道遺跡第3次調査」「羽犬塚中道遺跡」 築後市文化財調査報告書第47集 築後市教育委員会（2003）

「羽犬塚山ノ前遺跡第1次調査」「羽犬塚山ノ前遺跡」 築後市文化財調査報告書第48集 築後市教育委員会（2003）

「羽犬塚山ノ前遺跡第2次調査」「羽犬塚山ノ前遺跡II」 築後市文化財調査報告書第60集 築後市教育委員会（2005）

「羽犬塚山ノ前遺跡第3次調査」「筑後市内遺跡群XIV」 築後市文化財調査報告書第98集 築後市教育委員会（2011）

「羽犬塚山ノ前遺跡第4次調査」「羽犬塚山ノ前遺跡III」 築後市文化財調査報告書第104集 築後市教育委員会（2012）

「前津丘ノマヤ遺跡第1次調査」「前津丘ノマヤ遺跡」 築後市文化財調査報告書第80集 築後市教育委員会（2007）

「徳久北原遺跡第1次調査」「筑後市内遺跡群XIV」 築後市文化財調査報告書第98集 築後市教育委員会（2011）

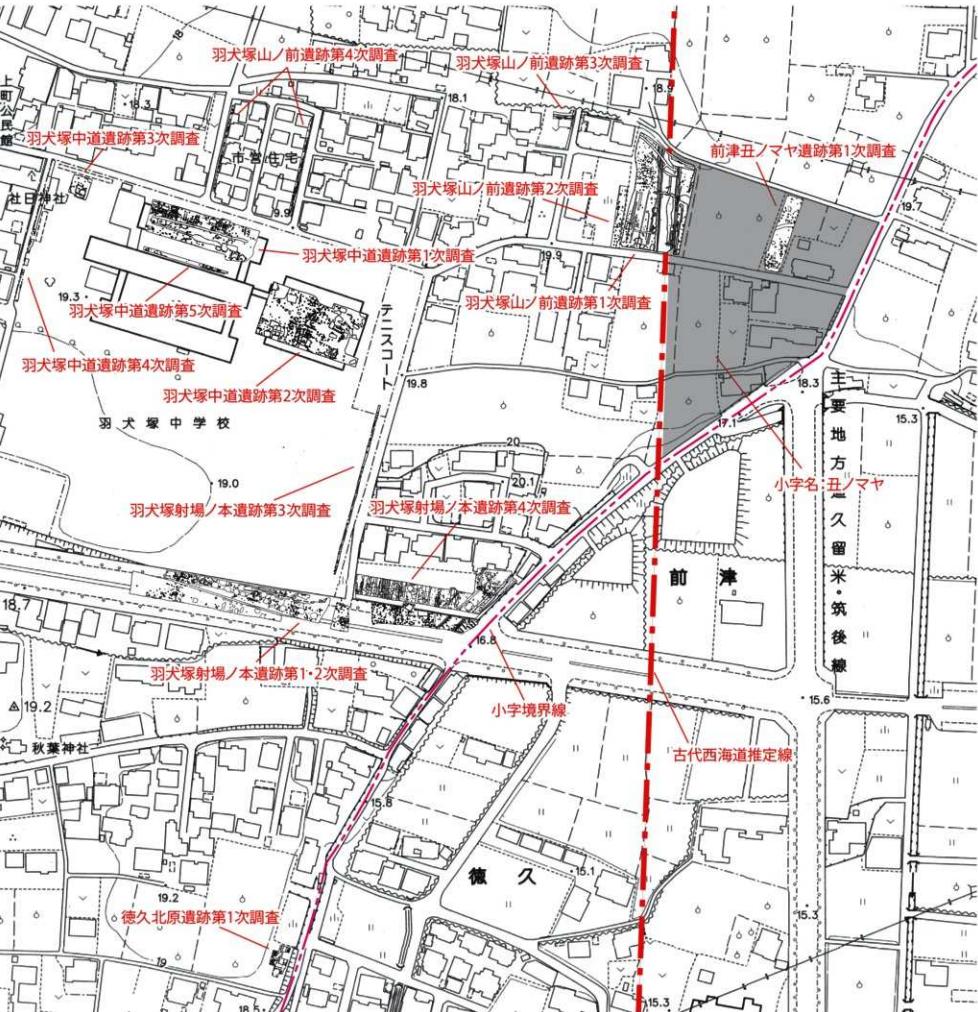
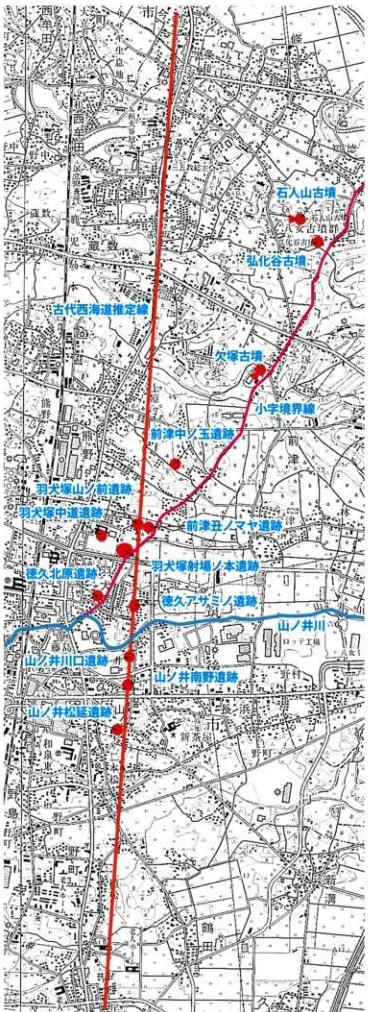


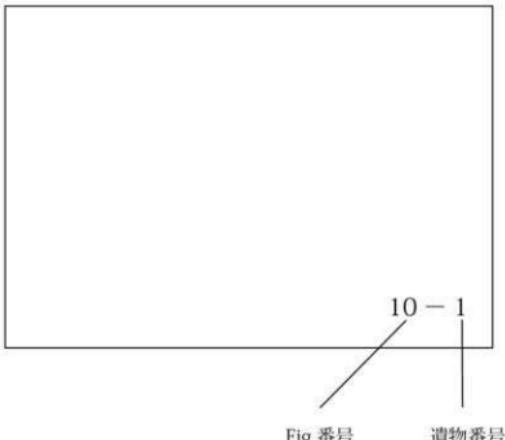
Fig.52-1 周辺遺跡分布図 (1/25,000)

Fig.52-2 羽犬塚射場／本遺跡第4次調査周辺の遺構配置図 (1/2,000)

PLATE

凡 例

遺物写真右下の番号は、以下のとおりである。





羽犬塚射場／本遺跡第4次調査遠景（空中写真：南東から）

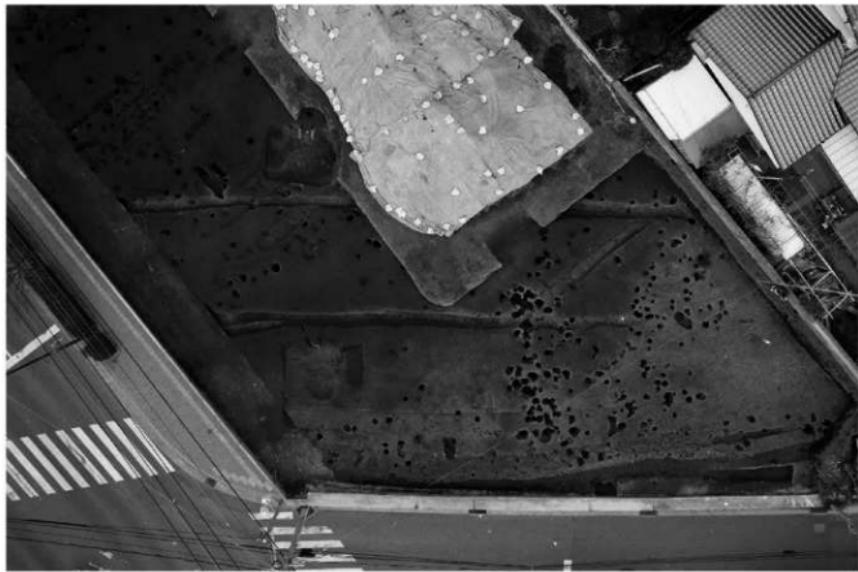


羽犬塚射場／本遺跡第4次調査全景（空中写真：上が北）

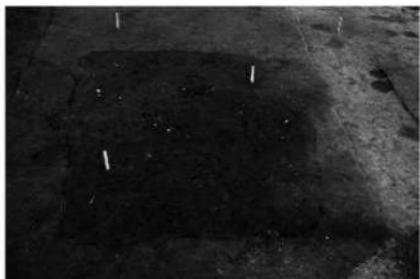
Pla.2



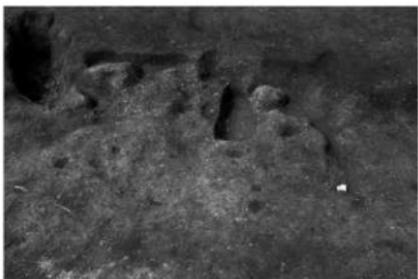
羽犬塚射場／本遺跡第4次調査西側調査区（空中写真：上が北）



羽犬塚射場／本遺跡第4次調査東側調査区（空中写真：上が北西）



4SI040 検出状況（南西から）



4SI040 カマド検出状況（南東から）



4SI040 カマド土層断面（北東から）



4SI040 カマド完掘状況（南東から）



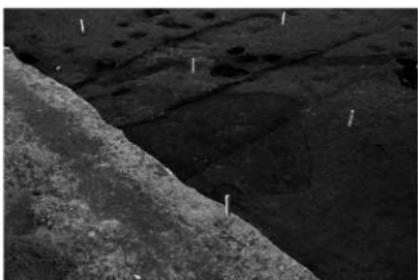
4SI040 床面確認状況（南東から）



4SI040 屋内土坑土層断面 I-I' (北西から)



4SI040 完掘状況（南東から）



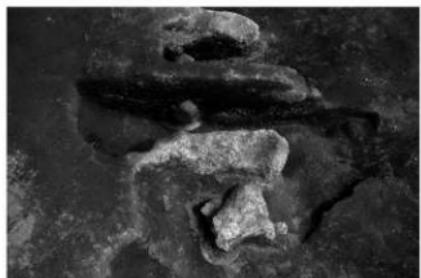
4SI050 検出状況（北西から）



4SI050 カマド袖部遺物検出状況 1 (南西から)



4SI050 カマド袖部遺物検出状況 2 (南西から)



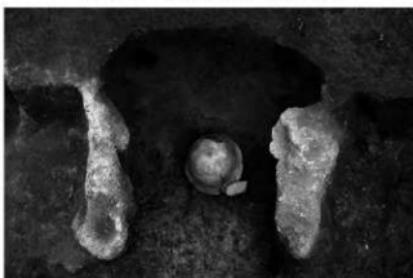
4SI050 カマド土層断面 (南西から)



4SI050 カマド完掘状況 1 (南東から)



4SI050 カマド完掘状況 2 (正面から)



4SI050 カマド完掘状況 3 (真上から)



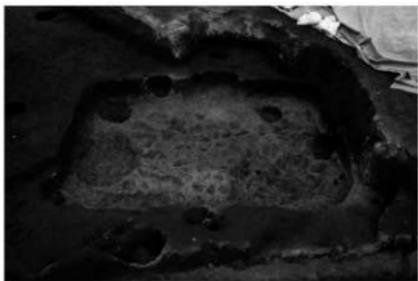
4SI050 カマド完掘状況 4 (煙道から)



4SI050 床面確認状況 (南東から)



4SI050 屋内土坑完掘状況（南西から）



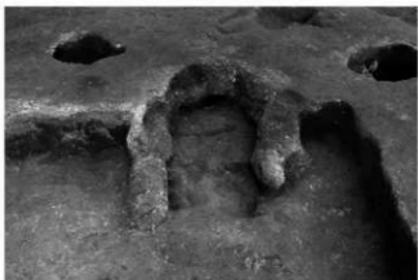
4SI050 完掘状況（南東から）



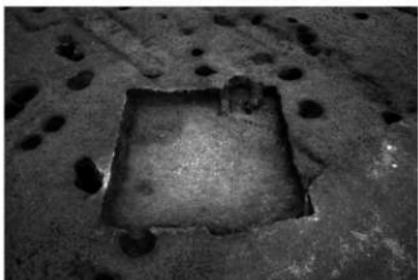
4SI060 検出状況（北西から）



4SI060 カマド検出状況（西から）



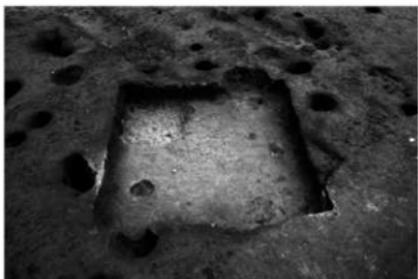
4SI060 カマド確認状況（南西から）



4SI060 床面検出状況（南西から）



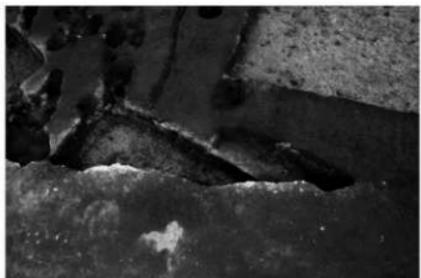
4SI060 屋内土坑土層断面 a-a' (北西から)



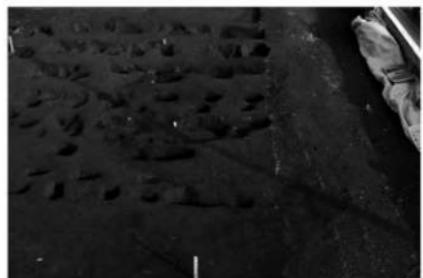
4SI060 完掘状況（南西から）



4SI070・080 床面検出状況（東から）



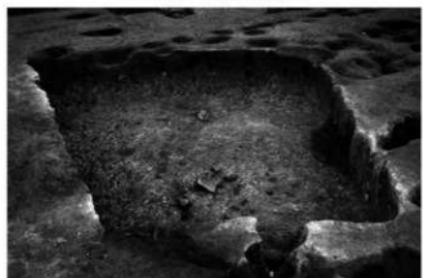
4SI070・080 完掘状況（南から）



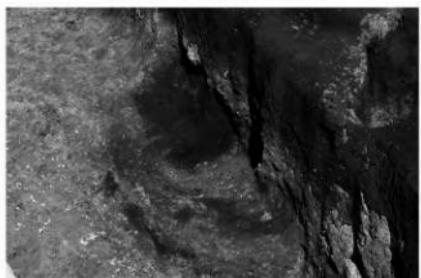
4SI090 検出状況（西から）



4SI090 カマド検出状況（西から）



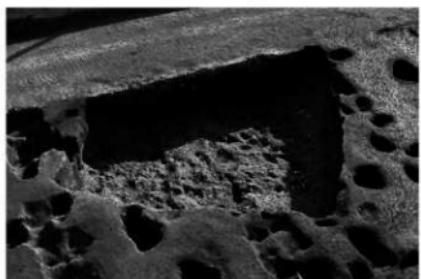
4SI090 床面検出状況（東から）



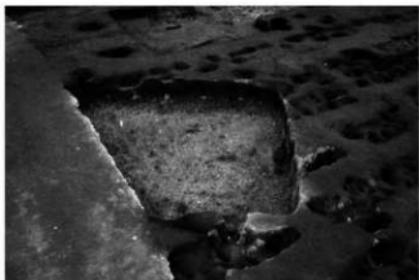
4SI090 屋内土坑土層断面 g-g'（北西から）



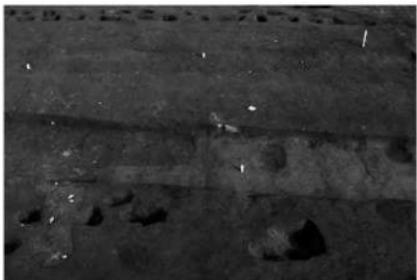
4SI090 屋内土坑土層断面 h-h'（北東から）



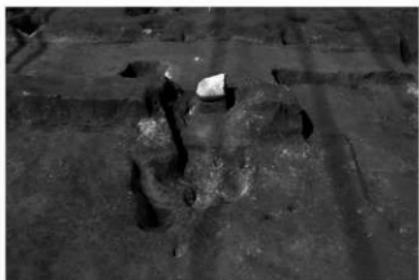
4SI090 完掘状況（北東から）



4SI1090 完掘状況（南東から）



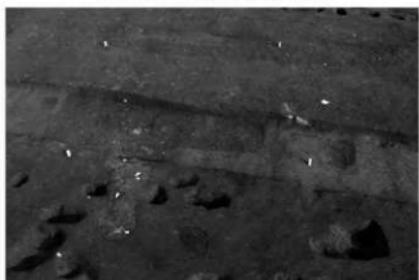
4SI100 検出状況（西から）



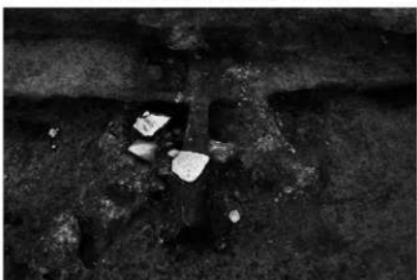
4SI100 カマド確認状況（東から）



4SI100 屋内土坑土層断面 g-g'（南から）



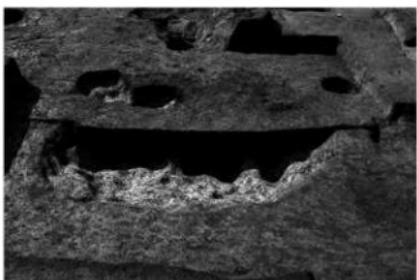
4SI110 検出状況（西から）



4SI110 カマド検出状況（東から）



4SI110 カマド確認状況

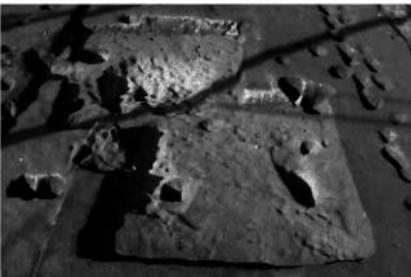


4SI110 屋内土坑土層断面 c-c'（南から）

Pla.8



4SI100・110 床面検出状況（東から）



4SI100・110 完掘状況（南から）



4SI120・160・210 検出状況（東から）



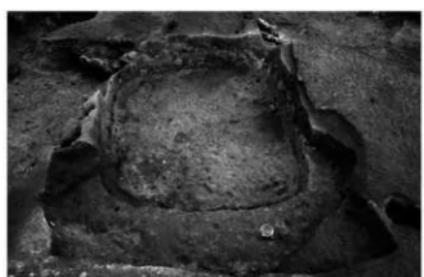
4SI120・210 床面検出状況（東から）



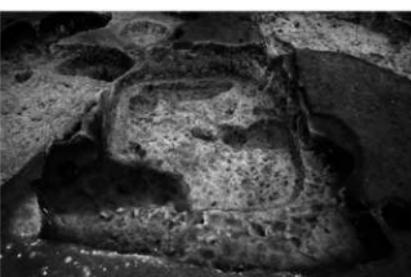
4SI120・210 完掘状況（南から）



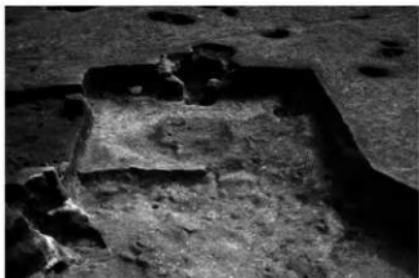
4SI130・140 検出状況（北東から）



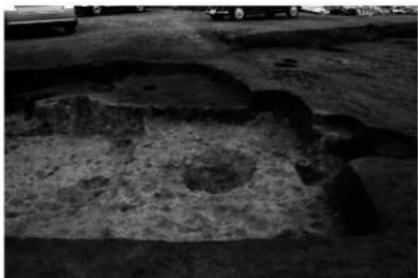
4SI130・140・170 床面検出状況（南から）



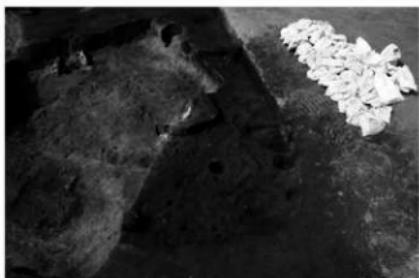
4SI130・140・170 完掘状況（南から）



4SI150 床面検出状況（北西から）



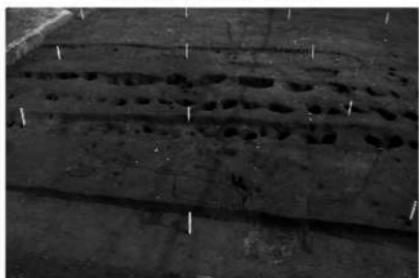
4SI150 完掘状況（南西から）



4SI160 床面検出状況（東から）



4SI180・200 検出状況（西から）



4SI190 検出状況（西から）



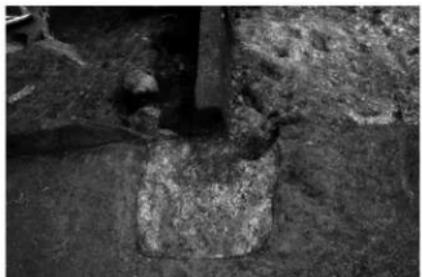
4SI180・190 床面検出状況（南から）



4SI180・190 完掘状況（南から）



4SI200 カマド検出状況（東から）



4SI200 カマド検出状況（西から）



4S I 200 カマド土層断面（南から）



4SI200 カマド確認状況（東から）



4SI210 カマド確認状況（南西から）



4SB230、4SI100・110 完掘状況（南から）



4SB230 完掘状況（南から）



4SB240 完掘状況（南西から）



4SB250 完掘状況（南から）



4SA260・265、4SK256 完掘状況（北東から）



4SF270 検出状況（南西から）



4SF270 検出状況（西から）



4SF270 完掘状況（北東から）



4SD020 検出状況（南西から）



4SD020 土層断面 a-a'（北東から）



4SD020 土層断面 b-b'（南西から）



4SD020 土層断面 c-c'（北東から）



4SD020 土層断面 d-d' (南西から)



4SD020 土層断面 e-e' (北東から)



4SD020 北部波板状圧痕確認状況 (北東から)



4SD020 南部波板状圧痕確認状況 (北東から)



4SD020 波板状圧痕確認状況 (北東から)



4SD030・220 土層断面 g-g' (北東から)



4SD030 土層断面 h-h' (南西から)



4SD030 土層断面 i-i' (北東から)



4SD030 土層断面 J-J' (南西から)



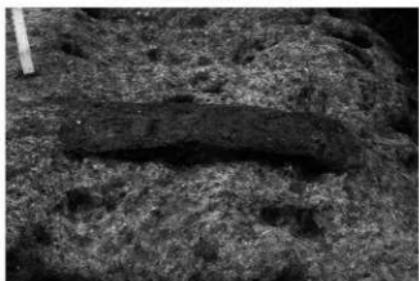
4SD009・010・095 土層断面 (南西から)



4SD010 土層断面 (北東から)



4SD010 交差部土層断面 (西から)



4SD095 土層断面 (南から)



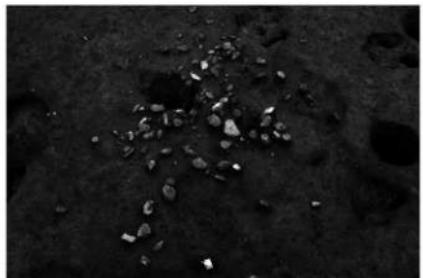
4SD009・010・095 完掘状況 (南西から)



4SK061 土層断面 (南から)



4SK096 土層断面 (北から)



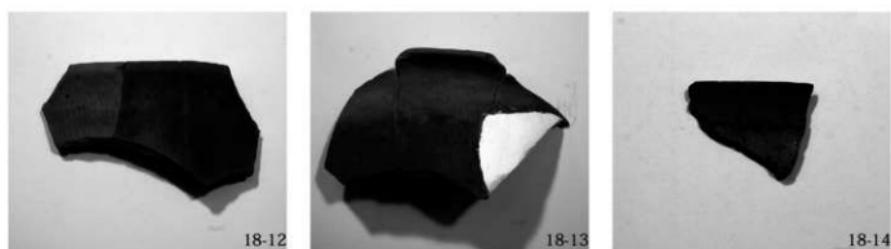
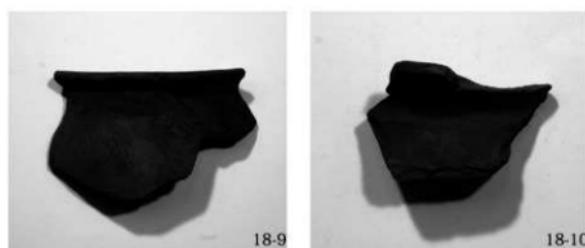
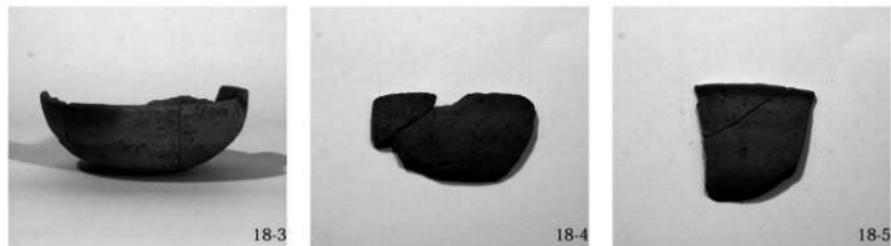
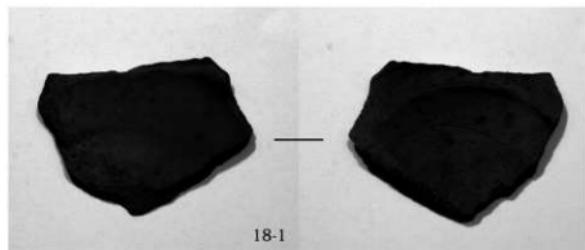
4SK256 出土状況（南から）



調査区東側ピット群完掘状況（西から）

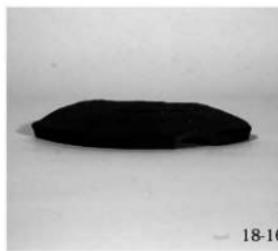


調査区東側ピット群完掘状況（空中写真：上が北西）

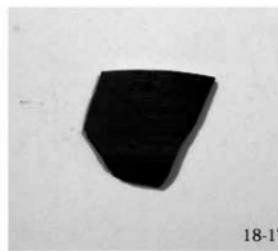




18-15



18-16



18-17



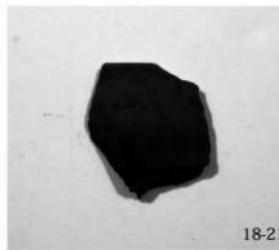
18-18



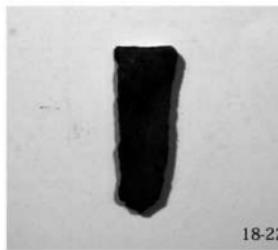
18-19



18-20



18-21



18-22



18-23



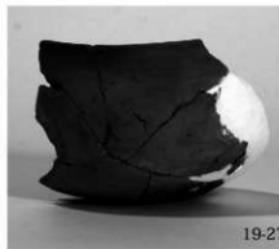
19-24



19-25



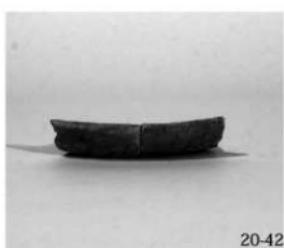
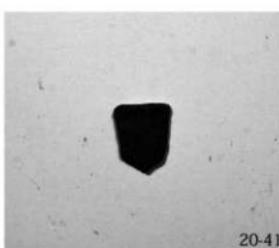
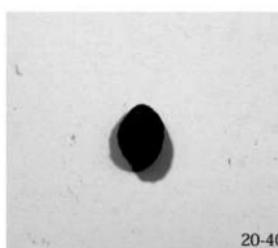
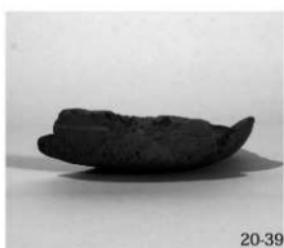
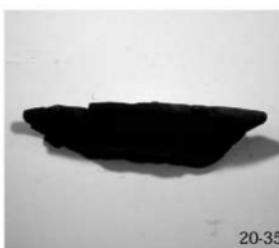
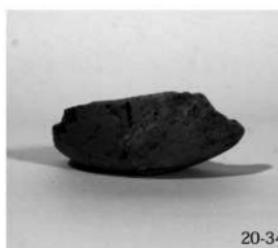
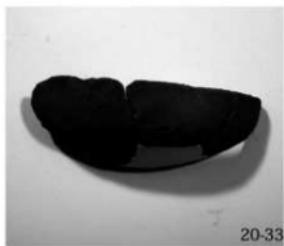
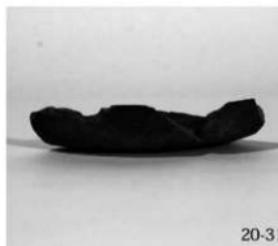
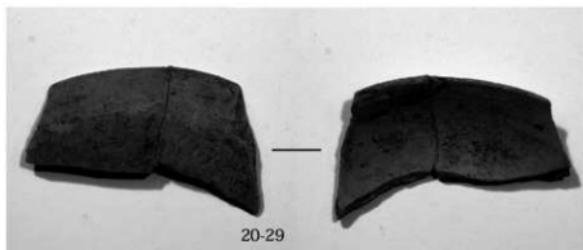
19-26

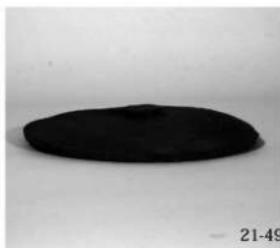
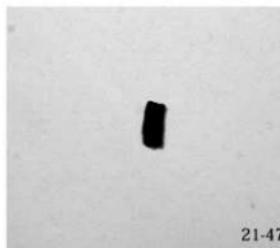
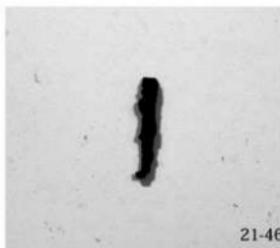
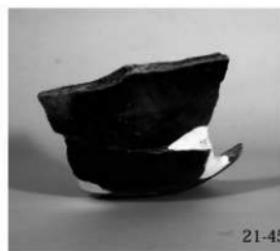
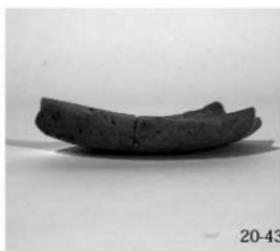


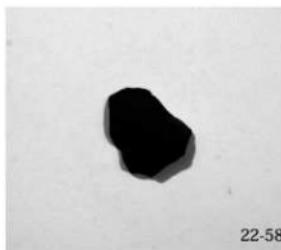
19-27



20-28







22-58



22-59



22-60



22-61



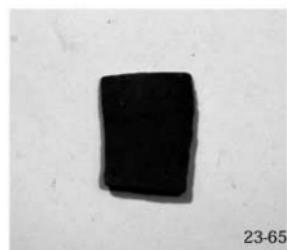
22-62



22-64



22-63



23-65



23-66



23-67



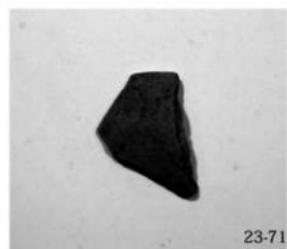
23-68



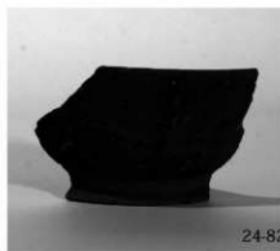
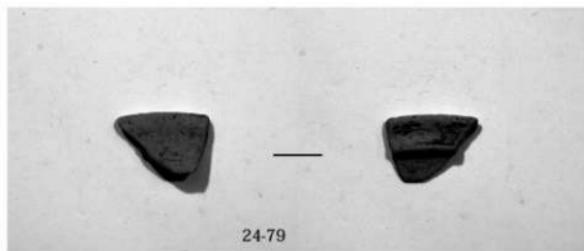
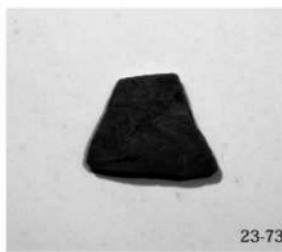
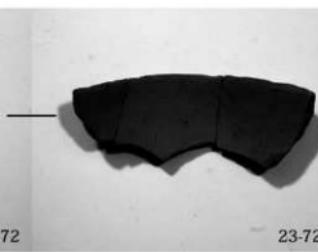
23-69

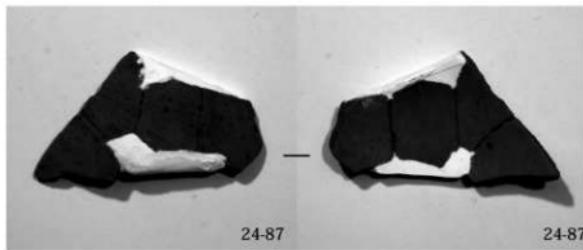
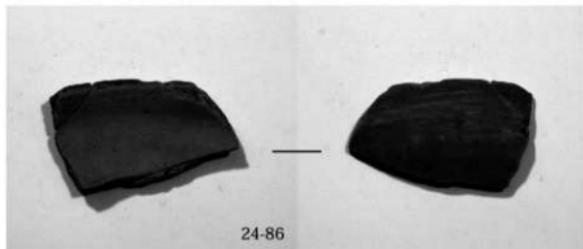
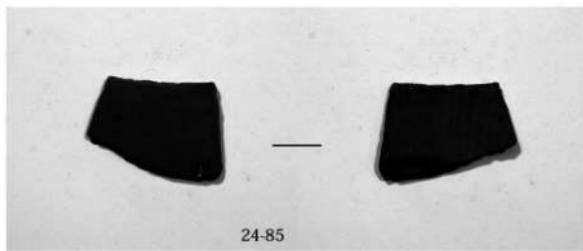


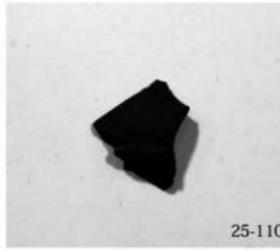
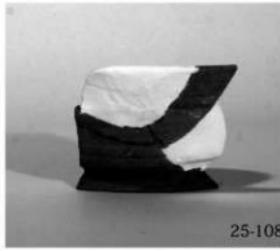
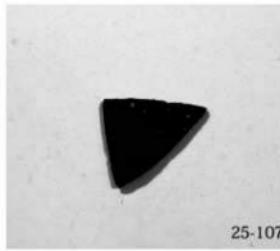
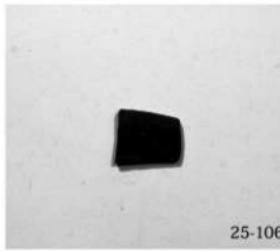
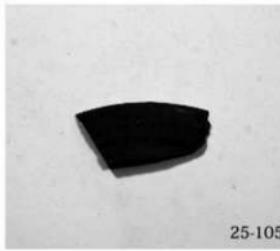
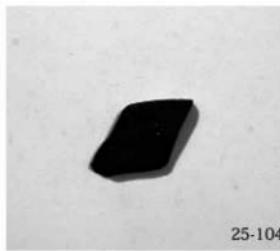
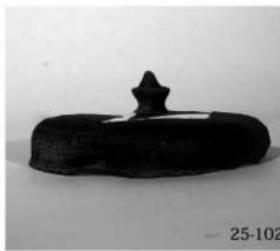
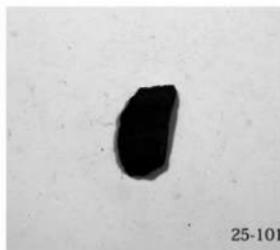
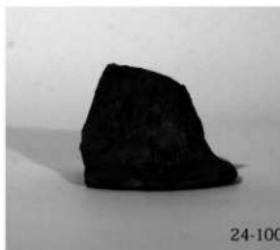
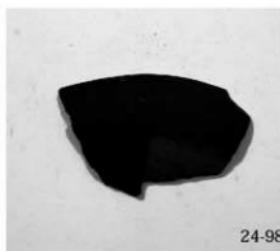
23-70

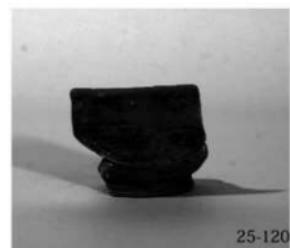
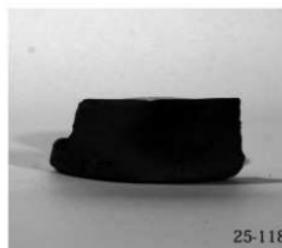
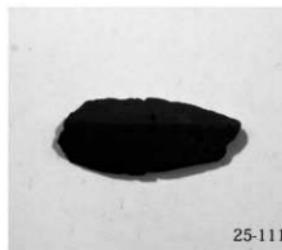


23-71











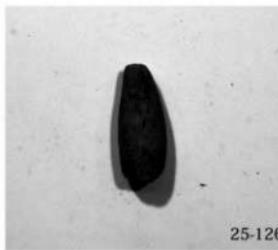
25-123



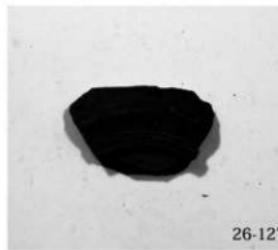
25-124



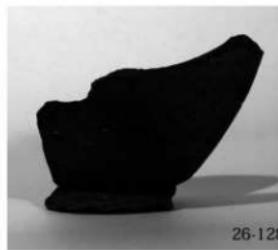
25-125



25-126



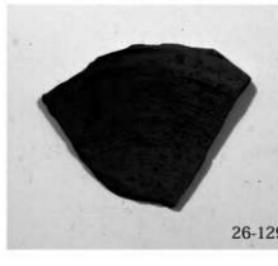
26-127



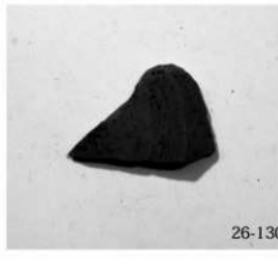
26-128



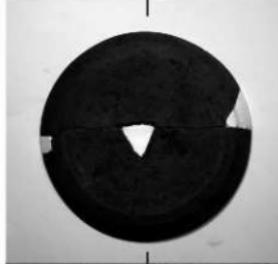
26-133



26-129



26-130

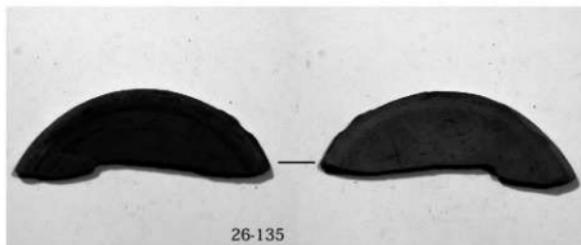


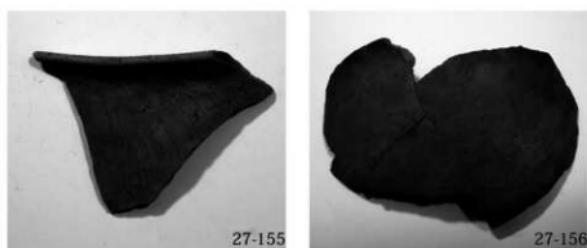
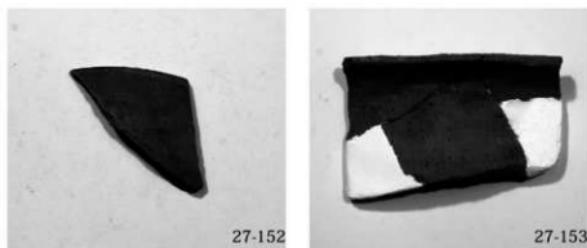
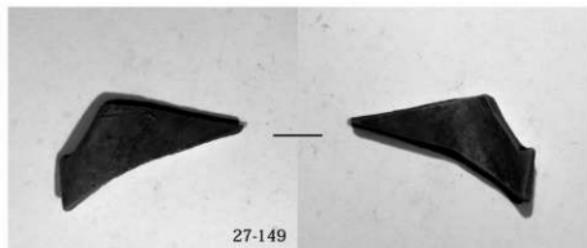
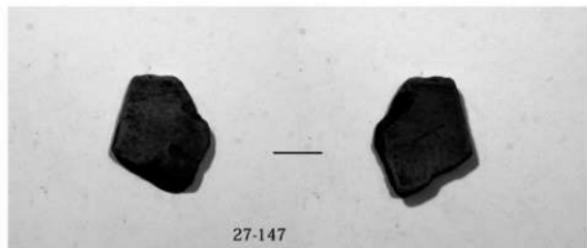
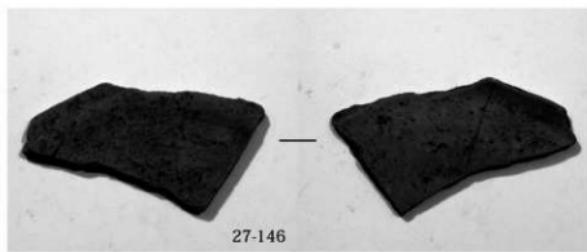
26-131

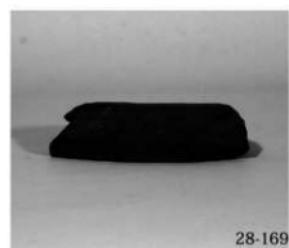


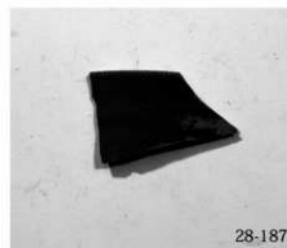
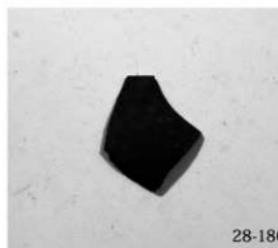
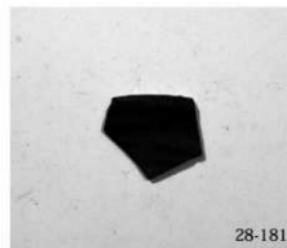
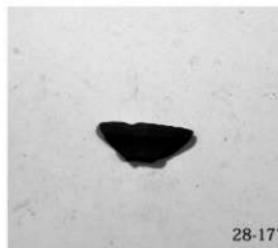
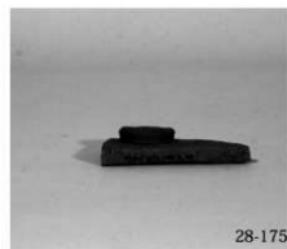
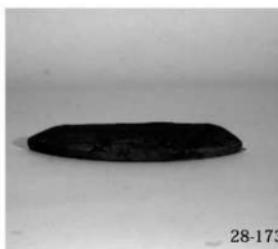
26-132













28-188



28-189



28-190



28-190



28-191



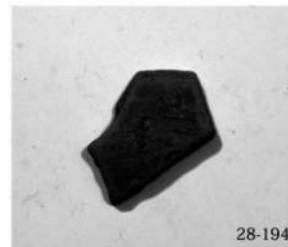
28-191



28-192



28-193



28-194



28-195



28-196



28-197



28-198



28-199



28-200



28-201



28-202



28-203



28-204



29-205



29-206



29-207



29-208



29-209



29-210



29-211



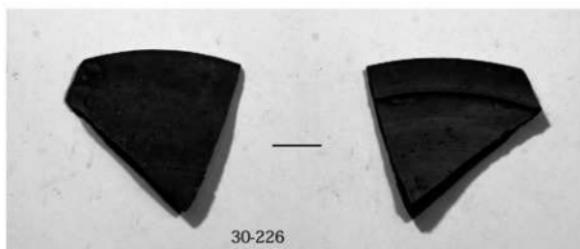
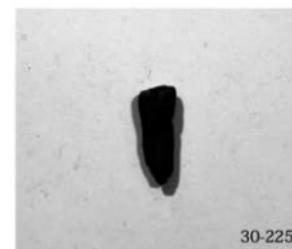
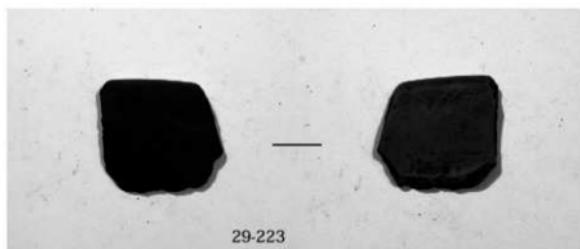
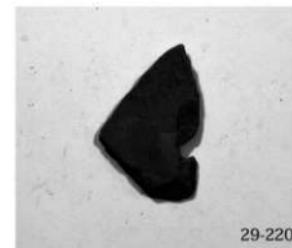
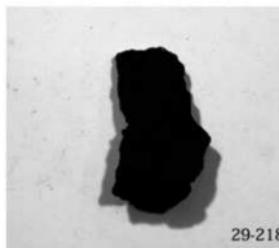
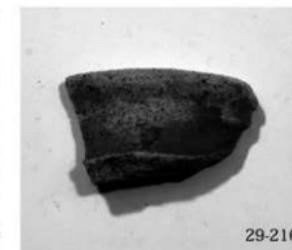
29-212



29-213



29-214

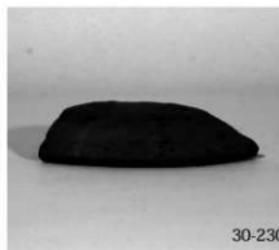




30-228



30-229



30-230



30-231



30-232



30-233



30-234



30-235



30-236



30-237



30-238



30-239



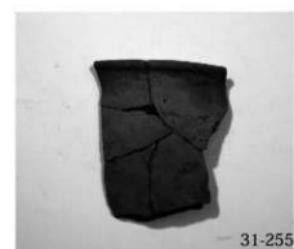
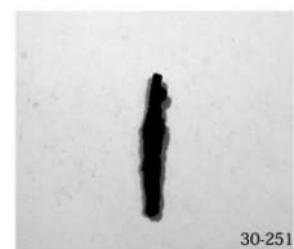
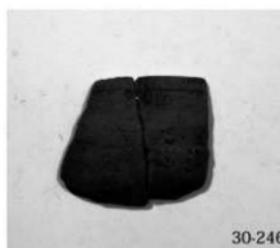
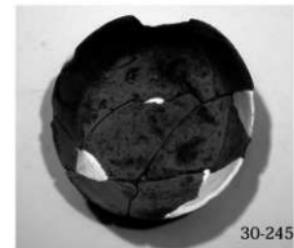
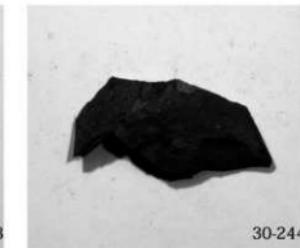
30-240



30-241



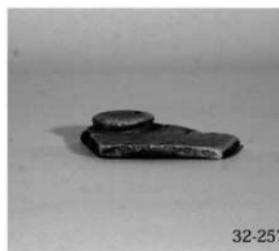
30-242



Pla.34



31-256



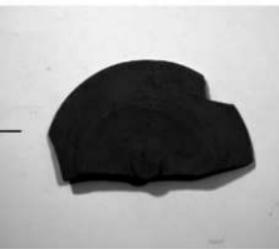
32-257



32-258



32-259



32-258



32-260



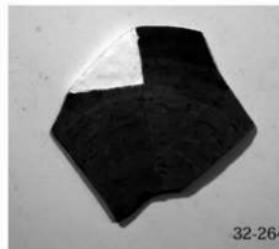
32-261



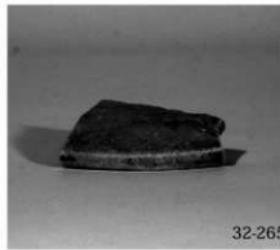
32-262



32-263



32-264



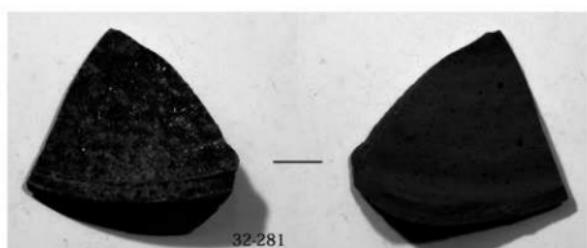
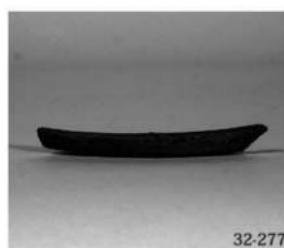
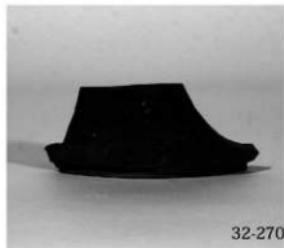
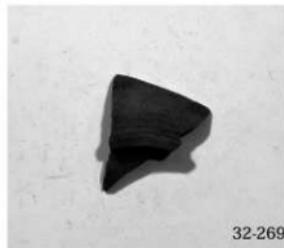
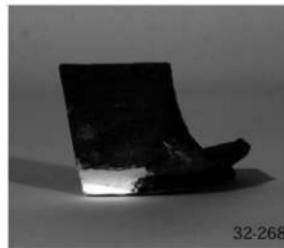
32-265



32-266



32-267

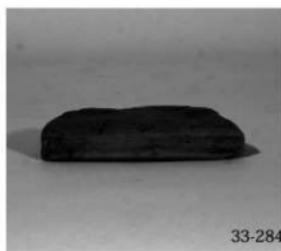




32-282



32-283



33-284



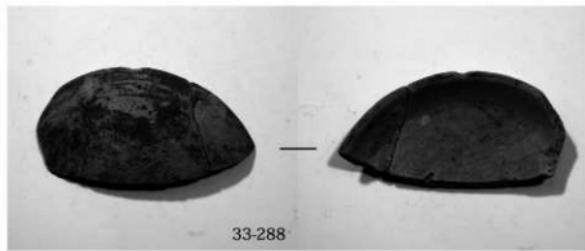
33-285



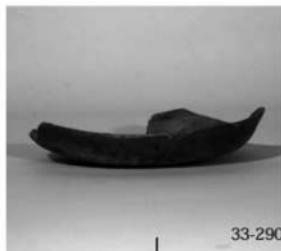
33-286



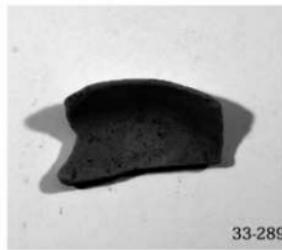
33-287



33-288



33-290



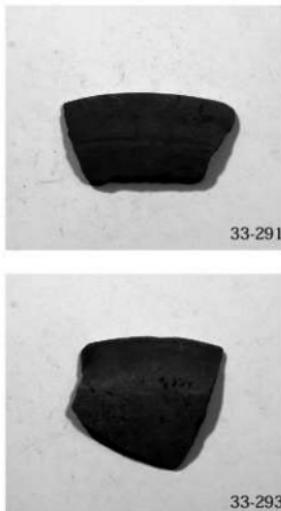
33-289



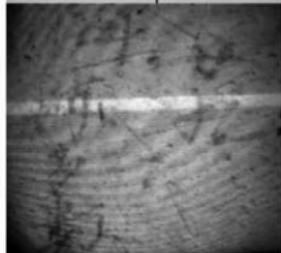
33-291

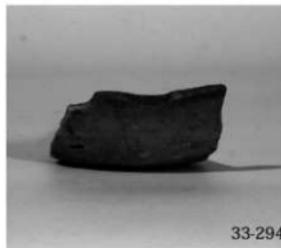


33-292



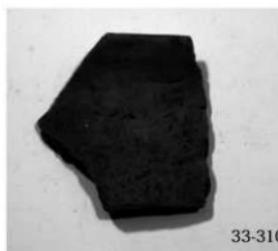
33-293







33-309



33-310



34-311



34-312



34-313



34-314



34-315



34-316



34-317



34-318



34-319



34-320



34-321



34-322



34-323



34-324



34-325



34-326



34-327



34-328



35-329



35-330



35-331



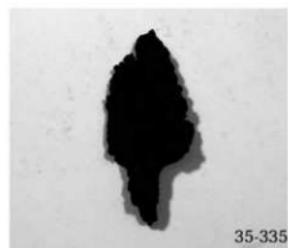
35-332



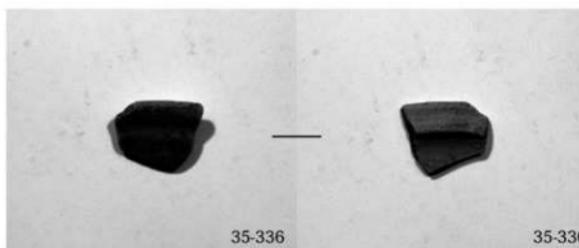
35-333



35-334



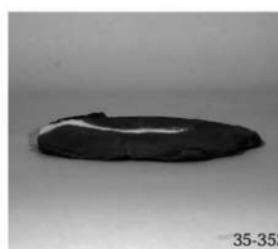
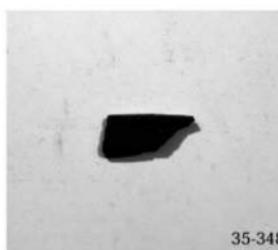
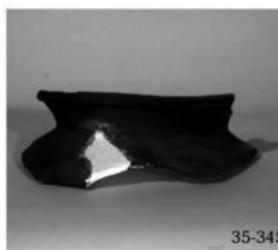
35-335

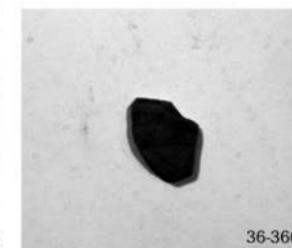
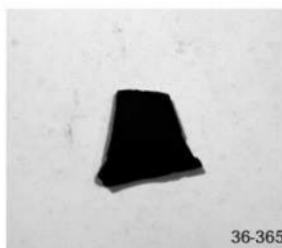
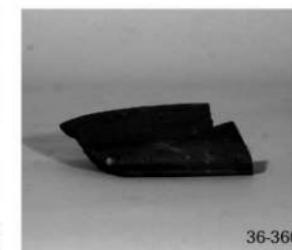
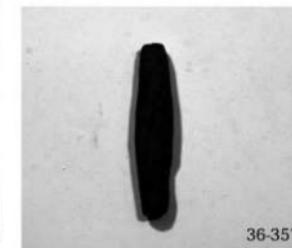


35-336



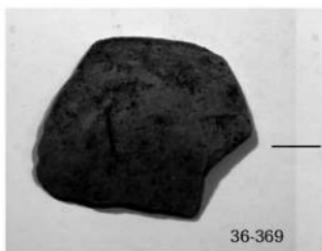
35-337







36-368



36-369



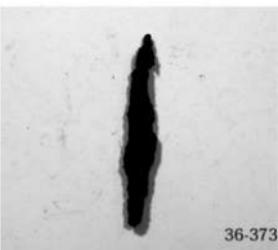
36-370



36-371



36-372



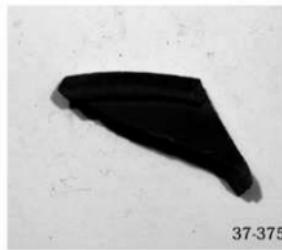
36-373



36-374



37-374



37-375



37-376



37-377



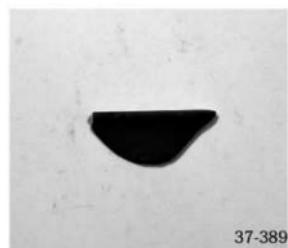
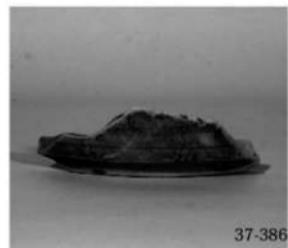
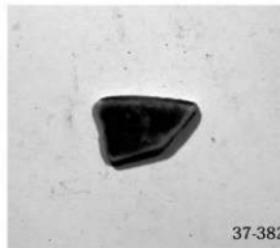
37-378



37-379



37-380





37-396



37-397



38-398



38-399



38-400



38-401



38-402



38-403



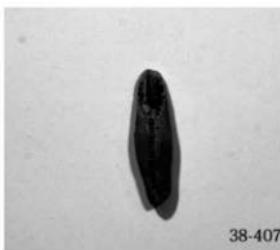
38-404



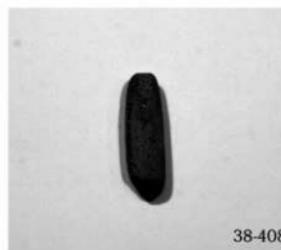
38-405



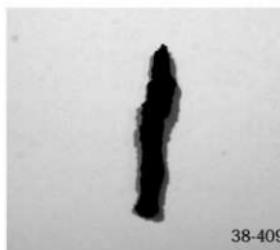
38-406



38-407



38-408



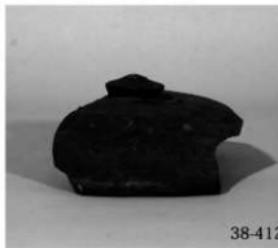
38-409



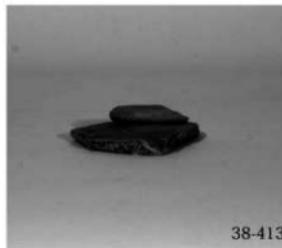
38-410



38-411



38-412



38-413



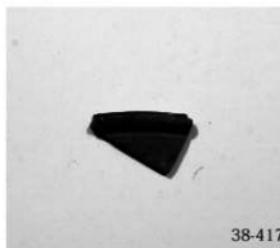
38-414



38-415



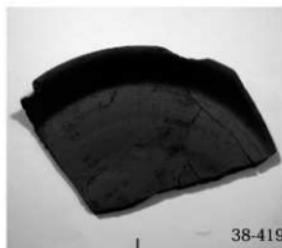
38-416



38-417



38-418



38-419



39-420



39-421



39-422



39-423



39-423



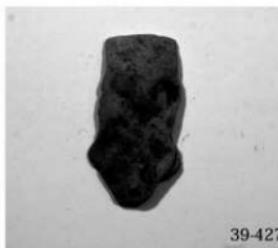
39-424



39-425



39-426



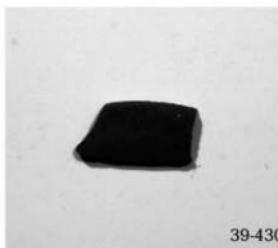
39-427



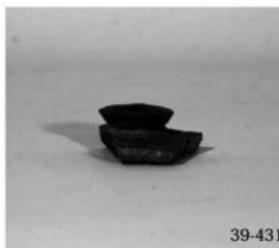
39-428



39-429



39-430



39-431



39-432



39-433



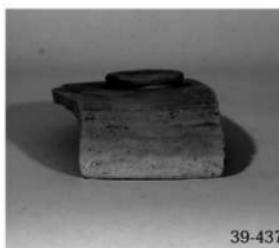
39-434



39-435



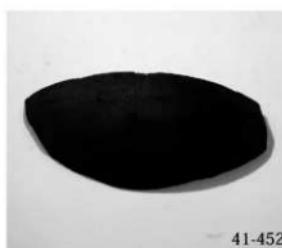
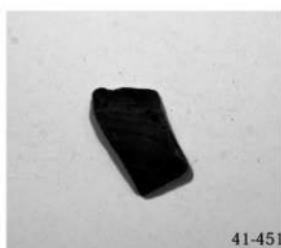
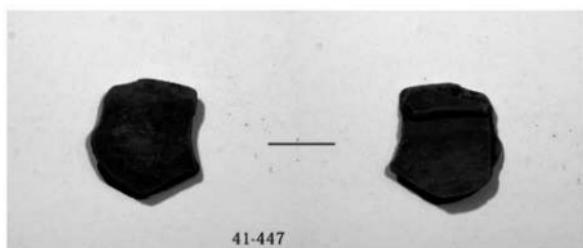
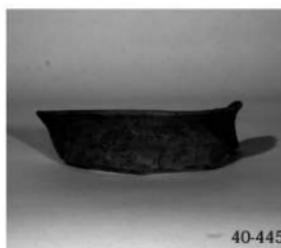
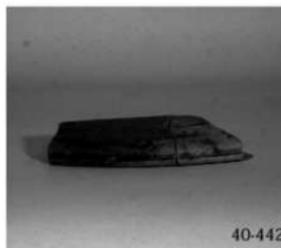
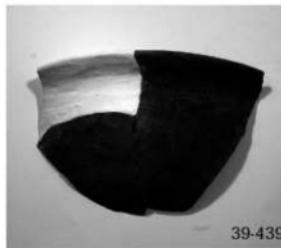
39-436



39-437



39-438





41-453



41-454



41-455



41-456



41-457



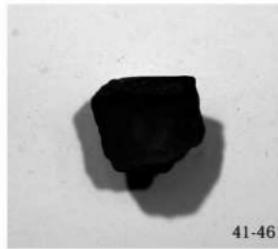
41-458



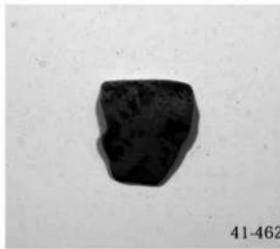
41-459



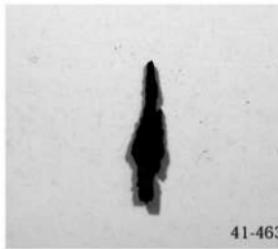
41-460



41-461



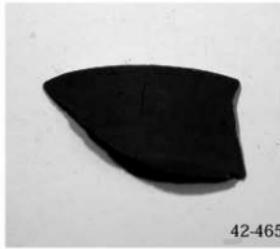
41-462



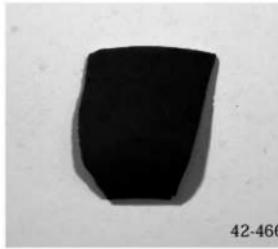
41-463



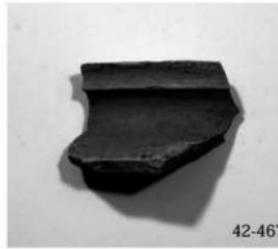
41-464



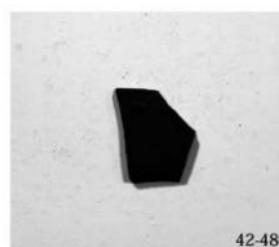
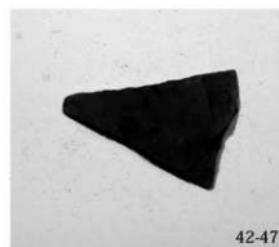
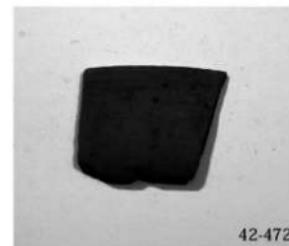
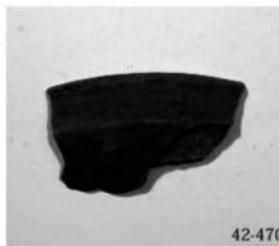
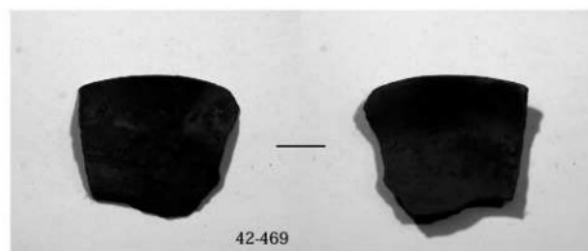
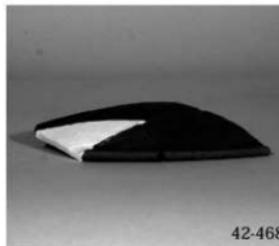
42-465

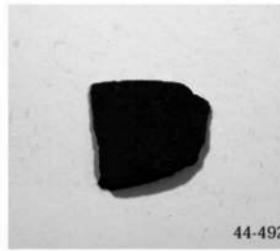
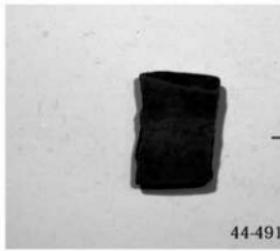
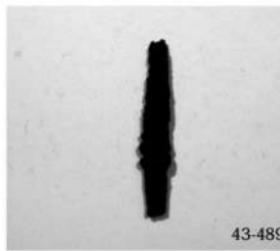
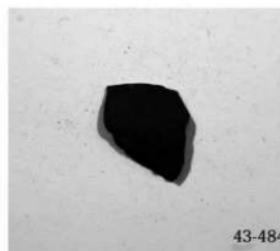


42-466



42-467







44-495



44-496



44-497



44-498



44-499



44-500



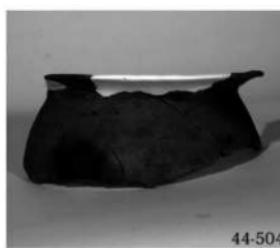
44-501



44-502



44-503



44-504



44-505



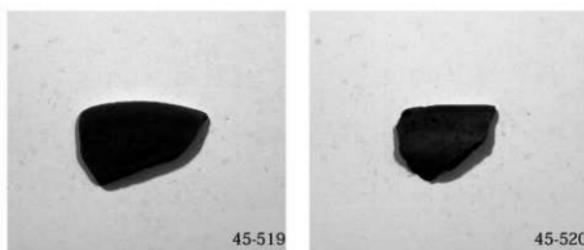
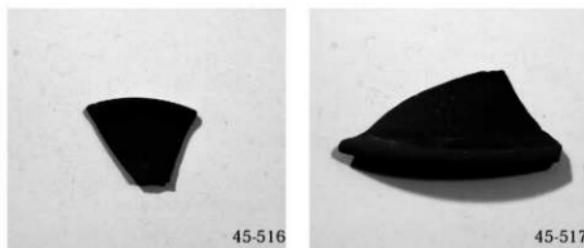
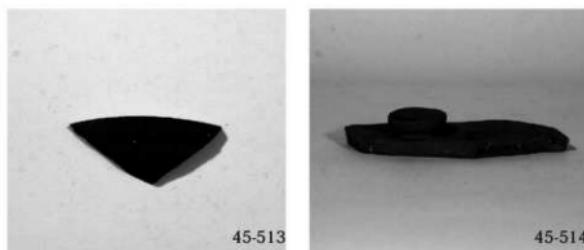
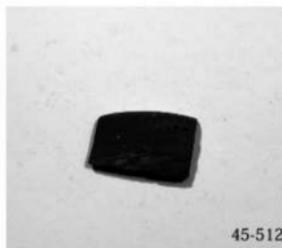
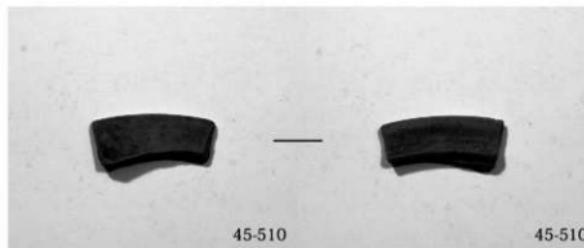
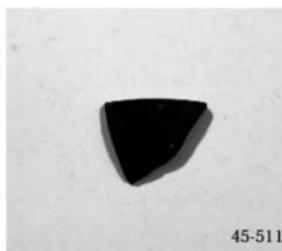
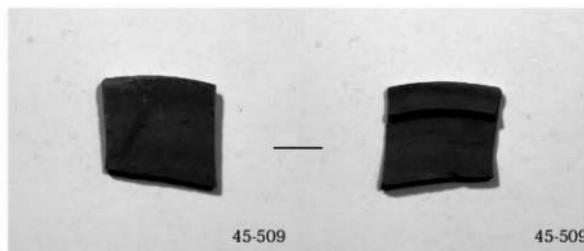
44-506

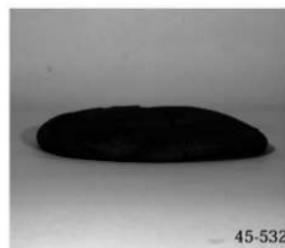


44-507



44-508







45-536



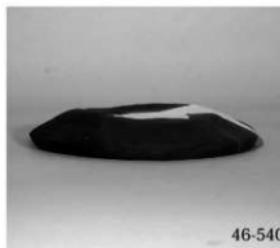
45-537



45-538



45-539



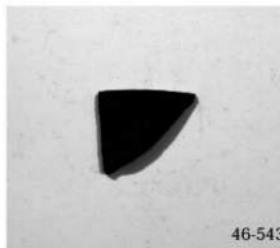
46-540



46-541



46-542



46-543



46-544



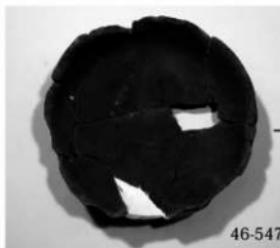
46-545



46-546



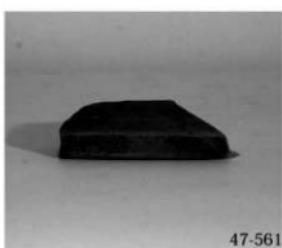
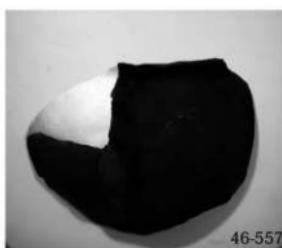
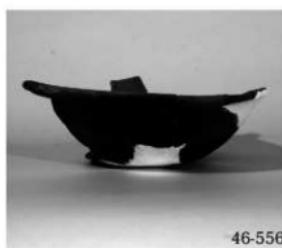
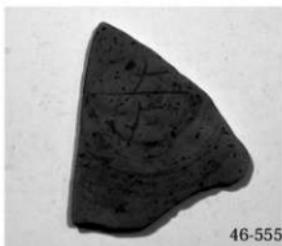
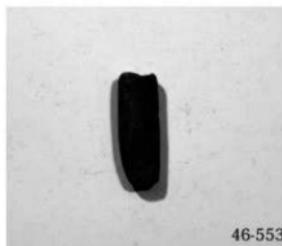
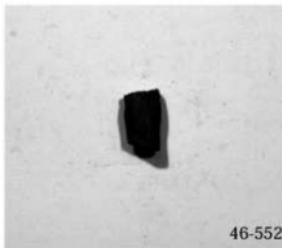
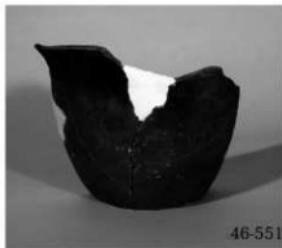
46-548



46-547



46-549



Pla.56



47-565



47-566



47-567



47-568



47-569



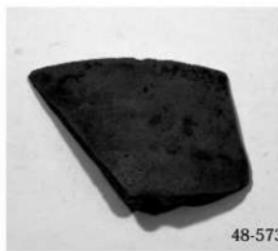
47-570



47-571



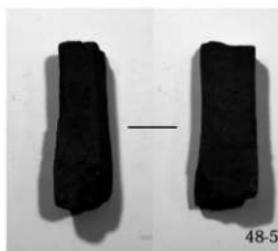
48-572



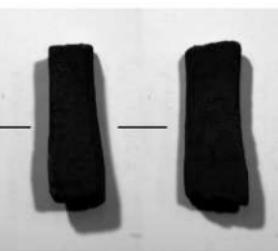
48-573



48-574



48-575



48-576



48-577



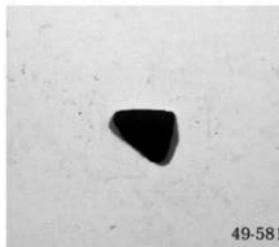
48-578



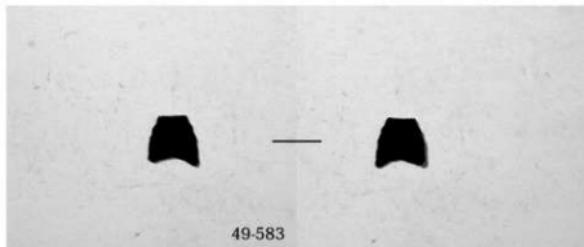
48-579



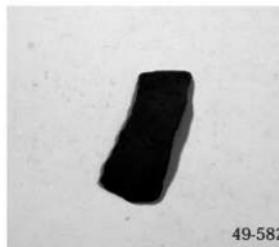
48-580



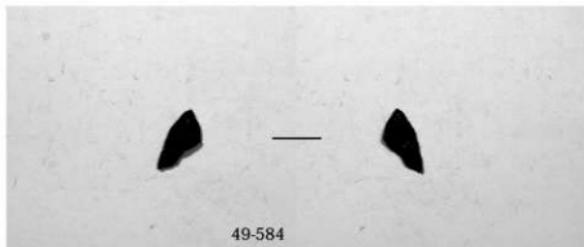
49-581



49-583



49-582



49-584



49-585



49-586



49-587



49-588

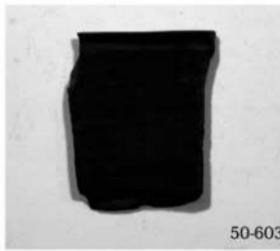
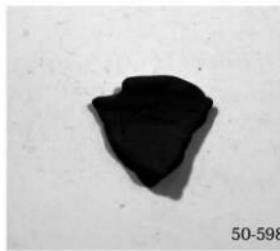
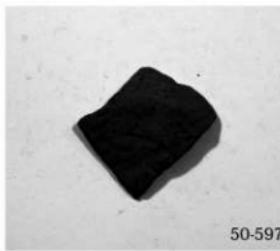
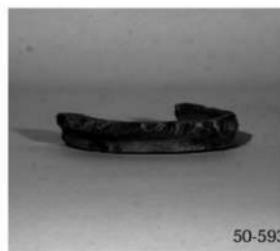


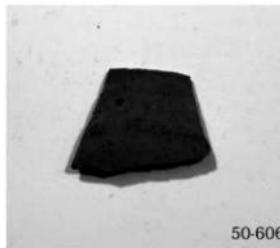
49-589



49-590

Pla.58





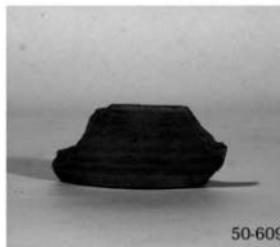
50-606



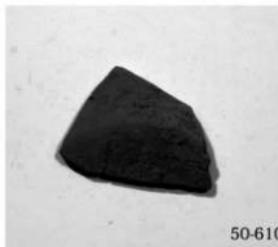
50-607



50-608



50-609



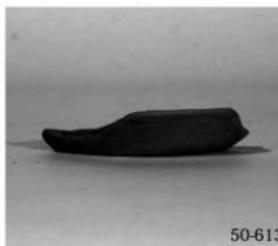
50-610



50-611



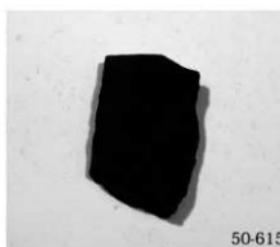
50-612



50-613



50-614



50-615



50-616



50-617



51-618

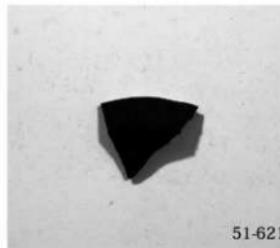


51-619



51-620

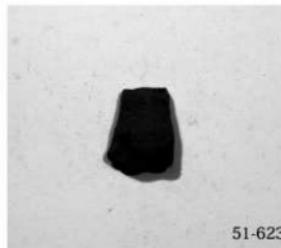
Pla.60



51-621



51-622



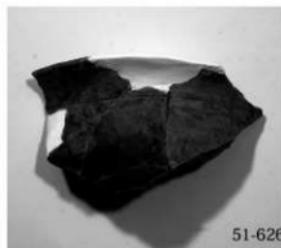
51-623



51-624



51-625



51-626



51-627



51-628



51-629



51-630



51-631



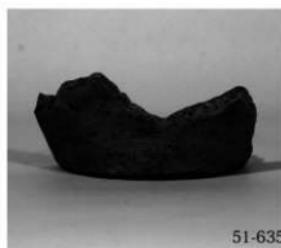
51-632



51-633



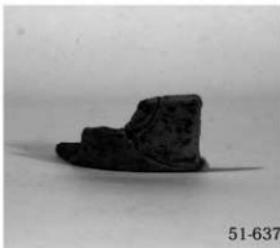
51-634



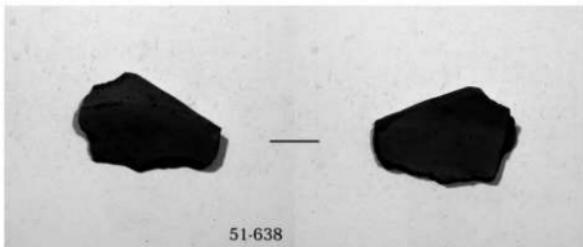
51-635



51-636



51-637



51-638

羽犬塚射場ノ本遺跡Ⅱ

筑後市文化財調査報告書

第106集

平成25年3月

発行 築後市教育委員会

福岡県筑後市大字山ノ井 898 番地

TEL (0942) 53-4111

印刷 大同印刷株式会社

佐賀県佐賀市久保泉町大字上和泉 1848-20

TEL (0952) 71-8520